

日本集中治療医学会雑誌

JOURNAL OF THE JAPANESE SOCIETY OF INTENSIVE CARE MEDICINE

Vol.21 Supplement JANUARY 2014

第41回 日本集中治療医学会学術集会 プログラム・抄録集

集中治療

ーマルチプロフェッショナルの心・技・知を集めて！

国立京都国際会館,
グランドプリンスホテル京都

平成26年2月27日～3月1日

会長 氏家 良人（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野）

日本集中治療医学会雑誌 第41回日本集中治療医学会学術集会 プログラム・抄録集

Vol.21 Supplement JANUARY

2014

日集中医誌 J Jpn Soc Intensive Care Med



第41回日本集中治療医学会学術集会

第41回学術集会の受付は、当日受付のみとなっております。
また、今年は、会員と非会員によって参加費が異なりますので、会員の方はこの会員受付票を必ずお持ちいただき、受付（会員受付）にご提出ください。

氏名：

❖ポスターの中に薄黄色のローマ字が14文字あります。
※薄黄色の文字はKYOTOのTとOがそれぞれにあたります。
組み合わせて、漢字4文字にしてご記入ください。
正解された方の中より抽選で景品をご用意しております。
※対象：会員懇親会参加者（懇親会場で抽選を行います）

ヒント：人名です。

懇親会に 参加する ☐ 参加しない ☐

第 41 回 日本集中治療医学会学術集会 プログラム・抄録集

会期 平成26年2月27日(木), 2月28日(金), 3月1日(土)
会場 国立京都国際会館, グランドプリンスホテル京都
会長 氏家 良人 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

第41回日本集中治療医学会学術集会、 第14回JSICM-KSCCM合同科学会議・国際シンポジウム 開催にあたって



第41回日本集中治療医学会学術集会、第14回JSICM-KSCCM合同科学会議・国際シンポジウムの会長として御挨拶を申し上げます。

本学術集会が古都・京都で開催されることは初めてのことで、この時期は梅の開花に春の兆しを感じられる頃です。京都には多くの国宝や寺社仏閣があり、また、祇園、四条河原町、錦市場では食の文化も豊富で、学術集会の後の疲れを癒してくれることでしょう。

今回の学術集会に対する一般演題の採択数は海外のものを含め1,590題となりました。そのため、ほとんどの講演を優劣にかかわらずポスター発表とし、口演は学生とシンポジウムに公募された方の演題のみとしました。優秀演題にはプログラムに優、最優をつけてあります。また、特別講演、教育講演、パネルディスカッションなど主題は303題に上ります。その中でも日本麻酔科学会、日本救急医学会、日本集中治療医学会の3学会理事長、代表理事による鼎談では新しい専門医制度、診療看護師、終末期医療などにおける各学会の忌憚のない意見を交わすことになっています。

特別講演は、80歳を超えてエベレスト登頂に成功した三浦雄一郎氏をお招きしています。これは、三浦氏一人によりなされたものではなく、プロ集団がチームとして成功に導いたものです。多くの医療職がチームとして救命に当たる集中治療の現場に通じるものがあると思っております。

昨年、日本集中治療医学会は、国内的には正会員に医師のみでなく、すべての医療職、医学研究者を迎え入れた学際的な学会となりました。また、対外的にはこれまで以上に国際交流を図る方向性を打ち出しました。その結果として、英文機関誌Journal of Intensive Careを発行し、学術集会も日韓合同科学会議に加え、海外から多くの講演者を迎えることとしました。また、世界集中治療連合、米国、ヨーロッパ、韓国、インドネシア、タイなどの集中治療医学会から理事長をはじめ、多くの方たちが参加することになり、ECMOに関しては世界の3大巨匠が顔を合わせます。今後、このような学術集会、国際的共同研究・データ収集などを通じて日本の集中治療に関わる医療者が世界で活躍する機会を増やし、その結果として日本の集中治療がグローバル化することを期待しています。

今回の学術集会から大きく変わる点がいくつかあります。これまで、厚くて持ち運ぶことが大変であったプログラム集から多くの抄録を省きました。すべての抄録はiPadやスマートフォンのアプリおよびウェブ上で提供いたします。これまで、ランチョンセミナーの教育セミナーの昼食チケットや会場への入場に長い列ができていましたが、今回は参加登録証に付帯している昼食チケットと交換で、セミナー開始30分前から会場内の多くの場所で昼食を配布します。すべての参加者に配布できるように計画を進めております。

最終日には、日本蘇生科学シンポジウムをはじめ、多くのサテライトセミナー、研究会が開催されます。

是非、多くの皆様が京都に集い、集中治療とそれに関わるテーマについて討論していただきますようお願い申し上げます。

第41回日本集中治療医学会学術集会
第14回JSICM-KSCCM合同科学会議・国際シンポジウム
会長 氏家 良人
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

第41回日本集中治療医学会学術集会

ー役員会及び関連会議のご案内ー

会 期：2014年（平成26年）2月27日（木）・2月28日（金）・3月1日（土）

会 場：国立京都国際会館，グランドプリンスホテル京都

会 長：氏家 良人（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野）

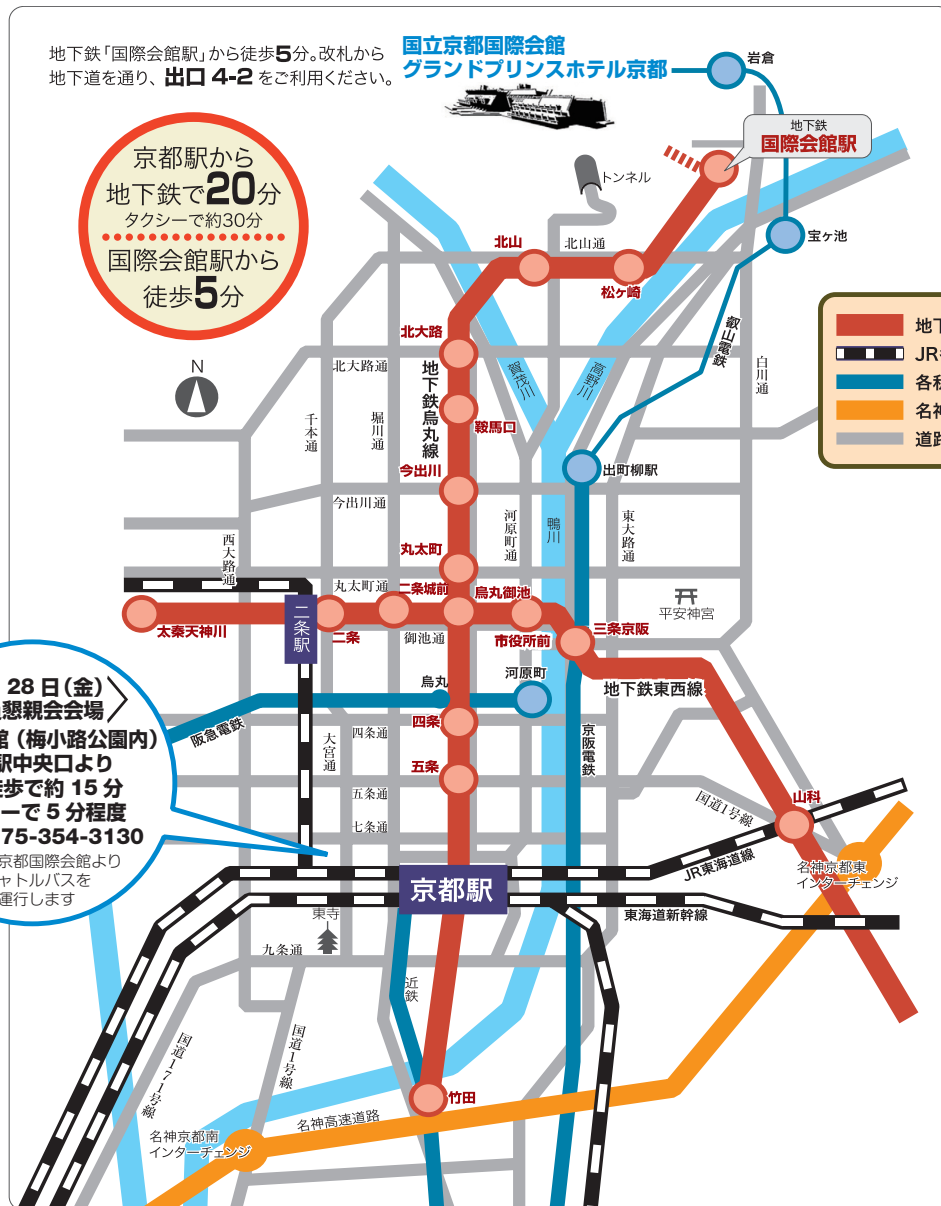
参加受付：国立京都国際会館 1F 正面エントランス，イベントホール入口，
グランドプリンスホテル京都 B2F ロビー

学術集会本部：国立京都国際会館 1F Room 157（TEL：075-705-2045 ※会期中のみ）

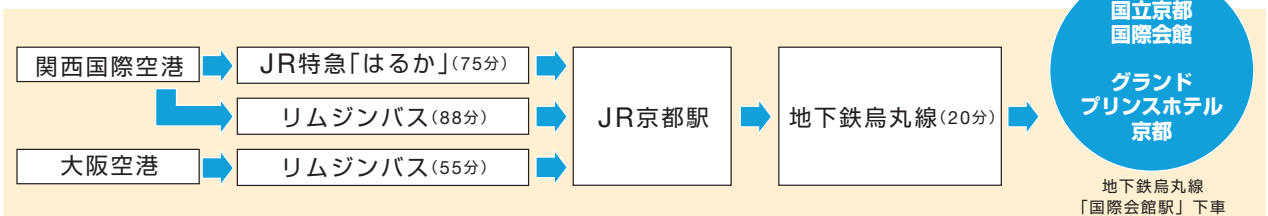
学会会議：	1. 理事会	2月26日（水）13：00～15：00 ホテルグランヴィア京都 5F「草子の間」
	2. 社員総会（評議員会）	2月26日（水）15：00～17：30 ホテルグランヴィア京都 5F「古今の間」
	3. 看護部常任委員会	2月27日（木）12：10～13：10 国立京都国際会館 1F Room 103
	4. 看護部会委員会	2月27日（木）18：30～19：30 国立京都国際会館 1F Room C-2
	5. 看護部会総会	2月28日（金）18：00～18：30 グランドプリンスホテル京都 B2F「ゴールドルーム」
	6. 臨床工学部会総会	2月28日（金）13：15～14：00 国立京都国際会館 1F Room B-1
	7. 会員懇親会	2月28日（金）19：00～20：30 京都水族館

医療機器展示：国立京都国際会館 1F イベントホール，アネックスホール

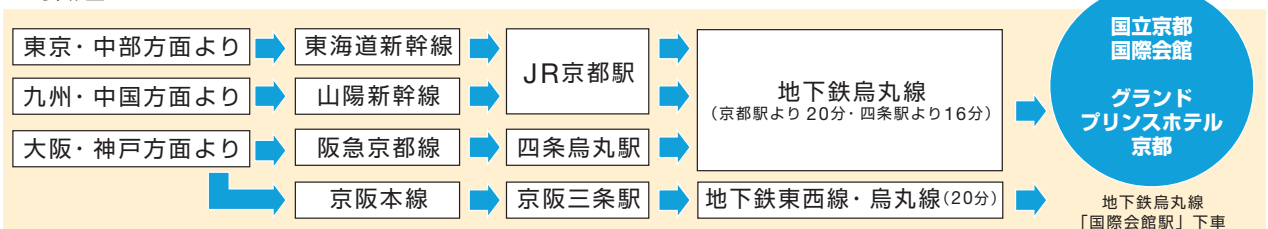
会場アクセスマップ



< 空港からのアクセス >



< 鉄道でのアクセス >



会場案内図

国立京都国際会館

1F

第1会場
Main Hall

第3会場
さくら

第4会場
Room D

第5会場
Room E

PCプレビュー
Room

クローク
Room F・G

参加受付

正面玄関

機器展示／ポスター会場①
イベントホール

イベントホール

参加受付②(※1日目, 2日目のみ)

クローク

イベントホール入り口

[illegible]

庭園

第9会場
Room C-2

第8会場
Room C-1

**ポスター
会場②**
スワン

機器展示／ポスター会場③
アネックスホール

アネックスホール

グランドプリンスホテル京都へ

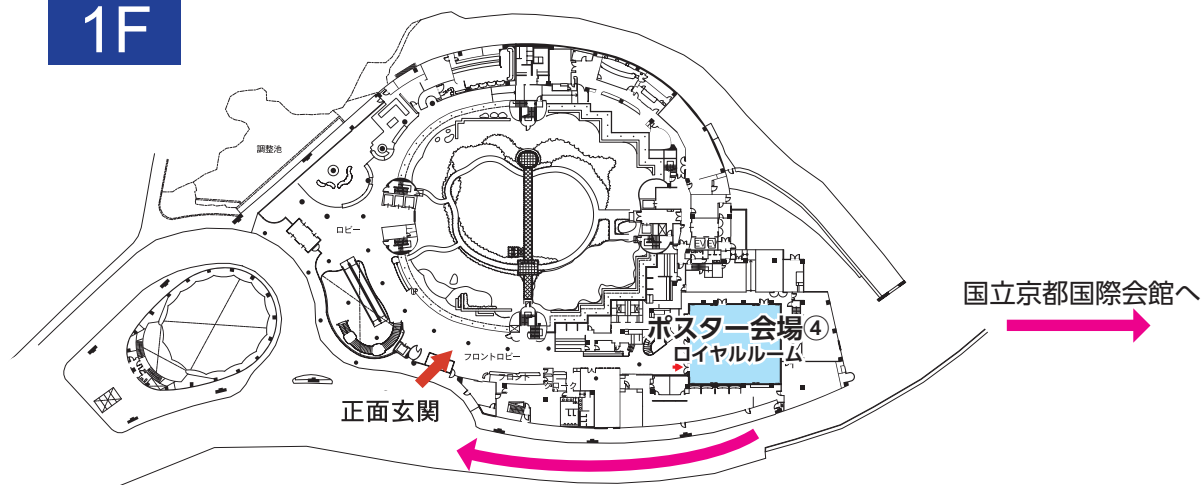
第2会場
Room A

第6会場
Room B-1

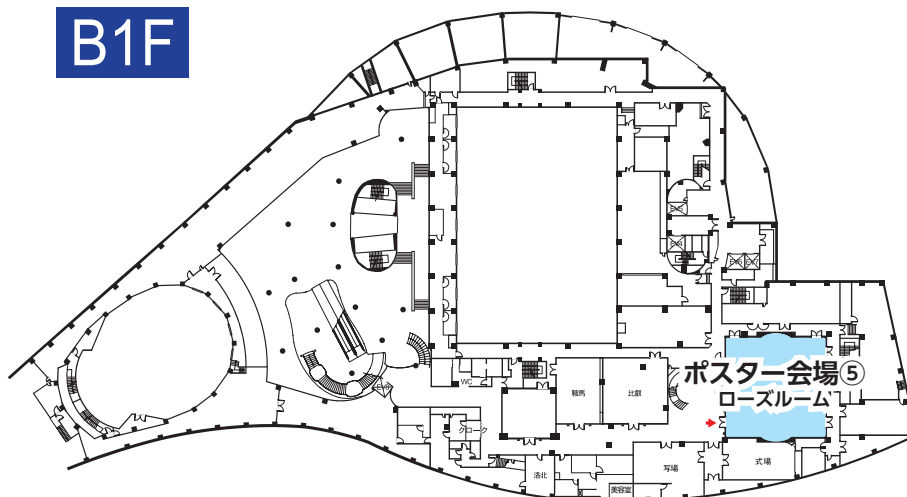
第7会場
Room B-2

グランドプリンスホテル京都

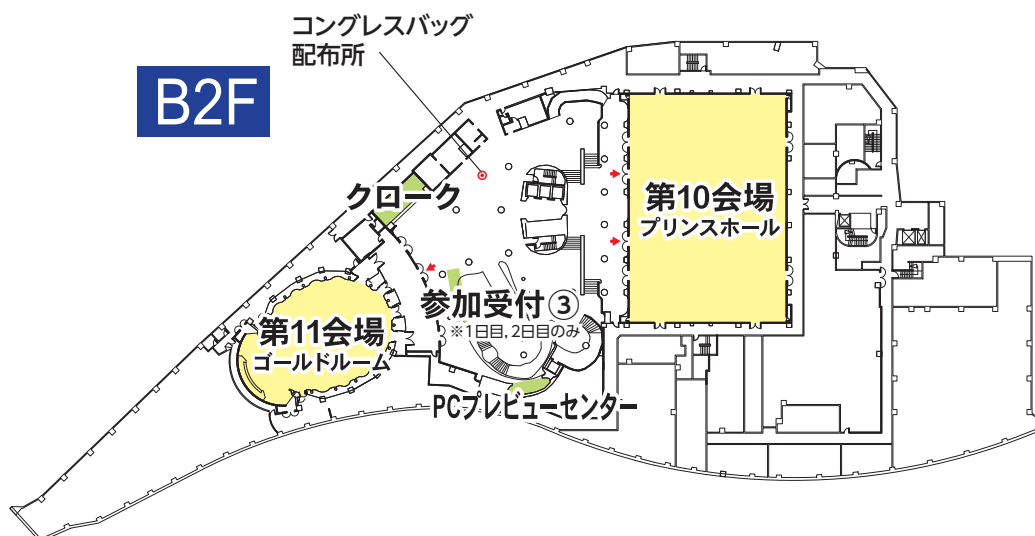
1F



B1F



B2F



ー学術集会参加者へのご案内ー

1. 参加資格

本学術集会に参加される方は全員、参加登録を行ってください。

一般演題の応募者は、発表者、共同発表者にかかわらず、日本集中治療医学会の会員に限ります。未入会の方は必ず入会手続きをお願いいたします。

2. 参加登録

参加費は受付にてお支払いください。

参加登録は会員と非会員で異なります。会員の方は本誌に挟み込んである「会員受付票」を必ず持参し、受付（会員受付）にご提出ください。お忘れの場合、会員照会にお時間をいただくことがございます。

【参加受付日程】

	受付場所	2月27日(木)	2月28日(金)	3月1日(土)
受付①	国立京都国際会館1F 正面入口	8:00~18:00	7:30~18:00	8:00~11:00
受付②	国立京都国際会館1F イベントホール入口	8:00~18:00	8:00~18:00	
受付③	グランドプリンスホテル京都B2F ロビー	8:00~18:00	8:00~18:00	

【参加費】

区分	対象	会員	非会員
1	医師	18,000円	20,000円
2	医師以外の医療従事者・医療研究者	15,000円	18,000円
3	初期研修医 ^{*1} ・その他一般 ^{*2}		8,000円
4	学部学生および看護学生	無料(受付で学生証を提示してください)	

^{*1} 研修医の方は参加申請書（指導医のサイン必須）の提出が必要です。

参加申請書は、学術集会ホームページ上よりダウンロードの上、必要事項をご記入いただき、学会当日に総合受付にご提出ください。

^{*2} 企業の方々等を対象といたします。当日、受付にて名刺を提出してください。

3. 学術集会出席証明書の提出について

参加証に付いている学術集会出席証明書（提出用）に必要事項をご記入の上、提出票部分を参加受付付近に設置されている回収箱にご提出ください。

4. 年会費・新入会

日本集中治療医学会の年会費または新入会の手続きは、国立京都国際会館1F正面入口とグランドプリンスホテルB2Fロビーの日本集中治療医学会事務局で受け付けます（参加受付時間内）。

【2014年度会費】

正会員12,000円、准会員9,000円

5. プログラム・抄録集、ポケットプログラム

本学術集会当日にプログラム一覧が掲載されたポケットプログラムをご用意しております。部数に限りがありますので、予めご了承ください。

一部の抄録と全プログラムを掲載したプログラム・抄録集（本冊誌）は事前に会員に送付いたします。会場ではお渡しいたしません。なお、当日会場で新入会手続きをとられた方には手続き完了時にお渡しいたします。会場でのプログラム・抄録集販売は3,000円（税別）／冊にて行いますが、部数に限りがありますので、予めご了承ください。

6. ウェブ抄録・抄録アプリ

会期の1ヶ月前頃にウェブ抄録と抄録アプリを配信しますので、是非ご利用ください。

ウェブ抄録：<https://confit.atlas.jp/jsicm41>

抄録アプリ：iOS版、Android版ともにアプリマーケットにて、 を検索し、インストールしてください。

ウェブ抄録・抄録アプリを初めて閲覧する際はパスワード を入力してください。

詳細は学術集会ホームページ (<http://www2.convention.co.jp/41icm/index.html>) をご覧ください。

今回、プログラム・抄録集に索引は掲載しておりません。ウェブ抄録・抄録アプリの検索機能をご使用ください。

7. 教育セミナー・イブニングセミナー・モーニングセミナー

教育セミナー、イブニングセミナー、モーニングセミナー参加の整理券はございません。直接会場へお越しください。なお、教育セミナーはランチョンセミナーとなります。お弁当は下記場所にて配布しております。参加証付帯の食事券と引き換えの上、会場へお入りください。

	配布場所(予定)	配布時間		
		2月27日(木)	2月28日(金)	3月1日(土)
国立京都 国際会館	Main Hall付近 アネックスホール付近 Room A付近、Room C-1・2付近	11：30～12：40	11：30～12：40	11：30～12：40
グランドプリンス ホテル京都	グランドプリンスホテル京都B2F ロビー付近	11：30～12：40	11：30～12：40	

8. 会員懇親会

会員懇親会を2月28日(金)19時から京都水族館にて行います。懇親会では簡単なお食事を用意いたします。参加費は2,000円となりますので、会期中(2月27日、2月28日)に参加受付にてお支払いください。定員になり次第、締め切ります。

※国立京都国際会館正面入口よりシャトルバスを運行いたします。

9. ハンズオンセミナーについて

ハンズオンセミナー 1

ECMO 症例検討会&ECMO シミュレーションセミナー

開催日時：2014年3月1日(土)13：30～17：00

開催場所：国立京都国際会館2F Room B-2・Room I・Room J

テーマ：Respiratory ECMO

参加登録方法等、詳しくは下記学術集会ホームページにてご確認ください。

<学術集会ホームページ> <http://www2.convention.co.jp/41icm/seminar/index.html>

ハンズオンセミナー 2

第1回ICUにおける外科的気道確保トレーニング

開催日時：2014年3月1日(土)13：30～16：30

開催場所：国立京都国際会館1F Room E

テーマ：外科的気道確保のいろは

参加登録方法等、詳しくは下記学術集会ホームページにてご確認ください。

<学術集会ホームページ> <http://www2.convention.co.jp/41icm/seminar/index.html>

10. 医療機器展示

学術集会期間中、国立京都国際会館イベントホール、アネックスホールで下記の時間帯に行います。

	2月27日(木)	2月28日(金)	3月1日(土)
医療機器展示	9：00～18：00	9：00～18：00	9：00～12：00

11. 医師会員へのお願い

1) **e医学会カード (UMINカード) による単位登録手続き (集中治療専門医制度施行細則に定める出席単位)**
本学術集会では医師会員を対象にe医学会カード (UMINカード) による単位登録を行いますので、医師会員はe医学会カードをご持参下さい。

カードによる単位登録は、国立京都国際会館1F ロビー (1ヶ所のみ) で行いますので、医師会員は学術集会参加受付を済まされた後、必ずカードによる単位登録をお願いします。

尚、今年は参加証が正式な学術集会出席証明書となります。

(1) カードをお持ちの医師会員

専用コーナーでe医学会カードをご提示ください。係の者がカード裏面のバーコードをリーダーで読み取り単位登録を行います。

(2) カードをお持ちでない医師会員 (カード忘れも含む)

専用コーナー横の該当会員用受付で必ず単位登録の手続きを行ってください。手続きにあたり本人確認をさせて頂く場合がございますのでご了承ください。

尚、(1) または (2) で単位登録手続きを行った医師会員は、学術集会終了2～3週間後に学会会員専用ページ (e医学会マイページ) で出席単位の確認ができます。

2) 共催セミナー出席時の、e医学会カード (UMINカード) ご提示のお願い

本学術集会では、一部の共催セミナーにおいて、e医学会カード読み取りによる、出席動向調査を実施いたします。学会、共催企業が、次回以降のプログラム構成の為に活用いたします。

匿名での受講をご希望の場合を除き、可能な限りご協力をお願い申し上げます。

尚、学術集会終了後にカード読み取りをして頂いた方を対象に、共催企業より資料提供等を行う場合がございます。氏名、勤務先情報を共催企業に共有いたしますことを、予めご了承ください。お預かりした個人情報に関しては、上記目的以外には一切使用いたしません。

※カード読み取りをスムーズに行う為、ネームホルダーの裏面にバーコードが見える形でe医学会カードを入れて頂きます様、ご協力をお願いいたします。

学術集会開催前のカードに関するお問合せは、下記窓口までお願いいたします。

e医学会事務局 問合せ窓口 (京葉コンピューターサービス内)

フリーダイヤル：0120-21-6262 (平日 10：00～18：00) / email: unyou@e-igakukai.jp

12. 託児室開設のお知らせ

期間中、会場近隣に託児室を開設いたします。利用を希望される方は事前に予約が必要です。学術集会ホームページ (<http://www2.convention.co.jp/41icm/index.html>) にて詳細をご確認のうえ、お申し込みください。

託児サービス申し込み先：アートチャイルドケア(株)西日本統括部

担当：森 TEL 06-6838-0123 FAX 06-6390-1645

13. お願い

1) 学術集会会場内はすべて禁煙です。

2) 講演、ポスター会場内での携帯電話、PHS などのご使用は、他の参加者の迷惑となります。会場内での使用は禁止させていただきます。会場内では電源をOFFにするか、マナーモードをご使用いただきますようお願いいたします。

3) 呼び出しは原則として行いません。

4) 学術集会会場内でのカメラ、ビデオ等での撮影・録音は禁止です。

5) 各施設内にクロークがございます。利用時間をご確認ください。

－発表者・司会・座長へのお知らせ－

発表での諸注意事項

発表演題に関する利益相反 (conflict of interest : COI) の開示について

一般社団法人日本集中治療医学会では、「集中治療領域の研究における利益相反 (COI) マネージメントに関する指針」ならびに「同施行細則」を策定し、2011年4月1日より施行しています。そのため、発表者は利益相反状態の自己申告を行ってください。

この利益相反状態は、学術集会発表時にスライドあるいはポスターの最初に開示することとなります。利益相反 (conflict of interest : COI) 開示のPPTサンプルは学会ホームページからダウンロードできます。

<http://www2.convention.co.jp/41icm/endai/files/coi.ppt>

詳細は 集中治療領域の研究における利益相反 (COI) マネージメントに関する指針

「<http://www.jsicm.org/pdf/COI..pdf>」をご確認ください。

発表演題に関する個人情報の取扱について

患者個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、患者個人情報が特定されないように十分留意して発表してください。個人情報が特定される発表は禁止します。

1. 口演発表について

A) シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ等

- 発表・討論時間は座長の指示に従ってください。
- 座長によるそのセッションの全討議が終わるまで、席でお待ちください。発表時間を厳守してください。

B) 一般演題 (優秀演題を含む) は、発表時間6分、質疑応答4分となっております。発表時間を厳守してください。

C) 発表時間の警告：発表時間終了1分前にオレンジランプ、発表時間終了時に赤ランプでお知らせいたします。時間厳守をお願いいたします。

D) PC による発表について

●受付可能なデータ形式について

Windows で作成したデータファイルは、PC 本体あるいはメディア (CD-R, USB メモリー) での持ち込みが可能です。

Macintosh で作成したデータファイルは、PC 本体をお持ち込みください。メディア (CD-R, USB メモリー) での持ち込みはできませんので、ご注意ください。

	メディア持ち込み (CD-R, USB メモリー)	PC 本体の持ち込み
Windows	○	○
Macintosh	×	○

●発表データの受付と確認

発表の1時間前までにPCプレビューセンターにて出力確認をしてください。ご自身の発表会場以外の施設では受付できませんので、ご注意ください。PC 本体持ち込みの方は、確認が終了したら発表会場のPCオペレーター席 (会場ステージ向かって左側) までご自身でお持ちください。

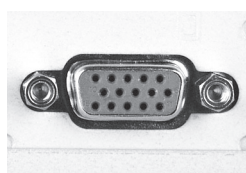
<PC 受付場所>

PC プレビューセンター：国立京都国際会館 1F Room H

：グランドプリンスホテル京都 B2F ロビー（1日目、2日目のみ）

	2月27日(木)	2月28日(金)	3月1日(土)
受付時間	8:00~18:00	7:30~18:00	8:00~11:00

- ◆各日、朝1番目に発表の方は、発表の30分前までに受付をお済ませください。また、28日以降にご発表の方は前日に受付することも可能です。スムーズな運営のため、発表前日のデータ受付にご協力ください。
- ◆発表ソフトは、Microsoft PowerPoint 2010 までのファイルに限らせていただきます。
- ◆学術集会当日に会場に設置される機材のスペックは【プロジェクター解像度】1024×768 ドットです。
- ◆発表は、各会場の演台に設置した液晶モニターをご覧いただきながら、キーボード・マウスを演者の先生ご自身で操作しながら進めてください。PC 本体を持ち込みいただいた場合でも、PC 本体は演台には乗りません。
(発表者ツールのご使用はできません)
- PC 本体を持ち込みの方へ
 - ◆D-sub15 ピンと呼ばれるモニター出力が必要です。Macintosh など変換コネクタが必要な場合はご自身で持参してください。



D-sub15 ピン (ミニ)



付属外部出力ケーブル例

- ◆スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
- ◆AC アダプターを必ずお持ちください。
- ◆PC に保存されたデータの紛失を避けるため、発表データは必ずバックアップを取っておいてください。
- ◆CD-R または USB メモリーに保存したバックアップのデータを一緒にご持参ください。
- メディア持ち込みの方へ
 - ◆Windows データのみ持ち込みが可能です。CD-R または USB メモリーに保存してお持ちください。CD-RW, MO, FD, ZIP などは一切受付できません。
 - ◆講演会場では Windows (Windows 7, Office 2003, 2007, 2010) をご用意いたします。Office 2000 以前のバージョンで作成されたものは、表示に不具合が出る可能性があります。
 - ◆文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントをご使用ください。特殊なフォントはご使用にならないでください。
 - (1) 推奨フォント (日本語の場合)
MS ゴシック, MS P ゴシック, MS 明朝, MS P 明朝, OSAKA (Mac)
 - (2) 推奨フォント (英語の場合)
Century, Century Gothic
 - ◆PowerPoint に貼り付けている動画・音声を使われる場合は、以下のことを遵守してください。

(1) Windows Media Player11 初期状態コーデックで再生できるものに限りします。

(2) PowerPoint データと共に動画ファイルも必ずご持参ください。

また、バックアップ用としてご自身のノートパソコンの持参をお薦めいたします。メディア持ち込みでプレゼンテーションに他のデータ（静止画、動画、グラフなど）をリンクさせている場合は、メディア書き込み後、事前に他のパソコンでの動作確認をしてから、持ち込みをお願いいたします。データ容量は500MBまでと制限させていただきます。

◆お預かりしたメディアはデータ受付終了後、その場で返却いたします。また、本学会終了後、データはコンピューターより削除いたします。

2. ポスター発表について

A) 座長制の討論形式発表で発表時間6分、質疑応答4分です。

発表時間を厳守してください。

B) 発表者受付は行いません。演題発表者は、ポスター掲示時間内（8：00～9：00）に、所定の場所にポスターを掲示してください。各ポスターパネル前に発表者リボンを用意していますので、左胸に付けてください。画鋏も受付にてご用意しております。

C) ポスター掲示は各発表日の8：00～9：00までに行ってください。

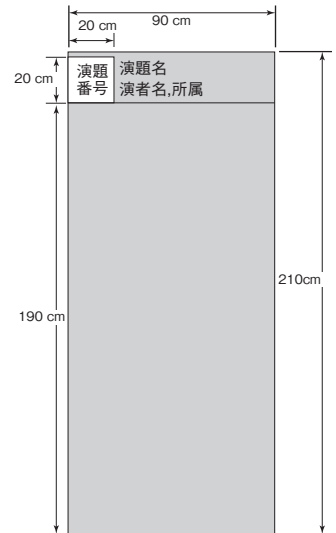
D) 発表スペースの大きさは縦190 cm、横90 cmです。2 m離れても判読できるよう見やすくし、文字や図表も十分読み取れる大きさにしてください（スライド印刷の場合、B4以上の大きさを原則）。なお、本部にて左上角に演題番号（20 cm × 20 cm）を付けますので、こちらのスペースには貼らないでください。

E) 演題名、所属、演者名はご自身でご用意ください。

F) 日ごとにポスター発表の時間帯が異なります。

G) 発表者はセッション開始10分前までに発表会場にお集まりください。

H) ポスターの撤去は下記時間にて必ず行ってください。引き取りのないポスターにつきましては事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。



	2月27日(木)	2月28日(金)	3月1日(土)
撤去時間	17：40～18：40	18：00～19：00	12：00～13：00

3. 司会・座長へのお願い

A) 口演座長は、担当セッション開始時刻の15分前までに次座長席にご着席ください。

B) ポスターセッション座長の方は、座長リボンをお渡しいたしますので、セッション開始15分前までに「ポスター受付（各ポスター会場前）」にお立ち寄りください。座長用リボンと指示棒をお受け取りの上、担当セッションの最初のポスターの前でお待ちください。

C) 各セッションの進行は座長に一任します。時間内に十分な討論ができるようご配慮ください。場内アナウンスはございませんので、所定の時刻になりましたら適宜開始してください。

－第41回日本集中治療医学会学術集会事務局準備委員－

委員長	会長	氏家 良人(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)
幹事	事務局長	岡本 知子(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)
学術部門幹事		
医師部門	市場 晋吾(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学)	
	鶴川豊世武(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)	
看護部門	難波由美子(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	加藤 湖月(岡山大学病院高度救命救急センター)	
臨床工学技士部門		
	伊藤 英史(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)	
	林 久美子(岡山大学病院医療技術部)	
理学療法士部門		
	小幡 賢吾(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)	
プログラム委員		
医師部門	佐藤 圭路(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	寺戸 通久(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学)	
	山内 英雄(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)	
	木浪 陽(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学)	
	芝 直基(岡山大学医療教育統合開発センター)	
	平山 敬浩(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	塚原 紘平(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	森定 淳(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	飯田 淳義(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	湯本 哲也(岡山大学病院高度救命救急センター)	
	野坂 宜之(岡山大学病院高度救命救急センター)	
看護部門	足羽 孝子(岡山大学病院看護部)	
	伊藤 真理(岡山大学病院看護部)	
	岩谷美貴子(岡山大学病院看護部)	
	妹尾 育美(岡山大学病院看護部)	
	藤井 玲子(岡山大学病院看護部)	

－事務局－

1. 第41回日本集中治療医学会学術集会事務局

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・救急医学分野内

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL：086-235-7426 FAX：086-235-6601 E-mail：jicm41@cc.okayama-u.ac.jp

2. 運営準備室

日本コンベンションサービス株式会社

関西支社メディカル部

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階

TEL：06-6221-5933 FAX：06-6221-5938 E-mail：41icm@convention.co.jp

3. 宿泊・交通・旅行に関する問い合わせ

株式会社JTB西日本 スポーツ・MICE センター

第41回日本集中治療医学会学術集会 係

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル7階

TEL：06-6260-4360 FAX：06-6260-4359 E-mail：k_kakutani159@west.jtb.jp

営業時間：9：30～17：30（土・日・祝日は休業）

4. 会員登録確認等に関する問い合わせ

日本集中治療医学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-32-6 ハイヴ本郷3F

TEL：03-3815-0589 FAX：03-3815-0585

－関連学術集会のご案内－

1. 第7回日本蘇生科学シンポジウム（J-ReSS）

会期：2014年3月1日（土）9:00～17:00

会場：国立京都国際会館2F Room B-1 第6会場

テーマ：集中治療領域における蘇生科学の実践

会長：氏家良人（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野）

実行委員長：野々木宏（静岡県立総合病院）

実行委員：一般社団法人日本集中治療医学会、非営利活動法人NPO救命おかやま

参加費：2,000円（第41回日本集中治療医学会学術集会にご参加の方は無料）

詳しくはホームページ（<http://www2.convention.co.jp/41icm/kanren/index.html>）をご覧ください。

2. 第178回ICD講習会

会期：2014年3月1日（土）13:30～15:30

会場：国立京都国際会館1F さくら 第3会場

主催：ICD制度協議会

テーマ：ICUで問題となる多剤耐性グラム陰性桿菌感染症の疫学、治療、予防策

座長：林淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科部長）

演者：林淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科部長）、原田壮平（公益財団法人がん研究会有明病院感染症科部長）、本田仁（東京都立多摩総合医療センター救急科所属感染対策室室長）

※事前申し込みが必要です。詳しくはホームページ（<http://www.icdjc.jp/klist.html>）をご覧ください。

3. 第4回集中ケア認定看護研修会

会期：2014年3月1日(土) 13:30～17:00

会場：国立京都国際会館 1F Room D 第4会場

主催：集中ケア認定看護師会

対象：認定看護師会会員

参加費：無料

テーマ：集中ケアにおける看護の質と評価について

座長：川島孝太(りんくう総合医療センター)，加藤岡美紀(船橋市立医療センター)

演者：卯野木健(筑波大学医学部附属病院)，濱本実也(公立陶生病院)，森安恵実(北里大学病院)

詳しくはホームページ (<http://www.icu-cen.jp/>) をご覧ください。

4. 第16回JSEPTIC-CTG総会

会期：2014年3月1日(土) 13:30～16:30

会場：国立京都国際会館 1F Room C-2 第9会場

理事長：讃井将満(自治医科大学附属さいたま医療センター)

参加費：無料

主催：日本集中治療教育研究会(JSEPTIC)

5. 第15回日本周術期時間医学研究会学術集会

会期：2014年3月1日(土) 13:30～17:30

会場：国立京都国際会館 1F Room C-1 第8会場

会長：藤原祥裕(愛知医科大学医学部麻酔科学講座)

参加費：2,000円

主催：日本周術期時間医学研究会

6. 第24回日本経皮的心肺補助(PCPS)研究会

会期：2014年3月1日(土) 13:30～17:30

会場：国立京都国際会館 2F Room A 第2会場

会長：野口悟司(大阪大学医学部附属病院 ME サービス部)

参加費：2,000円(第41回日本集中治療医学会学術集会にご参加の方は無料)

主催：日本経皮的心肺補助(PCPS)研究会

7. 第1回RRS(心肺蘇生を含む)検討会

会期：2014年2月27日(木) 18:30～20:30

会場：国立京都国際会館 1F Room C-1 第8会場

RRS運営委員会代表：藤谷茂樹，安宅一晃

対象：第41回日本集中治療医学会学術集会の参加登録者

参加費：無料

主催：RRS運営委員会

－日本集中治療医学会総会・年次一覧－

	会 期	会 場	会 長
第 1 回	1974年2月9日～10日 (2月10日設立)	東 京 三井日比谷ホール	岩月 賢一
第 2 回	1975年2月8日～9日	東 京 エーザイ株式会社	岩月 賢一
第 3 回	1976年2月8日～9日	東 京 日本都市センター	岩月 賢一
第 4 回	1977年2月11日～12日	東 京 日本都市センター	佐藤 光男
第 5 回	1978年2月25日～26日	東 京 日本都市センター	石原 昭
第 6 回	1979年2月25日～26日	東 京 日本都市センター	五十嵐正男
第 7 回	1980年2月9日～10日	名古屋 愛知県勤労会館	青地 修
第 8 回	1981年2月7日～8日	東 京 日本青年館	美濃部 嶋
第 9 回	1982年5月7日～8日	福 島 福島県文化センター	奥秋 晟
第10回	1983年3月19日～20日	岡 山 岡山プラザホテル	小坂二度見
第11回	1984年3月18日～20日	東 京 国立教育会館	古田 昭一
第12回	1985年5月17日～18日	仙 台 仙台市民会館	天羽 敬祐
第13回	1986年2月28日～3月2日	東 京 日本都市センター	早川 弘一
第14回	1987年3月18日～20日	山 口 山口市市民会館	武下 浩
第15回	1988年2月25日～27日	東 京 日本都市センター	三川 宏
第16回	1989年6月8日～10日	北海道 旭川市民文化会館	柴田 淳一
第 5 回	世界集中治療会議1989年9月3日～8日	京 都 京都プリンスホテル	青地 修
第17回	1990年6月7日～9日	大 阪 大阪国際交流センター	吉矢 生人
第18回	1991年2月28日～3月2日	東 京 日本都市センター	細田 瑳一
第19回	1992年2月20日～22日	名古屋 名古屋国際会議場	佐美 好昭
第20回	1993年6月9日～11日	北海道 北海道厚生年金会館	金子 正光
第21回	1994年2月24日～26日	名古屋 名古屋国際会議場	勝屋 弘忠
第22回	1995年2月1日～3日	大 阪 ホテルニューオータニ大阪	藤森 貢
第23回	1996年1月18日～20日	横 浜 パシフィコ横浜	藤田 達士
第24回	1997年5月15日～17日	盛 岡 盛岡グランドホテル	平盛 勝彦
第25回	1998年3月5日～7日	東 京 東京国際フォーラム	窪田 達也
第26回	1999年3月3日～5日	千 葉 幕張メッセ	平澤 博之
第27回	2000年3月2日～4日	名古屋 名古屋国際会議場	島田 康弘
第28回	2001年3月8日～10日	東 京 東京ドームホテル	高野 照夫
第29回	2002年2月28日～3月2日	岡 山 ホテルグランヴィア岡山	平川 方久
第30回	2003年2月4日～6日	北海道 ロイトン札幌	劔物 修
第31回	2004年3月4日～6日	福 岡 福岡国際会議場	前川 剛志
第32回	2005年2月24日～26日	東 京 京王プラザホテル	一色 淳
第33回	2006年3月2日～4日	大 阪 グランキューブ大阪	岩坂 壽二
第34回	2007年3月1日～3日	神 戸 神戸国際展示場	丸川征四郎
第35回	2008年2月14日～16日	東 京 京王プラザホテル	今井 孝祐
第36回	2009年2月26日～28日	大 阪 グランキューブ大阪	篠崎 正博
第37回	2010年3月4日～6日	広 島 リーガロイヤルホテル広島	多田 恵一
第38回	2011年2月24日～26日	横 浜 パシフィコ横浜	田中 啓治
第39回	2012年2月28日～3月1日	千 葉 幕張メッセ	福家 伸夫
第40回	2013年2月28日～3月2日	長 野 長野県松本文化会館	岡元 和文
第41回	2014年2月27日～3月1日	京 都 国立京都国際会館	氏家 良人
第42回	2015年2月9日～11日	東 京 ホテル日航東京	山科 章
第43回	2016年2月12日～14日	神 戸 神戸国際展示場	西村 匡司

第1日目 2月27日(木)

合同部門 医師部門 看護部門 臨床工学技士部門 リハビリテーション international 口演 共催セミナー

国立京都国際会館	第1会場(1F Main Hall)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
----------	--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第2日目 2月28日(金)

合同部門 医師部門 看護部門 臨床工学技士部門 リハビリテーション international 口演 共催セミナー

		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00	
国立京都国際会館	第1会場(1F Main Hall)																										
	第2会場(2F Room A)																										
	第3会場(1F さくら)																										
	第4会場(1F Room D)																										
	第5会場(1F Room E)																										
	第6会場(2F Room B-1)																										
	第7会場(2F Room B-2)																										
	第8会場(1F Room C-1)																										
	第9会場(1F Room C-2)																										
	ポスター/機器展示会場 (1F イベントホール)																										
グランドプリンスホテル京都	第10会場 (B2F プリンズホール)																										
	第11会場 (B2F ゴールドルーム)																										
	ポスター会場 (B1F ローズルーム)																										
	ポスター会場 (1F ロイヤルルーム)																										

[illegible]

International

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:00
ポスター／機器展示会場	1 F イベントホール	ポスターブース01	一般演題 DP-1 多臓器不全、敗血症 座長：畑典武	一般演題 DP-2 多臓器不全、敗血症 座長：江口豊				一般演題 DP-3 多臓器不全、敗血症 座長：今泉均	一般演題 DP-4 心臓病、新生児ICU管理 座長：古谷良輔
		ポスターブース02	一般演題 DP-5 中枢神経、骨髄、末梢神経 座長：齋藤繁	一般演題 DP-6 中枢神経、骨髄、末梢神経 座長：澤村淳			一般演題 DP-7 心臓病、新生児ICU管理 座長：寺尾嘉彰	一般演題 DP-8 心臓病、新生児ICU管理 座長：本多満	
		ポスターブース03	一般演題 DP-9 心臓、循環、体液管理 座長：澤野宏隆	一般演題 DP-10 心臓、循環、体液管理 座長：山下幸一			一般演題 DP-11 心臓、循環、体液管理 座長：原口剛	一般演題 DP-12 心臓、循環、体液管理 座長：恒吉勇男	
		ポスターブース04	一般演題 DP-13 心臓、循環、体液管理 座長：石川康朗	一般演題 DP-14 心臓、循環、体液管理 座長：三嶋正芳			一般演題 DP-15 心臓、循環、体液管理 座長：西田博	一般演題 DP-16 心臓、循環、体液管理 座長：山本剛	
		ポスターブース05	一般演題 DP-17 心臓、循環、体液管理 座長：石原弘規	一般演題 DP-18 心臓、循環、体液管理 座長：小坂誠			一般演題 DP-19 血液浄化 座長：坪敏仁	一般演題 DP-20 血液浄化 座長：谷口巧	
	ポスターブース06	一般演題 DP-21 気道、呼吸、呼吸管理 座長：吉川修身	一般演題 DP-22 気道、呼吸、呼吸管理 座長：玉井直			一般演題 DP-23 気道、呼吸、呼吸管理 座長：片山正夫	一般演題 DP-24 気道、呼吸、呼吸管理 座長：鈴木武志		
	ポスターブース07	一般演題 DP-25 気道、呼吸、呼吸管理 座長：小林孝史	一般演題 DP-26 気道、呼吸、呼吸管理 座長：白石義人			一般演題 DP-27 気道、呼吸、呼吸管理 座長：高橋英夫	一般演題 DP-28 気道、呼吸、呼吸管理 座長：内山昭則		
	ポスターブース08	一般演題 DP-29 気道、呼吸、呼吸管理 座長：山口修	一般演題 DP-30 気道、呼吸、呼吸管理 座長：柳下芳寛			一般演題 DP-31 気道、呼吸、呼吸管理 座長：長野修	一般演題 DP-32 気道、呼吸、呼吸管理 座長：円山啓司		
	ポスターブース09	一般演題 DP-33 気道、呼吸、呼吸管理 座長：桑迫勇登	一般演題 DP-34 気道、呼吸、呼吸管理 座長：矢作直樹			一般演題 DP-35 気道、呼吸、呼吸管理 座長：久木田一朗	一般演題 DP-36 気道、呼吸、呼吸管理 座長：竹田晋浩		
	ポスターブース10	一般演題 DP-37 気道、呼吸、呼吸管理 座長：清水敬樹	一般演題 DP-38 気道、呼吸、呼吸管理 座長：青景聡之			一般演題 DP-39 消化器、腹腔内臓器 座長：瀧端康光	一般演題 DP-40 消化器、腹腔内臓器 座長：升田好樹		
1 F アネックスホール	ポスターブース11	一般演題 DP-41 基礎研究 ① 中枢神経系、心臓停止 座長：内野博之	一般演題 DP-42 基礎研究 ② 多臓器不全、敗血症 座長：小倉真治			International IP-1 result and Open Protection (Clinical Chair: Toshiaki Nishikawa)	International IP-2 Nutrition Chair: Kosaku Kinoshita		
	ポスターブース12	一般演題 DP-43 血液、凝固 座長：相引眞幸	一般演題 DP-44 血液、凝固 座長：池田寿昭			一般演題 DP-45 内分泌、代謝、免疫 座長：北村晶	一般演題 DP-46 内分泌、代謝、免疫 座長：国元文生		
	ポスターブース13	一般演題 DP-47 中毒 座長：千代孝夫	一般演題 DP-48 中毒 座長：小林誠人			一般演題 DP-49 中毒 座長：伊関憲	一般演題 DP-50 中毒 座長：杉田学		
	ポスターブース14	一般演題 DP-51 小児集中治療 座長：広木公一	一般演題 DP-52 小児集中治療 座長：竹内達			一般演題 DP-53 小児集中治療 座長：植田育也	一般演題 DP-54 小児集中治療 座長：田村正徳		
	ポスターブース15	一般演題 DP-55 小児集中治療 座長：中村友彦	一般演題 DP-56 小児集中治療 座長：清水直樹			一般演題 DP-57 災害、病院前管理 座長：児玉貴光	一般演題 DP-58 教育、経済 座長：中尾博之		
	ポスターブース16	一般演題 DP-59 心臓病、新生児ICU管理 座長：漢那朝雄	一般演題 DP-60 心臓病、新生児ICU管理 座長：藤田智			一般演題 DP-61 心臓病、新生児ICU管理 座長：横田徹次	一般演題 DP-62 心臓病、新生児ICU管理 座長：渋谷伸子		
	ポスターブース17	一般演題 MP-1 血液浄化① 座長：道越淳一	一般演題 MP-2 血液浄化② 座長：前田智美			一般演題 MP-3 補助循環① 座長：赤松伸朗	一般演題 MP-4 補助循環② 座長：畑中祐也		
	ポスターブース18	一般演題 MP-5 呼吸① 座長：相嶋一登	一般演題 MP-6 呼吸② 座長：宗万孝次			一般演題 MP-7 呼吸③ 座長：中川富美子	一般演題 MP-8 呼吸④ 座長：山口智		
	ポスターブース19	一般演題 NP-1 呼吸① 座長：永野由紀	一般演題 NP-2 呼吸② 座長：井村久美子			一般演題 NP-3 呼吸③ 座長：松波由加	一般演題 NP-4 呼吸④ 座長：安原光子		
	ポスターブース20	一般演題 NP-5 看護教育① 座長：脇屋友美子	一般演題 NP-6 看護教育② 座長：モディ眞由美			一般演題 NP-7 看護教育③ 座長：正垣淳子	一般演題 NP-8 看護教育④ 座長：大北沙由利		
1 F ロイヤルルーム	ポスターブース21	一般演題 NP-9 看護教育⑤ 座長：與良登美代	一般演題 NP-10 看護師のストレス、その他 座長：木村千穂			一般演題 NP-11 鎮痛、鎮静、せん妄① 座長：山中真知子	一般演題 NP-12 鎮痛、鎮静、せん妄② 座長：北別府孝輔		
	ポスターブース22	一般演題 NP-13 保守、管理① 座長：濱田恵美	一般演題 NP-14 保守、管理② 座長：渡辺都子			一般演題 NP-15 身体拘束、その他 座長：倉増栄子	一般演題 NP-16 チーム医療 座長：高橋栄樹		
	ポスターブース23	一般演題 NP-17 医療安全 座長：水谷美保	一般演題 NP-18 栄養管理、口腔ケア① 座長：末信正剛			一般演題 NP-19 栄養管理、口腔ケア② 座長：梨木由美子	一般演題 NP-20 栄養管理、口腔ケア③ 座長：宮原聡子		
	ポスターブース24	一般演題 NP-21 小児・新生児 座長：辻尾有利子	一般演題 NP-22 深部静脈血栓、体位変換 座長：山室俊雄						
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:00

第2日 2014年2月28日(金)

医師部門

看護部門

臨床工学技士部門

リハビリテーション

International

			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	16:00	17:00	18:00
ポスター／ 機器展示会場	1 F イベントホール	ポスター ブース01	一般演題 DP-63 基礎研究③ 心臓、循環、体液管理 座長：新沼廣幸	一般演題 DP-64 基礎研究④ 免疫応答 座長：土井松幸	一般演題 DP-65 血液浄化③ 座長：片山浩			一般演題 DP-66 中枢神経、脊髄、末梢神経⑤ 座長：卯津羅雅彦	一般演題 DP-67 中枢神経、脊髄、末梢神経⑥ 座長：岡田保誠	
		ポスター ブース02	一般演題 DP-68 多臓器不全・敗血症④ 座長：有村敏明	一般演題 DP-69 多臓器不全・敗血症⑤ 座長：芹田良平	一般演題 DP-70 多臓器不全・敗血症⑥ 座長：嶋岡英輝			一般演題 DP-71 多臓器不全・敗血症⑦ 座長：大谷典生	一般演題 DP-72 多臓器不全・敗血症⑧ 座長：高橋毅	
		ポスター ブース03	一般演題 DP-73 多臓器不全・敗血症⑨ 座長：瀬川一	一般演題 DP-74 多臓器不全・敗血症⑩ 座長：梅垣修	一般演題 DP-75 多臓器不全・敗血症⑪ 座長：西山友貴			一般演題 DP-76 中枢神経、脊髄、末梢神経⑦ 座長：守谷俊	一般演題 DP-77 中枢神経、脊髄、末梢神経⑧ 座長：川口昌彦	
		ポスター ブース04	一般演題 DP-78 多臓器不全・敗血症⑫ 座長：射場敏明	一般演題 DP-79 多臓器不全・敗血症⑬ 座長：久志本成樹	一般演題 DP-80 心臓、循環、体液管理⑩ 座長：中川晋			一般演題 DP-81 心臓、循環、体液管理⑫ 座長：本田嵩	一般演題 DP-82 心臓、循環、体液管理⑬ 座長：東海林哲郎	
		ポスター ブース05	一般演題 DP-83 心臓、循環、体液管理⑭ 座長：高松道生	一般演題 DP-84 心臓、循環、体液管理⑮ 座長：長谷守	一般演題 DP-85 心臓、循環、体液管理⑯ 座長：櫻田春水			一般演題 DP-86 心臓、循環、体液管理⑰ 座長：株丹浩二	一般演題 DP-87 心臓、循環、体液管理⑱ 座長：中尾浩一	
	1 F アネックスホール	ポスター ブース06	一般演題 DP-88 心臓、循環、体液管理⑱ 座長：小竹良文	一般演題 DP-89 心臓、循環、体液管理⑲ 座長：瀬尾勝弘	一般演題 DP-90 心臓、循環、体液管理⑲ 座長：野村岳志			一般演題 DP-91 気道、呼吸、呼吸管理⑲ 座長：佐藤智行	一般演題 DP-92 気道、呼吸、呼吸管理⑲ 座長：小野寺睦雄	
		ポスター ブース07	一般演題 DP-93 気道、呼吸、呼吸管理⑲ 座長：長谷川隆一	一般演題 DP-94 気道、呼吸、呼吸管理⑲ 座長：中野実				一般演題 DP-95 気道、呼吸、呼吸管理⑲ 座長：七戸康夫	一般演題 DP-96 気道、呼吸、呼吸管理⑲ 座長：松本睦子	
		ポスター ブース08	一般演題 DP-97 産婦人科、泌尿器① 座長：川村隆枝	一般演題 DP-98 産婦人科、泌尿器② 座長：加藤啓一	一般演題 DP-99 産婦人科、泌尿器③ 座長：北浦道夫			一般演題 DP-100 システム① 座長：米井昭智	一般演題 DP-101 システム② 座長：境田康二	
		ポスター ブース09	一般演題 DP-102 鎮静・鎮痛、せん妄① 座長：中西一浩	一般演題 DP-103 鎮静・鎮痛、せん妄② 座長：佐藤善一	一般演題 DP-104 鎮静・鎮痛、せん妄③ 座長：天谷文昌			一般演題 DP-105 熱中症① 座長：三宅康史	一般演題 DP-106 熱中症② 座長：増野智彦	
		ポスター ブース10	International IP-3 Monitor Chair: Kazuaki Atagi	International IP-4 US, Case Report Chair: Yasufumi Asai	International IP-5 Training Chair: Hiroyuki Ninuma					
ポスター 展示会場	1 F スワン	ポスター ブース11	一般演題 DP-107 栄養管理① 座長：西澤英雄	一般演題 DP-108 栄養管理② 座長：巽博臣	一般演題 DP-109 栄養管理③ 座長：海塚安郎					
		ポスター ブース12	一般演題 DP-110 小児集中治療⑦ 座長：岩崎達雄	一般演題 DP-111 小児集中治療⑧ 座長：平井克樹	一般演題 DP-112 小児集中治療⑨ 座長：竹内宗之					
		ポスター ブース13	一般演題 DP-113 RST・NST・ARTなど① 座長：伊波寛	一般演題 DP-114 RST・NST・ARTなど② 座長：西山謙吉	一般演題 DP-115 RST・NST・ARTなど③ 座長：安宅一晃					
		ポスター ブース14	一般演題 DP-116 心臓病、新生児ICU管理⑥ 座長：関啓輔	一般演題 DP-117 心臓病、新生児ICU管理⑦ 座長：本間正人	一般演題 DP-118 心臓病、新生児ICU管理⑧ 座長：武居哲洋					
		ポスター ブース15	一般演題 DP-119 重症度、予後評価① 座長：貝沼関志	一般演題 DP-120 重症度、予後評価② 座長：定光大海	一般演題 DP-121 麻酔⑧ 座長：藤田喜久					
		ポスター ブース16	一般演題 DP-122 小児集中治療⑩ 座長：柳下芳寛	一般演題 DP-123 小児集中治療⑪ 座長：羽鳥文彦	一般演題 DP-124 輸血、四肢、DVT 座長：大嶋清宏					
		ポスター ブース17	一般演題 DP-125 高齢者 座長：又吉康俊	一般演題 DP-126 保存、管理、医療安全、事故① 座長：坂口嘉郎	一般演題 DP-127 保存、管理、医療安全、事故② 座長：佐多竹良					
		ポスター ブース18	一般演題 DP-128 脳死・移植① 座長：森本直樹	一般演題 DP-129 脳死・移植② 座長：足立健彦						
	B1 F グランドプリンスホテル ロイヤルルーム 京都	ポスター ブース19	一般演題 MP-9 安全管理 座長：石井宣大	一般演題 MP-10 業務 座長：大西芳明	一般演題 MP-11 機器、その他 座長：佐々木慎理					
		ポスター ブース20	一般演題 NP-23 呼吸⑤ 座長：中村美華	一般演題 NP-24 呼吸⑥ 座長：石井はるみ	一般演題 NP-25 呼吸⑦ 座長：高田弥寿子					
		ポスター ブース21	一般演題 NP-26 循環① 座長：濱崎一美	一般演題 NP-27 循環② 座長：田村直子	一般演題 NP-28 感染 座長：伊与恭子					
		ポスター ブース22	一般演題 NP-29 鎮痛、鎮静、せん妄③ 座長：竹中千恵	一般演題 NP-30 鎮痛、鎮静、せん妄④ 座長：香西節子	一般演題 NP-31 鎮痛、鎮静、せん妄⑤ 座長：小寺利美					
		ポスター ブース23	一般演題 NP-32 鎮痛、鎮静、せん妄⑥ 座長：山田親代	一般演題 NP-33 鎮痛、鎮静、せん妄⑦ 座長：石本やえみ	一般演題 NP-34 外傷 座長：佐々木智子					
		ポスター ブース24	一般演題 NP-35 早期離床① 座長：森本朱実	一般演題 NP-36 早期離床② 座長：松村佳苗	一般演題 NP-37 早期離床③ 座長：奈良順子					
		ポスター ブース25	一般演題 NP-38 その他① 座長：若林世恵	一般演題 NP-39 その他② 座長：辻本雄大	一般演題 NP-40 その他③ 座長：能芝範子					
		ポスター ブース26	一般演題 NP-41 その他④ 座長：齋藤美和	一般演題 NP-42 その他⑤ 座長：須東光江	一般演題 NP-43 体温 座長：川口なざさ					
		ポスター ブース27	一般演題 NP-44 倫理、終末期、家族ケア① 座長：八尾みどり	一般演題 NP-45 倫理、終末期、家族ケア② 座長：畑中保子	一般演題 NP-46 倫理、終末期、家族ケア③ 座長：神谷健司					

第3日 2014年3月1日(土)

医師部門 看護部門 臨床工学技士部門 リハビリテーション International

		9:00	10:00	11:00	12:00	15:00	16:00	17:00
ポスター／機器展示会場	1 国立京都国際会館 F イベントホール	ポスター ブース01	一般演題 DP-130 多臓器不全・敗血症 ⑭ 座長：三高千恵子	一般演題 DP-131 多臓器不全・敗血症 ⑮ 座長：渡邊栄三				
		ポスター ブース02	一般演題 DP-132 悪性症候群・低体温 座長：若林隆信	一般演題 DP-133 消化器・腹腔内臓器 ① 座長：星野正巳				
		ポスター ブース03	一般演題 DP-134 消化器・腹腔内臓器 ② 座長：林下浩士	一般演題 DP-135 消化器・腹腔内臓器 ③ 座長：平井勝治				
		ポスター ブース04	一般演題 DP-136 血液・凝固 ③ 座長：早川峰司	一般演題 DP-137 血液・凝固 ④ 座長：柳田国夫				
		ポスター ブース05	一般演題 DP-138 内分泌・代謝・免疫 ③ 座長：成松英智	一般演題 DP-139 内分泌・代謝・免疫 ④ 座長：森松博史				
		ポスター ブース06	一般演題 DP-140 外傷・熱傷 ① 座長：大槻雅治	一般演題 DP-141 外傷・熱傷 ② 座長：切田学				
		ポスター ブース07	一般演題 DP-142 外傷・熱傷 ③ 座長：小井土雄一	一般演題 DP-143 外傷・熱傷 ④ 座長：田中博之				
		ポスター ブース08	一般演題 DP-144 重症感染症 ① 座長：西憲一郎	一般演題 DP-145 重症感染症 ② 座長：笹野寛				
		ポスター ブース09	一般演題 DP-146 重症感染症 ③ 座長：森山潔	一般演題 DP-147 重症感染症 ④ 座長：大野博司				
		ポスター ブース10	一般演題 DP-148 重症感染症 ⑤ 座長：兼坂茂	一般演題 DP-149 重症感染症 ⑥ 座長：小山薫				
		ポスター ブース11	一般演題 DP-150 重症感染症 ⑦ 座長：浅賀健彦	一般演題 DP-151 重症感染症 ⑧ 座長：西山隆				
		ポスター ブース12	一般演題 DP-152 重症感染症 ⑨ 座長：伊藤辰哉	一般演題 DP-153 重症感染症 ⑩ 座長：鍛冶有登				
		ポスター ブース13	一般演題 DP-154 重症感染症 ⑪ 座長：山森祐治	一般演題 DP-155 重症感染症 ⑫ 座長：間瀬則文				
	1 国立京都国際会館 F アネックスホール	ポスター ブース14	一般演題 DP-156 内分泌・代謝・免疫 ⑤ 座長：谷口正彦	一般演題 DP-157 内分泌・代謝・免疫 ⑥ 座長：藤村直幸				
		ポスター ブース15	一般演題 DP-158 中毒 ⑤ 座長：森脇龍太郎	一般演題 DP-159 中毒 ⑥ 座長：松原康博				
		ポスター ブース16	一般演題 DP-160 小児集中治療 ⑫ 座長：阪井裕一	一般演題 DP-161 小児集中治療 ⑬ 座長：六車崇				
		ポスター ブース17	一般演題 DP-162 小児集中治療 ⑭ 座長：橘一也	一般演題 DP-163 小児集中治療 ⑮ 座長：寺井勝				
		ポスター ブース18	一般演題 DP-164 心臓病・発生後ICU管理 ⑧ 座長：田中行夫	一般演題 DP-165 重症度・予後評価 ③ 座長：山崎和夫				
		ポスター ブース19	一般演題 DP-166 重症度・予後評価 ④ 座長：山内正憲	一般演題 DP-167 重症度・予後評価 ⑤ 座長：住田臣造				
		ポスター ブース20	一般演題 DP-168 倫理・終末期・家族ケア ① 座長：石井史子	一般演題 DP-169 倫理・終末期・家族ケア ② 座長：橋本主司				
		ポスター ブース21	一般演題 DP-170 保守・管理・医療安全・事故 ⑨ 座長：公文啓二	一般演題 DP-171 保守・管理・医療安全・事故 ⑩ 座長：当麻美樹				
		ポスター ブース22	一般演題 MP-12 呼吸 ⑤ 座長：中村充輝	一般演題 MP-13 呼吸 ⑥ 座長：陶山真一				
		ポスター ブース23	一般演題 RP-1 リハビリテーション① 座長：木村雅彦	一般演題 RP-2 リハビリテーション② 座長：山内康太				
		ポスター ブース24	一般演題 RP-3 リハビリテーション③ 座長：飯田有輝	一般演題 RP-4 リハビリテーション④ 座長：長谷川聡				
		9:00	10:00	11:00	12:00	15:00	16:00	17:00

【合同プログラム】

会長講演

第1日目（2月27日）

9:00～9:30 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

PA 我が国の集中治療のめざすべき方向

演者 氏家良人(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

司会 岡元和文(信州大学医学部救急集中治療医学講座)

鼎 談

第2日目（2月28日）

13:20～14:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

TT 専門医制度，特定看護師，終末期…

日本麻酔科学会 理事長

外須美夫(九州大学大学院医学研究院麻酔・蘇生学)

日本救急医学会 代表理事

行岡哲男(東京医科大学救急医学講座)

日本集中治療医学会 理事長

氏家良人(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

特別講演

第1日目（2月27日）

17:40～18:20 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

SL 限界への挑戦 — 80歳を超えてのエベレスト登頂 —

演者 三浦雄一郎(冒険家)

司会 並木昭義(小樽市病院局経営管理部管理課)

岩月賢一名誉教授追悼セレモニー・記念特別講演

第2日目（2月28日）

14:00～14:10 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

IMC 岩月先生追悼の言葉

演者 岡元和文(信州大学医学部救急集中治療医学講座)

司会 平澤博之(千葉大学名誉教授，地方独立行政法人東千葉メディカルセンター)

第2日目（2月28日）

14:10～14:50 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

IML 岩月記念特別講演

International guidelines for management of severe sepsis and septic shock: Benefits and limitations

演者 Jean-Louis Vincent (Department of Intensive Care, Erasme Hospital, Université libre de Bruxelles, Belgium)

司会 平澤博之(千葉大学名誉教授，地方独立行政法人東千葉メディカルセンター)

招請講演

第1日目 (2月27日)

9:30 ~ 10:10 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

I-1 ABCDE bundle with multi-professional team

演者 Carol Thompson (College of Nursing, University of Tennessee, USA)

司会 多田恵一 (浜脇整形外科病院)

10:10 ~ 10:50 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

I-2 Lung Protective Ventilation of ARDS — Putting All the Evidence Together

演者 John Marini (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, University of Minnesota, USA)

司会 前川剛志 (山口県立総合医療センター)

13:20 ~ 14:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

I-3 Targeting immunoparalysis in the critically ill

演者 Jean-Daniel Chiche (MICU of Cochin Hospital in Paris, Critical Care Medicine of Paris Descartes University, France)

司会 丸藤哲 (北海道大学医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野)

14:00 ~ 14:40 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

I-4 Goal directed therapy in the high-risk surgical patient

演者 Andrew Rhodes (St George's Hospital, UK)

司会 織田成人 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学分野)

第2日目 (2月28日)

14:50 ~ 15:30 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

I-5 Intensive Care in Resource Limited Countries in ASIA: Challenge and Vision

演者 Younsuck Koh (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan, Korea)

司会 西村匡司 (徳島大学大学院救急集中治療医学)

14:10 ~ 15:10 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

I-6 ケアとキュアが融合した集中ケア看護

演者 井上智子 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)

司会 保科英子 (岡山大学病院看護部)

SCCM 教育講演

第1日目 (2月27日)

11:30 ~ 12:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

SCCM-SL1 Infection Control in the ICU: Where is the evidence for investment?

演者 Pamela Lipsett (Department of Surgery, Johns Hopkins University School of Medicine, USA)

司会 西信一 (兵庫医科大学病院集中治療部)

14:40 ~ 15:10 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

SCCM-SL2 Gut injury in sepsis — molecular and cellular insights

演者 Craig Coopersmith (Department of Surgery, Emory University, USA)

司会 橋本悟 (京都府立医科大学附属病院集中治療部)

教育講演

第1日目 (2月27日)

10:50～11:30 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

EL-1 Underlying mechanisms of VALI and its monitoring at the bedside

演者 Marcelo Amato (Pulmonary Division, Hospital das Clínicas, University of Sao Paulo, Brazil)

司会 真弓俊彦(産業医科大学医学部救急医学講座)

13:20～14:10 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

EL-2 H7N9 インフルエンザと治療戦略

演者 森島恒雄(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学)

司会 川前金幸(山形大学医学部麻酔科学講座)

14:10～15:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

EL-3 Compromized Host における感染症とその診療

演者 大曲貴夫(国立国際医療研究センター病院国際感染症センター)

司会 遠藤重厚(岩手医科大学高度救命救急センター)

第2日目 (2月28日)

9:00～9:40 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

EL-4 臨床倫理—理論と実践に関する基礎知識

演者 前田正一(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科医療マネジメント専修)

司会 公文啓二(近畿大学医学部奈良病院救命救急科)

14:00～14:50 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

EL-5 ガイドライン作成過程の問題点とその改革: 患者中心のアウトカム設定と Body of Evidence に基づく推奨作成

演者 福岡敏雄(倉敷中央病院総合診療科・救命救急センター)

司会 西信一(兵庫医科大学病院ICU)

9:00～9:50 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-6 Ventilator-associated pneumonia: VAP と ventilator-associated events: VAE サーベイランス

演者 今井寛(三重大学医学部附属病院救命救急センター)

司会 多治見公高(秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系救急・集中治療医学講座)

9:50～11:10 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-7 集中治療領域における災害対応

演者 児玉貴光(The University of Texas Southwestern Medical Center, USA)

司会 森村尚登(横浜市立大学大学院医学研究科救急医学)

EL-7-remarks 自衛隊輸送機による重症患者の搬送

演者 石川誠彦(航空自衛隊航空機動衛生隊)

司会 森村尚登(横浜市立大学大学院医学研究科救急医学)

11:10～12:00 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-8 神経集中治療における脳保護を考える

演者 内野博之(東京医科大学病院麻酔科)

司会 小倉真治(岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野)

14:00～14:50 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-9 敗血症における血液・凝固線溶異常への治療戦略

演者 相引真幸(愛媛大学大学院医学研究科救急医学)

司会 池田寿昭(東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部)

14:50～15:40 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-10 最新の神経筋疾患患者の呼吸管理の知識

演者 石川悠加(国立病院機構八雲病院小児科)

司会 時岡宏明(岡山赤十字病院麻酔科)

15:40～16:30 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-11 誰でもできる小児の急性血液浄化

演者 六車崇(国立成育医療研究センター病院集中治療科)

司会 植田育也(静岡県立こども病院小児集中治療科)

16:30～17:20 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-12 重症熱傷のICU管理の工夫

演者 海塚安郎(製鉄記念八幡病院救急・集中治療部)

司会 鈴木幸一郎(川崎医科大学救急医学)

第3日目(3月1日)

9:00～9:50 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

EL-13 ICUにおける嚥下障害の評価と治療

演者 藤島一郎(浜松市リハビリテーション病院)

司会 森松博史(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔科・蘇生学)

9:50～10:40 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

EL-14 ICU機能評価をどうするかーJIPAD 概要ー

演者 橋本悟(京都府立医科大学附属病院集中治療部)

司会 丸川征四郎(医誠会病院)

9:00～9:50 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

EL-15 CKD患者における心不全の病態と治療戦略

演者 長谷弘記(東邦大学医学部腎臓学)

司会 妙中信之(宝塚市立病院)

パネルディスカッション

第2日目(2月28日)

9:00～11:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

パネルディスカッション1 人工呼吸器離脱プロトコール作成

座長 尾崎孝平(神戸百年記念病院麻酔科)

道又元裕(杏林大学医学部付属病院看護部)

PD-1-1 3学会合同人工呼吸器離脱WGの活動経過報告

宇都宮明美(聖路加看護大学成人看護学)

PD-1-2 人工呼吸器ウィニングの実態と看護師が主導的に実践することの意義

白坂雅子, 佐藤憲明, 山勢博彰, 道又元裕, 宇都宮明美, 田村富美子, 立野淳子, 西山久美江, 黒田裕子(日本クリティカルケア看護学会人工呼吸器離脱プロトコール検討WG)

PD-1-3 看護師による自発呼吸トライアルは有用か?

濱本実也(公立陶生病院ICU)

PD-1-4 我々の人工呼吸器離脱プロトコールがこうなった理由

讃井将満¹, 斎藤伸行²(1.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部, 2.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)

PD-1-5 呼吸ケアスタッフが人工呼吸離脱プロトコールに参加するためのゲートウェイを考える

中根正樹(山形大学医学部附属病院集中治療部)

PD-1-6 医師以外のスタッフによる離脱を進めるために何が必要か

小谷透(東京女子医科大学麻酔科中央集中治療部)

PD-1-remarks 川前金幸(山形大学医学部麻酔科学講座)

15:10～17:50 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンズホール

パネルディスカッション2 ICUにおける診療看護師と医行為

座長 福家伸夫(帝京大学ちば総合医療センター救急・集中治療センター)

宇都宮明美(聖路加看護大学成人看護学)

PD-2-1 大学院におけるナースプラクティショナーの教育

渡邊隆夫, 遠藤雅人(東北文化学園大学大学院ナースプラクティショナー養成分野)

PD-2-2 ICUにおける診療看護師のあり方について

重富杏子, 筑井奈々子, 藤谷茂樹(東京ベイ・浦安市川医療センター)

- PD-2-3 医行為を含む役割拡大が模索される中でCCNSが行っていること、行っていくこと
荒井知子(杏林大学医学部付属病院外科系集中治療室)
- PD-2-4 ICUにおける特定看護師と医行為—看護管理者の立場から—
三浦昌子(名古屋大学医学部附属病院看護部)
- PD-2-5 クリティカル領域の特定看護師の育成から独立に向けて—問題点と問題解決—
藤谷茂樹(東京ベイ・浦安市川医療センター)
- PD-2-6 報道の立場から見た看護師の業務範囲拡大への期待と課題
末田聡美(日経BP社日経ヘルスケア)

第3日目(3月1日)

9:00～11:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

パネルディスカッション3 ICUにおける職種間連携

座長 加納隆(埼玉医科大学保健医療学部医学生体工学科)

藤野裕士(大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座麻酔・集中治療医学教室)

- PD-3-1 ICUにおける他職種連携～その落とし穴をあえて考える
志馬伸朗(国立病院機構京都医療センター救命救急科)
- PD-3-2 当院循環器系集中治療室におけるチーム医療と多職種連携の実践
東條敦子¹, 竹嶋千晴¹, 宮坂萌生¹, 松石雄二郎¹, 尾関理恵², 岡村大介³, 松元紀子⁴, 松本明子⁵, 阿部恒平⁶, 新沼廣幸⁷
(1.聖路加国際病院心血管センターICCU, 2.聖路加国際病院薬剤部, 3.聖路加国際病院リハビリテーション科,
4.聖路加国際病院栄養科NST専従, 5.聖路加国際病院相談・支援センターDischarge Planer, 6.聖路加国際病院
心臓血管外科, 7.聖路加国際病院循環器内科)
- PD-3-3 ICUでリハビリテーションを進めるうえでの多職種との連携
鵜澤吉宏(亀田総合病院リハビリテーション室)
- PD-3-4 職種間連携にて必要となるCEのスキル
岡本一彦, 三木隆弘(駿河台日本大学病院臨床工学技士室)
- PD-3-5 ICUで薬剤師は何ができるのか?
中菌健一¹, 根本真人²(1.聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部, 2.那須赤十字病院救急集中治療部)
- PD-3-6 細菌検査室との連携～当院ICUのlocal factorの検討～
桑名司, 中村和裕, 古川力丸, 小豆畑丈夫, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)
- PD-3-7 体外式補助人工心臓を装着し集中治療を施行してきた3症例からみた多職種連携のための必須の条件
貝沼関志¹, 六鹿雅登², 藤本和朗², 奥村貴裕³, 保田真由⁴, 長谷川静香⁵, 宮川泰宏⁶, 清水美帆⁷, 青木和⁸, 西脇公俊¹
(1.名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部, 2.名古屋大学医学部附属病院心臓外科, 3.名古屋大学医学部
附属病院循環器内科, 4.名古屋大学医学部附属病院看護部, 5.名古屋大学医学部附属病院臨床工学技術部, 6.名
古屋大学医学部附属病院薬剤部, 7.名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部, 8.名古屋大学医学部附属
病院栄養管理部)

シンポジウム

第1日目 (2月27日)

14:10～17:10 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

シンポジウム1 日本版PADガイドライン(JPAD)の作成とせん妄患者へのチームケアアプローチ

座長 布宮伸(自治医科大学附属病院集中治療部)

行岡秀和(大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科救急医学講座)

S-1-keynote

The management of pain, agitation, and delirium in ICU

Richard Riker (Neuroscience Institute and Department of Critical Care, Maine Medical Center and Tufts University School of Medicine, USA)

S-1-1 SCCM PAD ガイドラインでの「鎮痛」部分の解説と日本版への応用

西信一(兵庫医科大学集中治療医学科)

S-1-2 鎮静管理

行岡秀和(大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科救急医学講座)

S-1-3 ICUにおけるせん妄の管理

鶴田良介¹, 古賀雄二², 茂呂悦子³(1. 山口大学医学部附属病院先進救急医療センター, 2. 山口大学医学部附属病院集中治療部, 3. 自治医科大学附属病院看護部)

S-1-4 JPADにおける体制構築、教育問題など

長谷川隆一(公立陶生病院)

S-1-5 看護師の立場から見た日本版PADガイドライン

茂呂悦子¹, 古賀雄二², 植村桜³, 吹田奈津子⁴(1. 自治医科大学附属病院看護部, 2. 山口大学附属病院集中治療部, 3. 大阪市立総合医療センター, 4. 日本赤十字和歌山医療センター)

S-1-6 日本版PADガイドラインの作成について 薬剤師の立場から

三浦幹剛(帝京大学ちば総合医療センター薬剤部)

S-1-7 JPADとせん妄患者へのチームケアアプローチ: 理学療法士の立場から

神津玲(長崎大学病院リハビリテーション部)

第2日目 (2月28日)

14:00～16:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

シンポジウム2 重症心不全におけるICUからの心臓リハビリテーション介入(日本心臓リハビリテーション学会との合同企画)

座長 中川晋(東京都済生会中央病院循環器科)

山田純生(名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻)

S-2-1 重症心不全患者のリハビリテーションの現状と呼吸ガス分析の有用性

斎藤博則¹, 小幡賢吾²(1. 岡山赤十字病院循環器科, 2. 岡山赤十字病院リハビリテーション科)

S-2-2 重症心不全の急性期リハビリテーション介入

神谷健太郎(北里大学病院リハビリテーション部)

S-2-3 LVAD装着症例の急性期リハ介入

岩津弘太郎¹, 小林聖典², 河野裕治¹, 三瓶秀幸¹, 萩原悠太¹, 貝沼関志³, 六鹿雅登⁴, 碓氷章彦⁴, 山田純生¹
(1. 名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻, 2. 名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部, 3. 名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部, 4. 名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科)

S-2-4 重症心不全患者の急性期リハビリテーションにおける看護師の役割

正垣淳子(神戸大学大学院保健学研究科)

S-2-5 重症心不全の急性期栄養管理

宮澤靖, 宮島功(社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部)

9:40～12:00 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

シンポジウム3 日本集中治療医学会・日本救急医学会合同 終末期診療ガイドライン作成(日本救急医学会との合同企画)

座長 水谷太郎(筑波大学医学医療系集中治療部)

横田裕行(日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野)

S-3-1 病院前救護における終末期医療への対応の在り方

田中秀治¹, 喜熨斗智也¹, 島崎修次¹, 横田裕行², 有賀徹², 箕輪良行², 石松伸一², 黒川彰², 佐藤章², 布施明²
(1. 国士舘大学大学院 救急システム研究科, 2. 救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会)

S-3-2 救急・集中治療における終末期ガイドライン作成: 集中治療医学会の立場から

田村高志(日本集中治療医学会倫理委員会)

S-3-3 終末期ガイドライン作成にあたり: 循環器集中治療領域からの提言

野々木宏(静岡県立総合病院)

- S-3-4 救急医療における終末期症例のWEB登録の現状報告について
 木下順弘¹, 横田裕行², 有賀徹³, 石松伸一³, 黒川顕³, 佐藤章³, 島崎修次³, 田中秀治³, 布施明³, 箕輪良行³
 (1.熊本大学生命科学研究部侵襲制御医学, 2.日本医科大学高度救命救急センター, 3.救急医療における終末医療のあり方に関する委員会)
- S-3-5 急性期終末期医療に関する医学生講義の意義: 救急医学会提言への理解を深めるために
 佐藤章¹, 横田裕行², 木下順弘³, 石松伸一³, 黒川顕³, 布施明³, 田中秀治³, 箕輪良行³, 島崎修次³, 有賀徹³
 (1.埼玉医科大学国際医療センター地域救急医療研究部門, 2.日本医科大学高度救命救急センター, 3.救急医療における終末医療のあり方に関する委員会)
- S-3-6 終末期患者家族へのこころのケア体制構築に向けた取り組み
 立野淳子, 杉澤栄(日本集中治療医学会倫理委員会)
- S-3-commentator 児玉聡(京都大学文学研究科倫理学研究室)

第3日目 (3月1日)

9:50 ~ 12:00 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

シンポジウム 4 日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン作成

- 座長 小谷穰治(兵庫医科大学病院救急・災害医学講座・救命救急センター)
 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学)
- S-4-1 日本版重症患者の栄養管理ガイドライン作成の背景と概要
 西田修¹, 小谷穰治²(1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 2.兵庫医科大学救急・災害医学講座)
- S-4-2 日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン第一版作成における推奨診療の作成法
 江木盛時(岡山大学病院集中治療部)
- S-4-3 日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン: 経腸栄養、静脈栄養の投与開始時期及び目標量について
 東別府直紀(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・NST)
- S-4-4 免疫修飾栄養素、抗酸化物質の概説
 佐藤格夫(京都大学医学部初期診療救急科)
- S-4-5 日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン 一看護の側面から—
 清水孝宏¹, 亀井有子²(1.地方独立行政法人那覇市立病院, 2.市立岸和田市民病院)
- S-4-6 日本版ICUにおける栄養管理ガイドライン(小児の栄養管理について)
 清水義之¹, 志馬伸朗², 小谷穰治³(1.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科, 2.国立病院機構京都医療センター, 3.兵庫医科大学)
- S-4-commentator-1 福岡敏雄(倉敷中央病院総合診療科救命救急センター医師教育研修部)
- S-4-commentator-2 東口高志(藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座)

9:50 ~ 12:00 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

シンポジウム 5 腎不全に心不全・呼吸不全を合併した患者の血液浄化法とその管理(血液浄化心不全研究会との合同企画)

- 座長 坂本照夫(久留米大学医学部救急医学講座)
 鶴川豊世武(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)
- S-5-commentator 長谷弘記(東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科)
- S-5-1 急性腎傷害(AKI)に心不全、肺傷害を合併した患者に対する呼吸管理法
 今泉均, 升田好樹, 巽博臣, 数馬聡, 後藤京子, 高橋科那子(札幌医科大学医学部集中治療医学)
- S-5-2 心不全合併CKD患者のASV(Adaptive-Servo Ventilation)療法による心腎機能改善効果
 義久精臣, 鈴木聡, 竹石恭知(福島県立医科大学循環器・血液内科学講座)
- S-5-3 SLEDとCRRT、その使い分け
 瀬田公一(国立病院機構京都医療センター腎臓内科)
- S-5-4 透析導入時腎不全患者の尿毒症性心筋障害
 桃島成利¹, 芹野良太¹, 坂東健一郎¹, 田村雅仁¹, 藤本陽子², 宮本哲², 尾辻豊²(1.産業医科大学病院腎センター, 2.産業医科大学病院循環器内科・腎臓内科)
- S-5-5 透析心不全患者の治療戦略 ~過剰血流シャントの新しい解釈
 鶴川豊世武(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

リフレッシャーコース

第1日目 (2月27日)

10:40～11:20 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-1 深部静脈血栓のモニタリングと治療

演者 小北直宏(旭川医科大学病院救命救急センター集中治療部)

司会 田中啓治(日本医科大学付属病院集中治療室)

11:20～12:00 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-2 腸はもっと使えるはず!!

演者 巽博臣, 升田好樹, 今泉均, 後藤京子, 高橋科那子, 数馬聡, 野村和史, 山藤道明(札幌医科大学医学部集中治療医学)

司会 石松伸一(聖路加国際病院救命救急センター)

13:20～14:00 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-3 気道確保困難

演者 岩崎寛(旭川医科大学医学部麻酔科蘇生科)

司会 武田純三(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

14:00～14:40 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-4 エコーガイド下中心静脈穿刺: ICUにおける大腿静脈遠位側穿刺について

演者 佐藤重仁(浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学講座)

司会 田勢長一郎(福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

14:50～15:30 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-5 新しい呼吸管理 Nasal high-flow, 食道内圧測定, NAVA

演者 内山昭則(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

司会 山田芳嗣(東京大学大学院医学系研究科外科学専攻生体管理医学講座麻酔学)

15:30～16:10 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-6 PCAS(心停止後症候群)とICU管理

演者 武田吉正(岡山大学病院集中治療部)

司会 稲垣喜三(鳥取大学医学部麻酔・集中治療医学分野)

16:10～16:50 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-7 急性腎傷害(Acute kidney injury)の病態と治療戦略

演者 中敏夫(古梅記念病院救急部)

司会 片山浩(川崎医科大学麻酔・集中治療医学3)

16:50～17:30 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

RC-8 VV ECMO これだけは知っておきたい

演者 Yuki Peterson (ECMO Program, University of Michigan Health System, USA)

司会 久木田一郎(琉球大学大学院医学研究科救急医学講座)

委員会報告

第1日目 (2月27日)

11:30～12:00 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

委員会報告1 和欧文機関誌編集長：論文投稿への道標

座長 岡元和文(信州大学医学部救急集中治療医学講座)

C-1-1 和文機関誌投稿の注意点

藤野裕士(大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室)

C-1-2 Journal of Intensive Careへ論文投稿のすすめ

丸藤哲(日本集中治療医学会英文機関誌作成委員会)

9:40～10:40 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

委員会報告2 小児集中治療委員会報告

座長 羽鳥文麿(医療法人社団誠馨会総泉病院内科)

C-2-1 小児集中治療室(PICU)における小児心臓手術後の栄養投与方法の調査(第2報)

清水 義之¹, 竹内宗之¹, 井上美帆², 今中秀光³, 大崎真樹⁴, 清水一好⁵, 杉村洋子⁶, 徐民恵⁷, 多賀直行⁸, 田畑雄一⁹, 戸田雄一郎¹⁰, 林拓也¹¹, 濱本奈央⁴, 松井彦郎⁹, 水城直人¹², 水野圭一郎¹³, 水野裕美子¹⁴, 祖父江和哉⁷, 志馬伸朗¹⁵(1.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科, 2.京都府立医科大学付属病院, 3.徳島大学病院, 4.静岡県立こども病院, 5.岡山大学病院, 6.千葉県こども病院, 7.名古屋市立大学病院, 8.自治医科大学とちぎこども医療センター, 9.長野県立こども病院, 10.岡山大学, 11.神奈川県立こども医療センター, 12.東京都立小児総合医療センター, 13.福岡市立こども病院・感染症センター, 14.沖縄県立南部医療センター・こども医療センター, 15.国立病院機構京都医療センター)

C-2-2 日本での小児敗血症診療に関する合意意見

志馬伸朗, 中川聡, 清水直樹, 中村友彦, 岩崎達雄, 竹内宗之, 平井克樹, 植田育也, 羽鳥文麿(日本集中治療医学会小児集中治療委員会)

WFSICCM レポート

第3日目 (3月1日)

11:00～12:00 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

WFSICCM-1 WFSICCM の活動

演者 西村匡司(徳島大学大学院救急集中治療医学)

司会 丸藤哲(北海道大学医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野)

WFSICCM-2 前 WFSICCM ボードメンバー 武澤純先生の追悼

演者 多治見公高(秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系救急・集中治療医学講座)

Elcee Connor(President and Founder Asia Pacific Association Respiratory Care, USA)

Younsuck Koh(Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan, Korea)

司会 西村匡司(徳島大学大学院救急集中治療医学)

Kook-Hyun Lee(Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Seoul National University Hospital, Korea)

2013 年度日本集中治療医学会 優秀論文賞・奨励賞

第3日目 (3月1日)

11:00～11:30 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

2013 年度日本集中治療医学会 優秀論文賞・奨励賞

座長 藤野裕士(大阪大学麻酔集中治療医学講座)

優秀論文賞

EXP The comparison of spontaneous breathing and muscle paralysis in two different severities of experimental lung injury

吉田健史(大阪大学大学院医学系研究科麻酔集中治療医学講座)

奨励賞

ENP-1 Humidification performance of humidifying devices for tracheostomized patients with spontaneous breathing: A bench study

近田優(徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学)

ENP-2 Health care costs related to out-of-hospital cardiopulmonary arrest in Japan

福田龍将(東京大学大学院医学系研究科救急医学)

第41回学術集会 最優秀演題表彰

第3日目 (3月1日)

11:30～12:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

第41回学術集会 最優秀演題表彰

会長 氏家良人

医師部門 最優秀演題

DMEX-1 開放式吸引後のハイパーインフレーションは、肺損傷を予防できるか?

神山純子(筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻)

DMEX-2 心停止後集中治療に Estimated regional oxy-hemoglobin は有用である(多施設観察研究J-POP registry)

林田敬(慶應義塾大学医学部救急医学)

DMEX-3 敗血症初期における重症凝固障害の早期診断に有用なバイオマーカーの検討

小山寛介(自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

看護部門 最優秀演題

NMEX-1 BISモニターを用いた鎮静評価にBPSによる鎮痛評価を交えた一考察

永谷憲司(名古屋掖済会病院集中治療室)

NMEX-2 Functional Independence Measure (FIM) による脳出血部位別のリハビリテーション(RT)前後の機能改善比較

井好昭博(潤和会記念病院看護部)

臨床工学技士部門 最優秀演題

MMEX-1 Respiratory ECMO の治療成績とラーニングカーブ

伊藤英史(純真学園大学保健医療学部医療工学科)

リハビリテーション部門 最優秀演題

RMEX-1 脳梗塞患者の退院後の転帰と入院時循環器機能の関連について

茅本洋平(脳神経センター大田記念病院リハビリテーション課)

モーニングセミナー

第2日目 (2月28日)

7:45～9:00 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

MS M&M: シミュレーションの臨床現場への応用

共催: レールダルメディカルジャパン株式会社

演者 安宅一見¹, 平岡栄治², 則末泰博², 内藤貴基², 津久田純平²(1. 大阪市立総合医療センター, 2. 東京ベイ・浦安市川医療センター)

座長 藤谷茂樹(東京ベイ・浦安市川医療センター)

〔事前申込み制〕詳細は学会ホームページよりご確認ください。

教育セミナー

第1日目 (2月27日)

12:10～13:10 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

LS-1 Use of Airway Pressure Release Ventilation as a Preemptive Ventilation Strategy to Prevent ARDS

共催：ドレーゲル・メディカル ジャパン株式会社

演者 Nader M. Habashi (Department of Medicine, University of Maryland School of Medicine, USA)

座長 小谷透(東京女子医科大学麻酔科・中央集中治療部)

12:10～13:10 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

LS-2 Epidemiology of Cardiac arrest and goal directed therapy

共催：株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

演者 Andrea Gabrielli (University of Florida College of Medicine, USA)

座長 水谷太郎(筑波大学医学医療系救急・集中治療部)

12:10～13:10 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

LS-3 The Role of Dexmedetomidine in Treating ICU Pain, Agitation, and Delirium

共催：ホスピーラ・ジャパン株式会社

演者 Richard Riker (Neuroscience Institute and Department of Critical Care, Maine Medical Center and Tufts University School of Medicine, USA)

座長 布宮伸(自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

12:10～13:10 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

LS-4 集中治療患者における体温異常 —Friend or Foe?

共催：株式会社メディコン

演者 久志本成樹(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)

座長 西村匡司(徳島大学大学院救急集中治療医学講座)

12:10～13:10 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

LS-5 Surviving Sepsis Campaign Guidelines (SSCG) 及び日本版敗血症診療ガイドライン (JGMS) を読み解く

共催：ガンプロ株式会社

演者 平澤博之(千葉大学名誉教授、地方独立行政法人東千葉メディカルセンター)

座長 松田兼一(山梨大学医学部救急集中治療医学講座)

12:10～13:10 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

LS-6 Understanding Transpulmonary Pressures

共催：アイ・エム・アイ株式会社

演者 Edgar J. Jimenez (Clinical Associate Professor of Medicine of University of Florida, Florida State University, University of Central Florida, USA)

座長 内山昭則(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

12:10～13:10 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

LS-7 肺線維症の病態と治療 ～アンチトロンビンの役割～

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

演者 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

座長 相引真幸(愛媛大学大学院医学系研究科救急医学講座)

田辺三菱製薬株式会社

12:10～13:10 第8会場 国立京都国際会館 1F Room C-1

LS-8 せん妄対策を環境とリハビリテーションから考える —今のICUはケアの進化に対応していますか？—

共催：パラマウントベッド株式会社

座長 福家伸夫(帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター)

(1) 【医師の立場から】せん妄対策としての光・音・睡眠環境を考える

演者 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

(2) 【看護師の立場から】せん妄対策を鎮静管理、環境とICU患者の日常生活援助から考える

演者 卯野木健(筑波大学医学部附属病院集中治療室)

12:10～13:10 第9会場 国立京都国際会館 1F Room C-2

LS-9 我が国における細菌性髄膜炎の治療動向

共催：大日本住友製薬株式会社

演者 亀井聡(日本大学医学部内科学系神経内科学分野)

座長 岩田敏(慶應義塾大学医学部感染症学教室)

12:10 ~ 13:10 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

LS-10 集中治療領域における医師と看護師を繋ぐ「チーム医療」の架け橋として、EV1000 がどのように有効活用できるか

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

座長 齋藤伸行(日本医科大学千葉北総病院)

(1) クリティカルケア領域におけるチーム医療を考える —EV1000 をどのように有効活用するか—

大槻勝明(土浦協同病院集中ケア認定看護師)

(2) 私たちはEV1000をどう看護に活用するべきか —「治療」と「看護」の架け橋となる—

三山麻弓(済生会福岡総合病院集中ケア認定看護師)

12:10 ~ 13:10 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

LS-11 吸引式の口腔ケアキットQケア使用の実際

共催：ニプロ株式会社

演者 剣持雄二(東海大学医学部附属八王子病院看護部ICU・CCU集中ケア認定看護師)

座長 南條裕子(東京大学医学部附属病院看護部集中ケア認定看護師)

第2日目(2月28日)

12:10 ~ 13:10 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

LS-12 “PAV vs. PSV —liberalism or interventionism” ?

共催：コヴィディエン ジャパン株式会社

演者 Marcelo Britto Passos Amato(Cardio-Pulmonary Department, Pulmonary Division, Hospital das Clínicas, University of São Paulo, Brasil)

座長 藤野裕士(大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座麻酔・集中治療医学教室)

12:10 ~ 13:10 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

LS-13 周術期管理における Goal Directed Therapy : Update in 2013

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

演者 森松博史(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座)

座長 新宮興(関西医科大学麻酔科学講座)

12:10 ~ 13:10 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

LS-14 重症患者管理における平均動脈圧の意義と直線加圧非観血血圧測定の特長

共催：日本光電工業株式会社

演者 小竹良文(東邦大学医療センター大橋病院麻酔科)

座長 森崎浩(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

12:10 ~ 13:10 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

LS-15 Extracorporeal lung support —techniques, indications, experience, in Europe

欧州における Extracorporeal lung support の現状

共催：東レ・メディカル株式会社

演者 Thomas Bein(Department of Anesthesia & Operative Intensive Care, University Hospital Regensburg, Germany)

座長 山本保博(日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院)

12:10 ~ 13:10 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

LS-16 ガイドライン診療について考える

共催：大正富山医薬品株式会社

座長 真弓俊彦(産業医科大学救急医学講座)

(1) ガイドラインと医療訴訟

演者 桑原博道(仁邦法律事務所)

(2) 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013の使い方

演者 横江正道(名古屋第二赤十字病院総合内科)

12:10 ~ 13:10 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

LS-17 頻脈性心房細動の病態と治療 —急性期から慢性期まで—

共催：小野薬品工業株式会社

演者 清水渉(日本医科大学内科学(循環器内科学))

座長 宮崎俊一(近畿大学医学部循環器内科学教室)

12:10 ~ 13:10 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

LS-18 DAMPs と DIC

共催：旭化成ファーマ株式会社

座長 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

(1) 血栓と免疫、そして、その制御

演者 伊藤隆史(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム血栓制御学(メディポリス連携医学)講座)

(2) NETs(Neutrophil Extracellular Traps) と DIC

演者 下村泰代(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

12:10～13:10 第8会場 国立京都国際会館 1F Room C-1

LS-19 消化器領域（胆道炎）における敗血症診断マーカー プロカルシトニンの有用性

共催：サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

演者 遠藤 格（横浜市立大学医学部消化器・腫瘍外科学）

座長 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

12:10～13:10 第9会場 国立京都国際会館 1F Room C-2

LS-20 ICUで行うCRRTの処方術とトラブル回避術

共催：旭化成メディカル株式会社

座長 坪敏仁（弘前大学医学部附属病院集中治療部）

(1) ICUで行うCRRTトラブル回避術

演者 安藤勝信（自治医科大学附属さいたま医療センター臨床工学部）

(2) ICUで行うCRRTの処方術

演者 土井研人（東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部）

12:10～13:10 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

LS-21 スマートポンプ見参～シリンジポンプ諸法度～

共催：テルモ株式会社

演者 讃岐美智義（広島大学病院麻酔科）

座長 橋本悟（京都府立医科大学集中治療部）

12:10～13:10 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

LS-22 医源性リスク低減戦略としてのICUケアの可能性

共催：丸石製薬株式会社

演者 古賀雄二（山口大学医学部附属病院集中治療部）

座長 志馬伸朗（京都医療センター救命救急センター・救命救急科・感染制御部）

第3日目（3月1日）

12:10～13:10 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

LS-23 1) Ventilatory management during respiratory ECMO, 2) ECMO for Sepsis

共催：フクダ電子株式会社

演者 Kenneth Palle Palmer (ECMO Center Karolinska University Hospital, Sweden)

座長 竹田晋浩（日本医科大学付属病院集中治療室）

12:10～13:10 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

LS-24 クリティカルケアにおける栄養治療

共催：アボット ジャパン株式会社

座長 遠藤重厚（岩手医科大学医学部救急医学）

(1) Critical Care Nutrition 一栄養管理から栄養療法へ

演者 松田兼一（山梨大学医学部救急集中治療医学講座）

(2) Critical Care Nutrition 一次なるステップ

演者 平澤博之（千葉大学名誉教授/地方独立行政法人東千葉メディカルセンター）

12:10～13:10 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

LS-25 ICUにおける賢いアミオダロンの使い方

共催：サノフィ株式会社

演者 讃井将満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部）

座長 山科章（東京医科大学内科学第二講座）

12:10～13:10 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

LS-26 高度救命救急センター ICUにおける栄養治療戦略

共催：株式会社大塚製薬工場

演者 佐藤武揚（東北大学高度救命救急センター）

座長 鎌方安行（関西医科大学附属枚方病院）

イブニングセミナー

第1日目 (2月27日)

15:00～18:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

ES-1 第3回 MIICS

共催：ファイザー株式会社

開会挨拶 織田成人(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

セッション1 ICU感染対策ピットフォーラム

出題 高倉俊二(京都大学医学部附属病院感染制御部)

解説 西内由香里(京都府立医科大学附属病院感染対策部[感染管理認定看護師])

セッション2 重症敗血症例を考える

司会 小谷穰治(兵庫医科大学救急・災害医学講座)

志馬伸朗(国立病院機構京都医療センター救命救急センター)

Case 1 敗血症における抗菌薬の使い方

解説 三嶋廣繁(愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学, 愛知医科大学病院感染症科/感染制御部)

Case2 敗血症性DIC

解説 石倉宏恭(福岡大学医学部救命救急医学講座)

Case3 敗血症性AKI

解説 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 藤田保健衛生大学病院集中治療部)

Case4 敗血症性ARDS

解説 多治見公高(秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系救急・集中治療医学講座)

質疑応答

特別講演 Epic II Up-date 2014(仮)

演者 Jordi Rello(Critical Care Department Vall d' Hebron University Hospital, Spain)

司会 織田成人(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

閉会挨拶 遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学講座)

18:30～19:30 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

ES-2 重症敗血症/敗血症性ショックの治療と救命率向上への戦い

共催：日本製薬株式会社

演者 鈴木泰(岩手医科大学医学部救急医学講座)

座長 阪本雄一郎(佐賀大学医学部救急医学講座救命救急センター)

18:30～19:30 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

ES-3 History, Training, and Certification of Neurointensivists in the U.S., and its internationalization

共催：旭化成ゾールメディカル株式会社

演者 Gene Sung(Neurocritical Care and Stroke Division, University of Southern California, USA)

座長 黒田泰弘(香川大学医学部救急災害医学)

第2日目 (2月28日)

16:00～18:30 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

ES-4 重症敗血症に対する集中治療 ～心・技・知を学び、予後改善を目指す～

共催：旭化成ファーマ株式会社

座長 池田寿昭(東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部)

垣花泰之(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野)

(1)集学的治療が患者さんにあたえるもの

演者 遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学講座)

(2)Severe sepsis/septic shock 診療の歴史的背景

演者 丸藤哲(北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野)

(3)敗血症における抗菌治療

演者 志馬伸朗(独立行政法人国立病院機構京都医療センター救命救急センター)

(4)敗血症性DICにおける診断・治療に関する提言

演者 石倉宏恭(福岡大学医学部救命救急医学講座)

(5)新たな敗血症治療戦略：敗血症管理バンドル2014

演者 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

17:30～18:30 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

ES-5 重症呼吸不全の診断と管理 「それって“ARDS”でいいんですか？」

共催：フィッシャー&パイクヘルスケア株式会社

演者 瀬尾龍太郎(神戸市立医療センター中央市民病院)

座長 宮庄浩司(福山市民病院)

17:30～18:30 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

ES-6 重症病態急性期におけるたんぱく質の意義 ～栄養管理の基礎と実践～

共催：ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー

座長 小谷穰治(兵庫医科大学救急・災害医学講座)

(1) 重症患者栄養管理のコントラバーシー —タンパク質投与の意義について細胞内から考える—

演者 岩坂日出男(大分市医師会立アルメイダ病院麻酔科)

(2) 集中治療領域における蛋白投与の意義と栄養管理の実践

演者 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

17:30～18:30 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

ES-7 脳神経モニタリングとしての新しい瞳孔指標について New Pupil Index as Neuro Monitoring

共催：アイ・エム・アイ株式会社

座長 永山正雄(国際医療福祉大学熱海病院)

(1) Incorporating the Pupillometer into Bedside Practice

演者 Sachin Agarwal (Columbia University Medical Center, USA)

(2) ペンライトから定量的瞳孔計へ

演者 小畑仁司(大阪府三島救命救急センター)

17:30～18:30 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

ES-8 敗血症診断マーカーとしてのプレセプシン

共催：三菱化学メディエンス株式会社

演者 遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学岩手県高度救命救急センター)

座長 橋本悟(京都府立医科大学附属病院集中治療部)

【医師部門】

教育講演

第1日目 (2月27日)

講
師
部
等
門

13:30～14:10 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

DEL-1 Sleep disorders and assessment in critical illness

演者 Paul Easton (Department of Critical Care Medicine, University of Calgary, Canada)

司会 貝沼関志 (名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部)

第2日目 (2月28日)

9:00～9:40 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

DEL-2 Change of paradigm in mechanical ventilation

演者 Andreas Schibler (Paediatric Critical Care Research Group, University of Queensland, Mater Children's Hospital, Australia)

司会 宮坂勝之 (聖路加国際病院周術期センター麻酔科・集中治療室 / 聖路加国際大学大学院周麻酔期看護学研究室)

11:10～12:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

DEL-3 最新の急性心不全治療の知識

演者 山科章 (東京医科大学循環器内科)

司会 高山守正 (榊原記念病院循環器内科)

第3日目 (3月1日)

9:00～9:50 第4会場 国立京都国際会館 1F Room D

DEL-4 ICUにおける経済性と診療報酬の適正化

演者 松田晋哉 (産業医科大学医学部公衆衛生学教室)

司会 森崎浩 (慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

パネルディスカッション

第2日目 (2月28日)

9:40～12:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

パネルディスカッション1 (日韓合同) 小児集中治療 / Pediatric Intensive Care

座長 Cheung Soo Shin (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Yonsei University Gangnam Severance Hospital, Korea)

中川聡 (国立成育研究医療センター手術集中治療部)

DPD-1-1 Advanced therapy for hypoxic respiratory failure

植田育也 (静岡県立こども病院小児集中治療センター)

DPD-1-2 Pulmonary Complications After Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Pediatric Patients

June Dong Park (Department of Pediatrics, Seoul National University College of Medicine, Korea)

DPD-1-3 Pulmonary complications associated with mechanical ventilation (MV) in PICU

Dusit Staworn (Department of Pediatrics, Phramongkutklao College of Medicine, Thailand)

DPD-1-4 Role of Echocardiography in pediatric intensive care unit

June Huh¹, Joong Bum Cho² (1. Department of Pediatrics, Sungkyunkwan University School of Medicine, Samsung Medical Center, Korea, 2. Samsung Medical Center, Korea)

DPD-1-5 Cardiovascular management of septic shock in children

八坂有起 (沖縄県立南部医療センターこども医療センター)

15:30～18:00 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

パネルディスカッション2 各国のICU専門医制度と専門医教育、評価システム／Education and Certification System of Intensive Care Specialty around the World

座長 松田兼一(山梨大学医学部救急集中治療医学講座)

Younsuck Koh (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan, Korea)

DPD-2-1 Education and Certification System of Intensive Care Speciality around the World

Younsuck Koh (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan, Korea)

DPD-2-2 Development of Sub-specialty Board in Critical Care Medicine in Korea

Gee Young Suh (Department of Critical Care Medicine, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea)

DPD-2-3 Intensivist training program of Korea : Objectives and core components

Ho Geol Ryu (Department of Anesthesiology, Seoul National University Hospital, Korea)

DPD-2-4 Critical care education system in Taiwan

Chien-Hua Huang (Intensive Care Unit, Department of Emergency Medicine, National Taiwan University Hospital, Taiwan)

DPD-2-5 The educational system and examination for ICU board in Thailand

Chairat Permpikul (Critical Care Division, Department of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand)

DPD-2-6 Training for Intensivist in Indonesia for 2015

Eddy Rahardjo¹, Prananda Surya² (1. Dept of Anesthesiology and Reanimation, Medical Faculty, Airlangga University, Indonesia, 2. Airlangga, Airlangga University, Indonesia)

DPD-2-7 Fellowship program of the College of Intensive Care Medicine (CICM) in Australia and New Zealand

林淑朗(亀田総合病院メディカルセンター集中治療科)

DPD-2-8 The Educational System and Examination for Certification by the ICU board in Japan

矢口有乃, 並木みずほ, 齋藤倫子(東京女子医科大学救急医学)

シンポジウム

第1日目(2月27日)

15:10～17:40 第1会場 国立京都国際会館 1F Main Hall

シンポジウム1 侵襲と生体反応—基礎と臨床—

座長 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

久志本成樹(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)

DS-1-1 SIRS病態の解明とその制御：細胞機能、免疫機能からみたアプローチ

小倉裕司¹, 松本直也¹, 大須賀章倫², 山川一馬¹, 島崎淳也³, 藤見聡⁴, 松嶋麻子⁴, 中川淳一郎¹, 山田知輝¹, 嶋津岳士¹ (1. 大阪大学高度救命救急センター, 2. 社会保険中京病院救急科, 3. 大阪警察病院救命救急センター, 4. 大阪府立急性期医療センター救命救急センター)

DS-1-2 急性期侵襲病態形成におけるalarmins—敗血症、外傷、院外心停止における役割は同一ではない

久志本成樹¹, 山内聡¹, 工藤大介², 宮川乃理子², 大村拓² (1. 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野, 2. 東北大学病院救急科・高度救命救急センター)

DS-1-3 重症敗血症における細胞死の様式—特にautophagyとapoptosisをめぐって—

渡邊栄三¹, 高橋和香¹, 木村友則¹, 砂原聡¹, 大網毅彦¹, 幡野雅彦², 織田成人¹ (1. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2. 千葉大学バイオメディカル研究センター)

DS-1-4 外科侵襲における生体反応の特性—免疫担当細胞の役割に注目して—

小野聡¹, 高畑りさ², 木村暁史², 久保徹², 平木修一², 辻本広紀², 長谷和生², 齋藤大蔵¹ (1. 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門, 2. 防衛医科大学校外科学)

DS-1-5 Alert細胞理論—生体侵襲後の転写因子活性と創薬—

松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DS-1-6 あらたなSepsis-induced DIC診断基準の提唱とその妥当性の検証

石倉宏恭, 仲村佳彦, 川野恭雅, 市来玲子, 星野耕大, 水沼真理子, 梅村武寛, 村井映(福岡大学医学部救命救急医学講座)

10:00～12:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

シンポジウム2 急性腎障害(AKI)に対する集学的アプローチ(日本腎臓病学会との合同企画)

座長 織田成人(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

重松隆(和歌山県立医科大学腎臓内科学)

DS-2-1 共通言語としてのAKI診断基準と新規AKIバイオマーカー

土井研人¹, 野入英世², 矢作直樹¹(1.東京大学医学部救急部・集中治療部, 2.東京大学医学部血液浄化療法部)

DS-2-2 Intensivistからみた急性腎障害

貞広智仁¹, 織田成人², 廣瀬陽介¹, 湯澤紘子¹, 木村友則¹, 木村翔¹, 河野貴史¹, 菅原久徳¹, 柳澤麻子¹, 小口萌¹
(1.東京女子医科大学八千代医療センター救急科・集中治療部, 2.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

DS-2-3 NephrologistからみたAKI

寺田典生(高知大学医学部内分泌代謝・腎臓内科)

DS-2-4 NephrologistはICUに必要なか? ICUにおける腎臓内科医が果たすべき役割

野坂英樹, 佐藤主路, 鶴川豊世武, 氏家良人(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

9:30～11:30 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

シンポジウム3 Rapid Response System (RRS) は日本で医学的根拠を出せるか

座長 安宅一晃(大阪市立総合医療センター集中治療部)

坂本哲也(帝京大学医学部救急医学講座)

DS-3-1 医療安全の観点からの急変時対応の意義

長谷川剛¹, 市田勝¹, 鈴木義彦², 浅田義和², 阿野正樹³(1.自治医科大学医療安全対策部, 2.自治医科大学メディカルコミュニケーションセンター, 3.自治医科大学救急医学)

DS-3-2 ピッツバーグ医療センターでのRRSの紹介とRRSのための教育プログラム

鹿瀬陽一¹, 武田聡²(1.東京慈恵会医科大学付属柏病院麻酔部・集中治療部, 2.東京慈恵会医科大学救急部)

DS-3-3 院内急変例全例登録はRRSの効果を検証可能とするか

野々木宏¹, 横山広行²(1.静岡県立総合病院, 2.国立循環器病研究センター)

DS-3-4 わが国でRRS(Rapid Response System)を普及させるために必要なデータ—セミナー活動から得られた教訓—

藤原紳祐¹, 藤谷茂樹², 小池朋孝³, 森安恵美³, 児玉貴光⁴, 安宅一晃⁵(1.国立病院機構嬉野医療センター救急科, 2.東京ベイ浦安市川医療センター, 3.北里大学病院RST/RRR室, 4.The University of Texas Southwestern Medical Center, USA, 5.大阪市立医療センター集中治療部)

DS-3-5 新規開発したRRS(Rapid Response System)オンラインレジストリ導入と今後の課題

藤谷茂樹¹, 藤原紳祐², 小池朋孝³, 森安恵美³, 児玉貴光⁴, 安宅一晃⁵(1.東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科, 2.国立病院機構嬉野医療センター救急科, 3.北里大学病院救命救急センター部RST/RRR室, 4.Department of Surgery, Division of Emergency Medicine The University of Texas Southwestern Medical Center, USA, 5.大阪市立総合医療センター集中治療部)

第2日目(2月28日)

15:00～17:30 第3会場 国立京都国際会館 1F さくら

シンポジウム4 ICUにおける神経集中治療ガイドラン作成

座長 黒田泰弘(香川大学医学部附属病院救命救急センター)

長尾建(駿河台日本大学病院循環器科心肺蘇生・救急心血管治療)

DS-4-keynote/commentator

Therapeutic hypothermia for post cardiac arrest syndrome

Gene Sung (Neurocritical Care and Stroke Division, University of Southern California, USA)

DS-4-1 院外心肺停止患者への低体温療法実施における来院時rSO₂値の有用性: 多施設前向き観察研究(J-POP registry)

西山慶¹, 有元秀樹², 安田英人³, 折田智彦⁴, 別府賢⁵, 奥地一夫⁶, 久志本成樹⁷, 小池薫¹(1.京都大学医学研究科初期診療・救急医学分野, 2.大阪市立総合医療センター, 3.亀田総合病院, 4.済生会横浜市東部病院, 5.京都医療センター, 6.奈良県立医科大学, 7.東北大学)

DS-4-2 心停止後症候群に対する「質の高い」低体温療法を目指した鎮静・鎮痛管理とは?

有元秀樹, 森本健, 重光胤明, 濱中裕子, 師岡誉也, 石川順一, 福家顕宏, 宮市功典, 林下浩士, 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

DS-4-3 心停止後患者(PCAS)における早期乳酸クリアランス(LC)と転帰の関係: SOS-KANTO 2012 中間報告

林田敬¹, 鈴木昌¹, 堀進悟¹, 田原良雄², 長尾建³, 矢口有乃⁴, 森村尚登²(1.慶應義塾大学医学部救急医学, 2.横浜市立大学附属市民総合医療センター, 3.駿河台日本大学病院, 4.東京女子医科大学病院)

DS-4-4 神経集中治療における血糖管理

小畑仁司(大阪府三島救命救急センター)

DS-4-5 Hight b value MRIによる心停止後症候群の神経学的予後診断

鹿野恒(市立札幌病院救命救急センター)

DS-4-6 神経集中治療の効果と課題

永山正雄(国際医療福祉大学熱海病院神経内科脳卒中・神経センター)

第3日目 (3月1日)

9:00 ~ 12:00 第2会場 国立京都国際会館 2F Room A

シンポジウム5 重症呼吸不全に対する ECMO 治療システムをどう構築するか

座長 竹田晋浩(日本医科大学付属病院集中治療室)

市場晋吾(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学講座)

DS-5-keynote/commentator-1

How can we build the ECMO system for severe acute respiratory failure?

Giles Peek (East Midlands Congenital Heart Centre, Glenfield Hospital, UK)

DS-5-1 Qualifications for a specialized ECMO-Center: structural and medical preconditions

Thomas Bein (Department of Anesthesia & Operative Intensive Care, University Hospital Regensburg, Germany)

DS-5-2 Management of patients with severe respiratory failure in ECMO transport

Kenneth Palle Palmer (ECMO center Karolinska, Karolinska University Hospital, Sweden)

DS-5-3 当ICUにおけるECMO体制構築の試み

小林克也, 竹田晋浩, 杉田慎二(日本医科大学付属病院集中治療室)

DS-5-4 ECMOを用いた重症呼吸不全治療における当院の取り組み

大下慎一郎(広島大学大学院救急医学)

DS-5-5 ECMOセンター設立に向けた当院集中治療部における多面的な取り組み

瀬尾龍太郎¹, 田中雄己², 井上彰³, 蛭名正智³, 池田理沙⁴, 園真廉³, 朱祐珍¹, 渥美生弘³, 有吉孝一³, 山崎和夫¹
(1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 2.神戸市立医療センター中央市民病院臨床工学室, 3.神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター, 4.神戸市立医療センター中央市民病院EICU)

DS-5-6 小児重症呼吸不全とECMO診療体制の整備

清水直樹¹, 齊藤修², 秋山類², 池山貴也², 今井一徳², 中山祐子², 水城直人², 新津健裕², 井上信明³, 吉田拓司⁴
(1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部, 2.東京都立小児総合医療センター集中治療科, 3.東京都立小児総合医療センター救命救急科, 4.東京都立小児総合医療センター臨床工学部)

DS-5-commentator-2 長谷川学(厚生労働省医政局指導課)

DS-5-commentator-3 梶野健太郎(厚生労働省医政局指導課)

ワークショップ

第3日目 (3月1日)

9:00 ~ 11:30 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

ワークショップ 集中治療 最新文献厳選41

座長 讀井將満(自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部)

藤谷茂樹(東京ベイ・浦安市川医療センター)

DW-1-1 中枢神経, 鎮痛・鎮静

滝本浩平(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DW-1-2 呼吸

則末泰博(東京ベイ・浦安市川医療センター呼吸集中治療科)

DW-1-3 循環器・心肺蘇生

塩塚潤二(Department of Critical Care Medicine, University of Toronto, Toronto General Hospital, Canada)

DW-1-4 腎・電解質・輸液

岩井健一(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター麻酔科・集中治療部)

DW-1-5 内分泌・代謝・栄養・消化器

板垣大雅(徳島大学病院救急集中治療部)

DW-1-6 感染症

石岡春彦(Mahidol-Oxford Tropical Medicine Research Unit, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand)

DW-1-7 血液・凝固

橋本壮志(京都府立医科大学附属病院集中治療部)

DW-1-8 小児全般

多賀直行(自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児集中治療部)

DW-1-9 その他(終末期医療, システム, 労働環境, 教育, METなど)

齋藤伸行(日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)

Pro-Con

第1日目 (2月27日)

9:30 ~ 10:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 1 腹臥位呼吸管理は重症ARDS患者の予後に有用である

座長 長田直人(宮崎大学医学部地域医療学講座)

Pro-Con-1-Pro 重症ARDSに対する腹臥位人工呼吸の有用性は確立し、次なる課題はその適応と方法論の精緻化である
七戸康夫¹, 氏家良人², 今泉均³, 碓光司¹, 吉田真一郎¹, 野崎浩司¹, 塩谷信喜¹(1.国立病院機構北海道医療センター救命救急センター救急科, 2.岡山大学大学院医歯薬学研究科救急医学講座, 3.札幌医科大学医学部集中治療医学)

Pro-Con-1-Con 盲目的に腹臥位呼吸管理を適応する以前に標準的で安全に留意した呼吸管理が重要である
高橋英夫(名古屋大学大学院医学系研究科救急集中治療医学講座)

10:00 ~ 10:30 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 2 HFOVは重症ARDSに有効な治療法である

座長 松川周(宮城県立こども病院麻酔集中治療科)

Pro-Con-2-Pro 成人ARDSに対する高頻度振動換気(HFOV)の有効性を検証するにはさらなるRCTが必要である
長野修(高知大学医学部災害・救急医療学講座)

Pro-Con-2-Con HFOVは重症ARDSに対するFirst-line strategyにはなり得ない
中根正樹(山形大学医学部附属病院集中治療部)

10:30 ~ 11:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 3 敗血症性ショックの急性期治療にScvO₂は必要である

座長 堂籠博(独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター)

Pro-Con-3-Pro 敗血症における酸素代謝の状態を推し量る上でScvO₂は有用な指標である
中西加寿也, 奥怜子, 高橋和香, 柄澤智史, 今枝太郎(成田赤十字病院救急・集中治療科)

Pro-Con-3-Con ScvO₂. このモニタリング, 血清乳酸値と比較し使い難し
林下浩士, 森本健, 重光胤明, 濱中裕子, 嶋岡英輝, 石川順一, 師岡誉也, 福家顕宏, 有元秀樹, 宮市功典(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

11:00 ~ 11:30 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 4 急性期の重症患者のCRRTではCHDFよりCHFの方が有用である

座長 鷹取誠(広島市立広島市民病院麻酔集中治療科)

Pro-Con-4-Pro 急性期の重症患者のCRRTではCHDFよりCHFの方が“有用”かな?!

住田臣造, 南波仁, 小林巖, 四十物摩呼, 大曾根順平, 木村慶信(旭川赤十字病院救命救急センター救急部)

Pro-Con-4-Con 急性期重症患者にCHF? CHDFでしょ!!
志賀英敏(帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター)

11:30 ~ 12:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 5 自発呼吸患者のサポートはPAVがPSVに勝る

座長 鈴川正之(自治医科大学救急医学教室)

Pro-Con-5-Pro 自発呼吸患者のサポートはPAVがPSVに勝る
落合亮一(東邦大学医療センター大森病院麻酔科)

Pro-Con-5-Con Con-PAV理論の理解は難しい
星邦彦(東北大学病院集中治療部)

13:20 ~ 13:50 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 6 ICU患者の急性期投与エネルギー量は20~25kcal/kgも必要ない

座長 国元文生(群馬大学医学部附属病院集中治療部)

Pro-Con-6-Pro ICU患者の急性期投与エネルギー量は20~25kcal/kgも必要ない
蒲地正幸¹, 相原啓二¹, 真弓俊彦², 佐多竹良³(1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学救急医学講座, 3.産業医科大学麻酔科学講座)

Pro-Con-6-Con Underfeedingは重症患者の感染性合併症や長期予後に悪影響を与えるかもしれない
北村伸哉¹, 加古訓之¹, 五十嵐一憲¹, 富田啓介¹, 島居傑¹, 田中久美子¹, 織田成人², 大島拓²(1.君津中央病院救命救急センター救急・集中治療科, 2.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

13:50～14:20 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 7 ECMO センター (ECMO の集約化) は必要である

座長 谷川攻一 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急医学)

Pro-Con-7-Pro ECMO センター (ECMO の集約化) は必要である

中川聡 (国立成育医療研究センター病院集中治療科)

Pro-Con-7-Con 我々は何を指すべきか: ECMO センターの数と質を問う

村井映, 石倉宏恭 (福岡大学病院救命救急センター)

14:20～14:50 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 8 ネーザルハイフローは NPPV の代替療法となりうる

座長 丸山一男 (三重大学大学院医学系研究科麻酔集中治療学)

Pro-Con-8-Pro 圧と湿度～high flow の妙

鍛冶有登, 伊藤敏彦, 鈴木慧太郎, 薬師寺泰匡, 栗原敦洋, 新福留理恵, 篠崎正博 (岸和田徳洲会病院救命救急センター)

Pro-Con-8-Con ネーザルハイフローは NPPV の代替療法という単純な構図ではない

柴田純平, 栗山直英, 小松聖史, 河田耕太郎, 野田昌宏, 新美太祐, 秋山正慶, 福島美奈子, 湯本美穂, 西田修 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

15:00～15:30 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 9 敗血症性ショックの初期輸液にはリンゲル液よりもアルブミンを優先して用いる

座長 江口豊 (滋賀医科大学救急集中治療医学講座)

Pro-Con-9-Pro 敗血症性ショックの初期輸液には、リンゲル液よりもアルブミンを優先して用いる。

藤田智 (旭川医科大学医学部救急医学講座)

Pro-Con-9-Con 生食 1.5L から始める敗血症初期輸液: アルブミンは先発じゃない!

福井道彦, 小尾口邦彦, 藤原大輔, 加藤之紀, 浜崎幹久, 渡邊宏樹 (大津市民病院救急診療科・集中治療部)

15:30～16:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 10 重症患者でグルタミン負荷は必要である

座長 定光大海 (国立病院機構大阪医療センター救命救急センター)

Pro-Con-10-Pro 重症患者でグルタミン負荷は必要である

武山直志 (藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座)

Pro-Con-10-Con 重症患者でグルタミン負荷の必要性は明らかではない

宮内善豊 (総合病院社会保険徳山中央病院集中治療科)

16:00～16:30 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 11 重症患者の経腸栄養は胃内投与より幽門後投与を第一選択とすべきである

座長 中川隆 (愛知医科大学病院高度救命救急センター)

Pro-Con-11-Pro 重症者の経腸栄養は幽門後投与がよい

土手健太郎, 出崎陽子, 池宗啓蔵 (愛媛大学医学部付属病院集中治療部)

Pro-Con-11-Con 経胃栄養によりデメリットはなく早急に経腸栄養を開始できる

東別府直紀 (神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・NST)

16:30～17:00 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

Pro-Con 12 a-EEG は成人集中治療においても必須である

座長 三宅康史 (昭和大学医学部救急医学)

Pro-Con-12-Pro a-EEG は成人集中治療において必須である (Pro)

塚原紘平, 鶴川豊世武, 氏家良人 (岡山大学病院高度救命救急センター)

Pro-Con-12-Con 成人集中治療において aEEG は問題がある

小畑仁司 (大阪府三島救命救急センター)

症例検討 “ドクター I (Intensivist)”

第 2 日目 (2 月 28 日)

9:00 ~ 9:40 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-1 重症感染症

座長 大野博司(洛和会音羽病院ICU/CCU)

- DI-1-1 前山博輝(公立豊岡病院但馬救命救急センター)
- DI-1-2 石岡春彦(Mahidol-Oxford Tropical Medicine Research Unit, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand)
- DI-1-3 山田友子(佐賀大学医学部附属病院集中治療部)
- DI-1-4 尾関奏子(名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部)

9:40 ~ 10:20 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-2 重症熱傷

座長 石原諭(兵庫県災害医療センター)

- DI-2-1 上田敬博(兵庫医科大学救急・災害医学講座)
- DI-2-2 湯本哲也(岡山大学病院高度救命救急センター)
- DI-2-3 藤塚健次(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科部)
- DI-2-4 朱祐珍(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)

10:20 ~ 11:00 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-3 小児心臓外科術後

座長 竹内護(自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座), 岩崎達雄(岡山大学病院小児麻酔科)

- DI-3-1 本村誠(東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部)
- DI-3-2 文一恵(大阪府立母子保健総合医療センター)
- DI-3-3 塩路直弘(国立成育医療研究センター)
- DI-3-4 佐野美奈子(自治医科大学とちぎ子ども医療センター)

11:00 ~ 11:40 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-4 凝固線溶異常

座長 石倉宏恭(福岡大学医学部救命救急医学講座(兼)福岡大学病院救命救急センター)

- DI-4-1 工藤大介(東北大学病院救急科・高度救命救急センター)
- DI-4-2 金井理一郎(杏林大学病院麻酔科)
- DI-4-3 福田賢一郎(昭和大学病院救命救急センター)
- DI-4-4 鍋田雅和(久留米大学医学部救急医学)

14:00 ~ 14:40 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-5 終末期医療

座長 石川雅巳(呉共済病院麻酔・救急集中治療科)

- DI-5-1 寺西智史(安城厚生病院)
- DI-5-2 飯塚悠祐(湘南鎌倉病院集中治療部)
- DI-5-3 山下智幸(多摩総合医療センター麻酔科)
- DI-5-4 松三絢弥(川崎医科大学附属川崎病院麻酔・集中治療科)

14:40 ~ 15:20 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-6 急性中毒

座長 清田和也(さいたま赤十字病院救命救急センター)

- DI-6-1 橋本篤徳(兵庫医科大学救急・災害医学講座)
- DI-6-2 小山洋史(自治医大さいたま医療センター集中治療部)
- DI-6-3 吉永雄一(千里救命救急センター)
- DI-6-4 内藤貴基(東京ベイ浦安市川医療センター)

15:20 ~ 16:00 第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-7 呼吸不全

座長 大塚将秀(横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部)

- DI-7-1 日下琢雅(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)
- DI-7-2 宮崎裕也(東京女子医科大学中央集中治療部)
- DI-7-3 塩塚潤二(Department of Critical Care Medicine, University of Toronto, Toronto General Hospital, Canada)
- DI-7-4 栗山直英(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

16：00～16：40 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-8 不穩

座長 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科生体総合医療学麻醉・危機管理医学)

DI-8-1 萩野泰明(山口大学病院先進救急医療センター)

DI-8-2 加藤之紀(大津市民病院集中治療部)

DI-8-3 山口嘉一(横浜市立大学麻醉科)

DI-8-4 奥村将年(大阪市立総合医療センター集中治療部)

16：40～17：20 第5会場 国立京都国際会館 1F Room E

DI-9 重症外傷

座長 宮庄浩司(福山市立市民病院救命救急センター)

DI-9-1 萩原純(日本医科大学高度救命救急センター)

DI-9-2 切詰和孝(香川大学医学部附属病院救命救急センター)

DI-9-3 寺坂勇亮(健和会大手町病院救急科・外科)

DI-9-4 望月勝徳(長野市民病院救急科)

【看護部門】 教育講演

第1日目（2月27日）

13：20～14：10 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

NEL-1 クリティカルケアにおける危機的的患者家族の看護

演者 山勢博彰(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻)

司会 栗原早苗(金沢大学附属病院看護部)

14：10～15：00 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

NEL-2 ICUにおける看護師のメンタルヘルス

演者 重光秀信(ネバダ大学医学部呼吸器内科／集中治療医療科)

司会 明神哲也(東京医科大学病院看護部)

第2日目（2月28日）

11：00～11：50 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

NEL-3 集中治療領域における敗血症患者の看護

演者 山口弘子(名古屋大学医学部附属病院ICU)

司会 仁科典子(大阪警察病院救命センターICU)

15：10～16：00 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NEL-4 最近の人工呼吸管理のトピックス

演者 小谷透(東京女子医科大学麻酔科中央集中治療部)

司会 宇都宮淑子(山口大学医学部附属病院外来・検査診療部)

パネルディスカッション

第1日目（2月27日）

15：30～17：30 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

パネルディスカッション1 重症化を回避する看護援助

座長 清村紀子(西南女学院大学保健福祉学部看護学科)

足羽孝子(岡山大学病院看護部)

NPD-1-1 オーラルマネージメント：術前のブランクフリーから術後のVAP予防

上田香織(神戸大学医学部附属病院救急・集中治療センター)

NPD-1-2 摂食の自立に向けた急性期からの栄養管理と嚥下ケア

山下亮(北九州市立八幡病院救命救急センター集中治療室)

NPD-1-3 急性期重症患者に対するスキンケア戦略

志村知子(日本医科大学付属病院高度救命救急センター)

NPD-1-4 鎮静と鎮痛管理における看護とは？

平敷好史, 清水孝宏, 里井洋介, 諸見里勝, 普天間誠(地方独立行政法人那覇市立病院)

NPD-1-5 食道癌周術期患者の重症化を回避する看護 ～早期離床による肺合併症予防～

増居洋介(北九州市立医療センター看護科集中治療部)

シンポジウム

第2日目（2月28日）

9：00～11：00 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

シンポジウム1 ICUの中堅看護師の教育

座長 下村陽子(信州大学医学部附属病院看護管理室)

杉澤栄(筑波大学病院看護部小児ICU)

NS-1-1 ICUにおける若手看護師への教育について ―中堅看護師の立場から―

八巻均(自治医科大学附属病院集中治療部)

- NS-1-2 ICUにおける中堅看護師の育成
古謝真紀(社会医療法人仁愛会浦添総合病院)
- NS-1-3 ICUの中堅看護師の教育—ICUの看護管理者の立場から—
中野あけみ(徳島大学病院看護部集学治療棟)
- NS-1-4 ICUの中堅看護師の教育—看護部教育担当者の立場から—
明神哲也(東京医科大学病院看護部)
- NS-1-5 ICUにおける中堅看護師に対する教育体制についての検討～ICU診療教育コースはいかにあるべきか～
皆川幸洋(岩手県立久慈病院救命救急センター)
- NS-1-6 集中治療室における教育指標としてのクリニカルラダーの作成
仁科典子, 橋本良子, 小寺利美, 齊藤美和, 井村久美子, 永江ゆき子(日本集中治療医学会看護部会卒後教育検討小委員会)

第2日目(2月28日)

16:00～18:00 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

シンポジウム2 セン妄患者へのチームケアアプローチ

座長 明智龍男(名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学)

伊藤聡子(神戸市立医療センター中央病院看護部)

NS-2-1 セン妄患者へのチームアプローチ～2年間の活動経過と今後の課題～

比田井理恵(千葉県救急医療センター)

NS-2-2 当ICUにおけるせん妄評価体制の構築

古厩智美(さいたま赤十字病院救命救急センター)

NS-2-3 ICUにおけるせん妄のマネジメント:精神科医の立場から

和田健(広島市立広島市民病院精神科)

NS-2-4 ICUにおけるせん妄のマネジメント:集中治療医の立場から

平手博之, 米倉寛, 宮津光範, 藤田義人, 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

リフレッシュコース

第1日目(2月27日)

10:30～11:10 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-1 重症度スコアとその意義

演者 林淑朗(医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科)

司会 吹田奈津子(日本赤十字社和歌山医療センター集中治療室)

11:10～11:50 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-2 患者中心の「痛み・不穏・せん妄」の管理

演者 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

司会 茂呂悦子(自治医科大学附属病院看護部)

13:20～14:00 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-3 気管挿管中の患者の捉え方—患者が行う早期リハビリテーション—

演者 卯野木健(筑波大学附属病院ICU)

司会 西村祐枝(山口県立総合医療センター看護部)

14:00～14:40 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-4 集中治療患者の発熱と解熱療法

演者 江木盛時(岡山大学病院集中治療部)

司会 後藤由香里(東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部)

14:40～15:20 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-5 ナースのための循環モニターの知識

演者 笠岡俊志(熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部)

司会 難波由美子(岡山大学病院高度救命救急センター)

第2日目（2月28日）

9：00～9：40 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-6 低体温療法の適応と方法

演者 中村光伸, 中野実(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

司会 吉里孝子(熊本大学医学部附属病院集中治療部)

9：40～10：20 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-7 ナースのための ECMO・PCPS 入門

演者 三木隆弘(駿河台日本大学病院臨床工学技士室)

司会 押川麻美(福岡大学病院看護部ハートセンター)

10：20～11：00 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-8 ICU ベッドサイドでのエコー検査の見方

演者 山本剛(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科)

司会 川原千香子(東京医科大学病院看護部)

11：00～11：40 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-9 ナースのための ICU 患者の栄養管理

演者 佐藤格夫(京都大学医学部初期診療・救急科)

司会 橋本良子(岩手医科大学附属病院東5階病棟)

14：30～15：10 第11会場 グランドプリンスホテル京都 B2F ゴールドルーム

NRC-10 DNAR と臨床倫理

演者 田村高志(済生会山口総合病院麻酔科・集中治療部)

司会 立野淳子(山口大学大学院医学系研究科)

編集委員企画

第1日目（2月27日）

10：30～12：00 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

編集委員企画 とにかく看護研究をやってみよう

座長 高島尚美(東京慈恵会医科大学医学部看護学科)

ファシリテータ 伊藤聡子(神戸市立医療センター中央市民病院看護部)

池亀俊美(聖路加国際病院附属クリニック聖路加メディロカス看護部)

藤井玲子(岡山大学病院総合診療棟4階ICU・CICU)

NC-1 とにかく看護研究をやってみよう！

高島尚美(東京慈恵会医科大学医学部看護学科)

集中ケア認定看護師による実践講座

15：00～17：30 第10会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

集中ケア認定看護師による実践講座 やってみよう！ ABCDE バンドル ～早期回復に向けて～

座長 佐藤みえ(東邦大学医療センター大森病院救命救急センター特定集中治療室)

畑喜美子(公益社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院)

NC-2-commentator-1 剣持雄二(東海大学医学部付属八王子病院)

NC-2-commentator-2 西村祐枝(山口県立総合医療センター)

NC-2-commentator-3 大槻勝明(総合病院土浦協同病院救命救急センターICU)

NC-2-commentator-4 中川温美(自治医科大学附属さいたま医療センター)

【臨床工学技士部門】

教育講演

第1日目 (2月27日)

13:20～14:10 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

MEL-1 集中治療領域における血液浄化法による薬物動態変化

演者 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

司会 原田俊和(熊本大学医学部附属病院ME機器センター)

14:10～15:00 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

MEL-2 脳傷害患者のモニタリングと集中治療管理

演者 木下浩作(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

司会 山香修(久留米大学病院臨床工学センター)

第2日目 (2月28日)

14:00～14:50 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

MEL-3 酸素療法の新たな展開(高流量酸素療法の可能性)

演者 三住拓誉(神戸大学医学部附属病院救急集中治療センター/集中治療部)

司会 山本信章(順天堂大学浦安病院臨床工学室)

パネルディスカッション

第1日目 (2月27日)

15:10～17:30 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

パネルディスカッション1 集中治療認定臨床工学技士(仮称)制度の実現に向けて

座長 山下芳久(埼玉医科大学保健医療学部医用生体工学科)

高山綾(川崎医科大学附属病院MEセンター, 川崎医療福祉大学医療技術学部臨床工学科)

MPD-1-1 「集中治療専門臨床工学技士」の定義と役割

加納隆(埼玉医科大学保健医療学部医用生体工学科)

MPD-1-2 当科における集中治療業務の現状と集中治療専門臨床工学技士制度の実現について

林啓介(岡山済生会総合病院臨床工学科)

MPD-1-3 循環分野での集中治療専門臨床工学技士の役割

百瀬直樹(自治医科大学さいたま医療センター臨床工学部)

MPD-1-4 「集中治療専門臨床工学技士への期待 一看護師の立場から」

高岡勇子(北海道大学病院ICU救急部ナースセンター)

MPD-1-5 医師から見た集中治療専門臨床工学技士の重要性

中根正樹(山形大学医学部附属病院集中治療部)

MPD-1-6 日本臨床工学技士会専門臨床工学技士制度との連携

木村政義(兵庫医科大学病院臨床工学室)

シンポジウム

第1日目 (2月27日)

10:00～12:00 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

シンポジウム1 集中治療への臨床工学技士のこだわり

座長 梶原吉春(東大和病院臨床工学科)

讃井将満(自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部)

MS-1-1 呼吸療法における集中治療への臨床工学技士のこだわり

春田良雄, 市橋孝章, 小山昌利, 樋口知之, 堀口敦史, 野堀耕佑(公立陶生病院臨床工学部)

MS-1-2 補助循環におけるこだわり ―当院のPCPSおよびECMOの特徴―

開正宏(名古屋第一赤十字病院医療技術部臨床工学技術課)

- MS-1-3 ICUの血液浄化療法における臨床工学技士の関わり
千原伸也¹、中野皓太¹、島田朋和¹、山田奨人¹、橋本佳苗¹、室橋高男¹、巽博臣²、升田好樹²、今泉均²、山蔭道明²
(1.札幌医科大学附属病院臨床工学部、2.札幌医科大学医学部集中治療医学)
- MS-1-4 集中治療への臨床工学技士のこだわり—ME機器の保守管理—
吉岡淳、石山智之(山形大学医学部附属病院臨床工学部)
- MS-1-5 臨床工学技士からの提案を医師としてどう受け止めるか?—質の管理とモチベーションの管理—
瀬尾龍太郎(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)

ワークショップ

第2日目(2月28日)

9:00～11:30 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

ワークショップ1 臨床工学技士からみたECMOへの関わり

座長 市場晋吾(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学講座)
鈴木健一(日本医科大学付属病院ME部)

MW-1-keynote/commentator

米国におけるECMO管理の現状

Yuki Peterson (ECMO Program, University of Michigan Health System, USA)

MW-1-1 ECMO症例において臨床工学技士の果たすべき役割とは

鳩本広樹¹、山内和也¹、高尾結佳¹、山崎慎太郎¹、梅村武寛²、村井映²、石倉宏恭²(1.福岡大学病院臨床工学センター、2.福岡大学病院救命救急センター)

MW-1-2 ECMOチーム設立に伴うスタッフ教育と機材準備について

五十嵐利博¹、酒井基広¹、池上志穂子¹、村谷信太郎¹、赤崎夢³、仲田知恵³、方山真朱⁴、小谷透⁴、南茂¹、峰島三千男²
(1.東京女子医科大学臨床工学部、2.東京女子医科大学臨床工学科、3.東京女子医科大学看護部、4.東京女子医科大学麻酔科集中治療部)

MW-1-3 当院におけるECMOデバイス

大平順之(兵庫医科大学病院臨床工学室)

MW-1-4 ECMO中の人工呼吸管理

鈴木裕之、中野実、高橋栄治、中村光伸、宮崎大、町田浩志、藤塚健次、雨宮優、菊谷祥博、桜澤忍
(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

MW-1-5 臨床工学技士からみたECMOへの関わり—ECMO稼働中の血液浄化療法—

倉島直樹、大久保淳、星野春奈、佐藤由利(東京医科歯科大学医学部附属病院MEセンター)

MW-1-6 ECMO装着患者の院内、院外搬送におけるCEの役割

上岡晃一¹、此内緑¹、服部敏温¹、宮下亮一²、関根秀介²、宮田和人²、田中信大³、田上正²、山科章³、内野博之²
(1.東京医科大学病院臨床工学部、2.東京医科大学麻酔科学講座、3.東京医科大学第2内科学講座)

15:00～17:00 第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

ワークショップ2 呼吸管理における臨床工学技士のアセスメント

座長 今中秀光(徳島大学病院ER・災害医療診療部)
野口裕幸(東京工科大学医療保健学部臨床工学科)

MW-2-1 当院における臨床工学技士の呼吸療法業務

荒田晋二¹、櫻谷正明²(1.JA広島総合病院臨床工学科、2.JA広島総合病院救急・集中治療科)

MW-2-2 NPPV管理における臨床工学技士によるアセスメント

石橋一馬(京都大学医学部附属病院医療機材部)

MW-2-3 小児領域における臨床工学技士から考える呼吸アセスメント

須賀里香(埼玉医科大学総合医療センターMEサービス部)

MW-2-4 人工呼吸器を使用した自発呼吸のアセスメント

佐藤敏朗¹、中垣麻子¹、坂口祥章¹、岡本遼¹、西山圭子²、小森万希子²(1.東京女子医科大学東医療センターME室、2.東京女子医科大学東医療センター麻酔科)

MW-2-5 呼吸管理におけるアセスメント—看護師の立場から—

井村久美子(社会医療法人敬愛会中頭病院)

【リハビリテーション部門】

教育講演

第1日目 (2月27日)

13:20～14:10 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

REL-1 早期離床のためにベッドボード(温度板)はこう読め

演者 長谷川隆一(公立陶生病院救急部)

司会 森沢知之(兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科)

14:20～15:10 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

REL-2 早期リハビリテーションにおける主要臓器連関

演者 垣花泰之(鹿児島大学医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野)

司会 高橋 哲也(東京工科大学医療保健学部理学療法学科)

第2日目 (2月28日)

14:00～14:50 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

REL-3 呼吸理学療法最新のエビデンス

演者 神津玲¹, 花田匡利¹, 及川真人¹, 山口典子², 横田徹次²(1.長崎大学病院リハビリテーション部, 2.長崎大学病院集中治療部)

司会 眞淵敏(兵庫医科大学病院リハビリテーション部)

14:50～15:40 第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

REL-4 集中治療領域における栄養管理とリハビリテーション

演者 諸富伸夫(日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院)

司会 永富史子(川崎医科大学附属川崎病院リハビリテーションセンター)

パネルディスカッション

第1日目 (2月27日)

第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

10:00～12:00

パネルディスカッション1 集中治療領域で理学療法士が活躍するためには何が必要か

座長 高橋哲也(東京工科大学医療保健学部理学療法学科)

今中秀光(徳島大学病院ER・災害医療診療部)

RPD-1-1 ICU領域における、これからの理学療法を考える～医師・看護師によるアンケートから～

小幡賢吾¹, 山下康次², 横山仁志³, 嶋先晃⁴, 倉田和範⁵, 山内康太⁶, 小松由佳⁷, 高橋哲也⁸, 氏家良人⁹(1.岡山赤十字病院リハビリテーション科, 2.市立函館病院リハビリ技術科, 3.聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部, 4.市立砺波総合病院リハビリテーションセンター, 5.津山第一病院リハビリテーション科, 6.製鉄記念八幡病院リハビリテーション部, 7.杏林大学病院看護部, 8.東京工科大学医療保健学部理学療法学科, 9.岡山大学大学院医師薬学総合研究科救急医学分野)

RPD-1-2 集中治療領域で理学療法士が活躍するための看護師の役割

小松由佳(杏林大学医学部付属病院)

RPD-1-3 集中治療標準化コースからみた集中治療における理学療法士の今後の課題

古川力丸¹, 中川富美子², 石川淳哉³, 安宅一晃⁴, 藤谷茂樹⁵, 丹正勝久¹(1.日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野, 2.日本大学医学部附属板橋病院臨床工学技士室, 3.横浜市立大学附属市民総合医療センター, 4.大阪市立総合医療センター集中治療部, 5.東京ベイ・浦安市川医療センター)

RPD-1-4 ICU専従理学療法士の配置は是か非か?

札本篤¹, 江田陽一²(1.福岡徳洲会病院リハビリテーション科, 2.福岡徳洲会病院救急・集中治療センター)

RPD-1-5 条件が揃えば理学療法士は集中治療室における理学療法施行だけでなく、RRTの一員ともなり得る

小池朋孝¹, 新井正康¹, 森安恵実¹, 服部潤², 黒岩政之², 稲垣泰斗², 山田由香里³, 伊藤莊平³, 北原孝雄²(1.北里大学病院救命救急センター部RST/RRT室, 2.北里大学医学部救命救急医学, 3.北里大学医学部麻酔科学教室)

RPD-1-6 非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)と機械による咳介助(MI-E)による抜管の可能性と理学療法士の役割

三浦利彦(独立行政法人国立病院機構八雲病院理学療法室)

シンポジウム

第1日目 (2月27日)

第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

15:20～17:20

シンポジウム1 早期リハビリテーションの効果をどのように評価するか

座長 石川朗(神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域健康科学分野)

岸川典明(愛知医科大学病院リハビリテーション部)

RS-1-1 人工呼吸器装着患者のリハビリテーションの効果

鶴澤吉宏(亀田総合病院リハビリテーション室)

RS-1-2 集中治療領域における循環不全患者の筋力低下に対する取り組み

飯田有輝¹, 山田純生², 伊藤武久¹, 坪内宏樹³, 水落雄一郎³(1.愛知厚生連海南病院リハビリテーション科, 2.名古屋大学大学院医学系研究科, 3.愛知厚生連海南病院集中治療部)

RS-1-3 ICU早期リハビリテーションへの取り組みとせん妄対策とのクロストーク

川副友, 小川敦裕, 安田真人, 柴田尚明, 中島強, 宮本恭兵, 島幸宏, 木田真紀, 加藤正哉(和歌山県立医科大学医学部救急集中治療医学講座)

RS-1-4 Functional Status Score for the Intensive Care Unit(FSS-ICU)の信頼性に関する検討

山内康太¹, 鈴木裕也¹, 熊谷謙一¹, 松尾瑞恵², 海塚安郎²(1.製鉄記念八幡病院リハビリテーション部, 2.製鉄記念八幡病院救急・集中治療部)

RS-1-5 ICUにおける運動機能, ADLの評価指標

横山仁志(聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部)

RS-1-6 腎機能障害における早期リハビリテーションの効果をどのように評価するか?

重田暁(北里大学北里研究所病院リハビリテーションセンター)

RS-1-7 重篤小児に対する早期リハビリテーションの実態・効果検証から認められる課題

森貴子¹, 問田千晶², 金子節志¹, 稲元未来¹, 横尾由希子¹, 齋藤千恵子¹, 六車崇², 上出杏里³, 橋本圭司³(1.国立成育医療研究センター看護部, 2.国立成育医療研究センター集中治療科, 3.国立成育医療研究センターリハビリテーション科)

講演等

ワークショップ

第2日目 (2月28日)

第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

9:30～11:00

ワークショップ1 集中治療領域におけるリハビリテーションのあり方Ⅰ—心疾患・呼吸器疾患—

座長 玉木彰(兵庫医療大学大学院医療科学研究科)

RW-1-1 集中治療領域における心臓リハビリテーション

齊藤正和(公財)日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院理学療法科)

RW-1-2 ICUにおける早期離床と呼吸理学療法の最近の考え方

嶋先晃(市立砺波総合病院総合リハビリテーションセンター)

15:50～17:20

ワークショップ2 集中治療領域におけるリハビリテーションのあり方Ⅱ—脳血管疾患・外傷—

座長 山下 康次(市立函館病院リハビリ技術科)

RW-2-1 重症広範囲熱傷に対するリハビリテーション

木村雅彦(北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科)

RW-2-2 Stroke Care Unitにおけるチーム医療とリハ専門職の役割

鶴飼正二(相澤病院脳卒中・脳神経リハセンター)

【一般演題】

口演

第1日目 (2月27日)

第9会場 国立京都国際会館 1F Room C-2

10:00～11:00

口演1 ECMO ① (O-1-1～O-1-5)

座長 瀧健治(社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院)

O-1-1 合併症から学ぶECMO治療システム

佐藤啓太, 早川桂, 早瀬直樹, 高橋希, 野間未知多, 伊藤悠祐, 五木田昌士, 勅使河原勝伸, 田口茂正, 清田和也
(さいたま赤十字病院救命救急センター・救急医学科)

O-1-2 ECMOプロジェクトチームによるECMO治療システムの構築と課題

鈴木裕之¹, 中野実¹, 小倉崇以¹, 原澤朋史¹, 関口拓矢², 神尾芳恵³(1.前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, 2.前橋赤十字病院高度救命救急センター看護部, 3.前橋赤十字病院高度救命救急センター臨床工学部)

O-1-3 日本におけるECMOシステムの課題とその対策

原嘉孝, 中村智之, 新美太祐, 秋山正慶, 内山壮太, 小松聖史, 野田昌宏, 前田隆求, 柴田純平, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

O-1-4 重症呼吸不全に対するECMO適応基準 ～ELSOガイドラインと当院ICUでの検討～

秋山正慶, 原嘉孝, 中村智之, 新美太祐, 安岡なつみ, 伊藤舞, 内山壮太, 小松聖史, 柴田純平, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

O-1-5 当施設における重症呼吸不全に対する体外式膜型人工肺(ECMO)導入症例の検討

山田太平, 尾迫貴章, 吉江範親, 松田健一, 岡本彩那, 坂田寛之, 中尾篤典, 上田敬博, 久保山一敏, 小谷穰治
(兵庫医科大学救急・災害医学講座)

11:00～12:00

口演2 ECMO ② (O-2-1～O-2-5)

座長 盛直久(松原クリニック)

O-2-1 重症呼吸不全を伴う多臓器不全においてはECMO早期装着が救命の鍵となる

旗本恵介(札幌東徳洲会病院救急総合診療部)

O-2-2 弁形成術後肺炎の増悪に対しV-V ECMO使用が奏功した拡張型心筋症の一例

中村健¹, 近藤俊一¹, 高橋慧¹, 坪井栄俊¹, 六角丘¹, 入江嘉仁¹, 横山齊²(1.いわき市立総合磐城共立病院心臓血管外科, 2.福島県立医科大学心臓血管外科)

O-2-3 植込型補助人工心臓実施設におけるV-V ECMO治療システムの構築

藤原立樹¹, 倉島直樹², 水野友裕¹, 上原佳代子³, 原口剛³, 三高千恵子³, 荒井裕国¹(1.東京医科歯科大学大学院心臓血管外科, 2.東京医科歯科大学医学部附属病院MEセンター, 3.東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部)

O-2-4 小児重症呼吸不全に対するECMO管理の現状と課題

間田千晶¹, 六車崇¹, 榎本有希¹, 芳賀大樹¹, 中野諭¹, 磯部英輔²(1.国立成育医療研究センター集中治療科, 2.国立成育医療研究センターMEセンター)

O-2-5 小児ECMO管理の実際と今後の展望 ―小児専門施設PICUにおける経験―

土井房恵¹, 磯部英輔¹, 榎本有希², 六車崇², 源規安¹(1.国立成育医療研究センター病院MEセンター, 2.国立成育医療研究センター病院集中治療科)

13:20～14:30

口演3 脳低体温① (O-3-1～O-3-7)

座長 村川雅洋(福島県立医科大学医学部麻酔科学講座)

O-3-1 心停止蘇生後症候群に対する脳低体温療法と水素ガス吸入療法: トランスレーショナルリサーチ (HYBRID study)

林田敬¹, 佐野元昭², 太田成男³, 鈴木昌¹, 福田恵一², 堀進悟¹(1.慶應義塾大学医学部救急医学教室, 2.慶應義塾大学医学部循環器内科, 3.日本医科大学大学院医学研究科細胞生物学分野)

O-3-2 心停止後症候群に対する低体温療法施行患者におけるinterleukin-6・procalcitonin連日同時測定の有用性

山地芳弘, 織田成人, 渡邊栄三, 安部隆三, 大島拓, 大谷俊介, 服部憲幸, 松村洋輔, 仲村志芳, 児玉善之(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

O-3-3 心停止蘇生後の低体温療法中での神経学的予後予測におけるAmplitude integrated EEGの有用性に関する検討

杉山和宏, 柏浦正広, 小林未央子, 阿部裕之, 神尾学, 田邊孝大, 明石暁子, 横山太郎, 濱邊祐一(東京都立墨東病院)

O-3-4 心停止蘇生後患者に対する脳低体温療法による予後とNH₃値、rSO₂値の関連についての検討

前山博輝, 藤崎修, 中嶋麻里, 番匠谷友紀, 松井大作, 池田光憲, 原文祐, 岡和幸, 永嶋太, 小林誠人(公立豊岡病院但馬救命救急センター)

- O-3-5 当院で過去5年間に施行された心肺停止蘇生後患者に対する低体温療法の検討
加藤聡一郎, 大田原正幸, 守永広征, 宮国泰彦, 海田賢彦, 玉田尚, 松田岳人, 宮内洋, 山田賢治, 山口芳裕(杏林大学医学部救急医学教室)
- O-3-6 心肺停止蘇生後低体温療法中のBISの上昇は復温後痙攣の発生に相関する
落合香苗¹, 白石淳¹, 大友康裕¹, 小井土雄一²(1.東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター, 2.独立行政法人国立病院機構災害医療センター救命救急センター)
- O-3-7 脳低体温療法を施行した心停止蘇生後昏睡患者における Cerebral tissue oxygen saturation (SctO₂) の変動
弦切純也, 長田雄大, 上野雅仁, 沖田泰平, 大村泰史, 田中洋輔, 松山有隆, 新井隆男(東京医科大学八王子医療センター救命救急センター)

14:30 ~ 15:40

口演4 脳低体温② (O-4-1 ~ O-4-7)

座長 森本裕二(北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座(麻酔・周術期医学分野)／北海道大学病院麻酔科)

- O-4-1 脳低体温療法を施行した心原性・非心原性心停止後症候群における初療時ABGの特徴
小松智英, 櫻井淳, 木下浩作, 賀川哲夫, 杉田篤紀, 山口順子, 守谷俊, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)
- O-4-2 脳低体温療法中の循環動態
夏川知輝, 澤野宏隆, 川田篤志, 吉永雄一, 佐藤秀峰, 大場次郎, 伊藤裕介, 大谷尚之, 林靖之, 甲斐達朗(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)
- O-4-3 院外心肺停止患者に対する体外式心肺補助使用下脳低体温療法における治療脱落の予測因子
松本学¹, 太田好紀², 岩瀬史明¹, 井上潤一¹, 小林辰輔¹, 宮崎善史¹, 加藤頼子¹, 池田督司¹, 横田裕行³(1.山梨県立中央病院救命救急センター, 2.兵庫医科大学病院内科学教室総合診療科, 3.日本医科大学付属病院高度救命救急センター)
- O-4-4 低体温療法中の栄養管理 一間接熱量測定に基づいた検討一
大島拓, 織田成人, 渡邊栄三, 安部隆三, 大谷俊介, 服部憲幸, 松村洋輔, 橋田智明, 菅なつみ, 岩瀬信哉(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)
- O-4-5 小児蘇生後症候群(PCAS)に対する管理の現状と課題
染谷真紀¹, 篠原真史², 加藤隆宏¹, 六車崇², 青木一憲², 辻聡¹(1.成育医療研究センター救急診療科, 2.成育医療研究センター集中治療科)
- O-4-6 脳低体温療法 一地方病院からの提案
谷口俊雄, 志水清和, 山本航, 山口淑郎, 辺奈理, 杉浦剛志(一宮市立市民病院循環器科)
- O-4-7 くも膜下出血後周術期早期からの体温管理の重要性
末廣栄一, 貞廣浩和, 岡史朗, 藤山雄一, 米田浩, 小泉博靖, 石原秀行, 鈴木倫保(山口大学医学部脳神経外科)

15:40 ~ 16:30

口演5 ICUと理学療法:職種連携 (O-5-1 ~ O-5-5)

座長 磨田裕(埼玉医科大学国際医療センター麻酔科)

- O-5-1 集中治療領域のチーム医療の中で理学療法士に必要な事 ~ICU専従理学療法士の経験を通じて~
西村天利, 安達普至(飯塚病院リハビリテーション部)
- O-5-2 ICUにおけるPT常駐化:4人ローテーション制のメリット
古川誠一郎¹, 今井正太郎¹, 小池俊光¹, 稲垣武¹, 山中義崇¹, 大谷俊介², 安部隆三², 渡邊栄三², 村田淳¹, 織田成人²(1.千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部, 2.千葉大学医学部大学院医学研究院救急集中治療医学)
- O-5-3 Utilization of mechanical aids for respiratory physiotherapy
—BiPAPの開腹術後無気肺に対する検討—
中橋奨(三重大学救急科)
- O-5-4 当院集中治療室において理学療法士がどのように発展してきたか
岡田大輔¹, 山田浩二¹, 上杉英之², 西上和宏²(1.済生会熊本病院リハビリテーション部, 2.済生会熊本病院集中治療部)
- O-5-5 当院におけるICU患者に対する気管切開を巡る院内連携
宇野光祐¹, 齋藤康一郎¹, 甲能武幸¹, 矢部はる奈², 櫻井裕教³, 鈴木武志³, 森崎浩³, 小川郁¹(1.慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科, 2.川崎市立井田病院, 3.慶應義塾大学医学部麻酔科)

16:30 ~ 17:30

口演6 看護 (O-6-1 ~ O-6-6)

座長 平松八重子(京都大学医学部附属病院救急部・集中治療部),
戸田美和子(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)

- O-6-1 PICUにおける看護師経験とインシデントの関連
齋藤千恵子¹, 篠原真史², 六車崇²(1.国立成育医療研究センター看護部, 2.国立成育医療研究センター集中治療科)

- O-6-2 クリティカルケア領域における継続教育システムの構築
宮下照美¹, 小島朗², 竹中利美³(1. 藤田保健衛生大学病院救命救急センター, 2. 名古屋大学医学部付属病院, 3. 半田市立半田病院)
- O-6-3 重症心不全患者のせん妄や筋萎縮の予防におけるゴムボール運動の効果
曾紅, 池田幸司(市立加西病院)
- O-6-4 A病院における頭部拳上30度実施の効果を検証する
丁野美智(熊本赤十字病院看護部救命救急センター)
- O-6-5 集中治療におけるせん妄発症リスク因子の検討
藤井悠一郎, 坪田貴也, 小池秀樹, 佐土根岳, 鈴木銀河, 一林亮, 横室浩樹, 田巻一義, 吉原克則, 本多満(東邦大学医療センター大森病院救命センター)
- O-6-6 集中治療領域の口腔ケアに関する実態調査
吉里孝子¹, 宇都宮淑子², 阿部由希子³, 引田美恵子⁴, 山中真知子⁵, 若林世恵⁶(1. 熊本大学医学部附属病院集中治療部, 2. 山口大学医学部附属病院先進救命医療センター, 3. 旭川医科大学病院集中治療部, 4. 群馬大学医学部附属病院集中治療部, 5. 京都第一赤十字病院集中治療部, 6. 富山大学附属病院集中治療部)

第2日目 (2月28日)

第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1

11:30～12:00

優秀演題 臨床工学技士部門 (MEX-1～MEX-3)

座長 林久美子(岡山大学病院臨床工学部)

- MEX-1 面積式酸素流量計に対応する流量監視警報装置の開発
後藤武¹, 三上裕晃², 細井拓海¹, 小笠原順子¹, 鈴木雄太¹, 山崎章生¹, 藤田政樹², 城田農³, 稲村隆夫³, 福田幾夫⁴
(1. 弘前大学医学部附属病院医療技術部臨床工学・技術部門, 2. 株式会社タカシン, 3. 弘前大学大学院理工学研究科知能機械工学コース, 4. 弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座)
- MEX-2 低体重児の血漿交換療法(PE)における新鮮凍結血漿(FFP)透析法の有用性
平山千佳¹, 芝田正道², 小田正美¹, 瀧上竜也³, 照屋孝二³, 神里興太³, 垣花学³, 須加原一博³(1. 琉球大学医学部附属病院ME機器センター, 2. 東京女子医科大学東医療センターME室, 3. 琉球大学医学部附属病院麻酔科集中治療部)
- Ⓢ MEX-3 Respiratory ECMOの治療成績とラーニングカーブ
伊藤英史¹, 市場晋吾², 堂口琢磨³, 氏家良人⁴(1. 純真学園大学保健医療学部医療工学科, 2. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学講座, 3. 岡山大学病院心臓血管外科, 4. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学)

第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2

11:00～11:30

優秀演題 リハビリテーション部門 (REX-1～REX-3)

座長 小幡賢吾(岡山赤十字病院リハビリテーション科)

- Ⓢ REX-1 脳梗塞患者の退院後の転帰と入院時循環器機能の関連について
茅本洋平¹, 宮本欣倫², 佐藤幹久¹, 早川尚宏¹, 横山優希¹, 時田春樹¹(1. 脳神経センター大田記念病院リハビリテーション課, 2. 脳神経センター大田記念病院循環器内科)
- REX-2 心臓胸部大動脈手術後の心房細動と浅速呼吸の関連
田代尚範¹, 福原幸樹¹, 高橋信也², 高崎泰一², 片山桂次郎², 渡谷啓介², 今井克彦², 木村浩彰³, 末田泰二郎²(1. 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門, 2. 広島大学大学院医歯薬保健学研究科応用生命科学部門外科学, 3. 広島大学病院リハビリテーション科)
- REX-3 超音波診断装置(USG)で推定される胸水量と酸素化係数, 分時換気量, 動脈血二酸化炭素分圧の関係
馬場義行¹, 山本直美²(1. (財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院理学療法, 2. (財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院ICU)

第9会場 国立京都国際会館 1F Room C-2

9:00～10:00

口演7 職種間連携 (O-7-1～O-7-6)

座長 菅井桂雄(湘南東部総合病院)

- O-7-1 ICUにおける職種間連携に求められるもの: 救急外科医の立場から
川嶋隆久, 加藤隆之, 田中敦, 陵城成浩, 丸川征四郎(医誠会病院救命救急科)
- O-7-2 理学療法士は集中治療の早期から治療方針の決定に関与するべきである～医師の立場から～
新井正康¹, 見井田和正², 小池朋孝³, 遠原まりえ², 森安恵実³, 服部潤⁴, 黒岩政之⁴, 辺土名隆², 北原孝雄⁴, 岡本浩嗣¹(1. 北里大学医学部麻酔科学, 2. 北里大学病院リハビリテーションセンター部, 3. 北里大学病院RST・RRT室, 4. 北里大学医学部救命救急医学)

- O-7-3 看護師・医師へのアンケート結果から考える多職種連携
今長谷尚史¹, 別府美紀², 山田クリス孝介³, 松本浩一⁴, 阪本雄一郎³, 坂口嘉郎⁵, 岩村高志¹, 山下友子¹, 西村洋一¹, 小網博之¹(1.佐賀大学医学部附属病院救命救急センター, 2.佐賀大学医学部附属病院看護部, 3.佐賀大学医学部救急医学講座, 4.佐賀大学医学部附属病院集中治療部, 5.佐賀大学医学部麻酔科蘇生科)
- O-7-4 集中治療におけるチーム医療としてのリハビリテーション
大川保昭, 三宅真一, 久保寛紀, 中島宏樹, 水野翔太, 杉浦剛志, 志水清和(一宮市立市民病院)
- O-7-5 せん妄発生を患者管理不成功の指標として捉える ～せん妄患者へのチームケアアプローチ～
川副友, 小川敦裕, 安田真人, 柴田尚明, 中島強, 宮本恭兵, 島幸宏, 木田真紀, 加藤正哉(和歌山県立医科大学医学部救急集中治療医学講座)
- O-7-6 心のケアサポートチーム実践報告
森本雅志¹, 野村陽子¹, 和田修幸¹, 中井有里²(1.高知県・高知市病院企業団立高知医療センター, 2.前高知県・高知市病院企業団立高知医療センター)

10:00～11:00

口演 8 RRS・早期リハ (O-8-1～O-8-6)

座長 鮎川勝彦(飯塚病院救命救急センター)

- O-8-1 救急病棟におけるRRS導入への取り組み
荒木結¹, 渥美生弘², 谷尻淑子¹, 藤原久美子¹, 脇本泉¹, 高尾佳美¹, 萩原千架子¹, 梅田みゆき¹, 利川亜弥¹(1.神戸市立医療センター中央市民病院, 2.神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター)
- O-8-2 ICU実習における学生の学び ―学生の記述から―
松田麗子, 江尻晴美, 牧野典子(中部大学)
- O-8-3 重症化を回避する看護師の育成 ～RRS活動を通して～
森安恵実¹, 小池朋孝¹, 黒岩政之³, 服部潤³, 稲垣泰斗³, 新井正康²(1.北里大学病院RST・RRT室, 2.北里大学医学部麻酔科学教室, 3.北里大学医学部救命救急医学)
- O-8-4 早期リハビリの可能性
杉浦剛志, 志水清和, 山本航, 山口淑郎, 辺奈理, 谷口俊雄(一宮市立市民病院循環器科)
- O-8-5 人工呼吸器を使用中の敗血症患者の早期リハビリテーション中の循環動態
正垣淳子, 上原良作, 衣笠友美, 入江優子, 梅野晶子, 高松純平(関西労災病院)
- O-8-6 敗血症患者に対する早期リハビリテーションが与える影響について
見井田和正¹, 片岡祐一², 木村雅彦³, 遠原まりえ¹, 神保武則¹, 宮崎道輝¹, 辺土名隆¹, 新井正康⁴(1.北里大学病院リハビリテーションセンター部, 2.北里大学医学部救命救急医学, 3.北里大学医療衛生学部理学療法専攻, 4.北里大学医学部麻酔科学)

11:00～12:00

口演 9 研修医・学生 中毒など (O-9-1～O-9-6)

座長 斉藤洋司(島根大学医学部麻酔科学)

- O-9-1 救命し得た硫化水素中毒の2例
森くるみ, 松平宗典(佐世保市立総合病院救急集中治療科)
- O-9-2 ダントロレン点滴静注が奏功した悪性症候群の2症例
奥貴亮, 橋本正博, 萩原裕美, 成松紀子(熊本労災病院麻酔科)
- O-9-3 臭化ジスチグミン長期服用者においてコリン作動性クレーゼを呈した1例
常盤大樹, 高崎康史(市立宇和島病院)
- O-9-4 ベンゾジアゼピン系、フェノチアジン系薬剤の大量服用により肝障害をきたした1例
五十嵐友美¹, 吉田真一郎², 野崎浩司², 裕光司², 七戸康夫²(1.国立病院機構北海道医療センター臨床教育研究部, 2.国立病院機構北海道医療センター救急科)
- O-9-5 急性カフェイン中毒に対する集中治療の一例
中原光三郎, 東倫子, 高谷悠大, 波多野俊之, 松島暁, 江嶋正志, 沼口敦, 足立祐史, 高橋英夫, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)
- O-9-6 精神疾患を有する患者の救急・集中治療におけるデクスメトミジンの効用
藤井晶, 平田淳一, 大家宗彦, 尾鼻康朗, 公文啓二(近畿大学医学部奈良病院救命救急科)

14:00～15:00

口演 10 研修医・学生 研究(基礎・臨床) (O-10-1～O-10-6)

座長 坂本篤裕(日本医科大学大学院疼痛制御麻酔科学分野)

- O-10-1 敗血症マウス前頭葉における炎症性サイトカイン発現の経時変化の解析
園部藍子¹, ジェスミンサブリナ², 下條信威², 河野了², 水谷太郎²(1.筑波大学医学群医学類, 2.筑波大学医学医療系救急・集中治療部)
- O-10-2 エンドセリン両受容体遮断薬は敗血症モデルラットの活性化したVEGF血管新生シグナルを増強する
大木賢美¹, ジェスミンサブリナ², 下條信威², 萩谷圭一², 山崎裕一郎², 河野了², 水谷太郎²(1.筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学, 2.筑波大学医学医療系救急・集中治療部)

- ⑧ O-10-3 開放式吸引後のハイパーインフレーションは、肺損傷を予防できるか？
神山純子¹、櫻本秀明²、萩谷圭一³、菅野雅人⁴、下條信威³、卯野木健²、河野了³、水谷太郎³(1.筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻、2.筑波大学病院看護部、3.筑波大学救急・集中治療部、4.筑波大学病理診断科)
- O-10-4 徳島大学病院ICUにおける人工呼吸患者の動脈血酸素化の現状
中野勇希¹、加藤秀太郎¹、近藤啓介¹、板垣大雅²、小野寺睦雄²、西村匡司²(1.徳島大学医学部医学科、2.徳島大学病院救急集中治療部)
- ⑨ O-10-5 ER受診した軽症頭部外傷に対する頭部CT撮影基準の検討
徳田晃太郎¹、長谷川隆一¹、林重正²、川瀬正樹¹、中島義仁¹、市原利彦¹(1.公立陶生病院救急部、2.公立陶生病院脳神経外科)
- O-10-6 当院におけるOpen Chest Managementの現状
文元聰志¹、坂平英樹²、渡海裕文³、森本喜久¹、杉本貴樹¹、小山隆司²(1.兵庫県立淡路医療センター心臓血管外科、2.兵庫県立淡路医療センター外科、3.兵庫県立淡路医療センター麻酔科)

15:00～16:00

口演 11 研修医・学生 呼吸症例 (O-11-1～O-11-6)

座長 遠藤裕(新潟大学医歯学総合病院救命救急センター・集中治療部)

- O-11-1 Rapid Response Systemで覚知した重症閉塞性肺炎に対し、全身麻酔下加圧吸引ドレナージを施行し軽快した1例
村田幸佑¹、伊藤壮平¹、黒岩政之²、小池朋孝³、森安恵実³、新井正康¹、岡本浩嗣¹(1.北里大学病院麻酔科、2.北里大学医学部救命救急医学、3.北里大学RST・RRT室)
- O-11-2 人工呼吸管理を要したギラン・バレー症候群、重症筋無力症患者の転帰
近藤啓介¹、中野勇希¹、加藤秀太郎¹、奥田菜緒²、板垣大雅²、小野寺睦雄²、今中秀光²、西村匡司²(1.徳島大学医学部医学科、2.徳島大学病院救急集中治療部)
- O-11-3 気管切開法の選択に難渋した環軸椎亜脱臼による脊髄損傷の一例
平林茉莉奈、古川力丸、伊原慎吾、小松智英、木下浩作、丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)
- O-11-4 CO₂ナルコーシスに対してHigh Flow Nasal Canula (HFNC)が有効だった1症例
前田謙一¹、岡本武士²、萩野広和³、青木和裕⁴、西村直樹³(1.聖路加国際病院初期研修医、2.聖路加国際病院内科、3.聖路加国際病院呼吸器内科、4.聖路加国際病院周術期センター麻酔科・集中治療室)
- O-11-5 ECCO2R(Extracorporeal CO₂ removal)により救命しえた気管支喘息重発作の1例
下地清史、櫻谷正明、平田旭、高場章宏、河村夏生、吉田研一(JA広島総合病院)
- O-11-6 ECMO導入するも短時間で死亡の転機を辿った劇症型肺炎球菌感染症の一例
加藤喜哉、高氏修平、方波見謙一、遠藤晃生、松井俊尚、佐藤朝之、岡田昌生、鹿野恒、斎藤智誉、牧瀬博(市立札幌病院救命救急センター)

16:00～17:00

口演 12 研修医・学生 心・循環症例 (O-12-1～O-12-6)

座長 雪吹周生(日本医科大学千葉北総病院)

- O-12-1 診断と治療に難渋した心臓内出血による心タンポナーデの1症例
山田貴弘¹、石川雅巳²(1.国家公務員共済組合連合会共済病院総合診療科、2.国家公務員共済組合連合会共済病院麻酔・救急集中治療科)
- O-12-2 麻酔導入時心停止に陥った開心術後原因不明の心膜炎に対する胸腔鏡下心膜切開ドレナージ、剥離術の1例
戸部彰洋、市原利彦、長谷川隆一、川瀬正樹、中島義仁(公立陶生病院救急集中治療部)
- O-12-3 急性冠症候群と考えられた後試験開胸となったStanford B型大動脈解離の1例
後藤洋輔、市原利彦、長谷川隆一、川瀬正樹、中島義仁(公立陶生病院救急集中治療部)
- O-12-4 統合失調症を有するIABP依存となった開心術の経験
櫻井ともえ、市原利彦、長谷川隆一、川瀬正樹、中島義仁(公立陶生病院救急集中治療部)
- O-12-5 診断に時間を要したが術前管理により救命できた心室中隔穿孔(VSP)の管理
尾崎令奈、市原利彦、長谷川隆一、川瀬正樹、中島義仁(公立陶生病院救急集中治療部)
- O-12-6 両方向性Glenn術とDamus-Kaye-Stansel吻合後の低酸素血症に総頸動脈内頸静脈シャント造設が有効だった1症例
下里侑子、山口嘉一、森久保結香、松田優子、佐々木誠、高木俊介、塩田将、水谷健司、山口修、後藤隆久(横浜市立大学附属病院集中治療部)

17:00～18:00

口演 13 生命維持管理装置とCE (O-13-1～O-13-6)

座長 伊藤英史(純真学園大学保健医療学部医療工学科)

- O-13-1 生命維持管理装置のメンテナンスにおける当施設の取り組み
河村誠司¹、岩本和也¹、吉見隆司³、篠崎正博²(1.岸和田徳洲会病院臨床工学室、2.岸和田徳洲会病院救急救命センター、3.松原徳洲会病院臨床工学科)

- O-13-2 SAVE-J 研究にみる ECPR 群と非 ECPR 群における ECPR 実施症例の予後の検討
石井利英¹, 田中雄己¹, 中園紘子¹, 中農陽介¹, 坂地一朗¹, 吉川真由美¹, 吉田哲也¹, 井上和久¹, 瀬尾龍太郎³, 渥美生弘²(1. 神戸市立医療センター中央市民病院臨床工学技術部, 2. 神戸市立医療センター中央市民病院救急部, 3. 神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)
- O-13-3 生命維持管理装置における医療安全に関するシミュレーショントレーニング：アラーム管理訓練と危険予知訓練
中川富美子¹, 古川力丸², 池谷まゆ³, 木下浩作², 丹正勝久²(1. 日本大学医学部附属板橋病院臨床工学技士室, 2. 日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野, 3. 日本大学医学部附属板橋病院看護部)
- O-13-4 当院における遠心ポンプ式補助循環装置の選定
深谷隆史(独立行政法人国立国際医療研究センター病院臨床工学室)
- O-13-5 血液浄化装置のアラームが作動し体外式心肺補助装置の脱血不良と判断した1例
横川忠一(茨城県立こども病院臨床工学科)
- O-13-6 小児集中治療室における個人用透析装置を用いた One Stop 型 CHD 法によるコスト削減効果と労力軽減の検討
川田容子¹, 大橋牧人¹, 松本正太郎², 六車崇², 源規安¹(1. 国立成育医療研究センター病院 ME センター, 2. 国立成育医療研究センター病院集中治療科)

第 10 会場 グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール

13:20 ~ 14:10

優秀演題 看護部門 (NEX-1 ~ NEX-5)

座長 古賀雄二(山口大学医学部附属病院), 山口典子(長崎大学病院集中治療部)

- NEX-1 急性期領域における終末期ケアに関する看護師の役割認識と課題
石川幸司, 加瀬加寿美, 川端和美, 吉田亜子, 高岡勇子(北海道大学病院 ICU・救急部ナースセンター)
- NEX-2 体内留置器具予定外抜管インシデント発生減少に対する一考察 ~ 行動制限基準と看護師の意識変化 ~
石橋真由子, 内藤秋美, 池田華子, 大橋正悟(東京警察病院看護部集中治療センター)
- NEX-3 重症患者家族への CNS-FACE 家族アセスメントツールに基づく看護実践方法の検討
小島広宣¹, 大槻勇真¹, 工藤優¹, 土肥千秋¹, 鎌倉美穂²(1. 東北大学病院看護部, 2. 宮城大学看護学部)
- Ⓢ NEX-4 BIS モニターを用いた鎮静評価に BPS による鎮痛評価を交えた一考察
永谷憲司¹, 水谷由香里¹, 山内ゆり¹, 丹羽和哉²(1. 名古屋掖済会病院集中治療室, 2. 名古屋掖済会病院麻酔科)
- Ⓢ NEX-5 Functional Independence Measure (FIM) による脳出血部位別のリハビリテーション (RT) 前後の機能改善比較
井好昭博, 池田沙穂, 山本直美, 永迫望, 西橋富美江(潤和会記念病院看護部)

第 3 日目 (3 月 1 日)

第 9 会場 国立京都国際会館 1F Room C-2

9:00 ~ 10:00

口演 14 研修医・学生 敗血症・感染症例 (O-14-1 ~ O-14-6)

座長 齋藤憲輝(鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部)

- O-14-1 PMX-DHP + CHDF 併用療法の追加が救命と慢性期機能予後の回復にも貢献したと推定された劇症型 MSSA 肺炎症例
安藤卓也, 三浦英介, 木島幹博, 丸山幸夫(星総合病院循環器内科)
- O-14-2 アンチトロンビン製剤の bolus + 10 時間投与が有効であった敗血症性 DIC の一例
村尾淳司¹, 橋本賢吾², 加藤威³, 今宿康彦⁴, 山根哲信², 浜本徹², 田畑貴久², 辻田靖之², 田中俊宏³, 江口豊⁵(1. 滋賀医科大学医師臨床研究センター, 2. 滋賀医科大学救急・集中治療部, 3. 滋賀医科大学医学部皮膚科, 4. 滋賀医科大学医学部麻酔科, 5. 滋賀医科大学医学部救急集中治療医学講座)
- O-14-3 敗血症性ショックの経過中に重度の ICU-acquired weakness を発症した一例
岩元祐太¹, 金井尚之¹, 伊藤礼子¹, 栗田直¹, 松島常², 熊谷仁平², 村山慎一郎², 皆川大輔², 大崎雅央³(1. 東京警察病院救急科, 2. 東京警察病院泌尿器科, 3. 東京大学病院神経内科)
- O-14-4 消化管穿孔の管理中に末梢静脈カテーテル関連血流感染 (PVC-BSI) による敗血症を呈した1症例
斉藤智子¹, 長嶋史明², 斉木巖², 沖田綾乃², 浜田隆太², 富野美紀子², 岩瀬直人², 金澤裕子², 田上正², 内野博之²(1. 東京医科大学病院卒後研修センター, 2. 東京医科大学麻酔科学講座)
- O-14-5 経皮的尿路結石除去術中の腎損傷を契機に発症した敗血症性ショックに対し集学的治療を行い救命し得た1症例
横尾あずさ, 古賀寛教, 蔭亮, 安田則久, 日高正剛, 後藤孝治, 野口隆之(大分大学医学部麻酔科学講座)
- O-14-6 壊死性筋膜炎の 13 例の検討
十時崇彰¹, 三溝慎次², 塚原美佳²(1. 佐賀県医療センター好生館新臨床研修センター, 2. 佐賀県医療センター好生館集中治療部)

10:00～11:00

口演 15 研修医・学生 産科・感染症症例 (O-15-1～O-15-6)

座長 谷山 卓郎(社会保険診療報酬支払基金福岡支部)

- O-15-1 集中治療管理を要した妊産婦症例に関する検討
中尾真大, 山本章貴, 岩下義明, 川本英嗣, 鈴木圭, 石倉健, 畑田剛, 武田多一, 丸山一男, 今井寛(三重大学医学部附属病院救命救急センター)
- O-15-2 妊娠中の小脳出血に対し帝王切開と開頭血腫除去術を施行し良好な転帰を得た一例
山本慧, 近藤豊, 米丸裕樹, 花城和彦, 富加見昌隆, 玉城佑一郎, 久木田一朗(琉球大学医学部附属病院救急部)
- O-15-3 劇症分娩型A群溶連菌感染症の1例
二田水千里¹, 稲垣泰好², 川田大輔², 西浦猛², 丹保亜希仁², 小北直宏², 藤田智²(1.旭川医科大学卒後臨床研修センター, 2.旭川医科大学病院救命救急センター)
- O-15-4 溶血性貧血を伴ったガス産生性肝膿瘍の一例
岡田菜実(国保直営総合病院君津中央病院)
- O-15-5 脳室腹腔シャント留置下の腸管穿孔腹膜炎の一救命例
大道寺洋顕, 福田龍将, 中村謙介(日立総合病院救命救急センター救急集中治療部)
- O-15-6 徳島大学病院ICUにおける腎代替療法の導入時期と転帰
加藤秀太郎¹, 中野勇希¹, 近藤啓介¹, 奥田菜緒², 板垣大雅², 小野寺睦雄², 今中秀光², 西村匡司²(1.徳島大学医学部医学科, 2.徳島大学病院救急集中治療部)

11:00～11:50

口演 16 研修医・学生 症例 (O-16-1～O-16-5)

座長 横山正尚(高知大学医学部麻醉科学・集中治療医学講座)

- O-16-1 肺血栓塞栓症で外科的血栓除去により軽快した一例
石川愛, 戸部賢, 神山治郎, 柳澤晃広, 檜原創, 金本匡史, 麻生知寿, 高澤知規, 日野原宏, 国元文生(群馬大学医学部附属病院集中治療部)
- O-16-2 ステロイドパルス療法が著効した劇症型抗リン脂質抗体症候群の一例
西岡修平, 中島強, 柴田尚明, 川添友, 木田真紀, 島幸宏, 岩崎安博, 中尾大成, 加藤正哉(和歌山県立医科大学付属病院救急集中治療医学講座)
- O-16-3 意識レベル低下が遷延したPosterior reversible encephalopathy syndromeの一例
小椋史織¹, 成宮博理², 大瀬琢也², 出口雅子²(1.京都第二赤十字病院, 2.代謝・腎臓・リウマチ内科)
- O-16-4 急性心筋梗塞後に発症した非感染性急性呼吸窮迫症候群の1例
小林康磨, 丸山崇(砂川市立病院)
- O-16-5 心臓術後に発生した非閉塞性腸間膜虚血症(NOMI)の1例
田中宏和, 三上直宣, 水野史人, 野口康久, 小畑貴司, 森岡浩一, 川平洋一, 四方裕夫, 秋田利明(金沢医科大学心臓血管外科)

医師部門ポスター

第1日目(2月27日)

ポスター／機器展示会場 国立京都国際会館 1F イベントホール

10:00～10:50

一般演題 ポスター1 多臓器不全・敗血症① (DP-1-1～DP-1-5)

座長 畑典武(日本医科大学千葉北総病院集中治療部)

- DP-1-1 敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法で血行動態が改善した症例の後向き検討
吉田真一郎¹, 千原伸也², 今泉均³, 升田好樹³, 巽博臣³, 高橋科那子³, 後藤京子³, 七戸康夫¹, 山藤道明⁴(1.国立病院機構北海道医療センター救急科, 2.札幌医科大学附属病院臨床工学部, 3.札幌医科大学医学部集中治療医学, 4.札幌医科大学医学部麻酔科学講座)
- DP-1-2 敗血症性ショックにおける長時間連続PMX-DHPの有効性
倭正也(りんくう総合医療センター総合内科)
- DP-1-3 グラム陰性桿菌感染症に起因する敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法の有効性
齋藤伸行¹, 杉山和宏², 真弓俊彦³, 我妻ゆき子⁴(1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2.東京都立墨東病院救命救急センター, 3.産業医科大学救急医学講座, 4.筑波大学臨床試験・臨床疫学研究室)
- DP-1-4 EVAHEART植込み術後に発症した敗血症に早期のエンドトキシン吸着療法が有効だった一例
幾世橋美由紀¹, 福島聡一郎¹, 工藤倫之⁴, 富加見昌隆³, 測上竜也¹, 照屋孝二², 垣花学¹, 須加原一博²(1.琉球大学医学部附属病院集中治療部, 2.琉球大学医学部附属病院麻酔科, 3.琉球大学医学部附属病院救急部, 4.弘前大学医学部附属病院麻酔科)
- DP-1-5 EAA(Endotoxin Activity Assay)を測定した敗血症患者の検討
牟田裕美¹, 蔵元直也¹, 岩倉雅佳¹, 佐潟芳久¹, 谷口賢二郎¹, 垣花泰之²(1.鹿児島大学病院臨床技術部臨床工学部門, 2.鹿児島大学病院救急集中治療部)

10:50～11:40

一般演題 ポスター2 多臓器不全・敗血症② (DP-2-1～DP-2-5)

座長 江口豊(滋賀医科大学救急集中治療医学講座)

- DP-2-1 6年間に当院でPMX-DHPを施行した敗血症96例の検討
小田和正, 市川哲也, 岡田遥平, 荒井裕介, 榊原謙, 石井亘, 檜垣聡, 飯塚亮二, 北村誠(京都第二赤十字病院救命救急センター)
- DP-2-2 PMX-DHP施行症例の予後予測の試み
松隈聰¹, 坂本和彦¹, 西山光郎¹, 平賀健一², 鴛渕るみ³, 松田憲昌³, 松本聡³, 若松弘也³, 松本美志也³, 岡正朗¹(1.山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学, 2.山口大学医学部附属病院ME機器管理センター, 3.山口大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-2-3 PMX-DHPの長時間使用および複数回使用の有効性についての検討
八幡真由子¹, 平原健司¹, 阪本雄一郎²(1.唐津赤十字病院救急科, 2.佐賀大学医学部救急医学講座)
- DP-2-4 長時間PMX-DHPの最適な施行時間とは?
島谷竜俊¹, 安達普至¹, 中塚昭男², 出雲明彦², 白元典子¹, 吉本広平¹, 鮎川勝彦²(1.飯塚病院集中治療部, 2.飯塚病院救命救急センター)
- DP-2-5 PMXは敗血症性ショック患者の昇圧効果・肺酸化改善に寄与する
木下秀則¹, 本田博之³, 大橋さとみ², 本多忠幸², 遠藤裕²(1.新潟県立新発田病院救急科, 2.新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター, 3.新潟大学医歯学総合病院集中治療部)

15:20～16:00

一般演題 ポスター3 多臓器不全・敗血症③ (DP-3-1～DP-3-4)

座長 今泉均(札幌医科大学集中治療医学)

- DP-3-1 急性肝障害を合併した敗血症患者に対するcontinuous plasma diafiltrationの有効性
谷口巧, 永田庸二, 山本剛史, 小村卓也, 藤田崇志, 越田嘉尚, 野田透, 岡島正樹(金沢大学附属病院集中治療部)
- DP-3-2 エンドトキシン吸着療法が有用であった胆嚢炎による高齢者敗血症性ショックの2例
久場良也, 釜野武志, 奥間陽子(社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院麻酔科)
- DP-3-3 心臓血管外科術後合併症に対するエンドトキシン吸着療法(PMX-DHP)の使用経験とその検討
古根川靖¹, 尾田達哉¹, 湊谷謙二¹, 松田均¹, 佐々木啓明¹, 田中裕史¹, 伊庭裕¹, 小林順二郎¹, 吉原史樹², 中村敏子²(1.国立循環器病研究センター心臓血管外科, 2.国立循環器病研究センター高血圧・腎臓科)
- DP-3-4 敗血症性ショックに対するPMX-DHPとリコモジュリンの併用効果
豊田幸樹年, 折田智彦, 飯田千絵, 中道嘉, 廣江成政, 佐藤智洋, 松本松圭, 北野光秀(済生会横浜市東部病院救命救急センター)

16:00～16:50

一般演題 ポスター 4 心肺蘇生・蘇生後 ICU 管理 ① (DP-4-1～DP-4-5)

座長 古谷良輔(国立病院機構横浜医療センター救急科)

- DP-4-1 心拍再開後の Alberta Stroke Program Early CT Score (ASPECTS) と神経学的予後
師岡誉也, 森本健, 濱中裕子, 重光胤明, 石川順一, 福家顕宏, 有元秀樹, 宮市功典, 林下浩士, 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター救命救急センター)
- DP-4-2 Long-Latency SEP(N70) は PCAS の神経学的予後を予測出来る
中村光伸¹, 中野実¹, 高橋栄治¹, 宮崎大¹, 町田浩志¹, 鈴木裕之¹, 藤塚健次¹, 菊谷祥博¹, 小倉崇以¹, 金井洋之²(1. 前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, 2. 前橋赤十字病院検査部)
- DP-4-3 神経学的予後良好例に潜む高次脳機能障害
江田陽一(福岡徳洲会病院救急・集中治療センター)
- DP-4-4 CT による心肺停止症例の神経学的予後評価: 当院の自験例に於ける検討
江嶋正志¹, 波多野俊之¹, 足立裕史², 海野仁¹, 大林正和¹, 東倫子¹, 高谷悠大¹, 沼口敦¹, 角三和子¹, 松田直之¹(1. 名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野, 2. 名古屋大学医学部附属病院救急部)
- DP-4-5 成人心原性院外心肺停止症例の神経学的転帰に関する検討
波多野有美¹, 徳田賢太郎², 藤村直幸¹, 藤吉哲宏², 賀来典之¹, 藤崎毅一郎¹, 野田英一郎¹, 漢那朝雄³, 赤星朋比古³, 杉森宏¹(1. 九州大学病院救命救急センター, 2. 九州大学病院集中治療部, 3. 九州大学大学院医学研究院災害・救急医学講座)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 5 中枢神経・脊髄・末梢神経 ① (DP-5-1～DP-5-6)

座長 齋藤繁(群馬大学)

- DP-5-1 脳底動脈解離による脳梗塞後、Paroxysmal sympathetic hyperactivity を呈した一症例
岡雅行, 藤本智子, 川上真樹子, 後藤拓也, 杉江亮, 筈井寛, 小畑仁司, 大石泰男, 秋元寛(大阪府三島救命救急センター)
- DP-5-2 診断に難渋した脳外科術後肺水腫症例
椿康輔¹, 井上聡己², 恵川淳二², 野村泰充², 西和田忠¹, 川口昌彦¹(1. 奈良県立医科大学医学部麻酔科, 2. 奈良県立医科大学麻酔科集中治療部)
- DP-5-3 脳塞栓との関連が疑われた難治性心室頻拍の1例
竹内庸浩, 高田昌紀(川崎病院循環器内科)
- DP-5-4 Bacillus cereus 髄膜炎から水頭症となり、徐脈発作を来した一例
甲斐沼篤¹, 美馬裕之¹, 阿河祐二², 植田浩司¹, 宮脇都子¹, 山崎和夫¹(1. 神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 2. 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科)
- DP-5-5 脚性幻視を呈した胚細胞腫の2例
喜多大輔¹, 林康彦², 佐野宏樹³, 濱田潤一郎², 谷口巧¹(1. 金沢大学附属病院集中治療部, 2. 金沢大学附属病院脳神経外科, 3. 金沢市立病院脳神経外科)
- DP-5-6 フラクレット TM を用いた集中治療の患者における自律神経系活性の評価の試み
間藤卓¹, 松枝英世², 土屋守克³, 中田一之¹, 山口充¹, 大瀧聡史¹, 堤晴彦¹(1. 埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター, 2. 埼玉医科大学総合医療センター救急科, 3. 埼玉医科大学総合医療センター看護部)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 6 中枢神経・脊髄・末梢神経 ② (DP-6-1～DP-6-6)

座長 澤村淳(北海道大学大学院侵襲制御医学講座救急医学分野)

- DP-6-1 デクスメトミジンが heart rate variability で評価した自律神経バランスに及ぼす影響
鈴木博人¹, 松浦優¹, 渡辺具史¹, 小野寺悠², 鈴木麻奈美¹, 大滝恵¹, 松下佐智子¹, 岡田真行¹, 中根正樹², 川前金幸¹(1. 山形大学附属病院麻酔科, 2. 山形大学附属病院集中治療部)
- DP-6-2 Rituximab の投与を行った難治性の小児重症筋無力症の1例
南浩太郎¹, 二階哲朗¹, 串崎浩行², 三原亨², 太田淳一², 庄野敦子², 齊藤洋司¹(1. 島根大学医学部附属病院麻酔科, 2. 島根大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-6-3 リバロキサバン内服中に発症し、再出血を来した脳出血の一例: PT-INR 値測定に関するピットフォール
井上泰豪, 則尾弘文(済生会福岡総合病院救命救急センター)
- DP-6-4 脳神経外科領域におけるヒト心房ナトリウム利尿ペプチド(hANP)の有効性
金山政作¹, 新井晋太郎¹, 原貴行¹(虎の門病院脳神経外科)
- DP-6-5 脳出血急性期の血圧管理の検討
山田哲久¹, 名取良弘², 中塚昭男¹(1. 飯塚病院救急部, 2. 飯塚病院脳神経外科)
- DP-6-6 急性大動脈解離と急性脳梗塞の鑑別に FDP は有用か? 急性大動脈解離と急性脳梗塞症例の比較検討
二瓶俊一¹, 荒井秀明¹, 遠藤武尊¹, 金澤綾子¹, 長田圭司¹, 伊佐泰樹¹, 中村元洋², 原山信也¹, 相原啓二¹, 蒲地正幸¹(1. 産業医科大学病院集中治療部, 2. 産業医科大学麻酔科学)

15:20～16:10

一般演題 ポスター 7 中枢神経・脊髄・末梢神経 ③ (DP-7-1～DP-7-5)

座長 寺尾嘉彰(長崎労災病院救急集中治療部)

- DP-7-1 硬膜外血腫との鑑別に苦慮した前脊髄動脈梗塞による下肢運動麻痺をきたした1症例
日向俊輔¹, 平林高暢¹, 田中秀典¹, 土橋哲也¹, 河野哲也², 池野重雄¹(1.諏訪赤十字病院麻酔科, 2.諏訪赤十字病院心臓血管外科)
- DP-7-2 当院における脊髄損傷5例の検討
村田哲哉¹, 鈴木秀一¹, 関幸雄², 高橋立夫³(1.名古屋医療センター集中治療科, 2.名古屋医療センター外科, 3.名古屋医療センター脳神経外科)
- DP-7-3 両側大臼歯にまたがる義歯誤飲による食道穿孔の一例
牟田晃洋, 蒲原英伸, 鷺島克之, 新森大祐, 田代貴大, 篠原正徳, 木下順弘(熊本大学医学部附属病院)
- DP-7-4 自傷による腹部刺創で搬送され、その後の精査にて脳髄膜腫が判明した1例
佐倉孝信, 西迫良, 鍋島正慶, 後藤祐也, 立石浩二, 横山健, 片山勝之(手稲溪仁会病院麻酔科集中治療室)
- DP-7-5 重症外傷に合併した脊髄損傷の検討
石井圭亮(大分大学)

16:10～17:00

一般演題 ポスター 8 中枢神経・脊髄・末梢神経 ④ (DP-8-1～DP-8-5)

座長 本多満(東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)

- DP-8-1 術前に脊髄ドレーナージチューブを留置した胸部下行大動脈置換術直後に髄膜炎と脳梗塞を併発した一例
鈴木克尚, 貝沼関志, 長谷川和子, 平井昂宏, 長柄佑輝, 萩原伸昭, 青山正, 市川崇, 鈴木章悟, 西脇公俊(名古屋大学医学部麻酔科)
- DP-8-2 食道がん手術後に発生した免疫介在性ニューロパチーの1症例
桐林真澄¹(鳥取赤十字病院麻酔科)
- DP-8-3 長管骨折後に意識障害を発症した脳脂肪塞栓症の一例
中山雄二郎, 中嶋いくえ, 大塚洋平, 牧誉将, 具嶋泰弘, 前原潤一(済生会熊本病院救急総合診療センター)
- DP-8-4 虫垂炎による穿孔性腹膜炎術後発症の横紋筋融解症に続きICU-AWが発生した一例
西櫻量¹, 竹田晋浩¹, 藤本彩子¹, 木村茉莉子¹, 杉田慎二¹, 小林克也¹, 田中啓治¹, 坂本篤裕²(1.日本医科大学付属病院集中治療室, 2.日本医科大学麻酔科学教室)
- DP-8-5 バソプレシン(vasopressin:VP)を用いて管理した尿崩症合併重症急性腎炎の1例
吉田司¹, 鈴木麻里絵², 君塚基修³, 君島知彦³, 辻口直紀³, 山藤道明²(1.帯広厚生病院麻酔科, 2.札幌医科大学医学部麻酔科学講座, 3.市立函館病院麻酔科)

10:00～10:50

一般演題 ポスター 9 心臓・循環・体液管理 ① (DP-9-1～DP-9-5)

座長 澤野宏隆(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

- DP-9-1 救命救急センターにおけるPCPS使用例の検討
佐々木純¹, 岩崎拓也¹, 佐藤督忠², 林宗貴¹(1.昭和大学藤が丘病院救命救急センター, 2.昭和大学藤が丘病院循環器内科)
- DP-9-2 小児症例に対し、集中治療室で人工心肺を使用した経験の検討
中山雅人(豊橋市民病院集中治療センター)
- DP-9-3 虚血性心不全のVTstormに対してPCPSが有効であった1症例
森敬善, 倉田征昭, 水上拓也, 佐藤千聡, 南雲さくら, 久野越史, 前田敦雄, 若林公平, 佐藤督忠, 鈴木洋(昭和大学藤が丘病院循環器内科)
- DP-9-4 Stuck valveのため手術準備中、ICUでPCPSを緊急導入したのち、大動脈弁再置換術re-AVRを行った1症例
加藤規子¹, 後藤紘葉¹, 伊東遼平¹, 菅原昭憲¹, 高須昭彦¹, 横山幸房²(1.大垣市民病院麻酔科, 2.大垣市民病院胸部外科)
- DP-9-5 肺高血圧症からの右心不全による心肺停止に対して経皮的な心肺補助(PCPS)及び一酸化窒素(NO)を使用した一例
園生智弘, 浅田敏文, 比留間孝広, 土井研人, 中島勸, 矢作直樹(東京大学医学部附属病院救急集中治療部)

10:50～11:40

一般演題 ポスター 10 心臓・循環・体液管理 ② (DP-10-1～DP-10-5)

座長 山下幸一(高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)

- DP-10-1 院外心肺停止症例に対するECMOとIABPに関する現状調査
神戸将彦, 青木誠, 萩原周一, 大嶋清宏, 小笠原智子, 田原良雄, 長尾健, 矢口有乃, 森村尚登(SOSKANTO 2012 Study Group)
- DP-10-2 急性心筋梗塞により心肺停止をきたした患者に対するPCPS、IABPの予後に対する有用性
佐藤督忠, 前田敦雄, 森敬善, 久野越史, 若林公平, 鈴木洋(昭和大学藤が丘病院循環器内科)
- DP-10-3 上肢からのIABPの使用経験-下肢挿入用との比較検討-
畠久美子¹, 舩元章浩²(1.社会医療法人大成会福岡記念病院医療技術部臨床工学室, 2.社会医療法人大成会福岡記念病院循環器内科)

DP-10-4 大動脈バルーンパンピング中の腹部エコーによる腸管血流速度の評価：5症例の検討

山口怜，戸高貴文，玉城正弘（豊見城中央病院）

DP-10-5 重症拡張型心筋症患者の汎発性腹膜炎手術においてIABPを使用した1症例

立花俊祐，鈴木那央，君塚基修，君島知彦，辻口直紀（市立函館病院麻酔科）

15：20～16：20

一般演題 ポスター 11 心臓・循環・体液管理 ③（DP-11-1～DP-11-6）

座長 原口剛（東京医科歯科大学集中治療部）

DP-11-1 成人スティル病が原因と考えられる急性心筋炎に対してステロイド加療により良好な治療経過をたどった1例

山添正博，水野篤，浅野拓，西裕太郎，丹羽公一郎（聖路加国際病院心血管センター循環器内科）

DP-11-2 当院ICUへ入室を必要とした心筋炎についての検討

越田嘉尚，岡島正樹，山口由美，永田庸二，山本剛史，遠山直史，小村卓也，藤田崇志，野田透，谷口巧（金沢大学病院集中治療部）

DP-11-3 迅速なPCPS挿入により救命できたCytomegalovirus感染に伴う急性心筋炎の一例

桑原政成，森谷学，富田康弘，石村理英子，児玉隆秀，藤本陽，三谷治夫，石綿清雄，大野実（虎の門病院循環器センター内科）

DP-11-4 短期間に二度の回路交換を要した劇症型心筋炎の一例

細川雄亮¹，山本剛¹，澁谷淳介¹，北村光信¹，宮地秀樹¹，小林克也¹，坪宏一¹，竹田晋浩¹，清水渉²，田中啓治¹
（1.日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科，2.日本医科大学付属病院循環器内科）

DP-11-5 左心室補助装置と右心室補助装置-膜型人工肺を導入し、集学的治療により救命し得た、劇症型心筋炎の一症例

照屋孝二，北野紅美子，幾世橋美由紀，呉屋太章，久保田陽秋，瀧上竜也，垣花学，須加原一博（琉球大学医学部附属病院麻酔科集中治療部）

DP-11-6 感染性心内膜炎に対して弁置換術後たこつぼ型心筋症によりショックとなりIABP,PCPSを用いて救命し得た一例

安水大介，山中山一朗，仁科健，金光尚樹，廣瀬圭一，水野明宏，中塚大介，堀裕貴，矢田匡（天理よろづ相談所病院心臓血管外科）

16：20～17：20

一般演題 ポスター 12 心臓・循環・体液管理 ④（DP-12-1～DP-12-6）

座長 恒吉勇男（宮崎大学医学部麻酔生体管理学）

DP-12-1 プロタミン投与後にアナフィラキシーショックを呈した一例

荒川真有子，矢田部智昭，田村貴彦，五十嵐想，山下幸一，横山正尚（高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

DP-12-2 薬剤アレルギーによる冠攣縮性狭心症（Kounis症候群）を周術期に発症した1例

高潮征爾（熊本大学医学部循環器内科）

DP-12-3 心原性ショック患者への集中治療と転帰

兼坂茂¹，大屋聖郎¹，西澤英雄²，菅原陽²，七尾大観²，木村康宏²，加藤健一³，柚本和彦³，黒崎健司³，古川浩⁴
（1.横浜労災病院救命救急センター，2.横浜労災病院集中治療室，3.横浜労災病院循環器内科，4.横浜労災病院心臓血管外科）

DP-12-4 肺動脈カテーテル挿入による内頸静脈血栓に起因した肺塞栓症の1例

安元浩¹，天願俊穂¹，依光たみ枝²，伊敷聖子³，村上隆啓⁴（1.沖縄県立中部病院心臓血管外科，2.沖縄県立八重山病院，3.沖縄県立中部病院麻酔科，4.沖縄県立中部病院外科）

DP-12-5 肺血栓塞栓症による心停止を蘇生し良好な予後を得た一症例

内倉淑男¹，内山宗人¹，古見健一¹，橋田要一¹，佐川雄一郎²，高橋敦²（1.国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院救急科，2.国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院循環器内科）

DP-12-6 当院における急性肺血栓塞栓症50例の臨床的検討

塚原美佳¹，十時崇彰²，三溝慎次¹（1.地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館集中治療部，2.地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館臨床研修医）

10：00～10：50

一般演題 ポスター 13 心臓・循環・体液管理 ⑤（DP-13-1～DP-13-5）

座長 石川康朗（千葉労災病院循環器内科）

DP-13-1 上気道閉塞を契機にたこつぼ心筋症を発症したと考えられる1例

大塚智久¹，新井正康¹，鈴木優太郎¹，伊藤壮平¹，石井沙耶香²，稲垣泰斗²，服部潤²，黒岩政之¹，岡本浩嗣¹，北原孝雄¹（1.北里大学医学部麻酔科学，2.北里大学医学部救命救急医学）

DP-13-2 鰻が原因となったヒスタミン中毒にたこつぼ心筋症を合併し体外循環補助装置を用いて救命し得た1例

久野越史，佐藤督忠，前田敦雄，森敬善，若林公平，鈴木洋（昭和大学藤が丘病院循環器内科）

DP-13-3 たこつぼ型心筋症に伴う可逆性の急性僧帽弁逆流症の1例

鈴木康之，西川裕喜，堀内大志郎，仙波和記，高崎康史（市立宇和島病院麻酔科）

DP-13-4 度重なる侵襲後にたこつぼ型心筋症所見を呈した脊髄損傷の一例

中出泰輔¹，中田一之²，間藤卓²，山口充²，大井秀則²，大瀧聡史²，中東威¹，西岡利彦¹，杉山聡²，堤晴彦²（1.埼玉医科大学総合医療センター心臓内科，2.埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

DP-13-5 甲状腺乳頭癌全摘出術施行後に逆たこつば型心筋症を来した一例

藤本彩子¹, 竹田晋浩¹, 西櫻量¹, 木村茉莉子¹, 杉田慎二¹, 小林克也¹, 田中啓治¹, 坂本篤裕²(1.日本医科大学付属病院集中治療室, 2.日本医科大学麻酔科学教室)

10:50～11:40

一般演題 ポスター 14 心臓・循環・体液管理 ⑥ (DP-14-1～DP-14-5)

座長 三嶋正芳(河内総合病院)

DP-14-1 心室中隔穿孔を合併したたこつば型心筋症の一例

相川忠夫(市立釧路総合病院心臓血管内科)

DP-14-2 β 遮断薬が著効した蛸壺型心筋症の一例

井澤真代¹, 西村匡司¹, 古川明日香², 小原章敏³(1.徳島大学病院救急集中治療部, 2.市立堺病院循環器内科, 3.市立堺病院集中治療科)

DP-14-3 ショックを伴うたこつば型心筋症に対するホスホジエステラーゼ III 阻害薬の有効性の検討

岡島マサキ, 井村紗江, 永田庸二, 山本剛史, 遠山直志, 小村卓也, 藤田崇志, 越田嘉尚, 野田透, 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)

⑥DP-14-4 救急患者におけるたこつば型心筋症の検討

今村浩, 小澤正敬, 小林尊志, 高山浩史, 新田憲市, 岩下具美, 岡元和文(信州大学医学部救急集中治療医学)

DP-14-5 熱傷ショックにたこつば型心筋症を合併した高齢者熱傷の1例

岩崎泰昌, 宇根一暢, 太田浩平, 大下慎一郎, 稲川嵩紘, 大谷直嗣, 板井純治, 木田佳子, 廣橋伸之, 谷川攻一(広島大学救急医学)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 15 心臓・循環・体液管理 ⑦ (DP-15-1～DP-15-6)

座長 西田博(東京女子医科大学心臓血管外科)

DP-15-1 臓器虚血を合併した Stanford A 型急性大動脈解離に対する治療戦略

上杉英之, 高志賢太郎, 佐々利明, 大森一史, 村田英隆, 西上和宏, 中尾浩一, 平山統一(済生会熊本病院集中治療室)

DP-15-2 手術を施行しなかった A 型急性大動脈解離の3症例

坪宏一¹, 池田健¹, 川中秀和¹, 北村光信¹, 村田広茂¹, 宮地秀樹¹, 細川雄亮¹, 山本剛¹, 清水渉², 田中啓治¹(1.日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, 2.日本医科大学循環器内科)

DP-15-3 術後亜急性期に経皮的血管形成を行い腎機能が回復した大動脈解離の一例

横手淳¹, 横山幸房¹, 柚原悟史¹, 大河秀行¹, 小坂井基史¹, 玉木修治¹, 山口均²(1.大垣市民病院胸部外科, 2.大垣市民病院救命救急センター)

DP-15-4 術後に多発腸管壊死を来した腹部大動脈瘤手術の1例

鈴木英心, 吹浦邦幸, 藤田靖明, 安田邦光(豊橋医療センター麻酔科)

DP-15-5 感染性胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の検討

西島功, 上門あきの, 翁長朝浩, 親泊翔平, 前泊秀斗, 中野淳, 城間由加, 城間悠子, 仲地勝弘, 伊波潔(医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院集中治療部)

DP-15-6 胸部大動脈ステントグラフト内挿入術24例の周術期合併症の検討

伊敷聖子¹, 松岡慶太¹, 仲嶺洋介¹, 村上隆啓², 安元浩³, 天願俊徳³, 来田善彦⁴, 依光たみ枝⁵(1.沖縄県立中部病院麻酔科, 2.沖縄県立中部病院外科, 3.沖縄県立中部病院心臓血管外科, 4.沖縄県立中部病院内科, 5.沖縄県立八重山病院麻酔科)

16:20～17:30

一般演題 ポスター 16 心臓・循環・体液管理 ⑧ (DP-16-1～DP-16-7)

座長 山本剛(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科)

DP-16-1 腹部大動脈瘤(AAA)破裂後の上部消化管通過障害の検討

武田親宗, 美馬裕之, 東別府直紀, 川上大裕, 植田浩司, 瀬尾龍太郎, 下藺崇弘, 山崎和夫(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科集中治療部)

DP-16-2 限局性腹腔動脈解離に両腎動脈解離、腎梗塞を併発した症例

石見佳人¹, 舩元章浩¹, 城戸英希²(1.社会医療法人大成会福岡記念病院循環器内科, 2.社会医療法人大成会福岡記念病院外科)

DP-16-3 真腔狭小化による下肢虚血を認めた B 型急性大動脈解離に対し、axillo-femoral bypass で救肢・救命し得た1例

平山亮, 鈴木龍介, 渡辺俊明, 萩尾康司, 松川舞, 坂口健, 上木原健太(熊本赤十字病院心臓血管外科)

DP-16-4 Marfan 症候群に合併した大動脈解離の1症例

日下琢雅, 高谷悠大, 大林正和, 波多野俊之, 松島暁, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-16-5 偶然発見された極めて特異な形(doughnut-shaped)を呈した腹部大動脈瘤の1例

長田圭司¹, 遠藤武尊¹, 金澤綾子¹, 荒井秀明¹, 伊佐泰樹¹, 原山信也¹, 二瓶俊一¹, 相原啓二¹, 真弓俊彦², 蒲地正幸¹(1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学医学部救急医学講座)

DP-16-6 造影CTにて診断された左室側壁破裂の一例

藤原大輔, 渡邊宏樹, 浜崎幹久, 加藤之紀, 福井道彦, 小尾口邦彦(大津市民病院救急診療科)

DP-16-7 ICUで完結するoozing型心破裂の治療:心嚢内フィブリングルー注入療法(PFIT)を成功に導く工夫

前田武俊¹, 大塚敏之¹, 本田尚典², 瑞慶覧貴子¹, 大城康一¹(1.大浜第一病院心臓血管センター循環器内科, 2.大浜第一病院集中治療室)

10:00~10:50

一般演題 ポスター 17 心臓・循環・体液管理 ⑨ (DP-17-1~DP-17-5)

座長 石原弘規(黒石厚生病院麻酔科)

DP-17-1 致死性不整脈を合併した重症心不全に対し、連続動脈圧心拍出量測定下にトルバプタンを投与し奏効した1例

神山宜也, 竹内博樹, 柏戸桃子(JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院循環器内科)

DP-17-2 Tolvaptan投与におけるループ利尿剤の休薬—L-FABPと利尿耐性への影響について—

高木篤俊, 代田浩之, 宮内克己, 宮崎哲郎, 葛西隆敏(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科)

DP-17-3 Tolvaptan投与下にループ利尿剤を休薬し利尿耐性を改善しえた重症心不全の1症例

高木篤俊, 代田浩之, 宮内克己, 宮崎哲郎, 葛西隆敏(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科)

DP-17-4 重症心不全症例に対するトルバプタン使用経験から見てきた高Na血症の予測と早期発見

日浅謙一, 肥後太基, 砂川賢二(九州大学病院循環器内科)

DP-17-5 集中治療管理下での心臓周術期の体液貯留に対するトルバプタン(サムスカ)の使用経験

水野史人, 田中宏和, 三上直宣, 野口康久, 小畑貴司, 森岡浩一, 川平洋一, 四方裕夫, 秋田利明(金沢医科大学心臓血管外科)

10:50~11:50

一般演題 ポスター 18 心臓・循環・体液管理 ⑩ (DP-18-1~DP-18-6)

座長 小坂誠(昭和大学横浜市北部病院麻酔科集中治療部)

DP-18-1 開心術後急性期水分管理における水利尿薬トルバプタンの有用性

圓本剛司(橋本市市民病院心臓血管外科)

DP-18-2 ICU入室心臓血管外科術後心不全に対するTolvaptan投与の臨床経過の検討

酒井佳奈紀, 井口直也, 内山昭則, 藤野裕士(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DP-18-3 集中治療におけるトルバプタンの可能性

山口淑郎, 志水清和, 山本航, 辺奈理, 杉浦剛志, 谷口俊雄(一宮市立市民病院)

DP-18-4 ICUにおけるtolvaptan使用5症例の検討

勇内山瑠子¹, 柳田国夫², 室園美智博¹, 武田明子¹, 金子恒樹¹(1.東京医科大学茨城医療センター麻酔科, 2.東京医科大学茨城医療センター集中治療部)

DP-18-5 当院ICUにおいてトルバプタンを使用した乳幼児例の検討

上村友二, 宮津光範, 杉浦健之, 田村哲也, 播磨恵, 太田晴子, 竹内直子, 徐民恵, 幸村英文, 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理分野)

DP-18-6 術後患者における実測体重と体液バランスから推測される体重の比較

堀口佑¹, 竹内宗之¹, 滝本浩平², 山下智範¹, 文一恵¹, 津田雅世¹, 清水義之¹, 橘一也¹, 福光一夫³, 藤野裕士²
(1.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科, 2.大阪大学医学部附属病院集中治療部, 3.愛染橋病院麻酔科)

15:20~16:30

一般演題 ポスター 19 血液浄化 ① (DP-19-1~DP-19-7)

座長 坪敏仁(弘前大学医学部附属病院集中治療部)

DP-19-1 血中Na濃度異常を伴う症例に対するNa濃度調整透析液/補充液を用いたCHDF施行の実例

後藤京子¹, 巽博臣¹, 升田好樹¹, 千原伸也², 今泉均¹, 高橋科那子¹, 数馬聡¹, 野村和史¹, 中野皓太², 山田奨人²
(1.札幌医科大学医学部集中治療学, 2.札幌医科大学附属病院臨床工学部)

DP-19-2 腎臓超音波検査resistive index(RI)と血圧pulse pressure index(PI)の関係の検討

井口直也, 酒井佳奈紀, 内山昭則, 藤野裕士(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DP-19-3 高効率血液浄化療法は間歇的か持続的か?

坪内宏樹, 水落雄一郎, 三宅健太郎, 河野真人, 杉野貴彦, 中山綾子, 村松愛, 山田靖子(愛知厚生連海南病院集中治療部・救急部・麻酔科)

DP-19-4 ラット全身性炎症反応症候群モデルにおけるビタミンE固定化中空糸膜を使用した血液浄化療法の有効性検討

蔦亮¹, 古賀寛教¹, 日高正剛¹, 後藤孝治¹, 萩原聡¹, 野口隆之¹, 井上覚², 畑中美博²(1.大分大学医学部麻酔科学講座, 2.旭化成メディカル株式会社)

DP-19-5 PMMA (polymethyl methacrylate)ヘモフィルターの膜面積及び膜種の相違によるサイトカイン除去能の検討

山下千鶴¹, 加藤由布¹, 伊藤舞¹, 内山壮太¹, 河田耕太郎¹, 前田隆求¹, 福島美奈子¹, 山田晋吾², 宮庄拓³, 西田修¹
(1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 2.株式会社シノテスト研究開発部, 3.酪農学園大学獣医学化学)

- DP-19-6 大膜面積PMMA(polymethyl methacrylate)膜ヘモフィルタ「ヘモフィールCH-1.8W」の臨床使用経験
早川聖子¹, 山下千鶴¹, 秋山正慶¹, 野田昌宏¹, 前田隆求¹, 福島美奈子¹, 新美太祐¹, 加藤由布¹, 宮庄拓², 西田修¹
(1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 2.酪農学園大学獣医化学)
- DP-19-7 低温透析とonlineHDFの有用性—透析低血圧と慢性炎症に関する考察—
飯富貴之¹, 本多康人², 安岡やよい², 藤本枝里², 村上翼², 原真也², 廣田誠二², 島津友一², 山崎浩史², 西山謹吾²
(1.高知赤十字病院麻酔科, 2.高知赤十字病院救急部)

16:30～17:40

一般演題 ポスター 20 血液浄化 ② (DP-20-1～DP-20-7)

座長 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)

- DP-20-1 テイコプラニンの限外濾過膜吸着に影響を及ぼす因子に関する検討
入江利行¹, 萩原聡³, 道越淳一², 富田敏章¹, 萩原里実¹, 後藤孝治³, 畑中美博⁴, 井上覚⁴, 野口隆之³(1.小倉記念病院薬剤部, 2.小倉記念病院検査部工学課, 3.大分大学医学部麻酔科学講座, 4.旭化成メディカル株式会社医療製品開発本部医療材料研究所)
- DP-20-2 集中治療にて血液浄化を要した症例の検討
山本航, 志水清和, 迎奈理, 山口淑郎, 杉浦剛志, 谷口俊雄(一宮市立市民病院循環器内科)
- DP-20-3 当院ICUでの急性血液浄化療法(ABPT)の開始時期と予後についての検討
隅田英憲¹, 佐々木隆徳¹, 近藤紀子², 山本一郎², 伊在井淳子³, 松浦誠史⁴, 渡邊一也⁴(1.坂総合病院救急総合診療科, 2.坂総合病院麻酔科, 3.坂総合病院外科, 4.坂総合病院ICU)
- DP-20-4 集中治療領域における尿中L-FABP迅速簡易キット(Dip-Test)の有用性に関する検討
数馬聡, 升田好樹, 高橋科那子, 巽博臣, 後藤京子, 野村和史, 今泉均, 山蔭道明(札幌医科大学医学部集中治療医学)
- DP-20-5 血液透析によりタビガトランを除去した出血性胃潰瘍の一例
柏浦正広¹, 藤田浩², 小林未央子¹, 阿部裕之¹, 神尾学¹, 田邊孝大¹, 杉山和宏¹, 明石暁子¹, 濱邊祐一¹(1.東京都立墨東病院救命救急センター, 2.東京都立墨東病院輸血科)
- DP-20-6 肺出血を伴ったSLE急性増悪に対して二重濾過血漿交換療法が有効であった1例
谷口正彦, 長浜真澄, 越田智広, 奥那覇哲, 矢野武志, 押川満雄, 恒吉勇男(宮崎大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-20-7 血行再建術中から血液浄化を行った急性動脈閉塞の3症
田嶋実, 森脇克行, 栗田茂顕(独立行政法人国立病院機構呉医療センター麻酔科)

10:00～11:10

一般演題 ポスター 21 気道・呼吸・呼吸管理 ① (DP-21-1～DP-21-7)

座長 吉川修身(市立函館病院病局)

- DP-21-1 腹腔鏡下手術における機能的残気量は、吊り上げ式では増加する
植田裕史¹, 星拓男², 綾大介¹, 吉松文¹(1.茨城県立中央病院麻酔科, 2.筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センター麻酔科)
- DP-21-2 重症筋無力症患者の胸腺摘出術における術後人工呼吸管理の必要性に影響する因子の検討
船木一美¹, 南ゆかり², 坂本成司¹, 山崎和雅¹, 持田晋輔³, 原田知実³, 齋藤憲輝², 稲垣喜三³(1.鳥取大学医学部附属病院麻酔科, 2.鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部, 3.鳥取大学医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野)
- DP-21-3 高度肥満患者に対する腹腔鏡下胃切除術後急性期における酸素化能の推移
高橋完¹, 今宿康彦², 北川裕利², 山根哲信¹, 松波薫², 浜本徹¹, 辻田靖之¹, 田畑貴久³, 松村一弘³, 江口豊³(1.滋賀医科大学救急・集中治療部, 2.滋賀医科大学麻酔科, 3.滋賀医科大学救急・集中治療医学講座)
- DP-21-4 当院における心臓血管外科術後人工呼吸遷延症例に関する一考察
池崎弘之, 米谷聡, 木本真之, 金上浩(医療法人社団公仁会大和成和病院)
- DP-21-5 胸部大血管手術後の人工呼吸遷延に影響する因子の検討
山崎正記, 松山広樹, 平田学(京都第一赤十字病院麻酔科)
- DP-21-6 両肺移植後の換気応答の変化
亀山良亘¹, 星邦彦², 齋藤浩二², 吾妻俊弘¹, 山内正憲¹(1.東北大学病院麻酔科, 2.東北大学病院集中治療部)
- DP-21-7 心臓血管外科術後のSBTプロトコル導入における効果の検討
安健太, 田邊大明, 古谷光久, 加藤雄治, 外山雅章(亀田総合病院心臓血管外科)

11:10～12:00

一般演題 ポスター 22 気道・呼吸・呼吸管理 ② (DP-22-1～DP-22-5)

座長 玉井直(静岡県立静岡がんセンター)

- DP-22-1 マイクロアスピレーションに対する気管チューブカフ特性の検討
原山信也¹, 長田圭司¹, 伊佐泰樹¹, 金澤綾子¹, 遠藤武尊¹, 中村元洋², 荒井秀明¹, 二瓶俊一¹, 相原啓二¹, 蒲地正幸¹(1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学麻酔科)
- DP-22-2 新規自動カフ圧調整装置の開発～カフキーパー®の原理および特徴～
道越淳一¹, 萩原聡⁴, 丹生治司², 宮脇宏³, 瀬尾勝弘³, 後藤孝治⁴, 野口隆之⁴, 山本真⁵, 徳永修一⁶(1.大分大学大学院医学系研究科, 2.小倉記念病院検査技師部工学課, 3.小倉記念病院麻酔科・集中治療部, 4.大分大学麻酔科学講座, 5.大分協和病院, 6.徳永装置研究所)

DP-22-3 自動カフ圧調整装置の精度に関する検討

道越淳一¹, 萩原聡⁴, 丹生治司², 宮脇宏³, 瀬尾勝弘³, 後藤孝治⁴, 野口隆之⁴, 山本真⁵, 徳永修一⁶(1.大分大学大学院医学系研究科, 2.小倉記念病院検査技師部工学課, 3.小倉記念病院麻酔科・集中治療部, 4.大分大学麻酔科学講座, 5.大分協和病院, 6.徳永装機研究所)

DP-22-4 新規カフ圧計カフチェッカー[®]の考案から開発まで

道越淳一¹, 萩原聡⁴, 丹生治司², 宮脇宏³, 瀬尾勝弘³, 後藤孝治⁴, 野口隆之⁴, 山本真⁵, 徳永修一⁶(1.大分大学大学院医学系研究科, 2.小倉記念病院検査技師部工学課, 3.小倉記念病院麻酔科・集中治療部, 4.大分大学麻酔科学講座, 5.大分協和病院, 6.徳永装機研究所)

DP-22-5 高濃度酸素投与器具間での吸気酸素濃度の比較 高機能患者シミュレータを用いた研究

本保見, 森山潔, 金井理一郎, 小谷真理子, 山田達也, 萬知子(杏林大学医学部麻酔科学教室)

15:20~16:30

一般演題 ポスター 23 気道・呼吸・呼吸管理 ③ (DP-23-1 ~ DP-23-7)

座長 片山正夫(聖路加国際病院麻酔科・集中治療室)

DP-23-1 延髄梗塞による中枢型睡眠時無呼吸症候群を発症し人工呼吸器依存からの離脱に難渋した1例

山本豊(青森県立中央病院)

DP-23-2 ロクロニウムとデクスメトミジン持続投与にて管理した破傷風の1症例

服部淳一, 坂本正州, 鶴木果奈, 富永雅文, 原純, 大木浩(鹿児島県立大島病院)

DP-23-3 外傷性気胸受傷32時間後に肺炎球菌性敗血症により死亡した一症例

麻生将太郎¹, 大江恭司², 岡義人¹, 神田潤³, 伊坂晃¹, 伊藤史生¹, 糟谷美有紀¹, 伊良部徳次¹(1.総合病院国保旭中央病院救急救命科, 2.総合病院国保旭中央病院集中治療科, 3.昭和大学医学部救急医学講座)

DP-23-4 外傷を契機に発症した呼吸不全にPrader-willi症候群の関与が疑われた1例

上條泰, 森幸太郎, 秋田真代, 市川通太郎, 新川一樹, 三山浩, 小林尊志, 新田憲一, 岩下具美, 岡元和文(信州大学医学部附属病院救急集中治療医学講座)

DP-23-5 胸水に対する胸腔ドレーン抜去直後に著明な縦隔気腫を発症した1症例

古島夏奈, 倉迫敏明, 村上幸一, 西海智子, 上川竜生, 稲井舞夕子, 山岡正和, 仙田正博, 八井田豊, 松本睦子(姫路赤十字病院麻酔科)

DP-23-6 間質性肺炎の人工呼吸管理中に難治性肺癰を合併し救命しえなかった2例

原真也, 本多康人, 藤本枝里, 安岡やよい, 村上翼, 廣田誠二, 西森久美子, 島津友一, 山崎浩史, 西山謹吾(高知赤十字病院救命救急センター)

DP-23-7 喘息治療中のpermissive hypercapniaにより脳浮腫をきたした一例

山崎倫子, 荒木歩, 西山由希子, 飯島克博, 伊地智和子, 田中修(西神戸医療センター)

16:30~17:30

一般演題 ポスター 24 気道・呼吸・呼吸管理 ④ (DP-24-1 ~ DP-24-6)

座長 鈴木武志(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

DP-24-1 ケタミン-プロポフォールの有用性および合併症についての検討

大井康史, 佐藤公亮, 幸野真樹, 酒井拓磨, 西村祥一, 望月聡之, 宮崎弘志, 今泉純, 古谷良輔(国立病院機構横浜医療センター救命救急センター)

DP-24-2 救急処置におけるケタミンとプロポフォールの併用麻酔

福田賢一郎, 井手亮太, 川口絢子, 萩原祥弘, 神田潤, 三宅康史, 有賀徹(昭和大学医学部救急医学講座)

DP-24-3 人工呼吸管理下の重症循環器疾患に対する鎮静を中心とした管理の弊害

山根崇史¹, 高田弥寿子², 玉城雄也², 堀池聖子², 後藤誠志², 藤田有希代², 石元洋子², 上蘭恵子², 石原正治¹, 安田聡¹(1.国立循環器病研究センター心臓血管内科, 2.国立循環器病研究センター看護部)

DP-24-4 当院救急集中治療部における挿管管理中における無鎮静プロトコールの紹介

浅香葉子¹, 瀬尾龍太郎², 朱佑珍², 渥美生弘¹, 有吉孝一¹(1.神戸市立医療センター中央市民病院救急救命センター, 2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)

DP-24-5 当院ICUでの呼吸管理における鎮静・鎮痛薬投与と鎮静評価の現状

三木靖雄¹, 寺島嗣明¹, 岩倉賢也¹, 熊谷常康¹, 青木瑠里², 鉄慎一郎¹, 梶田裕加¹, 野口裕記¹, 竹内昭憲¹, 中川隆¹(1.愛知医科大学病院高度救命救急センター救命救急科, 2.愛知医科大学地域救急医療学寄附講座)

DP-24-6 成人の致死性喘息発作に対して吸入麻酔薬を使用し救命し得た一症例

山下幸貴¹, 隅專浩², 名越秀樹³, 涌水涼子¹, 岩切弘直², 恒吉勇男⁴(1.都城市郡医師会病院麻酔科, 2.都城市郡医師会病院循環器科, 3.都城市郡医師会病院救急科, 4.宮崎大学医学部附属病院麻酔科)

ポスター／機器展示会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール

10:00~11:00

一般演題 ポスター 25 気道・呼吸・呼吸管理 ⑤ (DP-25-1 ~ DP-25-6)

座長 小林孝史(大崎市民病院麻酔科)

DP-25-1 成人の重複大動脈弓に合併し、開心術後に発症した気管軟化症の一症例

濱田暁¹, 濱田奈保¹, 難波健利¹, 鬼頭英介¹, 徳丸さやか¹, 岡崎信樹¹, 岡本卓²(1.高知医療センター麻酔科, 2.高知医療センター呼吸器外科)

DP-25-2 特徴的な換気障害を呈した Excessive Dynamic Airway Collapse (EDAC) の4例

神宮司成弘¹, 植西憲達¹, 高本紘尚¹, 都築誠一郎¹, 小川広晃¹, 服部友紀², 加納秀記², 平川明彦³, 山中哲郎¹, 武山直志²(1. 藤田保健衛生大学医学部救急総合内科, 2. 藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座, 3. 藤田保健衛生大学病院災害・外傷外科)

DP-25-3 分離肺換気手術後、声門下浮腫を発生した5症例の検討

高橋菜々子¹, 工藤雅哉¹, 金内直樹², 豊島歩美¹, 狩野峻子¹, 成澤あゆ香¹, 小倉真由美¹, 吉岡成知¹, 濱田顕²(1. 日本海総合病院麻酔科, 2. 日本海総合病院呼吸器外科)

DP-25-4 Inhalation injury により著明な気道抵抗の上昇をきたした Reactive airways dysfunction syndrome の1例

徳山秀樹, 井上卓也, 小川裕(小牧市民病院救急科)

DP-25-5 長期または短期経喉頭の挿管における気道合併症の検討

清水雄¹, 萩谷圭一², 山崎裕一郎², 田中誠³, 水谷太郎³(1. 筑波大学附属病院麻酔科, 2. 筑波大学附属病院救急・集中治療部, 3. 筑波大学医学医療系)

DP-25-6 終末期食道癌患者の気管狭窄に対して ECMO 下に気管ステントを挿入した1例

北里淑子, 小佐々優子, 新山修平, 横溝泰司, 横溝美智子, 宮脇奈央, 伊藤明日香, 牛島一男(久留米大学病院麻酔科)

11:00 ~ 12:00

一般演題 ポスター 26 気道・呼吸・呼吸管理 ⑥ (DP-26-1 ~ DP-26-6)

座長 白石義人(藤枝市立総合病院)

DP-26-1 頭頸部感染症における緊急気管挿管症例の検討

林実, 佐藤仁信, 水野優美, 関久美子, 小柴真一, 田畑麻里, 藤林哲男, 我喜屋徹(福井県立病院麻酔科)

DP-26-2 急性喉頭蓋炎から進展した降下性縦隔炎の一例

三木豊和, 石田丈貴, 原悠也, 堀雅俊, 長田俊彦, 的井愛沙, 武東義成, 菊田正太, 宇佐美哲郎, 矢田憲孝(淀川キリスト教病院集中治療科)

DP-26-3 当院救命センターにおける急性喉頭蓋炎62例の臨床的検討

岡野雄一¹, 大木伸吾¹, 野田慶太¹, 岡野博史¹, 原富由香¹, 渡邊秀寿¹, 山家純一¹, 奥本克己¹, 桑原謙¹, 井清司²(1. 熊本赤十字病院救急科, 2. 熊本赤十字病院集中治療科)

DP-26-4 外科的気管切開後の気管内肉芽による狭窄に対し、気切カニューレ周囲へのステロイド軟膏塗布が著効した1例

伊藤文人, 橋本克彦, 石田時也(太田総合病院附属太田西ノ内病院救命救急センター)

DP-26-5 当院における喉頭浮腫対策としての抜管前ステロイド投与の現状分析

大崎友宏, 高田基志, 酢谷朋子, 垂石智重子, 上松友希, 三ツ本直弘, 鈴木照(総合大雄会病院麻酔科)

DP-26-6 成人の抜管後喉頭浮腫・再挿管に対するステロイド予防的投与の有効性: 系統的レビュー

栗山明¹, 馬越紀行², 二宮紘平², 内野隼材², 國永直樹¹, 福岡敏雄^{1,2}(1. 倉敷中央病院総合診療科, 2. 倉敷中央病院救急科)

15:20 ~ 16:20

一般演題 ポスター 27 気道・呼吸・呼吸管理 ⑦ (DP-27-1 ~ DP-27-6)

座長 高橋英夫(名古屋大学大学院医学系研究科救急集中治療医学講座)

DP-27-1 急性呼吸促進症候群に対して Airway pressure release ventilation による呼吸管理で救命しえた2例

松下誠人¹, 高橋保裕¹, 中村有希¹, 佐藤太亮¹, 清水渉²(1. 同愛記念病院循環器科, 2. 日本医科大学内科学(循環器内科学))

DP-27-2 severe ARDS に対する Airway Pressure Release Ventilation (APRV) の検討

小林誠人, 藤崎修, 中嶋麻里, 前山博輝, 松井大作, 番匠谷友紀, 原文祐, 池田光憲, 岡和幸, 永嶋太(公立豊岡病院但馬救命救急センター)

DP-27-3 PCPS 症例での APRV (Airway Pressure Release Ventilation) の適応と問題点

土屋洋之, 中村牧子, 砂川長彦(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター循環器科)

DP-27-4 重症急性呼吸不全に対する Rescue mode としての PC-IRV ~ 当院における13症例から~

方山真朱, 福田聡史, 宮崎裕也, 松元崇史, 寺田尚弘, 佐藤庸子, 小谷透, 尾崎眞(東京女子医科大学麻酔科・中央集中治療部)

DP-27-5 PEEP が自発呼吸管理に与える影響について

吉田健史¹, 内山昭則¹, 藤野裕士¹, Marcelo Amato²(1. 大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学講座, 2. サンパウロ大学医学部呼吸器内科)

DP-27-6 機能的残気量を指標にして人工呼吸から離脱した症例

重松研二, 岩下耕平, 三股亮介, 安部伸太郎, 富永健二, 廣田智美, 仁田原慶一(福岡大学医学部麻酔科学)

16:20 ~ 17:30

一般演題 ポスター 28 気道・呼吸・呼吸管理 ⑧ (DP-28-1 ~ DP-28-7)

座長 内山昭則(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DP-28-1 新しい呼吸器モード“NAVA”の使用経験

南野初香, 川崎達也, 三浦慎也, 宮本大輔, 松井亨, 宮卓也, 伊東雄介, 金沢貴保, 植田育也(静岡県立こども病院小児集中治療科)

- DP-28-2 Neurally Adjusted Ventilatory Assist (NAVA) が有効であった喘息重症発作患者の一症例
針馬日出美, 山田晋也, 上田真己, 小松崎崇, 長塚行雄, 岩室賢治, 村瀬玲子, 櫻井裕教, 鈴木武志, 森崎浩 (慶應義塾大学医学部麻酔学教室)
- DP-28-3 当院における Neurally adjusted ventilatory assist (NAVA) の使用経験
吉田健史, 小山有紀子, 柏庸三, 宇治満喜子, 滝本浩平, 平松大典, 井口直也, 太田典之, 内山昭則, 藤野裕士 (大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学講座)
- DP-28-4 開心術後に緑膿菌性肺炎、ARDS を発症した症例における NAVA 中の循環動態の変化
松山薫, 鷹取誠 (広島市民病院麻酔集中治療科)
- DP-28-5 完全 closed loop 機構を実現した Intellivent-ASV の使用経験
黒田美聡¹, 中村直久¹, 渡邊具史¹, 小野寺悠¹, 秋元亮¹, 小田真也¹, 松下佐智子¹, 岡田真行², 中根正樹², 川前金幸¹ (1. 山形大学医学部附属病院麻酔科, 2. 山形大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-28-6 心血管外科術後患者への適応補助換気 (ASV) モードを用いた人工呼吸管理における BMI の影響
富加見昌隆¹, 洲上竜也², 真玉橋由衣子³, 幾世橋美由紀³, 桃原志穂³, 照屋孝二³, 垣花学³, 須加原一博³ (1. 琉球大学医学部付属病院救急部, 2. 琉球大学医学部付属病院集中治療部, 3. 琉球大学医学部付属病院麻酔科)
- DP-28-7 ニューモシスチス肺炎患者 1 例における、非侵襲的 NAVA モードおよび PSV (S/T モード) の同調性に関する検討
吉田淳子, 吉田健史, 小山有紀子, 宇治満喜子, 柏庸三, 平松大典, 井口直也, 太田典之, 内山昭則, 藤野裕二 (大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学講座)

10:00 ~ 11:10

一般演題 ポスター 29 気道・呼吸・呼吸管理 ⑨ (DP-29-1 ~ DP-29-7)

座長 山口修 (横浜市立大学附属病院集中治療部)

- ⑨ DP-29-1 急性呼吸不全に対する非侵襲的人工呼吸療法: One year observational study
横山俊樹¹, 谷口博之¹, 近藤康博¹, 木村智樹¹, 片岡健介¹, 松田俊明¹, 寺町涼¹, 長谷川隆一² (1. 公立陶生病院呼吸器・アレルギー内科, 2. 公立陶生病院救急診療部)
- DP-29-2 COPD 患者における経鼻高流量酸素療法から気管挿管/NPPV に至った症例の検討
藤本大地¹, 森下淳¹, 出田真一郎², 三住拓智² (1. 神戸大学医学部附属病院麻酔科, 2. 神戸大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-29-3 挿管希望のない患者に対する NPPV 使用症例の検討
高場章宏, 吉田研一, 櫻谷正明, 河村夏生, 平田旭 (JA 広島総合病院救急・集中治療科)
- DP-29-4 重症肺炎における非侵襲的陽圧換気療法 NPPV の適応と限界
金井尚之¹, 栗田直¹, 伊藤礼子¹, 鳥山亜紀¹, 切田学² (1. 東京警察病院救急科, 2. 加古川西市民病院救急科)
- DP-29-5 2013 年における急性呼吸不全に対する非侵襲的陽圧換気の治療成績の解析
松島曉, 高谷悠大, 東倫子, 稲葉正人, 波多野俊之, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 松田直之 (名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)
- DP-29-6 抜管後呼吸不全の NPPV は、再挿管を防げない
新田憲市, 森幸太郎, 上條泰, 岩下具美, 今村浩, 岡元和文 (信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- DP-29-7 当院における急性心不全 (CS-1) 連続 81 例の検討: NPPV 管理の成否を中心に
入福浜由奈, 古川力丸, 伊原慎吾, 小松智英, 桑名司, 守谷俊, 木下浩作, 丹正勝久 (日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

11:10 ~ 12:10

一般演題 ポスター 30 気道・呼吸・呼吸管理 ⑩ (DP-30-1 ~ DP-30-6)

座長 柳下芳寛 (相生会にしくまもと病院)

- DP-30-1 気管支ブロッカーを用いて救命し得た大量咯血の 2 例
佐田蓉子¹, 子安聡子¹, 吉田浩輔², 志馬伸朗², 七野力¹ (1. 国立病院機構京都医療センター麻酔科, 2. 国立病院機構京都医療センター救命救急センター)
- DP-30-2 肺挫傷からの気道出血に対して可動性ブロッカー付気管内チューブを用いた選択的ブロックが奏効した一例
田中俊生¹, 宮本和幸², 川口絢子¹, 井手亮太¹, 神田潤¹, 萩原祥弘¹, 福田賢一郎¹, 田中幸太郎¹, 三宅康史¹, 有賀徹¹ (1. 昭和大学医学部救急医学講座, 2. 東京労災病院救急科)
- DP-30-3 肺出血患者の予後と呼吸終末陽圧に関する検討
矢野武志, 須江宣俊, 長浜真澄, 越田智広, 與那覇哲, 石山健次郎, 押川満雄, 谷口正彦, 長田直人, 恒吉勇男 (宮崎大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-30-4 頸部腫瘍が破たん、大量出血をきたし救命しえなかった神経線維腫の一症例
菅原昭憲¹, 後藤紘葉¹, 伊東遼平¹, 加藤規子¹, 高須昭彦¹, 横山幸房² (1. 大垣市民病院麻酔科, 2. 大垣市民病院胸部外科)
- DP-30-5 縦隔腫瘍摘出術後に肺水腫をきたし分離肺換気による術後管理を行った一例
萩原裕美, 橋本正博, 成松紀子 (熊本労災病院麻酔科)
- DP-30-6 当院の集中治療室における人工呼吸器関連肺炎の発生状況
吉澤城¹, 林田敬¹, 藤島清太郎², 多村知剛¹, 志賀光二郎¹, 上倉英恵¹, 鈴木武志³, 森崎浩³, 堀進悟¹ (1. 慶應義塾大学医学部救急医学教室, 2. 慶應義塾大学医学部総合診療教育センター, 3. 慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

15:20～16:30

一般演題 ポスター 31 気道・呼吸・呼吸管理 ⑪ (DP-31-1～DP-31-7)

座長 長野修(高知大学医学部災害・救急医療学講座)

- DP-31-1 重症筋無力症(MG)に対し継時的に横隔膜活動電位(EAdi)及び最大吸気圧(MIP)を用いて筋力を評価した1例
小山有紀子, 吉田健史, 内山昭則, 藤野裕士, 大田典之, 平松大典, 滝本浩平, 井口直也, 酒井佳奈紀, 榎谷祐亮
(大阪大学医学部付属病院集中治療部)
- DP-31-2 急性呼吸不全に対し横隔膜電気活動のモニタリングが有用であった一症例
藤村直幸, 徳田賢太郎, 野田英一郎, 漢那朝雄, 李守永, 賀来典之, 平田 悠一郎, 藤崎毅一郎, 赤星朋比古, 杉森宏
(九州大学病院救命救急センター)
- DP-31-3 開心術後の小児患者の心原性振動
今中秀光¹, 奥田菜緒², 中瀧恵実子², 板垣大雅², 小野寺睦雄², 西村匡司²(1.徳島大学病院ER・災害医療診療部, 2.徳島大学病院救急集中治療部)
- DP-31-4 人工呼吸離脱の方針決定に横隔膜エコーが有用であった2型急性呼吸不全の1例
宮崎裕也, 福田聡史, 方山真朱, 松元崇史, 佐藤庸子, 尾崎真, 小谷透(東京女子医科大学麻酔科学教室中央集中治療部)
- DP-31-5 肺水腫に対する肺エコーの有用性について
仲間康敏¹, 玉城正弘², 島袋泰³(1.豊見城中央病院ICU呼吸循環療法室, 2.豊見城中央病院循環器内科, 3.豊見城中央病院麻酔科)
- DP-31-6 重症患者における肺エコーを用いた肺病変の評価
高橋科那子, 升田好樹, 今泉均, 巽博臣, 数馬聡, 後藤京子, 野村和史(札幌医科大学医学部集中治療医学)
- DP-31-7 敗血症に伴う肺傷害の評価における肺超音波の有用性
植西憲達¹, 多和田哲郎¹, 都築誠一郎¹, 神宮司成弘¹, 宮部浩道², 服部友紀², 加納秀記², 平川昭彦³, 山中克郎¹, 武山直志²(1.藤田保健衛生大学病院救急総合内科, 2.藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座, 3.藤田保健衛生大学病院災害・外傷外科)

16:30～17:30

一般演題 ポスター 32 気道・呼吸・呼吸管理 ⑫ (DP-32-1～DP-32-6)

座長 円山啓司(市立秋田総合病院)

- DP-32-1 心臓血管外科手術後のモニタリング挿入21症例の検討
川上大裕, 植田浩, 下園崇宏, 美馬裕之, 山崎和夫(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)
- DP-32-2 輪状甲状間膜カニューレからの高流量酸素療法を行った症例の検討
鈴木慧太郎, 篠崎正博, 鍛冶有登, 栗原敦洋, 薬師寺泰匡, 伊藤嘉彦(岸和田徳洲会病院救命救急センター)
- DP-32-3 輪状甲状間膜からの高流量酸素投与が有効であった食道癌術後症例
宮脇宏¹, 瀬尾勝弘¹, 角本真一¹, 川島正章¹, 近藤香¹, 中島研²(1.小倉記念病院麻酔科・集中治療部, 2.小倉記念病院救急部)
- DP-32-4 経皮的気管切開患者の手術計画: 胸部CTを用いた解剖学的検討
畠山淳司, 武居哲洋, 伊藤敏孝, 奈良岳志, 長島道生, 藤澤美智子, 山田広之, 和智万由子, 平田晶子, 福島絃子
(横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター)
- DP-32-5 頸部手術直後の患者における経皮的気管切開法
小鹿恭太郎, 芹田良平, 大野真咲, 渡部恭大, 加藤崇央, 大内貴志, 小坂橋俊哉(東京歯科大学市川総合病院麻酔科)
- DP-32-6 筑波大学附属病院における経皮的気管切開術症例の検討
萩谷圭一, 宮頸, 山崎裕一郎, 下條信威, 西野衆文, 河野了, 水谷太郎(筑波大学医学医療系救急・集中治療部)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 33 気道・呼吸・呼吸管理 ⑬ (DP-33-1～DP-33-6)

座長 桑迫勇登(昭和大学藤が丘病院麻酔科)

- DP-33-1 多発外傷による重傷肺挫傷、ARDSに対してNO吸入療法により救命した1例
寺西智史¹, 森久剛¹, 久保谷靖子², 久保貞祐¹, 森田正人², 田淵昭彦¹, 八田誠²(1.愛知県厚生連安城更生病院救急科・救命救急センター, 2.愛知県厚生連安城更生病院麻酔科)
- DP-33-2 一酸化窒素(NO)吸入にて酸素化の改善をみた急性呼吸不全症候群(ARDS)の2症例
直海晃, 親松裕典, 中山雅人, 成田久仁夫(豊橋市民病院心臓血管・呼吸器外科)
- DP-33-3 人工呼吸器AVEAを用いて計測した死腔についての考察
紺野大輔¹, 星邦彦¹, 齋藤浩二¹, 亀山良亘¹, 金谷明浩¹, 山内正憲²(1.東北大学病院集中治療部, 2.東北大学病院麻酔科)
- DP-33-4 肺内外圧較差を指標としたPEEP設定の経験
山内英雄, 林久美子, 鶴川豊世武, 塚原紘平, 飯田敦義, 平山敬浩, 芝直基, 佐藤圭路, 市場晋吾, 氏家良人(岡山大学病院高度救命救急センター)
- DP-33-5 拘束性胸郭疾患に伴う高炭酸ガス血症に対しAVAPS(Average Volume Assured Pressure Support)が奏功した1例
長溝大輔(岩国市医療センター医師会病院麻酔科)

DP-33-6 気管チューブサイズがTube compensationの効果に及ぼす影響

松浦優¹, 八島望¹, 黒田美聡¹, 小野寺悠¹, 秋元亮¹, 横尾倫子¹, 松下佐智子¹, 岡田真行¹, 中根正樹², 川前金幸¹
(1.山形大学附属病院麻酔科, 2.山形大学付属病院集中治療部)

11:00~12:10

一般演題 ポスター 34 気道・呼吸・呼吸管理 ⑭ (DP-34-1~DP-34-7)

座長 矢作直樹(東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部)

DP-34-1 抜管前の体重増加は抜管失敗のリスクファクターとなり得るか

前澤翔太, 山内聡, 工藤大介, 久志本成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

DP-34-2 当センターにおける早期再挿管例の検討

坂田寛之, 山田太平, 尾迫貴章, 岡本彩那, 松田健一, 吉江範親, 上田敬博, 久保山一敏, 中尾篤典, 小谷穰治
(兵庫医科大学救急・災害医学講座)

DP-34-3 抜管後の嚥下障害がICU入室患者の予後に与える影響について

吉田達矢, 長谷川隆一, 川瀬正樹, 市原利彦, 中島義仁(公立陶生病院救急部)

DP-34-4 気管挿管が嚥下機能へ与える影響

一林亮¹, 鈴木銀河¹, 佐藤大輔¹, 坪田貴也¹, 伊東俊秀¹, 横室浩樹¹, 藤本慶子³, 関谷秀樹³, 吉原克則², 本多満¹
(1.東邦大学医療センター大森病院救命救急センター, 2.東邦大学医療センター大森病院救急・災害統括部, 3.東邦大学医療センター大森病院口腔外科)

DP-34-5 センサー内蔵挿管手技評価シミュレーターを用いた気管挿管経験数と手技(時間・後屈度・圧力)の比較

小山泰明¹, 後藤匡啓²(1.聖マリアンナ医科大学救急医学, 2.大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

DP-34-6 胸骨圧迫下での気管挿管における2種類のビデオ喉頭鏡の比較検討

小寺厚志¹, 入江弘基¹, 岩下晋輔¹, 谷口純一¹, 笠岡俊志¹, 木下順弘²(1.熊本大学医学部附属病院救急総合診療部, 2.熊本大学医学部附属病院集中治療部)

DP-34-7 McGrathとMacintosh喉頭鏡による気管挿管時刺激の比較検討

村山直充, 吉野淳, 藤村直幸, 財津昭憲(聖マリア病院麻酔科)

15:20~16:20

一般演題 ポスター 35 気道・呼吸・呼吸管理 ⑮ (DP-35-1~DP-35-6)

座長 久木田一朗(琉球大学大学院医学研究科救急医学講座)

DP-35-1 当院におけるECMO導入症例の検討

赤塚正幸, 山本修司, 大沼淳, 川岸俊也, 金忍, 木井菜摘, 大須田倫子, 吉田司, 内山結理, 一瀬廣道(帯広厚生病院麻酔科)

DP-35-2 Venovenous extracorporeal membrane oxygenation (V-V ECMO)で救命した小児RSウイルス肺炎の一例

服部憲幸, 織田成人, 渡邊栄三, 安部隆三, 大島拓, 大谷俊介, 砂原聡, 齋藤大輝, 林洋輔, 山地芳弘(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

DP-35-3 小児の重症呼吸不全に対してECMOを使用し、救命できた一症例

佐野美奈子¹, 大塚洋司¹, 多賀直行¹, 永野達也¹, 中村文人¹, 岩井英隆¹, 山崎彩¹, 青木智史¹, 竹内護²(1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術集中治療部, 2.自治医科大学病院麻酔科学・集中治療医学講座)

DP-35-4 呼吸器外科術後の重症呼吸不全に対してECMOを導入した2例について

有路登志紀¹, 神山治郎², 柳澤晃広², 橋原創², 金本匡史², 戸部賢², 日野原宏², 国元文生², 斎藤繁², 桑野博行¹
(1.群馬大学医学部大学院病態総合外科学, 2.群馬大学医学部附属病院集中治療部)

DP-35-5 当院における集学的医療チームによるECMO管理—ECMO治療により救命し得た1乳児例を通して—

金沢貴保, 伊藤雄介, 南野初香, 川崎達也, 植田育也(静岡県立こども病院小児集中治療科)

DP-35-6 小児における体外式膜型人工肺(ECMO)搬送に関する検討

秋山類¹, 齊藤修¹, 松島光², 吉田拓司³, 中山祐子¹, 今井一徳¹, 池山貴也¹, 水城直人¹, 新津健裕¹, 清水直樹¹
(1.東京都立小児総合医療センター救命集中治療部集中治療科, 2.東京都立小児総合医療センター看護部, 3.東京都立小児総合医療センター臨床工学技師)

16:20~17:30

一般演題 ポスター 36 気道・呼吸・呼吸管理 ⑯ (DP-36-1~DP-36-7)

座長 竹田晋浩(日本医科大学付属病院集中治療室)

DP-36-1 ECMOの導入により救命し得たPVL陽性MSSAによる重症肺炎・敗血症の一例

高橋梓¹, 藤崎宣友¹, 有馬孝博¹, 重松明香¹, 埜口千里³, 五十嶺伸二³, 武光美香子³, 後藤真理亜³, 六角由紀³, 境田康二¹(1.船橋市立医療センター救命救急センター, 2.兵庫医科大学救急・災害医学講座, 3.船橋市立医療センター麻酔科・集中治療科)

DP-36-2 PVL陽性MSSA感染によるTSSに対して循環補助を含めた集学的治療を行った一例

飯田千絵, 豊田幸樹年, 折田智彦, 佐藤智洋, 中道嘉, 廣江成政, 松本松圭, 北野光秀(済生会横浜市東部病院)

DP-36-3 来院後に心肺停止に陥った市中型MRSAによる重症軟部組織感染症の1例

白石振一郎¹, 塚本剛志², 小野真平², 宮内雅人², 大村真理子¹, 土佐亮一¹, 根井貴仁³, 野呂瀬嘉彦³, 横田裕行²
(1.会津中央病院救命救急センター, 2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 3.日本医科大学付属病院感染制御部)

- DP-36-4 重症肺炎球菌性肺炎による敗血症性ショック患者に対し経皮的心肺補助装置を導入し独歩退院した1例
岡和幸¹, 恵良有紀子², 井手善教¹, 中嶋麻里¹, 三浦龍馬¹, 前山博輝¹, 松井大作¹, 番匠谷友紀¹, 永嶋太¹, 小林誠人¹(1.公立豊岡病院但馬救命救急センター, 2.神戸赤十字病院内科)
- DP-36-5 臍胸による敗血症性ショックに対しVA ECMOを導入し救命し得た1例
小林未央子, 杉山和宏, 柏浦正広, 阿部裕之, 神尾学, 田邊孝大, 明石暁子, 濱邊祐一(東京都立墨東病院救命救急センター)
- DP-36-6 産褥期Toxic Shock Syndromeに対して経皮的心肺補助装置、血漿交換を用いて救命に至った1例
池田宜央¹, 澤田隆弘¹, 野村哲彦¹, 岡本浩², 坂平英樹², 伊勢由香里³, 宮本岳雄³, 西島光浩³, 渡海裕文⁴(1.兵庫県立淡路医療センター内科, 2.兵庫県立淡路医療センター救急科, 3.兵庫県立淡路医療センター産婦人科, 4.兵庫県立淡路医療センター麻酔科)
- DP-36-7 骨盤骨折後にMRSAによる誤嚥性肺炎・敗血症からARDSを併発し、膜型人工肺(ECMO)を用いて救命し得た1例
岡島祥憲¹, 島原由美子², 曾我部拓², 立野里織², 西村哲郎², 定光大海²(1.北九州市立八幡病院小児救急センター, 2.国立病院機構大阪医療センター救命救急センター)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 37 気道・呼吸・呼吸管理 ⑦ (DP-37-1～DP-37-6)

座長 清水敬樹(東京都立多摩総合医療センター救命救急センター)

- DP-37-1 肝不全、腎不全を合併した重症レジオネラ肺炎を救命し得た1症例
金本匡史, 神山治郎, 柳澤晃広, 橋原創, 久保和宏, 戸部賢, 日野原宏, 國元文生, 齋藤繁(群馬大学医学部附属病院麻酔科集中治療部)
- DP-37-2 VV-ECMO導入により救命し得たメンデルソン症候群の一例
原澤朋史¹, 中野実¹, 高橋栄治¹, 中村光伸¹, 宮崎大¹, 鈴木裕之¹, 雨宮優¹, 小倉崇以¹, 田原博貴², 横川友美³(1.前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, 2.前橋赤十字病院消化器内科, 3.前橋赤十字病院呼吸器内科)
- DP-37-3 本院での誤嚥性肺炎に対する本院の治療戦略—ECMO著効例の経験—
堺正仁(巨樹の会新武雄病院総合救急診療科)
- DP-37-4 抗がん薬によるアナフィラクトイド反応により呼吸不全を生じ、ECMOを使用した1症例
柳澤晃広¹, 門井雄司², 神山治郎¹, 橋原創¹, 金本匡史¹, 戸部賢¹, 高澤知規¹, 日野原宏¹, 國元文生¹, 齋藤繁¹(1.群馬大学医学部附属病院集中治療部, 2.群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)
- DP-37-5 Low-flow ECCO₂Rを導入したARDS 7症例の検討
近藤文博¹, 櫻谷正明², 吉田研一²(1.JA広島総合病院呼吸器内科, 2.JA広島総合病院救急・集中治療科)
- DP-37-6 V-A ECMOを用いて管理した皮膚筋炎に合併した急性呼吸不全の1例
澤田匡宏¹, 橋場英二², 大川浩文³, 坪敏仁², 廣田和美³(1.弘前大学医学部附属病院麻酔科, 2.弘前大学医学部附属病院集中治療部, 3.弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 38 気道・呼吸・呼吸管理 ⑧ (DP-38-1～DP-38-5)

座長 青景聡之(カリフォルニア大学付属病院ECMOセンター)

- DP-38-1 心臓手術中に発症した心原性肺水腫にECMOが著効した1例
木村茉莉子¹, 竹田晋浩¹, 藤本彩子¹, 西櫻量¹, 芝田匡史¹, 杉田慎二¹, 神戸将¹, 小林克也¹, 田中啓治¹, 坂本篤裕²(1.日本医科大学付属病院集中治療室, 2.日本医科大学麻酔科学講座)
- DP-38-2 ECMOの導入を要した輸血関連肺障害(TRALI)2症例の検討
数馬聡, 升田好樹, 巽博臣, 高橋科那子, 後藤京子, 野村和史, 今泉均, 山藤道明(札幌医科大学医学部集中治療医学)
- DP-38-3 重症胸部外傷に伴う低酸素血症に対しECMOにて救命できた1症例
魚住翠子, 神津成紀, 林田千代織, 前川奈々, 鍛良之, 和氣晃司, 松島久雄, 小野一之(獨協医科大学病院救命救急センター)
- DP-38-4 溺水に続発した急性呼吸窮迫症候群(ARDS)に対して体外式膜型人工肺(ECMO)を用いて救命しえた1例
大島和馬¹, 園生智弘¹, 比留間孝広¹, 安樂正樹², 軍神正隆¹, 中島勸¹, 中島淳², 矢作直樹¹(1.東京大学医学部附属病院救急集中治療部, 2.東京大学医学部附属病院呼吸器外科)
- DP-38-5 respiratory ECMO施行時の活性化凝固時間(activated clotting time)と出血性合併症の関係
早川桂, 佐藤啓太, 伊藤悠祐, 高橋希, 野間未知多, 早瀬直樹, 勅使河原勝伸, 五木田昌士, 田口茂正, 清田和也(さいたま赤十字病院救命救急センター救急医学科)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 39 消化器・腹腔内臓器 ① (DP-39-1～DP-39-6)

座長 溝端康光(大阪市立大学大学院医学研究科救急医学)

- DP-39-1 重症急性性肺炎に対する腸局所動注療法後に合併した劇症型Clostridium difficile感染症の2例
鯉沼俊貴¹, 布宮伸¹, 和田政彦¹, 小山寛介¹, 平幸輝², 阿野正樹³(1.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座麻酔科学部門, 3.自治医科大学救急医学)
- DP-39-2 重症急性性肺炎の急性期における肺血管外水分量と輸液の与える影響
藤崎毅一郎, 徳田賢太郎, 赤星朋比古, 藤村直幸, 杉森宏(九州大学病院救命救急センター)

DP-39-3 重症急性膵炎と大動脈解離が合併した一例

川崎智広, 竹村和紀(千葉西総合病院循環器内科)

DP-39-4 重症急性膵炎に対する局所膵動注療法についての多施設観察研究

堀部昌靖¹, 佐々木満仁², 讃井将満³(1. 東京都立多摩総合医療センター消化器内科, 2. 国立がん研究センター中央病院, 3. 自治医科大学附属さいたま医療センター)

DP-39-5 急性膵炎管理における敗血症性ショックと出血性ショックの1例

日下琢雅, 高谷悠大, 大林正和, 波多野俊之, 松島暁, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-39-6 感染性膵壊死に対する open necrosectomy —膿瘍壁消化管吻合—

鹿野敏雄¹, 相見有理²(1. 市立四日市病院外科, 2. 市立四日市病院脳神経外科)

16:20~17:20

一般演題 ポスター 40 消化器・腹腔内臓器 ② (DP-40-1 ~ DP-40-6)

座長 升田好樹(札幌医科大学医学部集中治療医学)

DP-40-1 重症型アルコール性肝炎にPMX-DHPを施行し救命した一例

中村和裕, 桑名司, 小豆畑丈夫, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

DP-40-2 名古屋大学救急・集中治療医学分野の急性肝不全の管理の動向

稲葉正人, 松島暁, 高谷悠大, 東倫子, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 高橋英夫, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-40-3 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術後13か月後に横隔膜ヘルニア・胸腔内腸管をきたした1症例

児玉昌子¹, 市場稔久², 鷹取誠¹(1. 広島市立広島市民病院麻酔・集中治療科, 2. 広島市立広島市民病院救急科)

DP-40-4 当院におけるHBV再活性化に伴う重症肝炎症例の検討

後藤祐也¹, 水野谷和之¹, 上村亮介¹, 石原聡¹, 西迫良¹, 立石浩二¹, 横山健¹, 片山勝之¹, 山崎大², 姜貞憲²(1. 手稲溪仁会病院麻酔科, 2. 手稲溪仁会病院消化器内科)

DP-40-5 急性肝不全患者に対するContinuous Plasma-Dia Filtrationの有用性および安全性

小村卓也, 遠山直志, 山本剛史, 藤田崇志, 越田嘉尚, 小林大祐, 喜多大輔, 野田透, 岡島正樹, 谷口巧(金沢大学病院集中治療部)

DP-40-6 移植肝再灌流後の循環管理に難渋した全身性ALアミロイドーシスの一例

折原雅紀, 枝窪俊輔, 細川麻衣子, 田中彰子, 諏訪潤子, 加藤啓一(日本赤十字社医療センター麻酔科)

10:00~11:00

一般演題 ポスター 41 基礎研究 ① 中枢神経系・心肺停止 (DP-41-1 ~ DP-41-6)

座長 内野博之(東京医科大学麻酔科学講座)

DP-41-1 急性膵炎におけるNQO1の保護的な役割

坂口了太, 五十嵐達, 井上敬, 鈴木武志, 森崎浩(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

DP-41-2 重症救急患者における白血球表面抗原解析による易感染性状態と臓器不全の関連性の解明

多村知剛¹, 関根和彦², 小林陽介¹, 渋谷崇行¹, 林田敬¹, 並木淳¹, 堀進悟¹(1. 慶應義塾大学医学部救急医学教室, 2. 済生会中央病院救命救急センター)

DP-41-3 n3/n6 不飽和脂肪酸を主成分とする脂肪製剤の樹状細胞を介する免疫応答に与える差異

大田典之, 井口直也, 平松大典, 柏庸三, 宇治満喜子, 滝本浩平, 内山昭則, 藤野裕士(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DP-41-4 トロンボモデュリンは妊娠高血圧症候群モデルラットの子宮異常収縮を改善する

日野博文, 申美和, 館田武志(聖マリアンナ医科大学麻酔学教室)

DP-41-5 ドブタミンの緑膿菌に対する病原性増強作用の解明

稲葉正人, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-41-6 全身炎症後認知機能障害に及ぼす早期リハビリテーションの効果 —高齢ラット炎症モデルを用いて—

田村貴彦, 河野崇, 中村龍, 山崎史幹, 横山正尚(高知大学医学部麻酔科学・集中治療学講座)

11:00~12:00

一般演題 ポスター 42 基礎研究 ② 多臓器不全・敗血症 (DP-42-1 ~ DP-42-6)

座長 小倉真治(岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野)

(優) DP-42-1 SVEP1 遺伝子多型と敗血症性ショックの転帰との関連

中田孝明¹, 平澤博之¹, 織田成人¹, James Russell², Keith Walley²(1. 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2. プリティッシュコロンビア大学医学部)

DP-42-2 LPS誘発性敗血症ラットモデルに於ける臓器特異的VEGF発現

ジェスミンサブリナ¹, 関部藍子², 和田剛志³, 下條信威¹, 丸藤哲³, 河野了¹, 水谷太郎¹(1. 筑波大学医学医療系救急・集中治療部, 2. 筑波大学医学群医学類, 3. 北海道大学医学研究科医学専攻侵襲制御医学講座)

DP-42-3 回盲部結紮穿孔後の生体防衛能低下に対するインターフェロンβの効果

比留間孝広¹, 内田寛治², 日下部良臣², 中村謙介¹, 井口竜太¹, 山村睦朗³, 松原全宏¹, 中島勸¹, 山田芳嗣², 矢作直樹¹(1. 東京大学医学部附属病院救急部集中治療部, 2. 東京大学医学部附属病院麻酔科, 3. 丸石製薬株式会社中央研究所開発研究部)

- DP-42-4 四塩化炭素投与によるラット急性肝傷害における肝Bach1遺伝子の発現
谷岡野人¹, 清水裕子¹, 高橋徹², 山岡正和¹, 森松博史¹(1.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学, 2.岡山県立大学保健福祉学部)
- DP-42-5 DIC治療薬によるNETs (neutrophil extracellular traps) 形成抑制効果の検討
須賀美華, 下村泰代, 加藤由希, 酒井俊和, 中村智之, 栗山直英, 原嘉孝, 内山壮太, 湯本美穂, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- DP-42-6 炎症性サイトカインで誘導される細胞障害に対する長鎖不飽和脂肪酸の細胞保護作用
張京浩, 山田芳嗣(東京大学医学部麻酔学教室)

ポスター会場 国立京都国際会館 1F スワン

10:00～11:00

一般演題 ポスター 43 血液・凝固 ① (DP-43-1～DP-43-6)

座長 相引眞幸(愛媛大学大学院医学系研究科救急医学分野)

- DP-43-1 発作性夜間ヘモグロビン尿症患者の大量出血症例
立花俊祐, 鈴木那央, 君塚基修, 君島知彦, 辻口直紀(市立函館病院麻酔科)
- DP-43-2 リコモジュリン(rTM)を使用したDIC患者68例の後ろ向き検討－第2報－
江藤孝史(京都市立病院麻酔科)
- DP-43-3 DIC患者におけるRecombinant Thrombomodulinの早期投与の有用性に関する検討
中村龍, 矢田部智昭, 田村貴彦, 五十嵐想, 荒川真有子, 山下幸一, 横山正尚(高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)
- DP-43-4 体外式膜型人工肺の管理に遺伝子組み換えトロンボモジュリンとアンチトロンビン濃縮製剤を併用した症例
杉田慎二, 竹田晋浩, 西櫻量, 藤本彩子, 木村茉莉子, 小林克也, 田中啓治, 坂本篤裕(日本医科大学付属病院集中治療室)
- DP-43-5 血栓性血小板減少性紫斑病に対する抗ADAMTS13抗体価の測定とリッキシマブ投与の標準化の必要性
佐藤哲哉¹, 小林道生², 榎本純也², 遠山昌平², 小林正和², 石橋悟², 久志本成樹¹(1.東北大学病院高度救命救急センター救急科, 2.石巻赤十字病院救命救急センター)
- DP-43-6 当院の心臓血管手術における第7因子製剤の使用成績
渋谷伸子¹, 山下昭雄², 武内克憲², 有嶋拓郎², 山崎光章³, 奥寺敬¹(1.富山大学附属病院集中治療部, 2.富山大学附属病院心臓血管外科, 3.富山大学附属病院救急部, 4.富山大学附属病院麻酔科)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 44 血液・凝固 ② (DP-44-1～DP-44-6)

座長 池田寿昭(東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部)

- DP-44-1 抗白血球抗体による輸血関連肺障害
村上博基, 高氏修平, 方波見謙一, 立花義浩, 斎藤智誉, 牧瀬博(市立札幌病院)
- DP-44-2 大量免疫グロブリン療法による抗白血球抗体出現のため異型輸血を必要とした1症例
小幡由佳子¹, 御室総一郎¹, 石田千鶴¹, 加藤弘美¹, 鈴木興太¹, 柳祐樹¹, 小幡良次³, 土井松幸¹, 佐藤重仁²(1.浜松医科大学集中治療部, 2.浜松医科大学麻酔蘇生学, 3.浜松赤十字病院麻酔科)
- DP-44-3 EDTA依存性偽性血小板減少症に関する臨床的解析
大橋奈尾子¹, 中村謙介¹, 井口竜太¹, 佐藤元², 福田龍将¹, 中島勸¹, 矢作直樹¹(1.東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部, 2.国立保健医療科学院政策技術評価研究部)
- DP-44-4 重症筋無力症に対する免疫吸着療法施行中にヘパリン起因性血小板減少症を合併した1例
柏健一郎, 桑原大輔, 桑原由佳, 木村康宏, 七尾大観, 菅原陽, 西澤英雄(横浜労災病院中央集中治療部)
- DP-44-5 CHDF維持困難からHeparin-induced Thrombocytopenia(HIT)の診断に至った症例の検討
相原孝典, 梨木洋, 宮手美治(岩手県立中央病院ICU科)
- DP-44-6 Thromboelastometry(ROTEM)を用いた心肺停止症例での凝固異常に関する検討
小網博之, 阪本雄一郎, 山田クリス孝介, 今長谷尚史, 西村洋一, 山下友子, 中島厚士, 岩村高志, 井上聡(佐賀大学医学部救急医学)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 45 内分泌・代謝・免疫 ① (DP-45-1～DP-45-6)

座長 北村晶(埼玉医科大学国際医療センター麻酔科)

- DP-45-1 当院ICU入室となった甲状腺クリーゼ6症例の検討
今村剛朗, 澄田奏子, 渡邊隆明, 松吉健夫, 広瀬由和, 佐々木庸郎, 山口和将, 小島直樹, 稲川博司, 岡田保誠(公立昭和病院救命救急センター)
- DP-45-2 院外心肺停止にて救急搬送され、集学的治療にて救命し得た甲状腺クリーゼの1例
蟹沢充¹, 川崎元樹², 田中博之¹, 浅野奏¹, 麻喜幹博¹, 二川圭介¹, 森川健太郎³, 辻野元祥², 樫山鉄矢³, 上田哲郎¹(1.東京都立多摩総合医療センター循環器内科, 2.東京都立多摩総合医療センター内分泌代謝内科, 3.東京都立多摩総合医療センター救急科)
- DP-45-3 集中治療を要した甲状腺クリーゼの2症例
若月信, 長谷洋和, 高田真二, 石田美保, 茶谷祐一, 石井教子, 宇野幸彦, 澤村史成(帝京大学医学部付属病院麻酔科)

DP-45-4 治療に難渋した甲状腺機能亢進症の一症例

小野寛子, 福山宏, 佐々木素子, 駒崎真矢, 岡村正之(茅ヶ崎市立病院麻酔科)

DP-45-5 甲状腺クリーゼ患者の肺高血圧症併発に関する検討

上村亮介, 横山健, 鍋島正慶, 水野谷和之, 後藤裕也, 立石浩二, 川名信, 片山勝之(手稲溪仁会病院麻酔科集中治療室)

DP-45-6 アミオダロンによる破壊性甲状腺炎によって呼吸筋麻痺を来した1例

桑原大輔, 柏健一郎, 桑原由佳, 木村康宏, 七尾大観, 菅原陽, 西澤英雄(横浜労災病院中央集中治療室)

16:20~17:30

一般演題 ポスター 46 内分泌・代謝・免疫 ② (DP-46-1~DP-46-7)

座長 国元文生(群馬大学医学部附属病院集中治療部)

DP-46-1 褐色細胞腫クリーゼと出血性ショックを呈した褐色細胞腫自然破裂の一救命例

神山治郎¹, 杉峰里美², 長谷川義治³, 柳澤晃弘¹, 植原創¹, 金本匡史¹, 戸部賢¹, 日野原宏¹, 国元文生¹, 斎藤繁²(1. 群馬大学医学部附属病院集中治療部, 2. 群馬大学医学部附属病院麻酔科, 3. 済生会宇都宮病院麻酔科)

DP-46-2 急性副腎不全の関与が考えられた重症敗血症の1症例

保科真由, 大橋明, 佐藤悠, 原口靖比古, 野本華子, 田澤和雅, 福山達也, 小山薫(埼玉医科大学総合医療センター麻酔科)

DP-46-3 粟粒結核の経過中にショックが遷延し副腎不全が疑われた1例

中本あい, 堀田有沙, 吉川範子, 大平直子, 立川茂樹(一般財団法人住友病院)

DP-46-4 副腎性Cushing症候群に対し両側副腎腫瘍摘出術を行った9か月児の1例

廣木茜, 竹前彰人, 山内聡子, 松本直樹(群馬県立小児医療センター麻酔科)

DP-46-5 Cushing症候群を呈する原発性色素性小結節性副腎異形成の術後に下肢静脈血栓症、肺血栓塞栓症を来した一例

堀田有沙, 中本あい, 吉川範子, 大平直子, 立川茂樹(住友病院麻酔科)

DP-46-6 PCPS下での早期ランジオロール、ニコランジル投与が奏功した褐色細胞腫によるカテコラミン心筋症の1例

神尾学, 小林未央子, 柏浦正広, 阿部裕之, 田邊孝大, 杉山和宏, 明石暁子, 濱邊祐一(東京都墨東病院救命救急センター)

DP-46-7 ステロイド服用歴のない患者が肝臓切除術後に急性副腎不全を発症した一症例

宮尾真理子, 瀬川一, 谷本圭司, 福田和彦(京都大学医学部附属病院麻酔科)

10:00~11:10

一般演題 ポスター 47 中毒 ① (DP-47-1~DP-47-7)

座長 千代孝夫(日赤和歌山医療センター救急集中治療部)

DP-47-1 イヌサフランの誤食によるコルヒチン中毒の一例

棚橋幸野, 坂脇英志, 岡部洸, 窪田生美, 喜屋武玲子, 上村修二, 丹野克俊, 成松英智(札幌医科大学附属病院高度救命救急センター)

DP-47-2 結腸穿孔術後、propofol infusion syndromeが疑われた一例

藤峯拓哉¹, 小林直也², 佐藤麻里子², 東海林秀幸², 安藤幸吉², 村田祐二², 筆田廣登², 松川周³(1. 大崎市民病院麻酔科, 2. 仙台市立病院, 3. 宮城県立こども病院)

DP-47-3 薬剤性胃石と活性炭により腸閉塞を来した急性薬物中毒の一例

萩原祥弘, 三宅康史, 川口純子, 井手亮太, 田中俊生, 福田賢一郎, 宮本和幸, 有賀徹(昭和大学医学部救急医学講座)

DP-47-4 サンポール(酸性洗剤)飲用後に腐食性食道炎をきたし保存的加療をおこなった一例

米丸裕樹, 近藤豊, 山本慧, 花城和彦, 富加見昌隆, 玉城佑一郎, 久木田一朗(琉球大学医学部附属病院救急部)

DP-47-5 術後に全身性痙攣と麻痺が出現、経過からトランサミンが誘引と考えられた症例

安齋めぐみ¹, 竹田晋浩¹, 木村隆平¹, 間瀬大司¹, 小林克也¹, 田中啓治², 坂本篤弘¹(1. 日本医科大学麻酔科学教室, 2. 日本医科大学集中治療室)

DP-47-6 アドレナリンの不適切過剰投与が致死的不整脈を誘発した健常者の一例

長澤佳郎, 星野耕広, 川野恭雅, 市来玲子, 仲村佳彦, 梅村武寛, 石倉宏恭(福岡大学病院救命救急センター)

DP-47-7 外来受診した両側前腕、手のフッ化水素酸による化学熱傷

清水幹夫¹, 塩野入有希¹, 原憲司²(1. 松本市立病院救急総合診療科, 2. 信州大学医学部)

11:10~12:10

一般演題 ポスター 48 中毒 ② (DP-48-1~DP-48-6)

座長 小林誠人(公立豊岡病院但馬救命救急センター)

DP-48-1 育毛剤リアップの大量内服によるMinoxidil中毒の一例

加賀谷知己雄, 山田康雄, 上之原広司, 櫻井睦美(国立病院機構仙台医療センター救急科)

DP-48-2 育毛剤内服によるミノキシジル中毒でショックを呈した1例

内山結理, 山本修二(帯広厚生病院麻酔科)

DP-48-3 硝酸の誤吸入によりARDSを発症した一例

水柿明日美¹, 新井正徳¹, 溝渕大騎², 五十嵐豊¹, 橋詰哲広¹, 白石振一郎³, 片桐美和¹, 塚本剛志¹, 竹田晋浩⁴, 横田裕行¹(1. 日本医科大学附属病院高度救命救急センター, 2. いわき市立総合磐城共立病院外科, 3. 会津中央病院, 4. 日本医科大学附属病院集中治療室)

DP-48-4 ヒドロキソコバラミン投与で治療したシアン中毒の1例

三浪陽介, 菅野正寛, 早川峰司, 澤村淳, 丸藤哲(北海道大学病院先進急性期医療センター)

DP-48-5 18F-fluorodeoxyglucose (FDG)-Positron emission tomography (PET) を行った一酸化炭素中毒の5例

切詰和孝, 濱谷英幸, 篠原京都代, 阿部祐子, 高野耕志郎, 一二三亨, 河北賢哉, 黒田泰弘(香川大学医学部救命救急センター)

DP-48-6 人工呼吸管理を要した一酸化炭素中毒には転院での二種装置での高気圧酸素治療の必要があるのか?

宮崎大¹, 中野実¹, 高橋栄治¹, 中村光伸¹, 町田浩志¹, 鈴木裕之¹, 雨宮優¹, 小林喜郎¹, 大嶋清宏², 齋藤繁³(1.前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, 2.群馬大学大学院医学系研究科臓器病態救急学, 3.群馬大学医学部附属病院高気圧酸素室)

15:20 ~ 16:30

一般演題 ポスター 49 中毒 ③ (DP-49-1 ~ DP-49-7)

座長 伊関憲(福島県立医科大学医学部地域救急医療支援講座)

DP-49-1 急性臭化メチル中毒の1例

野島剛, 石原潤子, 山本浩太郎, 徳丸哲平, 齋坂雄一, 大森貴夫, 田中公章, 喜多村泰輔(高知医療センター救命救急センター)

DP-49-2 過去3年間の当院におけるコリン作動性クリーゼ患者についての検討

中島竜太, 稲垣伸洋(大分市医師会立アルメイダ病院救命救急センター)

DP-49-3 致死量の5-10倍のガソリン混合物を誤飲、化学性肺炎を合併し、人工呼吸器管理にて救命した1例

岩井健司, 村尾亮子, 溝渕大騎, 駒澤大輔, 松居亮平, 吉田良太郎, 小山敦(いわき市立総合磐城共立病院救命救急センター)

DP-49-4 病院間連携によって低侵襲な治療法を選択し得たりチウム中毒の1例

遠藤広史, 松田潔, 石之神小織, 菊池広子, 石丸直樹, 河野陽介, 竹ノ下尚子, 富永直樹, 望月徹, 黒川顕(日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)

DP-49-5 入院中にトリカブト中毒を発症し死亡した1例

照井克俊, 藤田友嗣, 高橋智弘, 井上義博, 遠藤重厚(岩手医科大学救急医学講座)

DP-49-6 エナラプリルおよびロサルタンによる急性中毒の1例

山田周, 江良正, 狩野亘平, 櫻井聖大, 北田真己, 原田正公, 橋本聡, 橋本章子, 瀧賢一郎, 高橋毅(国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部)

DP-49-7 フェノバルビタール急性中毒に対し活性炭血液灌流療法が著功した1例

加藤弘美, 石田千鶴, 成瀬智, 御室総一郎, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁(浜松医科大学附属病院麻酔科蘇生科集中治療部)

16:30 ~ 17:40

一般演題 ポスター 50 中毒 ④ (DP-50-1 ~ DP-50-7)

座長 杉田学(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)

DP-50-1 酸化・抗酸化動態分析によるバラコート中毒の病態解析: 自験3例からの検討

野村亮介, 瀬尾亮太, 松村隆志, 浅沼敬一郎, 宮川乃理子, 大村拓, 工藤大介, 佐藤武揚, 久志本成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

DP-50-2 市販感冒薬によるブロム中毒の1例

川西裕之, 谷津祐市, 平崎盟人(香川県立中央病院麻酔科)

DP-50-3 数回の血液吸着療法が著効した重症フェニトイン中毒の1例

堀内大志郎, 西川裕喜, 鈴木康之, 仙波和記, 高崎康史(市立宇和島病院麻酔科)

DP-50-4 メシル酸ガレノキサシン (GRNX) 内服後に高度徐脈をきたした2例

塚田恵¹, 井口美穂², 軽部健一², 小林尊志¹, 高山浩史¹, 新田憲市¹, 岩下具美¹, 今村浩¹, 岡元和文¹(1.信州大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2.信州大学医学部附属病院循環器内科)

DP-50-5 アルコール性ケトアシドーシスの1例

伊藤俊介, 青木誠, 萩原周一, 金子稔, 村田将人, 神戸将彦, 古川和美, 中村卓郎, 大嶋清宏(群馬大学大学院臓器病態救急学)

DP-50-6 アルコール性ケトアシドーシスにStewart approachの有用性の検討

伊藤敏孝¹, 武居哲洋², 奈良岳志², 藤澤美智子², 長島道生², 山田広之², 畠山淳司², 平田晶子², 福島紘子², 中野貴明¹(1.横浜市立みなと赤十字病院救急部, 2.横浜市立みなと赤十字病院集中治療部)

DP-50-7 急性アルコール中毒患者の管理—重大事故に到った事例からの教訓—

加藤晶人(川崎市立多摩病院救急災害医療センター)

10:00 ~ 10:50

一般演題 ポスター 51 小児集中治療 ① (DP-51-1 ~ DP-51-5)

座長 広木公一(神奈川県立こども医療センター)

DP-51-1 開放型小児集中治療室の20余年を振り返る

杉村洋子(千葉県こども病院集中治療科)

DP-51-2 地方の小児集中治療における重症搬送システムの役割

松井彦郎, 笠井正志, 北村真友, 黒坂了正, 藤原郁子, 中島発史, 本間仁, 松本昇(長野県立こども病院小児集中治療科)

DP-51-3 沖縄県における平成24年度重症小児患者・小児科死亡患者集約化の現状と課題

水野裕美子, 藤原直樹, 制野勇介, 八坂有起, 我那覇仁(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

DP-51-4 当救命救急センターにおける重篤小児患者の診療実績の検討

嶺間澤昌泰¹, 守谷俊¹, 六車崇², 山口順子¹, 小豆畑丈夫¹, 木下浩作¹, 丹正勝久¹(1. 日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター, 2. 国立成育医療研究センター集中治療科)

DP-51-5 多施設小児救急集中治療症例レジストリの構築

松本正太郎¹, 六車崇², 守谷俊³, 提嶋久子⁴, 長屋聡一郎⁵, 賀来典之⁶, 西山和孝⁷, 塚原紘平⁸, 宮尾大樹⁹, 藤原武男¹(1. 国立成育医療研究センター成育社会医学研究部, 2. 国立成育医療研究センター病院集中治療科, 3. 日本大学板橋病院救命救急センター, 4. 市立札幌病院救命救急センター, 5. 岐阜大学病院高度救命救急センター, 6. 九州大学病院救命救急センター, 7. 順天堂大学浦安病院救命救急センター, 8. 岡山大学病院高度救命救急センター, 9. 大阪府立泉州救命救急センター)

10:50~11:30

一般演題 ポスター 52 小児集中治療 ② (DP-52-1~DP-52-4)

座長 竹内護(自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座)

DP-52-1 小児二次救命処置法(PALS)の変遷と今後の課題

櫻井淑男(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

DP-52-2 小児循環器医が運営するcardiac PICUの現状と問題点

黒崎健一¹, 北野正尚², 坂口平馬², 阿部忠朗², 水野将徳¹, 帆足考也³, 鍵崎康治³, 市川肇³, 白石公²(1. 国立循環器病研究センター病院小児循環器集中治療室, 2. 国立循環器病研究センター病院小児循環器科, 3. 国立循環器病研究センター病院小児心臓外科)

DP-52-3 名古屋大学病院において緊急的にICUに入室した小児患者について

沼口敦¹, 松田直之², 高橋英夫², 足立裕史¹, 松島暁², 波多野俊之¹(1. 名古屋大学医学部附属病院救急部, 2. 名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-52-4 重症小児急性細気管支炎患者のPICU入室期間中の医療費に関する検討

阿部世紀¹, 中村友彦²(1. 長野県立こども病院麻酔科, 2. 長野県立こども病院新生児科)

15:20~16:30

一般演題 ポスター 53 小児集中治療 ③ (DP-53-1~DP-53-7)

座長 植田育也(静岡県立こども病院小児集中治療センター)

DP-53-1 神経原性肺水腫を生じた複雑型熱性痙攣の3小児例

福島亮介¹, 赤坂理², 阿南英明²(1. 藤沢市民病院救命救急センター小児救急科, 2. 藤沢市民病院救命救急センター救急診療科)

DP-53-2 低体温・昏睡療法併用した痙攣重積型HHV6脳症の1例

山口由美, 岡島正樹, 野田透, 喜多大輔, 越田嘉尚, 藤田崇志, 小村卓也, 遠山直志, 山本剛史, 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)

DP-53-3 小児てんかん重積患者に対するホスフェニトイン投与によりフェニトイン濃度管理に難渋した3症例

宮津大輔¹, 後藤貴央¹, 野村浩子¹, 今給黎修², 首藤秀樹², 平川雅章¹(1. 福岡徳洲会病院薬剤部, 2. 福岡大学薬学部薬学管理疾患学)

DP-53-4 高用量バルビツレート療法を要した難治型回部分発作重積型急性脳炎(AERRPS)の一例

堀大紀¹, 田村卓也¹, 荻原重俊¹, 横山健², 立石浩二², 西迫良², 石原聡²(1. 手稲溪仁会病院小児科, 2. 手稲溪仁会病院麻酔科)

DP-53-5 Sepsis-associated encephalopathyと考えられた小児の一例

宮本大輔¹, 川崎達也¹, 金沢貴保¹, 小山雅司³, 矢本真也², 漆原直人², 植田育也¹(1. 静岡県立こども病院小児集中治療科, 2. 静岡県立こども病院小児外科, 3. 岡崎市民病院総合診療科(放射線科兼務))

DP-53-6 小児急性脳症患者における神経集中治療の現状

天笠俊介, 守谷俊, 櫻井淳, 小豆畑丈夫, 古川誠, 山口順子, 杉田篤紀, 古川力丸, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急医学集中治療医学分野)

DP-53-7 小児重症頭部外傷急性期における簡易持続脳波モニタリング(aEEG)の有用性

荻原重俊¹, 田村卓也¹, 横山健², 立石浩二²(1. 手稲溪仁会病院小児科, 2. 手稲溪仁会病院麻酔科)

16:30~17:30

一般演題 ポスター 54 小児集中治療 ④ (DP-54-1~DP-54-6)

座長 田村正徳(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

DP-54-1 院外心停止蘇生後に診断された先天性QT延長症候群の1症例

稲井舞夕子, 松本睦子, 倉迫敏明, 八井田豊, 仙田正博, 山岡正和, 上川竜生, 西海智子, 古島夏奈, 吹田晃享(姫路赤十字病院麻酔科)

DP-54-2 縦隔神経芽腫による心肺停止での小児の社会復帰例

高谷悠大, 沼口敦, 大林正和, 東倫子, 稲葉正人, 松島暁, 角三和子, 足立裕史, 高橋英夫, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-54-3 当院PICUにおける溺水患者の検討

制野勇介, 八坂有起, 藤原直樹, 水野裕美子(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児集中治療科)

DP-54-4 小児心肺停止症例の検討

宮庄浩司, 柏谷信博, 米花伸彦, 甲斐憲治, 大熊隆明, 石橋直樹, 山下貴弘(福山市民病院救命救急センター)

DP-54-5 小児における低体温中の循環動態の変化

峰尾恵梨, 安藤寿, 山口綾乃, 野々田豊, 石井正浩(北里大学医学部小児科)

DP-54-6 小児脳平温療法中の合併症事例の検討

石川順一, 大川惇平, 森本健, 濱中裕子, 重光胤明, 師岡誉也, 福家顕宏, 有元秀樹, 宮市功典, 林下浩士(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

10:00～11:10

一般演題 ポスター 55 小児集中治療 ⑤ (DP-55-1～DP-55-7)

座長 中村友彦(長野県立こども病院新生児科)

DP-55-1 High Flow Nasal Cannula therapy が有効と考えられた気管支喘息呼吸不全の一女児例

中村俊紀, 今井孝成, 板橋家頭夫(昭和大学医学部小児科学教室)

DP-55-2 小児におけるNasal high flowの使用経験

永野達也¹, 多賀直行¹, 大塚洋司¹, 中村文人¹, 岩井英隆¹, 竹内護²(1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座)

DP-55-3 経鼻腔高流量酸素療法は小児分野で非侵襲的陽圧換気療法の代表になり得るのか

黒坂了正, 本間仁, 藤原郁子, 中島発史, 北村真友, 笠井正志, 松井彦郎(長野県立病院機構長野県立こども病院小児集中治療科)

DP-55-4 RSウイルス感染による急性細気管支炎に対して非侵襲的陽圧換気を行い重症皮下気腫・縦隔気腫を合併した一例

板倉隆太, 浅野祥孝, 小林信吾, 長田浩平, 櫻井淑男, 田村正徳(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

DP-55-5 早産児呼吸管理におけるNAVA(Neurally Adjusted Ventilatory Assist)の使用経験

小田新, 中村友彦(長野県立こども病院新生児科)

DP-55-6 当院救急外来および小児ICUで発生した緊急気道確保症例の臨床像と、挿管手技における介入策の検討

岡田広, 池山貴也, 萩原佑亮, 中山祐子, 今井一徳, 水城直人, 齊藤修, 新津健裕, 井上信明, 清水直樹(東京都立小児総合医療センター救命集中治療部)

DP-55-7 口蓋裂形成術後の呼吸管理における、気管チューブサイズダウンの試み

中島発史, 松本昇, 藤原郁子, 黒坂了正, 北村真友, 笠井正志, 松井彦郎(長野県立こども病院小児集中治療科)

11:10～12:10

一般演題 ポスター 56 小児集中治療 ⑥ (DP-56-1～DP-56-6)

座長 清水直樹(東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部)

DP-56-1 非感染症新生児における出生後早期の炎症マーカーの検討

三宅美由, 市川俊, 荒木俊介(産業医科大学小児科)

DP-56-2 小児集中治療室(PICU)における菌血症の早期把握にCRP、血小板数の推移は利用できるか

松本昇¹, 笠井正志², 藤原郁子², 中島発史², 本間仁², 黒坂了正², 北村真友², 松井彦郎²(1.淀川キリスト教病院小児科, 2.長野県立こども病院集中治療科)

DP-56-3 当院ICU/HCUにおけるプロカルシトニン高値(≥ 2)症例の検討

林拓也, 梅原直, 永渕弘之, 村山晶俊(神奈川県立こども医療センター救急診療科)

DP-56-4 Bundle導入により人工呼吸器関連肺炎は予防できるか?

庄司康寛¹, 笠井正志², 松井彦郎²(1.長野県立こども病院麻酔科・感染制御室, 2.長野県立こども病院小児集中治療科)

DP-56-5 小児においてVAEサーベラインスは適合されるのか～PICUにおける人工呼吸器関連肺炎の現状とこれから～

伊藤雄介, 松井享, 南野初香, 金沢貴保, 川崎達也, 植田育也(静岡県立こども病院小児集中治療科)

DP-56-6 東京都立小児総合医療センター集中治療室における人工呼吸器関連気管気管支炎の検討

渡邊伊知郎, 齊藤修, 秋山類, 岡田広, 中山祐子, 今井一徳, 池山貴也, 水城直人, 新津健裕, 清水直樹(東京都立小児総合医療センター集中治療科)

15:20～16:30

一般演題 ポスター 57 災害・病院前管理 (DP-57-1～DP-57-7)

座長 児玉貴光(University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas, USA)

DP-57-1 ドクターヘリは心肺停止に有効か?

高山浩史, 市川通太郎, 江口善友, 小澤正敬, 小林尊志, 三山浩, 新田憲市, 岩下具美, 今村浩, 岡元和文(信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)

Ⓔ DP-57-2 初期波形VF/VTの心停止におけるCPR時間と神経学的予後

有馬孝博, 重松明香, 五十嶺伸二, 武光美香子, 埜口千里, 後藤眞理亜, 六角由紀, 畠山稔弘, 沖野絢子, 境田康二(船橋市立医療センター)

DP-57-3 病院前救急診療における迅速気管挿管

中嶋麻里, 藤崎修, 前山博輝, 番匠谷友紀, 松井大作, 池田光憲, 原文祐, 岡和幸, 永嶋太, 小林誠人(公立豊岡病院但馬救命センター)

DP-57-4 ワークステーション方式によるドクターカーの現状と課題

市原利彦, 長谷川隆一, 川瀬正樹, 中島義仁(公立陶生病院救急集中治療部)

DP-57-5 地域の2次救急指定病院が展開するユニークな集中治療 Quality Management Coalition

菊池陽一郎¹, 武石宏¹, 大橋一夫¹, 花川志郎¹, 小林敬子¹, 弓掛秀樹¹, 近藤末美¹, 塚原紘平², 氏家良人², 小林直哉¹(1.医療法人盛全会岡山西大寺病院, 2.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野)

DP-57-6 重症患者の病院避難を考える

島田二郎, 田勢長一郎, 池上之浩, 長谷川有史, 塚田泰彦, 阿部良伸, 鈴木剛, 大久保怜子, 伊関憲, 林田昌子(福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

DP-57-7 演題取り下げ

16:30~17:20

一般演題 ポスター 58 教育・経済 (DP-58-1~DP-58-5)

座長 中尾博之(東京大学医学部附属病院災害医療マネジメント部)

DP-58-1 救命士による気管挿管病院実習中における教育指導内容の現状

丹野英(独立行政法人国立病院機構水戸医療センター麻酔科)

DP-58-2 小児の胸骨圧迫を適切な深度に導くのはいかなる指示か? —EITの観点から—

青木一憲, 安達晋吾, 六車崇(国立成育医療研究センター集中治療科)

DP-58-3 PICUにおけるシミュレーション教育の導入とその教育効果の検討

金沢貴保, 伊藤雄介, 南野初香, 川崎達也, 植田育也(静岡県立こども病院小児集中治療科)

DP-58-4 小児特定集中治療室管理料の算定施設の検証 一救命救急センター充実段階評価を用いた評価—

間田千晶¹, 六車崇¹, 澤田奈実¹, 中村美穂¹, 辻聡², 横谷進³(1.国立成育医療研究センター集中治療科, 2.国立成育医療研究センター救急診療科, 3.国立成育医療研究センター)

DP-58-5 集中治療部における医療機関別包括支払い評価制度(以下DPC制度)9年間の問題点

土手健太郎¹, 池宗啓蔵¹, 出崎陽子¹, 菊池幸太郎², 西原佑², 小西周², 関谷慶介², 阿部尚紀², 坪田信三², 松垣暢宏²(1.愛媛大学医学部附属病院集中治療部, 2.愛媛大学医学部麻酔・周術期医学科)

10:00~10:50

一般演題 ポスター 59 心肺蘇生・蘇生後ICU管理② (DP-59-1~DP-59-5)

座長 漢那朝雄(九州大学大学院医学研究院災害・救急医学)

DP-59-1 胸骨圧迫により心破裂をきたした急性心筋梗塞の1例

高木宏治¹, 鈴木啓士¹, 曾根教子¹, 徳山榮男¹, 菊池有史¹, 山本英世¹, 石川昌弘¹, 佐藤直樹¹, 松田潔², 清水渉³(1.日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科, 2.日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 3.日本医科大学附属病院循環器内科)

DP-59-2 心肺蘇生後に心タンポナーゼを発症した2症例

井上望¹, 國重英之¹, 森本清貴¹, 川崎正和¹, 石橋義光¹, 吉田真一郎², 裕光司², 七戸康夫²(1.独立行政法人国立病院機構北海道医療センター心臓血管外科, 2.独立行政法人国立病院機構北海道医療センター救急科)

DP-59-3 胸骨圧迫により大動脈解離を生じた肺塞栓症の1例

伊佐泰樹¹, 遠藤武尊¹, 金澤綾子¹, 荒井秀明¹, 長田圭司¹, 原山信也¹, 二瓶俊一¹, 相原啓二¹, 蒲地正幸¹, 佐多竹良²(1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学麻酔科)

DP-59-4 胸骨圧迫による胸部外傷の検討(AHAG2005からAHAG2010へ)

小谷聡司, 川田篤志, 中島有香, 吉永雄一, 大谷尚之, 夏川知輝, 澤野宏隆, 林靖之, 甲斐達朗(済生会千里病院千里救命救急センター)

DP-59-5 胸骨圧迫による心損傷症例の検討

杉村朋子¹, 長崎靖², 渥美生弘¹, 有吉孝一¹(1.神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター, 2.兵庫県監察医務室)

10:50~11:40

一般演題 ポスター 60 心肺蘇生・蘇生後ICU管理③ (DP-60-1~DP-60-5)

座長 藤田智(旭川医科大学病院救命救急センター・ICU)

DP-60-1 急性肺塞栓症に対するPCPS挿入により後腹膜血腫をきたしたが救命しえた1例

小畑友里江¹, 本定侑子¹, 三田建一郎², 次田佳代¹, 松本泰成², 安田善一², 高倉康¹, 重見研司¹(1.福井大学医学部附属病院麻酔科蘇生科, 2.福井大学医学部附属病院集中治療部)

DP-60-2 CPRにて多量の腹腔内出血を併発した肺塞栓の1例

真野博明, 有馬健, 古市知広, 河野通(春日部市立病院内科)

DP-60-3 敗血症性ショックに対する胸骨圧迫が原因と思われた肝損傷性の出血性ショックの1例

蒲原英伸, 新森大祐, 田代貴大, 鷺島克之, 木下順弘(熊本大学医学部附属病院集中治療部)

DP-60-4 肝損傷を来した急性心筋梗塞による心肺停止症例

久野将宗¹, 諸江雄太¹, 畝本恭子¹, 福田令雄¹, 金子純也¹, 苛原隆之², 横田裕行²(1.日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 2.日本医科大学救急医学教室)

DP-60-5 胸骨圧迫の位置と腹部内臓損傷の検討

木村慶信¹, 住田臣造², 山藤道明¹(1.札幌医科大学医学部麻酔科学講座, 2.旭川赤十字病院)

15:20～16:30

一般演題 ポスター 61 心肺蘇生・蘇生後 ICU 管理 ④ (DP-61-1～DP-61-7)

座長 横田徹次(長崎大学病院集中治療部)

DP-61-1 心室細動に対し By-stander による CPR と低体温療法で神経学的後遺症なく回復した一例

鈴木興太, 御室総一郎, 入江直, 朝羽瞳, 林美彌子, 牧野洋, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁(浜松医科大学麻酔科蘇生科集中治療部)

DP-61-2 ArcticSun5000 を利用した心停止蘇生後の低体温療法における、体温変化に関する考察

佐々木勝教, 山本敬洋, 山崎舞子, 坂本哲也(帝京大学医学部救急医学講座)

DP-61-3 心肺停止蘇生後患者に対する低体温療法管理にレミフェンタニルを使用した3例

朝羽瞳, 鈴木興太, 御室総一郎, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁(浜松医科大学附属病院麻酔科・蘇生科)

DP-61-4 小児院外心停止患者への低体温療法の現況

齊藤修, 井上信明, 六車崇, 清水直樹, 田原良雄, 長尾健, 矢口有乃, 森村尚登(SOS-KANTO2012解析班9班)

DP-61-5 脳低温療法を併用した ECPR 症例における冷却温度の検討

廣瀬晴美¹, 菊島公夫², 渡辺和宏¹, 蘇我猛群¹, 長尾建², 秋山謙次³(1.駿河台日本大学病院救急科, 2.駿河台日本大学病院循環器科, 3.駿河台日本大学病院心臓血管外科)

DP-61-6 Arctic Sun を用いた低体温療法における問題点

戸部賢¹, 神山治郎¹, 柳澤晃広¹, 榎原創¹, 金本匡史¹, 日野原宏¹, 萩原周一², 大嶋清宏², 国元文生¹, 齋藤繁³(1.群馬大学医学部附属病院集中治療部, 2.群馬大学医学部附属病院救急部, 3.群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

DP-61-7 院外心停止蘇生後に脳低温療法を施行した症例に対する aEEG、rSO₂ の検討

賀川哲夫, 櫻井淳, 小松智英, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

16:30～17:40

一般演題 ポスター 62 心肺蘇生・蘇生後 ICU 管理 ⑤ (DP-62-1～DP-62-7)

座長 渋谷伸子(富山大学附属病院集中治療部)

DP-62-1 徳島大学病院における CPA 症例の検討

田根なつ紀, 奥田菜緒, 網野裕美子, 井澤真代, 中瀧恵実子, 板垣大雅, 小野寺睦雄, 今中秀光, 西村匡司(徳島大学病院救急集中治療部)

DP-62-2 当センターにおける低脳温療法の実態と脳温モニタリングシステムの使用経験

石井圭亮(大分大学医学部附属病院高度救命救急センター)

DP-62-3 当院における過去10年間の縊頸症例における脳低温療法の後方視的検討

杉山淳一(津山中央病院救命救急センター)

DP-62-4 脳低温療法施行後に5日間にわたり筋弛緩薬が遷延した一症例

田中裕之, 石松伸一, 大谷典生, 望月俊明, 宮道亮輔, 伊藤恭太郎, 三上哲, 三谷英範, 今野健一郎(聖路加国際病院救命救急センター)

DP-62-5 心肺停止蘇生後患者における低体温療法導入時の bispectral index について

木村康宏, 桑原大輔, 柏健一郎, 桑原由佳, 七尾大観, 菅原陽, 西澤英雄(横浜労災病院中央集中治療部)

DP-62-6 低体温療法時における持続鼓膜温測定の有用性

山岸昭夫¹, 飛世史則¹, 小野寺美子¹, 田辺美幸¹, 大場淳一², 一宮尚裕¹(1.市立旭川病院麻酔科, 2.市立旭川病院胸部外科)

DP-62-7 低体温療法中に敗血症を合併した1例

多羅尾健太郎(千葉県循環器病センター循環器科)

第2日目(2月28日)

ポスター／機器展示会場 国立京都国際会館 1F イベントホール

9:00～10:00

一般演題 ポスター 63 基礎研究 ③ 心臓・循環・体液管理 (DP-63-1～DP-63-6)

座長 新沼廣幸(聖路加国際病院心血管センター循環器内科CCU)

DP-63-1 肺動脈性肺高血圧の進展過程における NF-κB の役割とそのシグナル伝達

原口剛¹, 磯部光章², 三高千恵子¹(1.東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部, 2.東京医科歯科大学循環制御内科学)

DP-63-2 マウス左室乳頭筋の心筋細胞内 Ca²⁺ 濃度増加に要する時間は Ca²⁺ トランジェント上昇相前半と後半で異なる

水野樹¹, 稲田英一¹, 有田英子², 花岡一雄²(1.順天堂大学医学部麻酔科学ペインクリニック講座, 2.JR東京総合病院麻酔科痛みセンター)

DP-63-3 代謝性アシドーシスがミルリノンとドブタミンの心行動態に与える影響

趙成三¹, 前川拓治¹, 吉富修¹, 一ノ宮大雅¹, 横田徹次²(1.長崎大学病院麻酔科, 2.長崎大学病院集中治療部)

DP-63-4 IL-10 ノックアウトマウスを用いた出血性ショックモデルの腎障害について—HSP40,70 と Bax の関連—

村尾佳則, 濱口満英, 植嶋利文, 松島知秀(近畿大学医学部救急医学、救命救急センター)

DP-63-5 アンギオテンシン II による腎障害への機序と ANP の腎保護効果の検討

森山孝宏, 中原真由美, 高橋佳子, 今林徹, 松永明, 上村裕一(鹿児島大学医学部侵襲制御学教室)

DP-63-6 肺動脈性肺高血圧症 (PAH) の進展過程における dipeptidyl peptidase-4 (DPP-4) の果たす役割

原口剛¹, 磯部光章², 三高千恵子¹(1.東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部, 2.東京医科歯科大学循環制御内科学)

10:00~11:20

一般演題 ポスター 64 基礎研究 ④ 免疫応答 (DP-64-1 ~ DP-64-8)

座長 土井松幸(浜松医科大学医学部附属病院集中治療部)

DP-64-1 心肺停止後症候群 (PCAS) の基礎研究と動物モデルについて

土肥謙二^{1,2}, 大滝博和², 宮本和幸², 小川武希¹(1.東京慈恵会医科大学救急医学講座, 2.昭和大学医学部第一解剖学教室)

DP-64-2 Soluble Epoxide Hydrolase (sEH) 阻害薬は心停止後の海馬領域の神経細胞に対し保護作用を発揮する

藤吉哲宏¹, 徳田賢太郎¹, 外須美夫², 杉森宏¹(1.九州大学病院集中治療部, 2.九州大学麻酔・蘇生学講座)

DP-64-3 マウス脳挫傷モデルにおける matrix metalloproteinase (MMP)-9 産生細胞の動態解明

細見早苗¹, 山下俊英², 小倉裕司¹, 嶋津岳士¹(1.大阪大学附属病院高度救命救急センター, 2.大阪大学大学院医学系研究科分子神経科学)

DP-64-4 エリスロポエチンの脳保護効果の発現機序解明 —脳内免疫担当細胞ミクログリアに対する効果に注目して—

田村哲也¹, 青山峰芳², 小宮良輔¹, 富田麻衣子¹, 藤掛数馬¹, 吉澤佐也¹, 播磨恵¹, 太田晴子¹, 藤田義人¹, 祖父江和哉¹(1.名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野, 2.名古屋市立大学大学院医学研究科分子神経生物学分野)

DP-64-5 鎮静薬が及ぼす脳内酸素代謝及び Ca 代謝への影響

宮下亮一¹, 原直美¹, 勇内山瑠子¹, 金子恒樹¹, 安藤千尋¹, 松岡修平¹, 宮田和人¹, 荻原幸彦¹, 畑山聖², 内野博之¹(1.東京医科大学麻酔科学講座, 2.戸田中央総合病院)

DP-64-6 ラット SAH 後の血液の広がり認知機能および情動変化に及ぼす影響

佐々木俊弘(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座)

DP-64-7 EUK-134 は出生時低酸素症への 100% 酸素蘇生による学習障害を軽減する

植木正明¹, 森下淳², 牛尾将洋², 渡辺友紀子³, 西山隆³(1.西脇市立西脇病院麻酔科, 2.神戸大学医学部附属病院麻酔科, 3.神戸大学医学部附属病院救命救急科)

DP-64-8 外傷性脳損傷における水素水 (mHW) の効果について

土肥謙二^{1,2,3}, Banks A Williams², 宮本和幸³, 小川武希¹(1.東京慈恵会医科大学救急医学講座, 2.VA Puget Sound Health Care System, 3.昭和大学医学部第一解剖学教室)

11:20~12:20

一般演題 ポスター 65 血液浄化 ③ (DP-65-1 ~ DP-65-6)

座長 片山浩(川崎医科大学麻酔・集中治療医学 3)

DP-65-1 血液透析患者に発生した腎由来の後腹膜血腫に対し緊急血管塞栓術を施行した 1 例

桑野公輔, 小松昌道, 真鍋早季, 山岡貴行, 柳秀高, 福田竜基, 小澤秀樹, 高木敦司(東海大学医学部付属病院総合内科)

DP-65-2 アンチトロンビン低下患者の持続血液濾過透析の抗凝固剤として低用量アルガトロバンが有効であった 1 症例

齊藤律子, 北村倫子, 伊佐田哲朗, 新江聡(福井県済生会病院麻酔科)

DP-65-3 尿毒症性胸膜炎の 1 例

荒川直哉¹, 萩原周一¹, 金子稔¹, 村田将人¹, 青木誠¹, 神戸将彦¹, 古川和美¹, 中村卓郎¹, 大嶋清宏¹, 国元文生²(1.群馬大学大学院臓器病態救急学, 2.群馬大学医学部附属病院集中治療部)

DP-65-4 早期尿管ステント留置が有効であった尿管結石性腎盂腎炎による敗血症性の一例

吉澤俊彦, 小松孝行, 三島健太郎, 高橋恵理香, 水野慶子, 高見浩樹, 坂本壮, 関井肇, 野村智久, 杉田学(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)

DP-65-5 肝硬変による難治性腹水に対し腹水濾過濃縮再静注法 (KM-CART) を長期間反復施行した 1 例

川原玲子¹, 加藤千尋²(1.公益財団法人日本生命済生会付属日生病院麻酔科, 2.公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 ME 室)

DP-65-6 急性大動脈解に合併した再灌流障害に対して術後早期の CHDF により救命できた 1 例

税所宏幸, 飛永寛, 中村英司, 和田久美子, 高瀬谷徹, 赤須晃治, 友枝博, 有永康一, 明石英俊, 田中啓之(久留米大学医学部外科)

16:10～17:20

一般演題 ポスター 66 中枢神経・脊髄・末梢神経 ⑤ (DP-66-1～DP-66-7)

座長 卯津羅雅彦(東京慈恵会医科大学救急医学講座)

- DP-66-1 未治療の甲状腺機能亢進症クラーゼと抗NMDA受容体脳炎を同時発症した1例
関谷芳明, 近藤司, 荒木祐一, 山田均, 松宮直樹(土浦協同病院救急集中治療科)
- DP-66-2 抜管に不成功だった抗NMDA受容体脳炎の一例
關野長昭¹, 三浦広美¹, 高橋耕平²(1. 横浜南共済病院ICU室, 2. 横浜南共済病院救急科)
- DP-66-3 妊娠契機に発症し呼吸不全や自律神経障害を呈した抗NMDA受容体脳炎の一例
都築誠一郎¹, 植西憲達¹, 多和田哲郎¹, 北村淳¹, 小川広晃¹, 神宮司成弘¹, 宮部浩道², 加納秀記², 平川昭彦³, 武山直志²(1. 藤田保健衛生大学医学部救急総合内科, 2. 藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座, 3. 藤田保健衛生大学病院災害・外傷外科)
- DP-66-4 多彩な精神症状から始まり卵巣奇形腫が認められた抗NMDAR脳炎の1例
中道嘉, 折田智彦, 豊田幸樹年, 佐藤智洋, 山崎元靖, 船曳知弘, 清水正幸, 松本松圭, 廣江成政, 北野光秀(済生会横浜市東部病院救急科)
- DP-66-5 抗NMDA受容体脳炎が疑われた自己抗体介在性辺縁系脳炎の一例
守屋佳恵, 加納正也(豊川市民病院麻酔科)
- DP-66-6 自己免疫性脳炎2症例のICU管理
寺島嗣明, 竹内昭憲, 岩倉賢也, 熊谷常康, 梶田裕加, 青木瑠里, 野口裕記, 三木靖雄, 井上保介, 中川隆(愛知医科大学病院高度救命救急センター救命救急科)
- DP-66-7 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎(NHALE)4例の検討
齋藤豊¹, 枝窪俊輔², 細川麻衣子², 諏訪潤子², 浅野哲¹, 小澤和紀², 渡邊えり², 加藤啓一², 種田益造¹(1. 日本赤十字社医療センター集中治療科, 2. 日本赤十字社医療センター麻酔科)

17:20～18:10

一般演題 ポスター 67 中枢神経・脊髄・末梢神経 ⑥ (DP-67-1～DP-67-5)

座長 岡田保誠(公立昭和病院救命救急センター)

- DP-67-1 治療後に再燃したGuillain-Barre症候群と急性発症型CIDPの鑑別に苦慮した1例
佐藤良太, 那須道高, 井上稔也, 岩永航, 北原佑介, 高田忠明, 新里盛朗, 葵佳宏, 米盛輝武, 八木正晴(仁愛会浦添総合病院救命救急センター)
- DP-67-2 重篤な意識障害を呈したBickerstaff型脳幹脳炎の一例
中島大介, 山口嘉一, 上野歌奈子, 前島英恵, 高木俊介, 刈谷隆之, 塩田将, 水谷健司, 速水元, 山口修(横浜市立大学附属病院集中治療部)
- DP-67-3 セボフルランで管理した難治性頻回部分発作重積型急性脳炎の一例
須江宣俊¹, 長浜真澄¹, 越田智広¹, 奥那覇哲¹, 新福玄二¹, 矢野武志¹, 松岡博史², 押川満雄¹, 谷口正彦¹, 恒吉勇男¹(1. 宮崎大学医学部附属病院集中治療部, 2. 宮崎大学医学部附属病院救命救急センター)
- DP-67-4 降圧療法にて速やかに改善したPosterior reversible encephalopathy syndromeの2例
井村紗江, 喜多大輔, 岡島正樹, 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)
- DP-67-5 PRES(posterior reversible encephalopathy syndrome)の治療経験
門野紀子, 日外知行, 日下裕介, 下山雄一郎, 大地史広, 出口志保, 梅垣修(大阪医科大学集中治療部)

9:00～10:10

一般演題 ポスター 68 多臓器不全・敗血症 ④ (DP-68-1～DP-68-7)

座長 有村敏明(鹿児島市医師会病院)

- DP-68-1 重症レジオネラ肺炎の3例
林洋輔, 織田成人, 渡邊栄三, 安部隆三, 大島拓, 大谷俊介, 服部憲幸, 松村洋輔, 栗田健郎, 森田泰正(千葉大学医学部附属病院救急部・集中治療部)
- DP-68-2 当院で経験した劇症型肺炎球菌感染症の2症例
山谷立大, 佐藤千恵, 井出俊光, 稲垣泰斗, 朝隈禎隆, 猪狩雄蔵, 服部潤, 神應知道, 上條吉人, 北原孝雄(北里大学医学部救命救急医学)
- DP-68-3 注射行為が原因と思われた右心系感染性心内膜炎および感染性肺塞栓症の1例
方波見謙一, 半田つばさ, 村上博基, 平安山直美, 松井俊尚, 齊藤智誉, 牧瀬博(市立札幌病院救命救急センター)
- DP-68-4 心肺停止となるも集学的治療にて救命し得た連鎖球菌性毒素性ショック症候群(TSS)の一例
永嶋太, 小林誠人, 岡和幸, 番匠谷友紀, 松井大作, 中嶋麻里, 前山博輝(公立豊岡病院病院但馬救命救急センター)
- DP-68-5 保存的治療で軽快した門脈内気腫を伴う劇症型G群溶血性連鎖球菌感染症の1例
井手亮太, 福田賢一郎, 川口絢子, 萩原祥弘, 神田潤, 三宅康史, 有賀徹(昭和大学医学部救急医学講座)
- DP-68-6 開腹所見から急性肺炎が疑われたA群溶連菌感染症による腹膜炎の一例
齋藤博之¹, 長谷川義治², 植野正之², 高田康輔², 河村文夫²(1. 前橋赤十字病院麻酔科, 2. 済生会宇都宮病院)
- DP-68-7 臍頭十二指腸切除術後の巨大な感染性肝膿瘍による敗血症性ショックの1例
大塚恭寛(社会保険船橋中央病院救急部)

10:10～11:20

一般演題 ポスター 69 多臓器不全・敗血症 ⑤ (DP-69-1～DP-69-7)

座長 芹田良平(東京歯科大学市川総合病院麻酔科)

- DP-69-1 経過中に重症肺炎を併発したアロプリノールによる薬剤性過敏症候群(DIHS)の1例
吉永晃一, 松原知康, 岡村知直, 坂井正弘, 松口崇央, 南三郎, 江本賢, 尾田琢也, 高橋洋子(飯塚病院総合診療科)
- DP-69-2 急激に多臓器不全となった偽膜性腸炎の1例
株丹浩二, 伏見美紀, 野上悟史, 小野剛(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター麻酔科)
- DP-69-3 上行結腸を門戸にClostridium perfringens敗血症を来した一例
加納誠也, 佐々木勝教, 金子一郎, 安心院康彦, 池田弘人, 山本敬洋, 坂本哲也(帝京大学医学部付属病院)
- DP-69-4 腹部コンパートメント症候群により術中開腹減圧術を必要とした緊急ステントグラフト内挿術の3症例
鎌田高彰, 森庸介, 杉浦孝広, 佐藤奈々子, 加藤剛, 高橋京助(社会医療法人財団石心会川崎幸病院)
- DP-69-5 感染性胆汁腫に起因したbronchobiliary fistula(BBF)の1例
佐野秀史, 弦切純也, 田中洋輔, 大村泰史, 沖田泰平, 松山有隆, 上野雅仁, 長田雄大, 新井隆男(東京医科大学八王子医療センター救命救急センター)
- DP-69-6 肝膿瘍から心膜への直接浸潤による急性心外膜炎の1例
賀亮, 増野智彦, 城戸教裕, 五十嵐豊, 橋詰哲広, 塚本剛志, 金史英, 宮内雅人, 新井正徳, 横田裕行(日本医科大学高度救命救急センター)
- DP-69-7 アトピー性皮膚炎と未分化大細胞リンパ腫を基礎疾患にもつ中毒性ショック症候群の一症例
飯田康, 安宅一見, 朱田博聖, 大川惇平, 菅彩子, 奥村将年, 和田翔, 大塚康義, 宇城敦司, 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター集中治療部)

11:20～12:20

一般演題 ポスター 70 多臓器不全・敗血症 ⑥ (DP-70-1～DP-70-6)

座長 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

- DP-70-1 Streptococcus suis感染により劇症型敗血症を呈した一例
山岸一也, 田邊毅, 森友紀子, 田中弓子, 白塚秀之, 福岡直, 小柳覚(福井赤十字病院麻酔科)
- DP-70-2 四肢所見から早期に診断し救命し得た特殊感染症の2例
日比菜々子, 佐野文昭, 青木優祐, 絹川友章, 三輪立夫, 後藤真也, 黒田幸恵, 三浦政直, 中村不二雄(医療法人豊田会刈谷豊田総合病院)
- DP-70-3 掻傷・咬傷を介さず感染したPasteurellaによる敗血症の一例
桃木律也¹, 川上万里¹, 藤岡真一¹, 平松信¹, 赤木洋介², 物部容子², 水川俊一², 小林洋二²(1.岡山済生会総合病院内科, 2.岡山済生会総合病院麻酔科)
- DP-70-4 逆行性尿路感染症によると考えられる重症敗血症性ショックの3例
日根野谷一, 前島亨一郎, 楠戸和仁, 大橋一郎, 中塚秀輝, 藤田喜久(川崎医科大学附属病院麻酔・集中治療科)
- DP-70-5 気腫性腎盂腎炎による敗血症性ショックに対して尿管ステント留置を含む集学的治療にて救命した1例
下山哲¹, 中山育徳², 高沢有史²(1.医療法人社団愛友会上尾中央総合病院救急科, 2.医療法人社団愛友会上尾中央総合病院総合診療科)
- DP-70-6 比較的些細な原因から敗血症性多臓器不全に陥った2症例
井上義博, 藤野靖久, 小野寺誠, 菊池哲, 佐藤正幸, 遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学)

16:10～17:10

一般演題 ポスター 71 多臓器不全・敗血症 ⑦ (DP-71-1～DP-71-6)

座長 大谷典生(聖路加国際病院救急部・救命救急センター)

- DP-71-1 当院ICUにおける壊死性筋膜炎13例の検討
後藤順子, 松田兼一, 森口武史, 針井則一, 柳沢雅彦, 原田大希, 菅原久徳(山梨大学医学部救急集中治療医学講座)
- DP-71-2 大腸菌性壊死性筋膜炎の1例
望月宏樹¹, 松尾貴公², 水野篤³, 名取洋一郎⁴, 青木和裕⁵, 西裕太郎³(1.聖路加国際病院初期研修医, 2.聖路加国際病院内科専門研修医, 3.聖路加国際病院循環器内科, 4.聖路加国際病院感染症科, 5.聖路加国際病院集中治療科)
- DP-71-3 肺炎球菌性髄膜炎に脳梗塞を合併し、予後不良であった一例
齋藤倫子, 永井玲恩, 阿部勝, 平井由見, 並木みずほ, 武田宗和, 原田知幸, 矢口有乃(東京女子医科大学救急医学講座)
- DP-71-4 激烈な経過をたどった劇症型髄膜炎菌性敗血症の一剖検例
田邊孝大, 小林未央子, 柏浦正広, 阿部裕之, 神尾学, 杉山和宏, 明石暁子, 濱邊祐一(都立墨東病院救命救急センター)
- DP-71-5 アドレナリン持続投与で救命した敗血症性ショックの一例
関井肇, 三島健太郎, 高橋恵利香, 井上照大, 水野慶子, 高見浩樹, 小松孝行, 坂本壮, 野村智久, 杉田学(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)
- DP-71-6 バソプレシンが著効した麻痺性イレウスから敗血症に至った重症パーキンソン病の1例
宮本和幸¹, 田中幸太郎¹, 新井大輔², 久次真真吾³, 三宅康史⁴, 有賀徹⁴(1.東京労災病院救急科, 2.東京労災病院神経内科, 3.東京労災病院循環器科, 4.昭和大学医学部救急医学講座)

17:10～18:10

一般演題 ポスター 72 多臓器不全・敗血症 ⑧ (DP-72-1～DP-72-6)

座長 高橋毅(国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部)

DP-72-1 当院ICUにおける大腸穿孔例の検討

水野谷和之, 後藤祐也, 横山健, 片山勝之(手稲溪仁会病院麻酔科)

DP-72-2 下部消化管穿孔における当院の成績

竹内悠二, 丹羽浩一郎, 伊古田正憲, 伊藤智彰, 瀬沼幸司, 櫛田知志, 桜田睦, 折田創, 前川博, 佐藤浩一(順天堂大学医学部附属静岡病院一般外科)

DP-72-3 小腸穿孔術後、腹部コンパートメント症候群、非閉塞性腸間膜虚血を来し、急激な経過を示した一例

藤川葵¹, 青木和裕²(1.聖路加国際病院消化器・一般外科, 2.聖路加国際病院麻酔科)

DP-72-4 術後の穿孔性腹膜炎の診断が遅れ、治療に難渋した1症例

植松明美¹, 佐藤智行², 佐久間貴裕¹, 永瀧万理¹, 忍田純哉¹(1.さいたま市立病院麻酔科, 2.さいたま市立病院集中治療科)

DP-72-5 Burkittリンパ腫の治療中に起きた食道破裂を内科的に救命した一例

大林正和, 海野仁, 日下琢雅, 高谷悠大, 東倫子, 角美和子, 沼口敦, 足立裕史, 高橋英夫, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-72-6 CPDF (continuous plasma diafiltration) によってseptic cardiomyopathyによる右心不全が改善した症例

栗田昭英¹, 小村卓也², 岡島正樹², 谷口巧², 山本健¹(1.金沢大学附属病院麻酔科蘇生科, 2.金沢大学附属病院集中治療部)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 73 多臓器不全・敗血症 ⑨ (DP-73-1～DP-73-6)

座長 瀬川一(京都大学医学部附属病院集中治療部)

DP-73-1 当院における過去4年間の敗血症性播種性血管内凝固症候群症例の検討

戸高貴文, 玉城正弘, 山口怜, 島袋泰, 新里泰一, 高江洲秀樹, 仲間康敏(豊見城中央病院集中治療室)

DP-73-2 敗血症性DICに対する治療効果の検証:多施設共同後ろ向き観察研究(Japan SEPTIC DIC study)の計画

早川峰司¹, 飯塚悠祐², 齋藤慎二郎³, 滝本浩平⁴, 工藤大介⁵, 山川一馬⁶, 讃井将満², 内野滋彦³, 真弓俊彦⁷(1.北海道大学病院先進急性期医療センター, 2.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部, 3.東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部, 4.大阪大学医学部附属病院集中治療部, 5.東北大学病院高度救命救急センター, 6.大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, 7.産業医科大学救急医学講座)

DP-73-3 重症敗血症における炎症、免疫応答は年齢により異なる

工藤大介, 山内聡, 遠藤智之, 佐藤武揚, 古川宗, 野村亮介, 藤田基生, 大村拓, 宮川乃理子, 久志本成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

DP-73-4 敗血症性ショック患者における小腸粘膜障害と予後—第一報—

関野元裕¹, 舟岡宏幸², 松本聡治朗¹, 東島潮¹, 松本周平¹, 中村利秋¹, 横田徹次¹, 原哲也³(1.長崎大学病院集中治療部, 2.DSファーマバイオメディカル株式会社, 3.長崎大学病院麻酔科)

⑥ DP-73-5 IRGM 遺伝子多型がSevere Sepsis患者の転帰に与える影響

木村友則¹, 渡邊栄三¹, 織田成人¹, 坂本照夫², 池田寿昭³, 池田一美³, 小谷穠治⁴, 北村伸哉⁵, 立石順久¹, 篠崎広一郎¹(1.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2.久留米大学医学部救急医学, 3.東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部, 4.兵庫医科大学救急・災害医学, 5.国保直営総合病院君津中央病院救急・集中治療科)

DP-73-6 敗血症性ショックを合併した消化管穿孔における、早期感染コントロールの意義

小豆畑丈夫, 木下浩作, 小松智英, 櫻井淳, 丹生勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 74 多臓器不全・敗血症 ⑩ (DP-74-1～DP-74-6)

座長 梅垣修(大阪医科大学集中治療部)

DP-74-1 敗血症とendotoxin中和能

佐藤寿穂¹, 野田宏伸¹, 遠藤史隆¹, 小鹿雅博¹, 高橋学¹, 鈴木泰¹, 井上義博¹, 若林剛², 遠藤重厚¹(1.岩手医科大学医学部救急医学講座, 2.岩手医科大学医学部外科学講座)

DP-74-2 敗血症性ショックに対するステロイドの有効性～当院における検討～

菊池忠, 牧誉将, 中嶋いくえ, 大塚洋平, 中山雄二郎, 荒川尚子, 尾崎徹, 白井純宏, 具嶋泰弘, 前原潤一(済生会熊本病院救急総合診療センター)

DP-74-3 敗血症に対する静注用ヒト免疫グロブリン単回投与の有効性—第2報—

浜野宣行¹, 西憲一郎¹, 楠宗矩¹, 小野瀬亜樹⁴, 岡本明久¹, 梅垣岳志², 山崎悦子⁵, 廣田喜一², 高橋伯夫³, 新宮興²(1.関西医科大学附属枚方病院総合集中治療部, 2.関西医科大学附属枚方病院麻酔科学講座, 3.関西医科大学附属枚方病院臨床検査医学科, 4.国立国際医療研究センター麻酔科, 5.関西医科大学附属滝井病院麻酔科)

DP-74-4 重症敗血症患者の免疫グロブリン値に与える免疫抑制剤の影響

宮崎裕也, 福田聡史, 方山真朱, 松元崇史, 佐藤庸子, 尾崎眞, 小谷透(東京女子医科大学麻酔科学教室中央集中治療部)

DP-74-5 来院時低血糖を伴う敗血症症例の重症度

古川誠, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

DP-74-6 敗血症性ショックにおける起菌菌同定の有用性について

江口善友, 上條泰, 市川通太郎, 小澤正敬, 小林尊志, 高山浩史, 新田憲市, 岩下具美, 今村浩, 岡元和文(信州大学病院高度救急救命センター)

11:00 ~ 12:10

一般演題 ポスター 75 多臓器不全・敗血症 ① (DP-75-1 ~ DP-75-7)

座長 西山友貴(品川志匠会病院麻酔科)

DP-75-1 当院における敗血症初期診療の現状について

平田旭, 吉田研一, 櫻谷正明, 河村夏生, 高場章宏(JA広島総合病院)

DP-75-2 呼吸器管理を要する敗血症患者における早期リハビリテーションの効果

高松純平, 正垣淳子, 上原良作, 衣笠友美, 入江優子, 梅野晶子(関西労災病院救急部)

DP-75-3 集中治療医が不在の open ICU において敗血症性ショック治療成績はどこまで改善できるか?

福家良太(北摂総合病院呼吸器内科)

DP-75-4 敗血症患者における赤血球分布幅(RDW)の変動に関する検討

高須修¹, 鍋田雅和¹, 新山修平², 中村篤雄¹, 森田敏夫¹, 長井孝二郎³, 森眞二郎³, 正田茂樹¹, 高宮友美¹, 坂本照夫¹(1.久留米大学医学部救急医学, 2.久留米大学医学部麻酔科, 3.久留米大学高度救命救急センター)

DP-75-5 敗血症治療における経肺熱希釈法の併用に関する研究

森澤健一郎¹, 高松由佳¹, 田北無門¹, 柳井真知¹, 藤谷茂樹², 平泰彦¹(1.聖マリアンナ医科大学救急医学, 2.東京ベイ浦安市川医療センター)

DP-75-6 重症敗血症/敗血症性ショックにおける VWF propeptide/ADAMTS-13 比と血小板数減少に関する検討

福島英賢, 井上剛, 宮崎敬太, 多田祐介, 浅井英樹, 関匡彦, 則本和伸, 奥地一夫(奈良県立医科大学高度救命救急センター)

DP-75-7 肺炎球菌菌血症と脾臓容積の関連についての検討

濱中訓生¹, 板橋健太郎¹, 井本勝治¹, 山崎道夫¹, 坂本力¹, 福本知代子²(1.公立甲賀病院放射線科, 2.公立甲賀病院検査科)

16:10 ~ 17:10

一般演題 ポスター 76 中枢神経・脊髄・末梢神経 ⑦ (DP-76-1 ~ DP-76-6)

座長 守谷俊(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

DP-76-1 プロメタジンの中断によると思われる筋強剛を認めなかった重症悪性症候群の1例

笹野幹雄, 尾上卓也, 安田英人, 長谷川景子, 高山千尋, 林淑朗(亀田総合病院集中治療科)

DP-76-2 高齢初発非けいれん性てんかん重積状態が疑われた1例

三浦航, 八木正晴, 那須道高, 新里盛明, 屋宜亮兵, 北原佑介, 高田忠明, 岩永航, 井上稔弥, 池永翔一(浦添総合病院救急総合診療部)

DP-76-3 偽発作の診断に難渋した重積けいれん発作の1症例

山本剛史, 井村紗江, 山口由美, 遠山直志, 小村卓也, 越田嘉尚, 喜多大輔, 野田透, 岡島正樹, 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)

DP-76-4 クロイツフェルトヤコブ病(CJD)が疑われた重症難治性痙攣の一症例

成尾浩明¹, 濱川俊朗¹, 立山真吾², 中村禎志²(1.潤和会記念病院集中治療部, 2.潤和会記念病院麻酔科)

DP-76-5 多彩な臨床像を呈した減圧症・溺水による心停止症例

柳川洋一, 井上照大, 大森一彦, 大出靖将, 大坂裕通, 近藤彰彦, 竹内悠二, 岡本健(順天堂大学医学部附属静岡病院救急診療科)

DP-76-6 航空医療搬送を行った減圧症2例

田中真生¹, 岩崎安博¹, 辻本登志英², 川副友¹, 米満尚史¹, 木田真紀¹, 島幸宏¹, 上田健太郎¹, 山添真志¹, 加藤正哉¹(1.和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座, 2.日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部)

17:10 ~ 18:00

一般演題 ポスター 77 中枢神経・脊髄・末梢神経 ⑧ (DP-77-1 ~ DP-77-5)

座長 川口昌彦(奈良県立医科大学麻酔科学教室)

DP-77-1 重症頭部外傷の開頭手術例における機能的予後の検討

澤村淳, 宮本大輔, 小野雄一, 和田剛志, 柳田雄一郎, 菅野正寛, 早川峰司, 丸藤哲(北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野)

DP-77-2 Hydroxyethyl starch 製剤の術中投与が頭部外傷の術後急性期管理に与える影響

神移佳, 嵐大輔, 奥谷龍(大阪市立総合医療センター麻酔科)

⑧ DP-77-3 重症急性硬膜下血腫における転帰決定因子の検討

八ツ繁寛, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 住吉京子, 重田恵吾, 百瀬俊也, 榎本真也, 伊藤慧(独立行政法人国立病院機構災害医療センター脳神経外科)

DP-77-4 炎症メディエーターの変動からみたクモ膜下出血患者の予後と性差

斎藤豪, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

DP-77-5 保存療法を選択した重症頭部外傷に対する体温コントロールの検討

曾我部拓, 島原由美子, 西村哲郎, 田中太助, 佐尾山裕生, 岡田祥憲, 定光大海(国立病院機構大阪医療センター救命救急センター)

9:00 ~ 10:10

一般演題 ポスター 78 多臓器不全・敗血症 ⑫ (DP-78-1 ~ DP-78-7)

座長 射場敏明(順天堂大学救急災害医学)

DP-78-1 敗血症性DICの治療の変遷と成績

辻田靖之¹, 橋本賢吾¹, 浜本徹¹, 山根哲信¹, 高橋完¹, 今宿康彦², 松浪薫², 田畑貴久³, 松村一弘³, 江口豊³(1.滋賀医科大学医学部救急・集中治療部, 2.滋賀医科大学医学部麻酔学講座, 3.滋賀医科大学医学部救急集中治療医学講座)

DP-78-2 敗血症性DICに対するrTMの治療評価

山内浩揮, 三浦政直, 増井亜紗実, 松本慈寛, 寺島良幸, 岡本泰明, 鈴木宏康, 井口広靖, 中村不二雄(医療法人豊田会刈谷豊田総合病院)

DP-78-3 下部消化管穿孔による敗血症性DIC症例における遺伝子組み替えトロンボモジュリン製剤の使用経験

東園和哉, 日野原千速, 枝元良広, 徳原真, 山澤邦宏, 矢野秀朗, 橋本政典, 安田秀光, 清水利夫, 岡本竜也(独立行政法人国立国際医療研究センター外科)

DP-78-4 当科における集中治療を要した敗血症性DICに対する組み替え型トロンボモジュリン製剤の使用経験

菅生貴仁¹, 山田晃正¹, 植田裕司¹, 松本謙一¹, 武田昂樹¹, 長岡慧¹, 山本良一², 小松久男², 西島準一¹(1.東大阪市立総合病院消化器外科, 2.東大阪市立総合病院麻酔科)

DP-78-5 当科の感染性DICにおけるリコンビナントトロンボモデュリン(rTM)投与例の検討

依敏弘, 葛西毅彦, 武山佳洋, 柿崎隆一郎, 江濱由松, 佐藤昌太, 岡本博之(市立函館病院救命救急センター)

DP-78-6 リコンビナントトロンボモジュリン投与前後のプロテインC値の変動と転帰

千葉宣孝¹, 齋藤豪¹, 佐藤順¹, 富永善照¹, 多田勝重¹, 石井充¹, 蘇我孟群², 松崎真和², 秋山謙次², 丹正勝久¹(1.日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野, 2.駿河台日本大学病院救命救急センター)

DP-78-7 消化管穿孔16例における遺伝子組換えトロンボモジュリン製剤(rTM)を用いたDICの治療

工野玲美, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 服部正興, 宮田完志(名古屋第一赤十字病院)

10:10 ~ 11:20

一般演題 ポスター 79 多臓器不全・敗血症 ⑬ (DP-79-1 ~ DP-79-7)

座長 久志本成樹(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)

DP-79-1 敗血症性DIC重症例に対する遺伝子組換えトロンボモジュリン(rTM)とアンチトロンビン(AT)製剤の併用効果

鍋田雅和, 高須修, 永瀬正樹, 森田敏夫, 中村篤雄, 下条芳秀, 宇津秀晃, 高松学文, 山下典雄, 坂本照夫(久留米大学病院高度救命救急センター)

DP-79-2 敗血症性ショックにおける名古屋大学方式アンチトロンビン持続投与バンドルの血小板減少率の定量評価

波多野俊之, 松島暁, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-79-3 敗血症性DICに対してATIII製剤との併用時におけるトロンボモジュリンアルファ(TM- α)の治療効果の検討

早瀬直樹, 早川桂, 高橋希, 野間未知多, 佐藤啓太, 勅使河原勝伸, 五木田昌士, 田口茂正, 清田和也(さいたま赤十字病院救急医学科救命救急センター)

DP-79-4 敗血症性DICに対するリコンビナントトロンボモジュリン(rTM)とアンチトロンビン(AT)併用の治療効果

大橋直紹, 竹田健太, 佐藤創, 堀直人, 西信一(兵庫医科大学集中治療医学科)

DP-79-5 重症敗血症性DIC症例に対するAT-III製剤とトロンボモジュリン製剤併用療法の効果

白井邦博, 吉田省造, 中野通代, 熊田恵介, 土井智章, 中野志保, 山田法顕, 田中義人, 豊田泉, 小倉真治(岐阜大学医学部高度救命救急センター)

DP-79-6 ショックの全身管理に伴う凝固薬の併用と使用基準の検討

宮頭¹, 下條信威¹, 萩谷圭一¹, 櫻本秀明², 卯野木健², ジェスミンサブリナ¹, 河野了¹, 水谷太郎¹(1.筑波大学医学医療系救急・集中治療部, 2.筑波大学附属病院看護部)

DP-79-7 重症熱傷DICにトロンボモデュリン α (rh-TM)は効果があるか?

土谷飛鳥, 堤裕介, 石上耕司, 安田貢(独立行政法人国立病院機構水戸医療センター救急科)

11:20 ~ 12:10

一般演題 ポスター 80 心臓・循環・体液管理 ⑪ (DP-80-1 ~ DP-80-5)

座長 中川晋(東京都済生会中央病院循環器科)

DP-80-1 心室補助装置装着例における心拍出係数と臓器障害からの回復の関連性における検討

榎谷祐亮, 宇治満喜子, 酒井佳奈紀, 柏庸三, 滝本浩平, 平松大典, 井口直也, 大田典之, 内山昭則, 藤野裕士(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DP-80-2 左室補助人工心臓(LVAD)装着症例に対する塩酸ランジオール使用経験

岡田修一, 金子達夫, 江連雅彦, 長谷川豊, 木村知恵里, 小此木修一, 滝原瞳, 内藤敬嗣(群馬県立心臓血管センター心臓血管外科)

DP-80-3 トロンボモジュリン α 投与とhigh PEEP管理によるE-CPR症例の管理

竹重加奈子, 関口幸男, 一瀬博之(篠ノ井総合病院)

DP-80-4 維持透析導入後にVT/Vf storm出現し、補助循環管理を要した3例

永田庸二, 山本剛史, 遠山直志, 小村卓也, 藤田崇志, 越田嘉尚, 喜多大輔, 野田透, 岡島正樹, 谷口巧(金沢大学病院集中治療部)

DP-80-5 PCPS管理下にびまん性肺胞出血を合併した川崎病既往の若年発症急性心筋梗塞の1剖検例

池田武史(社会医療法人慈泉会相澤病院集中治療科)

16:10~17:20

一般演題 ポスター 81 心臓・循環・体液管理 ⑫ (DP-81-1~DP-81-7)

座長 本田喬(竜山内科リハビリテーション病院)

DP-81-1 静注薬物再犯と人工弁感染の一例

田中睦郎, 岡本実, 瀧賢一郎(国立病院機構熊本医療センター心臓血管外科)

DP-81-2 広範な心原性脳梗塞と左房内血栓に対して低体温療法と抗凝固療法を併用し救命できた一例

新城治¹, 宮城あゆみ¹, 安原容子¹, 東風平勉¹, 新里謙¹, 與那覇博克²(1.沖縄赤十字病院循環器内科, 2.沖縄赤十字病院脳神経外科)

DP-81-3 緊急手術および合併症への配慮をして集中治療室で化学療法を施行した心臓再発悪性リンパ腫の一例

米澤直樹, 山口嘉一, 森久保結香, 松田優子, 佐々木誠, 高木俊介, 塩田将, 水谷健司, 山口修, 後藤隆久(横浜市立大学附属病院)

DP-81-4 低心機能を伴う左室内血栓の消失に向けた集中治療の1例

海野仁, 東倫子, 浅田馨, 波多野俊之, 松島暁, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-81-5 急性肺水腫をきたした著明な心嚢液貯留を伴う心外膜原発脂肪腫の1例

竹内庸浩¹, 高田昌紀¹, 築部卓郎²(1.川崎病院循環器科, 2.神戸赤十字病院心臓血管外科)

DP-81-6 心タンポナーデで発症した心臓原発腫瘍の一例

北井豪, 金基泰, 江原夏彦, 加地修一郎, 谷知子, 小堀敦志, 木下慎, 古川裕(神戸市立医療センター中央市民病院)

DP-81-7 漏斗胸形成目的で留置されたstabilizing bar抜去により心破裂を発症した一例

榊原健介, 木下浩之, 安藤一雄, 安田吉孝, 森由紀子, 藤原祥裕(愛知医科大学病院麻酔科)

17:20~18:20

一般演題 ポスター 82 心臓・循環・体液管理 ⑬ (DP-82-1~DP-82-6)

座長 東海林哲郎(市立室蘭総合病院循環器内科)

DP-82-1 Wellens症候群の重要性を痛感した4症例

曾根教子¹, 鈴木啓士¹, 高木宏治¹, 徳山榮男¹, 菊池有史¹, 山本英世¹, 石川昌弘¹, 佐藤直樹¹, 清水渉²(1.日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科, 2.日本医科大学付属病院)

DP-82-2 冠攣縮性狭心症により術中心停止を起こした1症例

山田阿貴子, 新山修平, 横溝泰司, 宮脇奈央, 伊藤明日香, 平木照之, 三島康典, 牛島一男(久留米大学医学部麻酔学教室)

DP-82-3 呼吸状態の急激な悪化を繰り返し三枝病変が判明した1症例

下山雄一郎, 日外知行, 門野紀子, 日下祐介, 大地史広, 出口志保, 梅垣修(大阪医科大学附属病院集中治療部)

DP-82-4 三枝病変を有する重度大動脈弁狭窄症に種々のインターベンションを駆使し低心拍出量症候群から脱した一例

小宮山浩大¹, 田邊康宏¹, 手島保¹, 櫻田春水², 仲井盛²(1.東京都立広尾病院循環器科, 2.東京都保健医療公社大久保病院)

DP-82-5 光干渉断層法(OCT)で観察しえた冠動脈自然解離(SCAD)の2例

鶴見昌史¹, 畑典武¹, 横山真也¹, 品田卓郎¹, 富田和憲¹, 白壁章宏¹, 山本真功¹, 岡崎大武¹, 塩村玲子¹, 清水渉²(1.日本医科大学千葉北総病院集中治療室, 2.日本医科大学附属病院循環器内科)

DP-82-6 Kounis Syndrome: 蜂刺咬症によるアナフィラキシーショック後に発症した急性心筋梗塞の症例

松本悠, 堀賢介, 福井大介, 植田晋一郎, 坂本照夫(久留米大学病院高度救急救命センター)

9:00~9:50

一般演題 ポスター 83 心臓・循環・体液管理 ⑭ (DP-83-1~DP-83-5)

座長 高松道生(長野県厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院循環器内科)

DP-83-1 オートセットCSを装着しICU・HCUで治療を行った急性心不全症例の検討

齊藤伸介¹, 島田朋尚², 本田義昌², 伊藤正憲², 水上由紀³(1.市立砺波総合病院救急・集中治療部循環器科, 2.市立砺波総合病院臨床工学科, 3.市立砺波総合病院看護部ICU集中ケア認定看護師)

DP-83-2 ショックを伴わない急性心不全患者における入院時高乳酸血症の臨床意義

平田直己, 長谷川祐, 中川晋(東京都済生会中央病院循環器科)

DP-83-3 慢性心不全患者に発症した重症急性膵炎に対し、大量輸液をせずに救命した一例

小泉三輝¹, 江坂直樹², 村田真紀¹, 金子恵一³, 菊地祐子¹, 瀬田公一¹, 八幡兼成¹(1.独立行政法人国立病院機構京都医療センター腎臓内科, 2.独立行政法人国立病院機構京都医療センター消化器内科, 3.京都大学大学院医学研究科腎臓内科学)

DP-83-4 急性心不全症例に対するデクスメトミジン投与による血行動態の変化の検討

藤田崇志, 岡島正樹, 野田透, 喜多大輔, 小林大祐, 越田嘉尚, 小村卓也, 山本剛史, 永田庸二, 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)

DP-83-5 器質的心疾患を伴わない若年運動誘発性失神症例の予後とHead-up tilt試験中のT-wave alternansに関する検討

高瀬凡平¹, 木村一生¹, 浜部晃², 永井智雄², 田畑博嗣²(1. 防衛医科大学校集中治療部, 2. 自衛隊中央病院内科)

9:50 ~ 10:40

一般演題 ポスター 84 心臓・循環・体液管理 ⑮ (DP-84-1 ~ DP-84-5)

座長 長谷守(札幌医科大学救急医学講座)

DP-84-1 超急性期心筋障害の発見における高感度心筋トロポニンIの有用性について

丸田豊明¹, 越田智広², 奥那覇哲², 新福玄二¹, 矢野武志², 松岡博史³, 押川満雄², 白阪哲朗¹, 谷口正彦², 恒吉勇男¹(1. 宮崎大学医学部附属病院麻酔科, 2. 宮崎大学医学部附属病院集中治療部, 3. 宮崎大学医学部附属病院救急救命センター)

DP-84-2 APACHE-IIスコアは急性心不全治療における気管挿管の適応の重要な指標である

齊藤伸介¹, 島田朋尚², 本田義昌², 伊藤正憲², 水上由紀³(1. 市立砺波総合病院救急・集中治療部循環器科, 2. 市立砺波総合病院臨床工学科, 3. 市立砺波総合病院看護部ICU集中ケア認定看護師)

DP-84-3 重症熱傷の体液量をFeUNとBNPで管理する

平山敬浩, 鶴川豊世武, 塚原紘平, 森定淳, 飯田淳義, 山内英雄, 芝直基, 寺戸通久, 市場晋吾, 氏家良人(岡山大学病院高度救命救急センター)

DP-84-4 Symptom-guidedな考え方で最終的に手術タイミングを決定した高BNP症例

古木大佑¹, 門田善民¹, 川口泰史¹, 岩永康之¹, 長谷亨²(1. 整形外科米盛病院麻酔科, 2. 整形外科米盛病院整形外科)

DP-84-5 急性心不全におけるコペプチン測定意義の検討

徳山榮男¹, 佐藤直樹¹, 高木宏治¹, 鈴木啓士¹, 曾根教子¹, 菊池有史¹, 山本英世¹, 石川昌弘¹, 清水渉²(1. 日本医科大学武蔵小杉病院, 2. 日本医科大学付属病院)

10:40 ~ 11:40

一般演題 ポスター 85 心臓・循環・体液管理 ⑯ (DP-85-1 ~ DP-85-6)

座長 櫻田春水(東京都保険医療公社大久保病院循環器内科)

DP-85-1 Junctional ectopic tachycardiaと考えられる難治性頻脈を合併した乳児期心室中隔欠損閉鎖術後2例の検討

小宮良輔, 吉澤佐也, 杉浦健之, 上村友二, 富田麻衣子, 藤掛数馬, 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

DP-85-2 内服中止後も遷延した、薬剤性QT延長症候群の一例

櫻井聖大, 江良正, 狩野亘平, 山田周, 北田真己, 橋本聡, 橋本章子, 木村文彦, 原田正公, 高橋毅(国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部)

DP-85-3 致死的不整脈で発症した高齢者QT延長症候群—先天性、後天性とで鑑別に苦慮した症例の検討—

舩元章浩(社会医療法人大成会福岡記念病院循環器内科)

DP-85-4 ブルガダ症候群による心室細動が原因と考えられた心肺停止症例—多彩な心電図変化による検討—

舩元章浩(社会医療法人大成会福岡記念病院循環器内科)

DP-85-5 ブルガダ症候群患者の上室性頻拍(性不整脈)による心停止

稲森雅幸¹, 塩川泰啓¹, 北浦淳寛², 冬田昌樹¹, 湯上晋太郎¹, 岩元辰篤², 中尾慎一²(1. 近畿大学医学部附属病院ICU, 2. 近畿大学医学部麻酔科学講座)

DP-85-6 当院に搬送された心室細動による心肺停止症例の原因と予後についての検討

小池秀樹, 一林亮, 佐藤大輔, 北原健, 藤井悠一郎, 坪田貴也, 本多満, 吉原克則(東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)

16:10 ~ 17:20

一般演題 ポスター 86 心臓・循環・体液管理 ⑰ (DP-86-1 ~ DP-86-7)

座長 株丹浩二(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター)

DP-86-1 胸腹部大動脈手術におけるバソプレシン(VP)持続投与の検討

佐藤奈々子, 杉浦孝広, 高橋京助, 加藤剛, 鎌田高彰, 森庸介(社会医療法人財団石心会川崎幸病院)

DP-86-2 小児心臓手術後出血量と術中Thromboelastogram(ROTEM)との関連

森英明, 戸田雄一郎, 岩崎達雄, 清水一好, 金澤伴幸, 杉本健太郎, 川出健嗣, 名原功, 石井南穂子, 森松博史(岡山大学麻酔科蘇生科)

DP-86-3 デクスメトミジンが、両方向性グレン手術後の肺血管抵抗に及ぼす影響

西部伸一, 辻田美紀, 今西宏和, 三枝勉(埼玉医科大学国際医療センター麻酔科)

DP-86-4 特発性血小板減少性紫斑病患者に対する心臓・大血管手術の2例

杉浦順子, 二川晃一, 山本智久, 出口文華, 岡本慎司, 奥田隆彦(近畿大学医学部奈良病院麻酔科)

DP-86-5 Off-pump CABG症例に対する、Vasopressin対Controlの2重盲検RCT

岡本靖久(IMS葛飾ハートセンター麻酔科)

DP-86-6 心臓大血管手術後の再開胸止血術に関する検討

内藤慶史, 植田浩司, 下園崇宏, 美馬裕之, 山崎和夫(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)

DP-86-7 DICを併発した腫瘍に伴う肺塞栓を呈した患者に対する人工心肺下摘出術の麻酔管理

梶谷美砂, 安村里絵, 山崎治幸, 宮下佳子, 尾崎由佳(独立行政法人国立病院機構東京医療センター)

17:20~18:10

一般演題 ポスター 87 心臓・循環・体液管理 ⑧ (DP-87-1~DP-87-5)

座長 中尾浩一(済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科)

DP-87-1 急性心筋梗塞再灌流直後の非造影MDCTによる出血性梗塞の診断について

民田浩一(西宮渡辺心臓血管センター循環器内科)

DP-87-2 急性心筋梗塞患者に対する電子カルテにおけるクリニカルパスの有用性の検討

杉浦由規, 川口克廣, 小川恭弘, 今井元, 許聖服, 根岸陽輔, 尾竹範朗, 沢田博章, 近藤泰三(小牧市民病院循環器科)

DP-87-3 急性心筋梗塞患者における梗塞部位が虚血性僧帽弁閉鎖不全症発症に与える影響

加地修一郎, 金基泰, 北井豪, 古川裕(神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科)

DP-87-4 東京都でのST上昇型心筋梗塞患者における最初の救急隊への連絡からPCIまでの時間の検討

宮地秀樹¹, 高木厚², 宮内克己², 山崎正雄², 田中博之², 吉川雅智², 鈴木誠², 山本剛¹, 長尾建², 高山守正²(1.日本医科大学付属病院集中治療室, 2.東京都CCUネットワーク学術委員会)

DP-87-5 非糖尿病の心筋梗塞では超急性期の血糖変動が予後増悪因子である

松井翔吾¹, 臺和興¹, 井上一郎¹, 河越卓司¹, 嶋谷裕二¹, 三浦史晴¹, 西岡健司¹, 中間泰晴¹, 岡俊治¹, 石原正治²(1.広島市立広島市民病院循環器内科, 2.国立循環器病研究センター心臓血管内科)

第2日目(2月28日)

ポスター / 機器展示会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール

9:00~9:50

一般演題 ポスター 88 心臓・循環・体液管理 ⑨ (DP-88-1~DP-88-5)

座長 小竹良文(東邦大学医療センター大橋病院麻酔科)

DP-88-1 Fast-track心臓手術術後における経口摂取と混合静脈血酸素飽和度低下の関連

豊田大介, 木村宏輝, 小竹良文(東邦大学医療センター大橋病院)

DP-88-2 ブドウ糖初期分布容量(Initial Distribution Volume of Glucose, IDVG)の食道癌術後管理への有効性の検討

橋場英二¹, 石原弘規², 大川浩文³, 坪敏仁¹, 廣田和美³(1.弘前大学医学部附属病院集中治療部, 2.黒石厚生病院麻酔科, 3.弘前大学大学院医学研究科麻酔科)

DP-88-3 ICUにおける血圧日内変動

柴崎誠一, 工藤裕子, 田村高志(済生会山口総合病院)

DP-88-4 脈圧は胸腔鏡下食道癌手術中の心房細動発症の関連リスク因子となり得るか?

山田徳洪, 堀耕太郎, 舟井優介, 土屋正彦, 西川精宣(大阪市立大学大学院医学研究科麻酔科学講座)

DP-88-5 TBSSを用いた外傷患者における大量輸血療法開始のためのClinical Decision Rule(CDR)

小倉崇以, 中野実, 藤塚健次, 高橋栄治, 中村光伸, 宮崎大, 町田浩志, 鈴木裕之, 雨宮優, 原澤朋史(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

9:50~10:40

一般演題 ポスター 89 心臓・循環・体液管理 ⑩ (DP-89-1~DP-89-5)

座長 瀬尾勝弘(小倉記念病院麻酔科・集中治療部)

DP-89-1 連続心電図モニタリング(CECM)を用いた薬剤による心電図変化の解析

松枝秀世¹, 間藤卓², 有馬史人¹, 酒庭康孝¹, 大瀧聡史², 大井秀則², 山口充², 中田一之², 興水健治¹, 杉山聡²(1.埼玉医科大学総合医療センター救急科(ER), 2.埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)

DP-89-2 異なる循環動態におけるCT画像上の大静脈の面積・縦横比の検討

山田広之, 佐伯有香, 福島紘子, 平田晶子, 和智万由子, 畠山淳司, 藤澤美智子, 奈良岳志, 武居哲洋(横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター)

DP-89-3 頸静脈cardiac variation自動追跡ソフトウェアによる解析と心拍出量/中心静脈圧との関係

中村謙介¹, 井口竜太², 比留間孝広², 福田龍将¹, 土井研人², 中島勲², 矢作直樹²(1.日立総合病院救命救急センター救急集中治療科, 2.東京大学附属病院救急部集中治療部)

DP-89-4 BNPはUCG評価値のEFよりもLVdp/dtにより一致する

鵜川豊世武, 野坂宜之, 平山敬浩, 森定淳, 塚原紘平, 飯田淳義, 湯本哲也, 芝直基, 市場晋吾, 氏家良人(岡山大学病院高度救命救急センター)

DP-89-5 心臓手術後の遷延するショックに対して経食道心エコーの診断が有用であった1例

伊藤恭史¹, 加藤妙¹, 森島徹朗¹, 伊藤彰師¹, 祖父江和哉²(1.名古屋市立東部医療センター麻酔科, 2.名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

10:40～11:30

一般演題 ポスター 90 心臓・循環・体液管理 ㉑ (DP-90-1～DP-90-5)

座長 野村岳志(湘南鎌倉総合病院麻酔科集中治療部)

- DP-90-1 敗血症における高乳酸血症とNIRS(近赤外分光法 near-infrared spectroscopy)の関連
蘇我孟群¹, 酒谷薫², 八木司¹, 川守田剛¹, 吉野篤緒³, 長尾建⁴(1.駿河台日本大学病院救急科, 2.日本大学工学部電気電子工学科次世代工学技術研究センター, 3.日本大学医学部脳神経外科, 4.駿河台日本大学病院循環器科)
- DP-90-2 NIRSによるショック患者の肝組織酸素飽和度のモニタリングの意義
中島強, 川副友, 柴田尚明, 宮本恭兵, 木田真紀, 島幸宏, 岩崎安博, 加藤正哉(和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座)
- DP-90-3 非侵襲血行動態モニタリングデバイスNexfin[®]と肺動脈カテーテルで測定した心拍出量の相関
菊池有史¹, 曾根教子¹, 高木宏治¹, 鈴木啓士¹, 徳山榮男¹, 山本英世¹, 石川昌弘¹, 佐藤直樹¹, 清水渉²(1.日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科, 2.日本医科大学循環器内科)
- DP-90-4 Aesculon MiniTMとFloTracTM/VigileoTMによる一回心拍出量と輸液反応性の比較検討
池宗啓蔵¹, 出崎陽子¹, 菊池幸太郎², 沼田結希¹, 荻田綾子², 武智健一², 藤井園子³, 萬家俊博³, 土手健太郎¹, 長樽巧²(1.愛媛大学医学部附属病院集中治療部, 2.愛媛大学医学部麻酔・周術期学講座, 3.愛媛大学医学部附属病院手術部)
- DP-90-5 間欠的空気圧迫法が心拍出量モニタリングに与える干渉～肺動脈カテーテルとフロートラックシステムの違い
橋本一哉, 山崎和夫, 美馬裕之, 下園崇宏, 植田浩, 内藤慶史, 川上大祐(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・集中治療部)

16:10～17:00

一般演題 ポスター 91 気道・呼吸・呼吸管理 ㉒ (DP-91-1～DP-91-5)

座長 佐藤智行(さいたま市立病院)

- DP-91-1 Permissive hypoxemiaにより救命したレジオネラ肺炎による重症ARDSの2例
南絵里子, 石川友規, 三枝秀幸, 川上直哉, 大石悠理, 石井瑞恵, 岩崎衣津, 小林浩之, 實金健, 時岡宏明(岡山赤十字病院麻酔科)
- DP-91-2 Meduri法に準じたステロイド投与が有効であった食道癌術後ARDSの1症例
菊地俊介¹, 高野仁², 大島博人³, 上田宣夫³, 太田宗一郎¹, 飯田宏樹⁴, 熊田恵介⁵(1.岐阜市民病院麻酔科, 2.岐阜市民病院外科, 3.岐阜市民病院集中治療部, 4.岐阜大学大学院医学系研究科麻酔・疼痛制御学分野, 5.岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- DP-91-3 肝硬変を伴う胃癌術後に新鮮凍結血漿にて輸血関連急性肺傷害を来した1例
松本紘典¹, 天野浩司², 蛭原健², 加藤文崇², 森田正則², 中田康城², 横田順一郎²(1.愛媛大学医学部附属病院救急部, 2.市立堺病院外科)
- DP-91-4 術中輸血によって発症した輸血関連急性肺障害(Transfusion Related Acute Lung Injury; TRALI)の1症例
寿原朋宏, 奥田淳, 小柳智智子, 鈴木由貴, 若泉謙太, 福田陽子, 長田大雅, 森崎浩(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)
- DP-91-5 緊急下行置換手術におけるシベレスタットの必要性の検討
坪光祥晃¹, 清水淳¹, 三井誠司¹, 鎌形千尋¹, 高橋祐生¹, 坂本篤裕²(1.榊原記念病院麻酔科, 2.日本医科大学疼痛制御麻酔科学講座)

17:00～18:10

一般演題 ポスター 92 気道・呼吸・呼吸管理 ㉓ (DP-92-1～DP-92-7)

座長 小野寺睦雄(徳島大学病院救急集中治療部)

- DP-92-1 集中治療管理における酸素化能と生命予後に関する評価研究
東倫子, 高谷悠大, 稲葉正人, 波多野俊之, 松島暁, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)
- DP-92-2 重症ニューモシス肺炎症例の肺毛細血管透過性に関する研究
寺田尚弘, 宮崎裕也, 福田聡史, 方山真朱, 松元崇史, 大橋麻美, 佐藤庸子, 尾崎真, 小谷透(東京女子医科大学麻酔科中央集中治療部)
- DP-92-3 呼吸管理中に呼吸性アルカローシスを来す症例の検討
岡田真行¹, 栗原一貴², 小野寺悠¹, 前田聖代², 鈴木博人², 高橋大¹, 市川一誠¹, 松下佐智子², 中根正樹¹, 川前金幸¹(1.山形大学医学部附属病院集中治療部, 2.山形大学医学部附属病院麻酔科)
- DP-92-4 人工呼吸中の高酸素血症の発生頻度と背景因子に関する考察
板垣大雅¹, 田根なつ紀¹, 網野祐美子², 奥田菜緒¹, 井澤真代¹, 中瀧恵美子¹, 小野寺睦雄¹, 今中秀光², 西村匡司¹(1.徳島大学病院救急集中治療部, 2.徳島大学病院ER・災害医療診療部)
- DP-92-5 外傷性頸髄損傷患者の急性期呼吸管理について
白晋, 若松正樹, 開田剛史, 森康一郎, 町野麻美(中部労災病院麻酔科・集中治療部)
- DP-92-6 人工呼吸療法に関する疫学研究
齋藤伸行¹, 讃井将満²(1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2.自治医科大学さいたま医療センター麻酔科・集中治療部)
- DP-92-7 すりガラス陰影を呈した免疫抑制患者の気管支肺胞洗浄液所見と予後に関する検討
佐藤庸子, 福田聡史, 方山真朱, 宮崎裕也, 松元崇史, 小谷透(東京女子医科大学麻酔科中央集中治療部)

9:00～10:10

一般演題 ポスター 93 気道・呼吸・呼吸管理 ㉔ (DP-93-1～DP-93-7)

座長 長谷川隆一(公立陶生病院救急部)

- DP-93-1 気管切開患者におけるOptiflow気管切開コネクタによる気道内圧への影響
上野喬平¹, 北博樹², 三住拓誉³(1. 神戸大学医学部麻酔科, 2. 神戸大学医学部臨床工学部門, 3. 神戸大学医学部集中治療部門)
- DP-93-2 HighFO ネブライザーTMを用いた経鼻酸素投与における肺酸素濃度(シミュレーターによる計測)
満田真吾¹, 森山潔², 神山智幾², 安藤直朗², 金井理一郎², 萬知子²(1. 国立病院機構災害医療センター, 2. 杏林大学病院麻酔科学教室)
- DP-93-3 High Flow Nasal Cannulaによる解剖学的死腔のwashout効果の自発呼吸モデルと気道モデルを用いた検討
小野寺悠¹, 栗原一貴², 森谷真知佳², 前田聖代², 加藤二葉², 鈴木博人², 松下佐智子², 岡田真行¹, 中根正樹¹, 川前金幸¹(1. 山形大学医学部附属病院麻酔科集中治療部, 2. 山形大学医学部附属病院麻酔科)
- DP-93-4 High Flow Therapyの適応を考える 一気管切開患者を中心に—
小松聖史, 栗山直英, 河田耕太郎, 野田昌宏, 新美太祐, 秋山正慶, 湯本美穂, 山下千鶴, 柴田純平, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- DP-93-5 抜管後呼吸不全予防におけるHigh Flow Nasal Cannula Oxygenの有効性の検討
高橋宏之, 坂梨洋, 安藤大吾, 増田崇光, 吉川和秀, 篠原潤, 小林利通, 川名由浩, 高橋政照, 磯谷栄二(東京女子医科大学東医療センター救急医療科)
- DP-93-6 小児患者におけるハイフロー経鼻カニュラの呼吸補助効果の検討
板垣大雅¹, 田根なつ紀¹, 網野祐美子², 奥田菜緒¹, 井澤眞代¹, 中瀧恵実子¹, 小野寺陸雄¹, 今中秀光², 西村匡司¹(1. 徳島大学病院救急集中治療部, 2. 徳島大学病院ER・災害医療診療部)
- DP-93-7 急性呼吸障害に対するハイフローセラピーと非侵襲的陽圧換気の気管挿管回避に関する検討
成宮博理, 檜垣聡, 小田和正, 荒井裕介, 市川哲也, 岡田遥平, 飯塚亮二(京都第二赤十字病院救命センター)

10:10～11:20

一般演題 ポスター 94 気道・呼吸・呼吸管理 ㉕ (DP-94-1～DP-94-7)

座長 中野実(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科)

- DP-94-1 NHF(Nasal High-Flow)は集中治療部の終末期患者の呼吸管理の選択肢となる
浅賀健彦¹, 別宮小由理¹, 築瀬賢¹, 村上あきつ¹, 菅原友道², 宮本沙美², 岡部悠吾², 白神豪太郎²(1. 香川大学医学部附属病院集中治療部, 2. 香川大学医学部麻酔学講座)
- DP-94-2 Nasal high flow(NHF)におけるPEEPの生理学的評価とその効果的活用
岸川政信¹, 奥山稔朗²(1. 福岡市民病院救急科, 2. 福岡市民病院集中治療科)
- DP-94-3 挿管下自発呼吸患者に対するF&P OPT570の使用はT-ピースより良好な呼吸環境が可能である
西山圭子¹, 佐藤敏朗², 中垣麻子², 坂口祥章², 岡本遼², 小高光晴¹, 小森万希子¹(1. 東京女子医科大学東医療センター麻酔科, 2. 東京女子医科大学東医療センターME室)
- DP-94-4 Nasal high flow cannulaに加えRTX併用にて治療が奏功した高齢者重症肺炎球菌性肺炎の1例
鈴木学, 野村恵, 三好嗣臣, 竹田雄一郎, 放生雅章, 杉山温人(国立国際医療研究センター呼吸器内科)
- DP-94-5 ネーザルハイフローが呼吸運動にもたらす効果についての検討
星野哲也¹, 西山和孝¹, 井上貴昭¹, 松田繁¹, 田中裕¹, 山本信章²(1. 順天堂大学付属浦安病院救急診療科, 2. 順天堂大学医学部付属浦安病院臨床工学室)
- DP-94-6 小児集中治療室(PICU)におけるネーザルハイフローの使用経験
藤原直樹¹, 制野勇介¹, 八坂有起¹, 水野裕美子¹, 坂名城尚²(1. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児集中治療科, 2. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センターMEセンター)
- DP-94-7 食道癌術後患者における経鼻高流量酸素療法の影響
三住拓誉¹, 森下淳², 出田眞一郎¹(1. 神戸大学医学部附属病院集中治療部, 2. 神戸大学医学部附属病院麻酔科)

16:10～17:10

一般演題 ポスター 95 気道・呼吸・呼吸管理 ㉖ (DP-95-1～DP-95-6)

座長 七戸康夫(国立病院機構北海道医療センター救命救急センター救急科)

- DP-95-1 急性呼吸促進症候群に対し腹臥位を用いた呼吸管理を行った7症例の検討
酒井拓磨, 中島大介, 佐藤公亮, 幸野真樹, 大井康史, 西村祥一, 望月聡之, 宮崎弘志, 古谷良輔(国立病院機構横浜医療センター救急科)
- DP-95-2 腹臥位療法の至適時間に関する後ろ向き研究 一施行時間と酸素化能推移に関して—
宮本恭兵, 川副友, 小川敦裕, 柴田尚明, 中島強, 米満尚史, 木田真紀, 島幸宏, 岩崎安博, 加藤正哉(和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座)
- DP-95-3 片側再膨張性肺水腫に対して腹臥位人工呼吸が有効であった一例
金谷明浩¹, 齋藤浩二¹, 星邦彦¹, 紺野大輔¹, 亀山良亘¹, 吾妻俊弘², 山内正憲²(1. 東北大学病院集中治療部, 2. 東北大学大学院外科病態学講座麻酔科学・周術期医学分野)
- DP-95-4 重症頭部外傷例に対するmechanical insufflation-exsufflation(カファシスト®)の使用経験
島原由美子, 曾我部拓, 佐尾山裕生, 田中太助, 岡昌祥憲, 立野里織, 西村哲郎, 定光大海(国立病院機構大阪医療センター救命救急センター)

- DP-95-5 当院ICUにおける小児心臓血管外科術後のBiphasic Cuirass Ventilation (BCV) 使用症例の検討
辻達也, 徐民恵, 田村哲也, 杉浦健之, 平手博之, 草間宣好, 小笠原治, 有馬一, 藤田義人, 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)
- DP-95-6 体外式持続陰圧は陽圧人工呼吸管理中のFontan循環患者の心拍出量を増加させる
香取信之, 西村大輔, 倉住拓弥, 羽鳥英樹, 印南靖志, 南嶋しづか, 森崎浩(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

17:10 ~ 18:10

一般演題 ポスター 96 気道・呼吸・呼吸管理 ② (DP-96-1 ~ DP-96-6)

座長 松本睦子(姫路赤十字病院麻酔科)

- DP-96-1 多椎間頸椎前方固定術におけるretropharyngeal spaceとretrotracheal spaceの術後変化の検討
寺尾嘉彰, 石崎泰令, 江頭崇, 辻史子, 福崎誠(長崎労災病院麻酔科)
- DP-96-2 換気困難から縦隔気腫、皮下気腫さらに腹腔内遊離ガスにまで発展した症例
野村泰充, 井上聡己, 恵川淳二, 西和田忠, 新城武明, 瓦口至孝, 北川和彦, 川口昌彦(奈良県立医科大学付属病院麻酔科集中治療部)
- DP-96-3 スガマデックス投与後にラリンジアルマスクで換気不能となった1例
太田権守(大阪南医療センター麻酔科)
- DP-96-4 一時留置型下大静脈フィルター留置後に気道狭窄をきたし、緊急気管挿管を行った1症例
藤本潤一, 土屋智徳, 平井明子, 西濱雅充(済生会横浜市南部病院麻酔科)
- DP-96-5 義歯誤飲による食道異物摘出術を施行した症例の検討
仲嶺洋介¹, 松岡慶太¹, 伊敷聖子¹, 村上隆啓², 安元浩³, 天願俊穂³, 依光たみ枝⁴(1. 沖縄県立中部病院麻酔科, 2. 沖縄県立中部病院外科, 3. 沖縄県立中部病院心臓血管外科, 4. 沖縄県立八重山病院麻酔科)
- DP-96-6 目撃のある気道異物による窒息症例102例の検討: CPRか異物除去か?
河野大輔, 小豆畑丈夫, 木下浩作, 小松智英, 櫻井淳, 守谷俊, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

9:00 ~ 10:10

一般演題 ポスター 97 産婦人科・泌尿器 ① (DP-97-1 ~ DP-97-7)

座長 川村隆枝(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター麻酔科)

- DP-97-1 著明な低Na血症(108mEq/L)と循環抑制・神経症状を呈した経尿道的前立腺摘出術(TUR)症候群の1症例
後藤紘葉¹, 伊藤遼平¹, 加藤規子¹, 菅原昭恵¹, 高須昭彦¹, 横山幸房²(1. 大垣市民病院麻酔科, 2. 大垣市民病院胸部外科)
- DP-97-2 ロボット(da Vinci)による腹腔鏡下前立腺手術の周術期管理について(第2報)
西村佳穂, 藤田泰宣, 大橋祥文, 日生下由紀, 濱部奈穂, 園田俊二, 香河清和, 井浦晃, 石井朝美, 谷上博信(大阪府立成人病センター麻酔科・ICU)
- DP-97-3 腎盂腸腰筋痙攣の一例
大塚洋平¹, 白井純宏¹, 山口隆大², 具嶋泰弘¹, 前原潤一¹(1. 済生会熊本病院救急総合診療センター, 2. 済生会熊本病院腎泌尿器センター)
- DP-97-4 妊娠15週の妊婦に発症したA群溶連菌感染を契機としたTSSの1例
福井大治郎, 須田高之, 遠藤浩志, 稲葉健介(水戸済生会総合病院救命救急センター)
- DP-97-5 未診断の褐色細胞腫を合併し、緊急帝王切開術中に羊水塞栓症に陥り心停止をきたしたが社会復帰できた一症例
三田建一郎¹, 次田佳代², 小畑友里江², 神澤聖一², 松本泰成¹, 安田善一¹, 溝上真樹², 重見研司¹(1. 福井大学医学部附属病院集中治療部, 2. 福井大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)
- DP-97-6 スーパー母体搬送となった脳血管障害を合併した妊婦の1例
天日聖, 松原珠美(東京都立多摩総合医療センター)
- DP-97-7 非外傷手術においてダメージコントロールにて救命した2例
堀泰雄, 西雄一, 栗田聡, 中谷桂治(大阪厚生年金病院麻酔科)

10:10 ~ 11:00

一般演題 ポスター 98 産婦人科・泌尿器 ② (DP-98-1 ~ DP-98-5)

座長 加藤啓一(日本赤十字社医療センター麻酔科)

- DP-98-1 妊娠18週流産後に心不全を発症し産褥心筋症が疑われた一例
寺田統子, 上野原淳, 高田由以子, 鷹取誠(広島市立広島市民病院麻酔集中治療科)
- DP-98-2 補助循環を必要とする重症心不全を呈した周産期心筋症の1例
小坂麻里子, 蔭亮, 牧野剛典, 大地嘉史, 安部隆国, 古賀寛教, 安田則久, 日高正剛, 後藤孝治, 野口隆之(大分大学医学部附属病院麻酔科・集中治療部)
- DP-98-3 弛緩出血後の出血性ショックに対して大動脈遮断バルーンカテーテルが有効であった一例
鈴木剛, 伊関憲, 大久保怜子, 林田晶子, 阿部良伸, 根本千秋, 塚田泰彦, 島田二郎, 池上之浩, 田勢長一郎(福島県立医科大学医学部救急医療学講座)
- DP-98-4 重症化した急性妊娠脂肪肝の1症例
安田真人, 宮本恭兵, 船橋亮輔, 柴田尚明, 田中真生, 中島強, 川副友, 木田真紀, 島幸宏, 加藤正哉(和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座)

DP-98-5 血栓溶解療法中に腹腔内出血が出現した経口避妊薬内服患者の一症例
寺嶋真理子, 中尾篤典, 橋本篤徳, 満保直美, 高杉遥, 村上裕亮, 山田勇, 小谷穰治(兵庫医科大学救急・災害医学講座)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 99 産婦人科・泌尿器 ③ (DP-99-1～DP-99-5)

座長 北浦道夫(香川労災病院麻酔科)

- DP-99-1 DICを合併した産科危機的出血に対する遺伝子組換え活性型第7因子製剤の使用経験
窪田健児, 小川理(新潟県立中央病院救急科)
- DP-99-2 大量胸水を伴った卵巣過剰刺激症候群に対してFloTrac(TM)を用いた保存的加療が奏功した一症例
小坂真子, 谷本和香奈, 佐伯百穂, 田口真也, 石井賢造, 小山祐介, 日高秀邦, 小野和身(福山市民病院麻酔科・がんペインクリニック)
- DP-99-3 リコンビナントトロンボモジュリン(rhTM)製剤投与が奏効した産科DICの3例
市来玲子, 松本徳彦, 星野耕大, 川野恭雅, 田中潤一, 大矢浩史, 石倉宏恭(福岡大学病院救命救急センター)
- DP-99-4 帝王切開後に30Lの大量出血を来し救命し得た症例
小野寛子, 福山宏, 佐々木素子, 駒崎真矢, 岡村正之(茅ヶ崎市立病院麻酔科)
- DP-99-5 産科関連ICU入院症例の検討～産科ICU(Obstetric ICU)設立に向けて～
中山理¹, 田中茂², 眞喜志剛², 土手尚², 藤谷茂樹³(1.聖隷浜松病院産婦人科, 2.聖隷浜松病院救急科, 3.東京ベイ浦安市川医療センター)

16:10～17:10

一般演題 ポスター 100 システム ① (DP-100-1～DP-100-6)

座長 米井昭智(倉敷中央病院麻酔科)

- DP-100-1 tele-ICUシステム導入の試み
讃井将満, 飯塚悠祐, 大沼哲, 小室哲也, 毛利英之, 小山洋史, 増山智之, 佐藤瑞樹, 長島道生, 築瀬史貴(自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部)
- DP-100-2 重症患者管理における新システム導入による効果
内藤貴基, 津久田純平, 則末泰博, 澤村匡史, 藤谷茂樹(東京ベイ浦安市川医療センター集中治療科)
- DP-100-3 大学病院Open ICUにおける電子記録システムの導入 病院情報システムとの分担についての事例報告
杉森宏¹, 漢那朝雄², 藤崎毅一郎², 徳田憲太郎¹, 野田英一郎², 藤村直幸²(1.九州大学病院集中治療部, 2.九州大学病院救命救急センター)
- DP-100-4 新しい集中治療部門システム「CIS-ICU」の紹介 一病院電子カルテ・外部機器データ連携を強化したシステムー
高山渉¹, 菅規久子², 増田祐也², 森田慶久², 増田純一², 田中靖弘³, 濱谷恵理子³, 佐久間祐樹³, 石川明子⁴(1.川崎市立井田病院麻酔科, 2.川崎市立川崎病院麻酔科・集中治療科, 3.川崎市立川崎病院ICU・CCU病棟, 4.川崎市立井田病院麻酔科・集中治療科)
- DP-100-5 液晶QRコード表示による血液ガス分析装置測定結果取り込みシステムの開発
網塚貴介(青森県立中央病院総合周産期母子医療センター新生児科)
- DP-100-6 ヒノキアロマ芳香浴を用いた夜勤看護師のストレス軽減効果の検討
出野智史, 佐藤智行, 上田真己, 佐久間貴裕, 永瀧万理, 橋内章, 忍田純哉(さいたま市立病院麻酔科)

17:10～18:10

一般演題 ポスター 101 システム ② (DP-101-1～DP-101-6)

座長 境田康二(船橋市立医療センター救命救急センター)

- DP-101-1 医療優先固定翼機メディカルウイング運航結果(速報)
丹野克俊¹, 窪田生美¹, 加藤航平¹, 成松英智¹, 奈良理², 高橋功², 目黒順一³, 浅井康文³(1.札幌医科大学救急医学講座, 2.手稲溪仁会病院, 3.北海道航空医療ネットワーク研究会)
- DP-101-2 災害時の集中治療室のベッドと機能
奥山学, 中永士師明, 五十嵐季子, 多治見公高(秋田大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-101-3 一地方病院ICUの運営の現実と工夫
井上健, 上野弘恵, 中野亜希子, 高田智子, 岸本剛志, 田中英樹, 父川拓朗, 白井麻子, 国武彩, 三代英紀(関門医療センター)
- DP-101-4 神経集中治療における集中治療医参入の安全性について:新病院の新たな試み
内藤貴基, 則末泰博, 津久田純平, 澤村匡史, 藤谷茂樹(東京ベイ浦安市川医療センター集中治療科)
- DP-101-5 季節性インフルエンザ長期蔓延を防ぐことに成功したICU管理
松田潔, 望月徹, 石之神小織, 菊池広子, 遠藤広史, 竹ノ下尚子, 河野陽介, 石丸直樹, 富永直樹, 黒川顕(日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)
- DP-101-6 外科病棟から緊急ICU入室を要した患者の早期判断に向けての検討
白井章浩¹, 天野浩司¹, 蛭原健¹, 加藤文崇², 青井良太³(1.市立堺病院救急外科, 2.市立堺病院外科, 3.市立堺病院麻酔科)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 102 鎮静・鎮痛・せん妄 ① (DP-102-1～DP-102-6)

座長 中西一浩(日本医科大学麻酔科)

DP-102-1 抑肝散による睡眠管理が食道癌術後患者の周術期管理に与える影響についての検討

関根秀介¹, 屋良美紀¹, 竹下裕二¹, 益本憲太郎¹, 板橋敏雄¹, 柿沼孝泰¹, 福井秀公¹, 西山隆久¹, 小澤拓郎², 内野博之¹(1.東京医科大学麻酔科学講座, 2.全国土木建築国民健康保険組合厚生中央病院)

DP-102-2 周術期にデクスメトミジンが有用であったレム睡眠行動障害の2例

大竹孝尚, 入江洋正, 中西美鈴, 金沢路子, 河合恵子, 山下茂樹(倉敷中央病院麻酔科)

DP-102-3 小児開心術後鎮静におけるデクスメトミジンの有用性

長谷川智巳, 大嶋義博, 圓尾文子, 松久弘典, 田中亜紀子, 野田怜, 松島峻介(兵庫県立こども病院)

DP-102-4 デクスメトミジンによる鎮静プロトコルが術後人工呼吸期間に及ぼす影響

細野敦之, 井石雄三, 當重一也, 今泉剛, 大橋智, 中野裕子, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 村川雅洋(福島県立医科大学医学部麻酔科学講座)

DP-102-5 dexmedetomidine (DEX)を使用したNPPV症例の検討

廣田誠二, 村上翼, 本多康人, 安岡やよい, 藤本枝里, 原真也, 西森久美子, 島津友一, 山崎浩史, 西山謹吾(高知赤十字病院救命救急センター)

DP-102-6 高度救命救急センターにおけるデクスメトミジンによるせん妄発症の危険因子解析

座間味義人¹, 藤原歩¹, 武本あかね², 飯田淳義², 鶴川豊世武², 市場晋吾², 名倉弘哲¹, 氏家良人²(1.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急薬学講座, 2.岡山大学病院高度救命救急センター)

10:00～11:10

一般演題 ポスター 103 鎮静・鎮痛・せん妄 ② (DP-103-1～DP-103-7)

座長 佐藤善一(大阪回生病院)

DP-103-1 心臓血管外科手術後のせん妄は離床及び入院期間を遅延させる

長谷川豊¹, 満山兼一郎², 江連雅彦¹, 木村知恵里¹, 岡田修一¹, 小此木修一¹, 滝原瞳¹, 内藤敬嗣¹, 金子達夫¹(1.群馬県立心臓血管センター心臓血管外科, 2.群馬県立心臓血管センターリハビリテーション課)

DP-103-2 急性大動脈解離保存療法症例におけるせん妄が予後に関与するか

佐久田豊, 高志賢太郎, 上杉英之, 西上和宏, 中尾浩一, 門脇拓, 村田英隆, 平山統一(済生会熊本病院集中治療室心臓血管センター)

DP-103-3 ICUにおけるせん妄発症関連因子の検討

荻野泰明, 金田浩太郎, 古賀靖卓, 中原貴志, 戸谷昌樹, 藤田基, 金子唯, 河村宜克, 小田泰崇, 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

DP-103-4 非侵襲的陽圧換気施行中の興奮・せん妄の発症頻度と鎮静薬の使用状況

小野寺陸雄¹, 河原良美³, 相原奈緒美³, 中瀧恵実子¹, 板垣大雅¹, 中野あけみ³, 今中秀光², 西村匡司¹(1.徳島大学病院救急集中治療部, 2.徳島大学病院ER・災害医療診療部, 3.徳島大学病院看護部)

DP-103-5 人工呼吸管理中のせん妄発生に関する研究

福田聡史, 方山真朱, 宮崎裕也, 松元崇史, 佐藤庸子, 寺田尚弘, 尾崎真, 小谷透(東京女子医科大学病院麻酔科・中央集中治療部)

DP-103-6 高齢心・血管患者のせん妄発症と予後の検討

佐藤康次¹, 久保田幸次¹, 織田裕之¹, 鷹取治¹, 八重樫貴紀¹, 向井勇介¹, 安間圭一²(1.公立松任石川中央病院循環器内科, 2.公立松任石川中央病院集中治療室)

DP-103-7 食道切除術における術後せん妄の発生頻度と関連因子の検討

米倉寛, 平手博之, 辻達也, 小笠原治, 杉原祐介, 大内田絵美, 西澤義之, 仲野実輝, 前田純依, 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

11:10～12:10

一般演題 ポスター 104 鎮静・鎮痛・せん妄 ③ (DP-104-1～DP-104-6)

座長 天谷文昌(京都府立医科大学麻酔科学教室)

DP-104-1 消化器外科緊急手術の術後鎮痛方法の検討:経静脈的自己調節鎮痛法は硬膜外麻酔の代替となり得るか?

松本晶平¹, 後瀬剛司¹, 井上知子¹, 塚越美喜子¹, 大島正行²(1.富士重工業健康保険組合太田記念病院麻酔科, 2.小張総合病院麻酔科)

DP-104-2 PCA(Patient Controlled Analgesia)ポンプの投与量設定に関する調査

寺田享志, 大岩彩乃, 渡辺雅之, 佐藤暢一, 出光亘, 長澤実佳, 落合亮一(東邦大学医療センター大森病院麻酔科)

DP-104-3 Behavioral pain scale :BPSを使用した胸腹部大動脈置換術後の疼痛管理

杉浦孝広, 高橋京助, 佐藤奈々子, 加藤剛, 鎌田高彰, 森庸介(社会医療法人財団石心会川崎幸病院麻酔科)

DP-104-4 術後患者におけるフルビプロフェンとフェンタニル長期投与による免疫担当細胞に対する影響の比較

植原創¹, 門井雄司², 神山治郎¹, 柳澤晃広¹, 金本匡史¹, 久保和宏¹, 戸部賢¹, 日野原宏¹, 国元文生¹, 齋藤繁¹(1.群馬大学医学部附属病院集中治療部, 2.群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

DP-104-5 循環血液量の30%以上の出血をきたした患者の鎮痛方法の違いにおける術後認知機能障害に与える影響

工藤明(弘前市立病院)

DP-104-6 鎮痛薬・鎮静薬処方の変化が患者予後に与える影響

本田博之, 新田正和, 大橋さとみ, 本多忠幸, 遠藤裕(新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター)

16:10~17:00

一般演題 ポスター 105 熱中症 ① (DP-105-1~DP-105-5)

座長 三宅康史(昭和大学医学部救急医学/昭和大学病院救命救急センター)

DP-105-1 急性肝不全を併発した3度熱中症の一救命例

金村剛宗, 金子真由子, 高田浩明, 神保一平, 米山久詞, 長谷川栄寿, 小笠原智子, 加藤宏, 小井土雄一(独立行政法人国立病院機構災害医療センター救命救急センター)

DP-105-2 3度熱中症による肝不全に対し血漿交換を行った一救命例

新里勇樹, 三戸正人(社会医療法人ハートライフ病院救急総合診療部)

DP-105-3 頭部MRIで異常所見を呈した重症熱中症の臨床及び画像経過

佐々木庸郎, 岡田保誠, 稲川博司, 小島直樹, 山口和将, 渡邊隆明, 澄田奏子, 松吉健夫, 広瀬由和, 今村剛朗(公立昭和病院救命救急センター)

DP-105-4 熱中症重症度スコアと、集中治療室入室後の重症熱中症患者の予後の関係について

神田潤, 三宅康史, 有賀徹(昭和大学医学部救急医学講座)

⑤ DP-105-5 背景因子による熱中症分類の試み —heatstroke study 2010, 2012サブ解析より—

金子唯, 古賀靖卓, 中原貴志, 戸谷昌樹, 藤田基, 河村宜克, 金田浩太郎, 小田泰崇, 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

17:00~18:00

一般演題 ポスター 106 熱中症 ② (DP-106-1~DP-106-6)

座長 増野智彦(日本医科大学高度救命救急センター)

DP-106-1 岩盤浴中に発症した重症熱中症と多臓器不全の一例

槇山鉄矢, 田宗秀隆, 森川健太郎, 清水敬樹(都立多摩総合医療センター救命救急センター)

DP-106-2 腎代替療法・血漿交換を施行し救命できたサウナによる重症熱中症の一例

伊藤宏保¹, 栗田康寿¹, 藤井真広¹, 測上貴正¹, 山形忠永², 河田将行², 吉田昌弘¹, 西塚一男², 古木勲², 広田幸次郎¹(1.厚生連高岡病院救命救急センター, 2.厚生連高岡病院麻酔・集中治療科)

DP-106-3 重症熱中症に対してcoolingを施行し、低体温となるも神経学的改善を得た一例

遠藤武尊¹, 荒井秀明¹, 金澤綾子¹, 伊佐泰樹¹, 長田圭司¹, 原山信也¹, 二瓶俊一¹, 相原啓二¹, 真弓俊彦², 蒲地正幸¹(1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学病院救急医学講座)

DP-106-4 3度熱中症後に意識障害、両側声帯麻痺が遷延した1例

木村翔, 湯澤紘子, 木村友則, 菅原久徳, 貞広智仁(東京女子医科大学八千代医療センター救急科・集中治療部)

DP-106-5 ゴニサミド使用後に高体温を呈した2例

吉田知由¹, 本間多恵子³, 小野雄一², 和田剛志², 柳田雄一郎², 早川峰司², 澤村淳², 丸藤哲²(1.KKR札幌医療センター麻酔・集中治療科, 2.北海道大学病院先進急性期医療センター, 3.市立札幌病院小児科)

DP-106-6 悪性症候群との鑑別が困難であった急性テオフィリン中毒の一例

徳永健太郎, 秋田真代, 塚田恵, 岡田まゆみ, 小林尊志, 高山浩史, 堂籠博, 岩下具実, 今村浩, 岡元和文(信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)

第2日目(2月28日)

ポスター会場 国立京都国際会館 1F スワン

9:00~10:00

一般演題 ポスター 107 栄養管理 ① (DP-107-1~DP-107-6)

座長 西澤英雄(横浜労災病院中央集中治療部)

DP-107-1 refeeding syndromeにより致死的不整脈をきたした1症例

星野江里加, 中野実, 中村光伸, 宮崎大, 町田浩志, 鈴木裕之, 塚塚健次, 小倉崇以, 小林善郎(前橋赤十字病院)

DP-107-2 集中治療における栄養管理と生命予後に関する評価研究

東倫子, 松島暁, 稲葉正人, 波多野俊之, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 高橋英夫, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-107-3 集中治療領域における早期経腸栄養開始の現状と栄養剤選択

宮島功, 宮澤靖(社会医療法人近森会近森病院栄養サポートセンター)

DP-107-4 栄養投与による安静時エネルギー消費量への影響

安藤望¹, 佐藤大三¹, 高橋智子², 近藤紀子², 稲田英一¹(1.順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座, 2.東北大学病院医学部麻酔科)

DP-107-5 集中治療領域における六君子湯使用効果の検討

檜垣聡, 岡田遥平, 市川哲也, 荒井裕介, 小田和正, 榎原謙, 石井亘, 飯塚亮二(京都第二赤十字病院救命救急センター)

DP-107-6 急性腎障害でCRRTが必要な成人重症患者の栄養管理に関する検討

神應知道¹, 片岡祐一², 花島資², 北原孝雄², 上條吉人¹(1.北里大学医学部中毒・心身総合救急医学, 2.北里大学医学部救命救急医学)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 108 栄養管理 ② (DP-108-1～DP-108-6)

座長 巽博臣(札幌医科大学医学部集中治療医学)

DP-108-1 急性大動脈解離(B型解離)保存療法におけるCRPと尿中尿素窒素量の関係

御室総一郎, 成瀬智, 朝羽瞳, 鈴木興太, 入江直, 林美彌子, 小幡由佳子, 牧野洋, 土井松幸, 佐藤重仁(浜松医科大学麻酔科蘇生科集中治療部)

DP-108-2 ICU患者におけるアミノ酸・タンパク質の至適投与組成に関する研究の現状—文献検索

田村貴彦¹, 矢田部智昭¹, 田根なつ紀², 横山正尚¹, 西村匡司²(1.高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座, 2.徳島大学病院救急集中治療部)

DP-108-3 腹臥位胸腔鏡下食道手術後の安静時カロリーに関する検討

矢田部智昭, 中村龍, 山下幸一, 横山正尚(高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)

DP-108-4 Oral Assessment Sheetを用いた口腔ケア回診での口腔スコアの経時的変化と課題

福士宙¹, 神山治郎¹, 柳澤晃広¹, 河内菜穂子², 植原創¹, 金本匡史¹, 戸部賢¹, 日野原宏¹, 根岸明秀², 国元文生¹(1.群馬大学医学部附属病院集中治療部, 2.群馬大学医学部附属病院歯科口腔外科)

DP-108-5 経腸栄養チューブの十二指腸への自然進展に関する検討

笹野信子, 田中明美(名古屋市長西医療センター麻酔科, 集中治療部)

DP-108-6 当センターにおける重症熱傷患者に対する栄養療法の検討

井上明彦¹, 古賀聡人¹, 甲斐聡一郎¹, 石原諭¹, 東別府直樹²(1.兵庫県災害医療センター救急部, 2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・NST)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 109 栄養管理 ③ (DP-109-1～DP-109-5)

座長 海塚安郎(製鉄記念八幡病院救急・集中治療部)

DP-109-1 当院ICUにおける人工呼吸管理中の経腸栄養チューブ留置についての検討

蒲原英伸, 新森大祐, 田代貴大, 鷲島克之, 木下順弘(熊本大学医学部附属病院集中治療部)

DP-109-2 ベッドサイドでの経腸栄養用チューブ挿入法

青柳健一, 小島久和, 熊澤淳史, 小原章敏(市立堺病院集中治療科)

DP-109-3 栄養管理に難渋した重症神経性無食欲症の一例

村上恵, 小倉玲美, 小林綾子, 伊藤良二, 刈谷隆之, 後藤正美, 大塚将秀(公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部)

DP-109-4 生命危機を来した小児高度摂食障害に対し、集学的治療にて救命した症例

栗山直英, 中村智之, 伊藤舞, 早川聖子, 野田昌宏, 福島美奈子, 湯本美穂, 山下千鶴, 柴田純平, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

DP-109-5 人工呼吸管理下低酸素脳症例の栄養投与量—窒息により低酸素脳症を呈した1例の栄養管理から—

切田学(加古川西市民病院救急科)

9:00～9:50

一般演題 ポスター 110 小児集中治療 ⑦ (DP-110-1～DP-110-5)

座長 岩崎達雄(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学分野)

DP-110-1 新生児先天性心疾患患者における術前ICU入室の意義

川出健嗣, 戸田雄一郎, 名原功, 川瀬宏和, 石井典子, 杉本健太郎, 金澤伴幸, 清水一好, 岩崎達雄, 森松博史(岡山大学病院麻酔科蘇生科)

DP-110-2 出生直後より高度低酸素血症を来した総肺静脈灌流異常症に対してECMO使用し救命した1手術例

岡村達¹, 大倉正寛¹, 檜垣高史², 太田雅明², 高田秀実², 藤井園子³, 池宗啓蔵³, 土手健太郎³, 泉谷裕則¹, 長槽巧³(1.愛媛大学医学部附属病院心臓血管外科, 2.愛媛大学医学部附属病院小児科, 3.愛媛大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

DP-110-3 新生児乳幼児心臓外科手術周術期の中心静脈カテーテルに起因する血管内血栓形成に関する検討

藤浪綾子, 杉村洋子(千葉県こども病院集中治療科)

DP-110-4 Fontan手術後合併症としての鋳型気管支炎—経気管支鏡的な粘液栓解除を要した一例を経験して—

松井亨¹, 伊藤雄介¹, 南野初香¹, 金沢貴保¹, 川崎達也¹, 大崎真樹², 植田育也¹(1.静岡県立こども病院小児集中治療科, 2.静岡県立こども病院循環器集中治療科)

DP-110-5 小児心臓血管外科手術後におけるpediatric RIFLE criteriaを用いた腎機能障害の評価と検討

和田翔, 飯田康, 朱田博聖, 奥村将年, 大塚康義, 宇城敦司, 安宅一見, 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター集中治療部)

9:50～10:40

一般演題 ポスター 111 小児集中治療 ⑧ (DP-111-1～DP-111-5)

座長 平井克樹(熊本赤十字病院小児科)

- DP-111-1 小児患者に対する超音波ガイド下観血的動脈圧カテーテル留置および末梢静脈カテーテル留置に影響する因子
中山力恒, 中嶋康文, 竹下淳, 小川覚, 前田祥子, 溝部俊樹(京都府立医科大学麻酔科学教室)
- DP-111-2 頭蓋早期癒合症の頭蓋再構築術周術期管理における輸血開始基準—Hb、Hct、予測出血量のカットオフ値の検討—
渡辺朝香, 川上亜希子, 渡邊文雄, 諏訪まゆみ, 金澤貴保, 川崎達也, 植田育也(静岡県立こども病院)
- DP-111-3 撮影時に要確認! 小児挿管患者の胸部レントゲン写真姿勢
野坂宜之, 塚原紘平, クナウブ絵美里, 飯田淳義, 湯本哲也, 平山敬浩, 森定淳, 鶴川豊世武, 市場晋吾, 氏家良人(岡山大学病院高度救命救急センター)
- DP-111-4 筋弛緩薬の持続投与を用いた集中治療を要した小児症例の検討
橘一也, 竹内宗之, 清水義之, 津田雅世, 文一恵, 山下智範, 重川周, 堀口佑, 水口壮一, 木内恵子(大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)
- DP-111-5 PICU入室患者へのプロポフォール持続鎮静の安全性と有効性に関する後方視的調査
水口壮一, 竹内宗之, 橘一也, 堀口佑, 山下智範, 文一恵, 津田雅世, 旗智武志, 清水義之, 木内恵子(大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)

10:40～11:30

一般演題 ポスター 112 小児集中治療 ⑨ (DP-112-1～DP-112-5)

座長 竹内宗之(大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)

- DP-112-1 体温上昇時の失神を契機に発見された幼児Brugada症候群の1例
安川久美, 本田隆文, 寺井勝(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- DP-112-2 摂食障害の男児に発症したAcinetobacter敗血症の1例
菅原友道¹, 岡部悠吾², 宮本沙美¹, 築瀬賢², 村上あきつ², 別宮小由理², 浅賀健彦², 白神豪太郎¹(1.香川大学医学部麻酔学講座, 2.香川大学医学部附属病院集中治療部)
- DP-112-3 重症頭部外傷の集中治療管理中にバセドウ病の診断に至った1小児例
望月勝徳, 伊藤大, 新谷りょう介, 坂口治(長野市民病院救急科)
- DP-112-4 遅発性拡散能低下を呈した急性脳症(AESD)の1例
山根真央¹, 安藤義崇¹, 寺島聡子¹, 伊藤伸大¹, 渡部亮¹, 津曲俊太郎²(1.KKR札幌医療センター麻酔・集中治療科, 2.KKR札幌医療センター小児科)
- DP-112-5 頭部外傷後に除脳硬直を認めたが、集学的治療により軽快した小児脳出血症例
赤木洋介¹, 桃木律也², 物部容子¹, 馬場三和¹, 水川俊一¹, 小林洋二¹(1.岡山済生会総合病院麻酔科, 2.岡山済生会総合病院内科)

9:00～9:50

一般演題 ポスター 113 RST・NST・RRT など ① (DP-113-1～DP-113-5)

座長 伊波寛(那覇市立病院集中治療科・麻酔科)

- DP-113-1 worried callのみによるRapid Response Systemが当院の院内急変対応にもたらしたもの
阿野正樹¹, 谷島雅子¹, 荒井浩子¹, 茂呂悦子², 野沢博子³, 長谷川剛³, 加藤正哉⁴, 鈴川正之¹(1.自治医科大学附属病院救命救急センター, 2.自治医科大学附属病院集中治療部, 3.自治医科大学附属病院医療安全対策部, 4.和歌山県立医科大学救急集中治療医学)
- DP-113-2 当院におけるRapid Response System定着のための工夫と現状
西澤義之, 藤田義人, 杉原祐介, 大内田絵美, 仲野実輝, 米倉寛, 前田純依, 野手英明, 杉浦健之, 祖父江和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)
- DP-113-3 当院におけるRapid Response System(RRS)の仮稼働の経験
河村夏生, 高場章宏, 平田旭, 櫻谷正明, 吉田研一(JA広島総合病院)
- DP-113-4 現行院内急変対応システムにRapid Response Systemを追加導入する当院の試み
谷口隼人, 鈴木治美, 相嶋一登, 樋田直也, 近藤竜也, 酒井正憲, 渡辺しのぶ, 伊巻尚平(横浜市立市民病院)
- DP-113-5 Rapid Response Systemに準じた拡大コードシステム導入の効果
和智万由子, 武居哲洋, 福島紘子, 平田晶子, 畠山淳司, 山田広之, 藤澤美智子, 長島道生, 奈良岳志, 伊藤敏孝(横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター)

9:50～10:40

一般演題 ポスター 114 RST・NST・RRT など ② (DP-114-1～DP-114-5)

座長 西山謹吾(高知赤十字病院救命救急センター)

- DP-114-1 当院におけるRapid responseチームの活動の現状
宮脇淳志¹, 岡崎理絵², 西信一³, 小谷穠治¹(1.兵庫医科大学, 2.兵庫医科大学病院救急・EICU・CCU, 3.兵庫医科大学病院ICU)
- DP-114-2 予期せぬ死亡を減らすためのCode Blue TeamとRapid Response Teamの取り組み
服部潤¹, 小池朋孝², 森安恵美², 稲垣泰斗¹, 山田由香里³, 黒岩政之¹, 新井正康², 北原孝雄¹(1.北里大学医学部救命救急医学, 2.北里大学病院RST/RRT室, 3.北里大学医学部麻酔科学教室)

DP-114-3 当院での Rapid Response System (RRS) の現状と看護師教育について

津久田純平¹, 佐々木愛², 内藤貴基¹, 工藤由子², 佐久間瞳², 今野真理³, 藤谷茂樹⁴(1. 東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科, 2. 東京ベイ・浦安市川医療センター看護師, 3. 東京ベイ・浦安市川医療センター医療安全管理室, 4. 東京ベイ・浦安市川医療センター)

DP-114-4 当院における緊急コールと Rapid Response System の状況

野村智久, 杉田学, 関井肇, 坂本壮, 高見浩樹, 小松孝行, 水野慶子, 高橋恵利香, 三島健太郎, 井上照大(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)

DP-114-5 院内急変時に集中治療医による処置を必要とした集中治療室入室症例の検討

野田透, 岡島正樹, 越田嘉尚, 藤田崇志, 小村卓也, 遠山直志, 永田庸二, 山本剛史, 井村紗江, 谷口巧(金沢大学附属病院集中治療部)

10:40 ~ 11:30

一般演題 ポスター 115 RST・NST・RRT など ③ (DP-115-1 ~ DP-115-5)

座長 安宅一見(大阪市立総合医療センター集中治療部)

DP-115-1 本邦における RRS の導入状況と、RRS に関する知識・意識のアンケート調査

小池朋孝¹, 藤谷茂樹², 森安恵実¹, 藤原紳祐³, 児玉貴光⁴, 安宅一見⁵(1. 北里大学病院救命救急センター部 RST/RRT 室, 2. 東京ベイ・浦安市川医療センター, 3. 国立病院機構嬉野医療センター, 4. University of Texas Southwestern Medical Center, 5. 大阪市立総合医療センター)

DP-115-2 Rapid Response System 起動症例の生命予後因子の解析 ―第2報―

黒岩政之¹, 小池朋孝¹, 森安恵実¹, 新井正康², 服部潤¹, 稲垣泰斗¹, 伊藤壮平²(1. 北里大学医学部救命救急医学, 2. 北里大学医学部麻酔科学)

DP-115-3 院内急変事例 141 例の検討と今後の課題

佐伯辰彦, 沼田賢治, 鈴木慶, 多田昌弘, 竹崎亨, 楠真二, 山野上敬夫(県立広島病院救急科)

DP-115-4 当院での Medical Emergency Team (MET) の現状と課題

野田昌宏, 新美太祐, 秋山正慶, 早川聖子, 内山壮太, 伊藤舞, 河田耕太郎, 小松聖史, 山下千鶴, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

DP-115-5 中規模病院における Rapid Response System 導入の必要性和今後の展望

吉永雄一, 澤野宏隆, 川田篤志, 佐藤秀峰, 大谷尚之, 伊藤裕介, 大場次郎, 夏川知輝, 林靖之, 甲斐達朗(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

9:00 ~ 10:00

一般演題 ポスター 116 心肺蘇生・蘇生後 ICU 管理 ⑥ (DP-116-1 ~ DP-116-6)

座長 関啓輔(社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院)

DP-116-1 ECPR は院外心停止患者の時間的治療限界を延長する

前川邦彦, 上村修二, 加藤航平, 坂脇園子, 窪田生美, 喜屋武玲子, 平山傑, 井上弘行, 丹野克俊, 成松英智(札幌医科大学医学部救急医学)

DP-116-2 CPA に至った特発性肺動脈性肺高血圧症に対し、経皮人工心肺補助装置とエボプロステノールが奏功した一例

小林辰輔, 岩瀬史明, 宮崎善文, 松本学, 大嶽康介, 加藤頼子, 池田督司, 木下大輔(山梨県立中央病院救急科)

DP-116-3 当院で ECPR を施行した院外心停止症例の検討

麻喜幹博¹, 田中博之¹, 菊池規子¹, 蟹沢充¹, 永田健一郎¹, 小暮智仁¹, 二川圭介¹, 清水敬樹², 榎山鉄矢², 上田哲郎¹(1. 東京都立多摩総合医療センター循環器内科, 2. 東京都立多摩総合医療センター救命救急科)

DP-116-4 心停止から PCPS 導入まで 90 分以上を要したにも関わらず、独歩退院に至った院外心肺停止の 1 例

岩崎夢大¹, 安藤幸吉¹, 中川孝², 高瀬啓至³, 野上慶彦³, 庄子賢³, 村田祐二³(1. 仙台市立病院麻酔科, 2. 仙台市立病院循環器内科, 3. 仙台市立病院救命救急部)

DP-116-5 心室細動による心停止に対して e-CPR 施行後、小脳出血、敗血症を合併し治療に難渋した一例

辺奈理, 志水清和, 谷口俊雄(一宮市立市民病院)

DP-116-6 高齢者の院外心停止に対して体外式膜型人工肺を用いた心肺蘇生例の予後検討

後藤匡啓, 澤野宏隆, 吉永雄一, 佐藤秀峰, 大場次郎, 伊藤裕介, 大谷尚之, 夏川知輝, 林靖之, 甲斐達朗(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

10:00 ~ 11:00

一般演題 ポスター 117 心肺蘇生・蘇生後 ICU 管理 ⑦ (DP-117-1 ~ DP-117-6)

座長 本間正人(鳥取大学医学部救急災害医学分野)

DP-117-1 公共 AED が装着された院外心停止における一次救命処置の質の評価: 非除細動適応症例に対する弊害

稲葉英夫¹, 太田啓介², 明星康裕², 後藤由和³, 前田哲生³, 谷口淳郎²(1. 金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学(救急医学), 2. 石川県立中央病院救命救急センター, 3. 金沢大学病院救命センター)

⑦ DP-117-2 院外心停止に対する人工呼吸のみの心肺蘇生: ガイドライン変更の影響と関係する独立因子

稲葉英夫¹, 太田啓介², 明星康裕², 前田哲生¹(1. 金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学(救急医学), 2. 石川県立中央病院救命救急センター)

DP-117-3 心肺蘇生ガイドラインの変遷による蘇生率の検討 —山形県上市市において—

伊関憲¹, 林田昌子¹, 大久保怜子², 鈴木剛², 阿部良伸², 根本千秋², 塚田泰彦², 島田二郎², 池上之浩², 田勢長一郎²(1.福島県立医科大学医学部地域救急医療支援講座, 2.福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

DP-117-4 山形県北庄内地区における心肺蘇生一ヶ月生存者の予後の検討

吉岡成知, 高橋菜々子, 豊島歩美, 狩野峻子, 成澤あゆ香, 小倉真由美, 工藤雅哉(日本海総合病院麻酔科)

DP-117-5 当県における1年間のCPA患者1204名の分析 —社会復帰へのキーワードを求めて—

千代孝夫, 辻本登志英, 浜崎俊明, 是永章, 山崎一幸, 亀井純(日本赤十字社和歌山医療センター救急集中治療部)

DP-117-6 SOS-KANTO に基づいた開胸蘇生術の比較(中間解析報告)

長田浩平¹, 西山和孝¹, 井上貴昭¹, 田中裕¹, 和田裕一², 田上隆¹, 田原良雄¹, 長尾健¹, 矢口有乃¹, 森村尚登¹(1. SOS-KANTO 2012 study-group, 2.順天堂大学大学院医学研究科救急災害医学教室)

11:00~12:00

一般演題 ポスター 118 心肺蘇生・蘇生後ICU管理⑧ (DP-118-1~DP-118-6)

座長 武居哲洋(横浜市立みなと赤十字病院集中治療部)

DP-118-1 川崎市消防局と連携したドクターカー(DA)運用による、病院前心肺蘇生処置の検討

菊池広子, 遠藤広史, 松田潔, 富永直樹, 石丸直樹, 河野陽介, 石之神小織, 竹ノ下尚子, 望月徹, 黒川顕(日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)

DP-118-2 院外心肺停止症例に対するTEE(経食道心エコー)の有用性の検討 —Aiの補助手段として—

藤田尚宏, 松本康, 吉富有哉, 甘利香織, 小野原貴之, 小山敬(佐賀県医療センター好生館救命救急センター救急科)

DP-118-3 院外心臓性心停止蘇生後患者の心停止の原因精査に心臓MRIの有用性が示唆された4症例

八木司¹, 鈴木康之¹, 黒沼圭一郎¹, 渥美渉¹, 矢作隆幸¹, 小森谷将一¹, 渡辺康夫¹, 立花栄三¹, 長尾建², 平山篤志²(1.川口市立医療センター循環器科・集中治療科, 2.日本大学医学部内科学系循環器内科学分野)

DP-118-4 心原性心肺停止蘇生後ECGの特徴

大谷尚之, 澤野宏隆, 大山慶介, 川田篤志, 伊藤裕介, 大場次郎, 夏川知輝, 金原太, 林靖之, 甲斐達朗(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

DP-118-5 縊死によるCPA蘇生後脳死に至った妊婦の1例

松原恵理¹, 新森大祐², 田代貴大², 鷲島克之², 蒲原英伸², 木下順弘²(1.熊本大学医学部附属病院呼吸器外科, 2.熊本大学医学部附属病院集中治療部)

DP-118-6 妊婦心停止=2人の救命~母体と新生児蘇生の準備に要する時間と看護業務負荷~

山下智幸¹, 清水敬樹²(1.昭和大学医学部救急医学講座, 2.東京都立多摩総合医療センター救急科)

9:00~10:10

一般演題 ポスター 119 重症度・予後評価① (DP-119-1~DP-119-7)

座長 貝沼関志(名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部)

DP-119-1 当院ICUに入室した血液悪性腫瘍を基礎疾患に持つ重症患者の検討

小笠原治, 藤田義人, 草間宣好, 杉浦健之, 有馬一, 辻達也, 杉原祐介, 大内田絵美, 西澤義之, 祖父江和哉(名古屋大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

DP-119-2 集中治療室に入室した血液悪性腫瘍患者の予後の検討

奥田菜緒, 網野祐美子, 中瀧恵実子, 板垣大雅, 小野寺睦雄, 今中秀光, 西村匡司(徳島大学病院救命救急集中治療部)

DP-119-3 集中治療医の介入により外科ICU患者の予後は改善するか: 地方市中病院における検討

永田洋士, 林賢, 草薙洋, 加納宣康(亀田総合病院外科)

DP-119-4 脳出血手術症例でSurgical Apgar Scoreを適応するには

坂本誠史¹, 石田和慶², 歌田浩二², 内田雅人², 白源清貴², 山下理², 山下敦生², 松本美志也²(1.社会保険徳山中央病院麻酔科, 2.山口大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

DP-119-5 脳神経外科術後における高乳酸血症に影響を及ぼす因子の検討

奥村将年, 安宅一見, 宇城敦司, 大塚康義, 和田翔, 朱田博聖, 飯田康, 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター集中治療部)

DP-119-6 SOFAスコアとChE値によるICU長期滞在患者の予後予測

西澤新也, 松本徳彦, 星野耕大, 水沼真理子, 大矢浩史, 村井映, 石倉宏恭(福岡大学病院救命救急センター)

DP-119-7 休日緊急手術後ICU管理を要した患者の予後因子の検討

久良木ルータ彩来¹, 長友香苗¹, 日下部良臣¹, 穂積淳¹, 松原全宏², 土井研人², 石井健², 矢作直樹², 山田芳嗣¹(1.東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター, 2.東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部)

10:10~11:20

一般演題 ポスター 120 重症度・予後評価② (DP-120-1~DP-120-7)

座長 定光大海(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

DP-120-1 2013年における敗血症性ショックの治療成績の解析

松島暁, 高谷悠大, 東倫子, 稲葉正人, 波多野俊之, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-120-2 敗血症におけるSOFAスコアの問題点(昇圧剤について)

是永章, 辻本登志英, 山崎一幸, 亀井純, 千代孝夫(日本赤十字社和歌山医療センター)

DP-120-3 敗血症におけるSOFAスコアの問題点(AKI分類について)

亀井純, 辻本登志英, 是永章, 山崎一幸, 千代孝夫(日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部)

DP-120-4 敗血症患者の重症化と血中脂肪酸の関連の検討

伊原慎吾, 山口順子, 堀智志, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

DP-120-5 感染臓器別によるPCT値の検討

上野雅仁¹, 弦切純也², 新井隆男², 長田雄大², 沖田泰平², 大村泰史², 佐野秀史², 松山有隆², 織田順¹, 三島史朗¹
(1.東京医科大学救急医学講座, 2.東京医科大学八王子医療センター救命救急センター)

DP-120-6 ICU退室時Procalcitonin値は退室後早期死亡を予測する

松村洋輔, 中田孝明, 渡邊栄三, 安部隆三, 大島拓, 大谷俊介, 仲村将高, 平澤博之, 織田成人(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

DP-120-7 ベッドサイドモニターが表示する心拍数の変動による敗血症の重症度評価

遠藤裕¹, 林悠介¹, 新田正和¹, 山口征吾¹, 大橋さとみ¹, 本多忠幸¹, 本田博之²(1.新潟大学医歯学総合病院高度救命救急センター, 2.新潟大学医歯学総合病院集中治療部)

11:20~12:10

一般演題 ポスター 121 麻酔 他 (DP-121-1~DP-121-5)

座長 藤田喜久(川崎医科大学附属病院麻酔・集中治療科)

DP-121-1 ロクロニウムとスガマデクスを使用して管理し得たBecker型筋ジストロフィ患者の麻酔経験

山口聡(東葛病院麻酔科)

DP-121-2 Total cavopulmonary connection術後患者の脊髄脂肪腫手術における周術期全身管理

齋藤博之, 伊佐之孝, 柴田正幸, 佐藤友信, 黒岩陽介, 長田千愛(前橋赤十字病院麻酔科)

DP-121-3 長時間Da Vinci手術による腎機能への影響

枋井都紀子, 栗山直英, 安岡なつみ, 伊藤舞, 福島美奈子, 前田隆求, 須賀美華, 湯本美穂, 山下千鶴, 西田修(藤田保健衛生大学麻酔・侵襲制御医学講座)

DP-121-4 胸部傍脊椎腔ブロックの胸腹部大動脈置換術後呼吸機能に及ぼす影響の検討

南公人, 大西佳彦(国立循環器病研究センター麻酔科)

DP-121-5 星状神経節ブロックが功を奏した老人性認知症28症例

岡部廣直¹, 中嶋保則¹, 高橋成輔²(1.医療法人社団廣徳会岡部病院, 2.福岡県赤十字血液センター)

9:00~10:00

一般演題 ポスター 122 小児集中治療 ⑩ (DP-122-1~DP-122-6)

座長 柳下芳寛(相生会にしくまもと病院)

DP-122-1 小児集中治療管理(PICU)におけるビデオ喉頭鏡の有用性

鈴木昭広, 丹保亜希仁, 稲垣泰好, 川田大輔, 柏木友太, 小北直宏, 藤田智(旭川医科大学救命救急センター)

DP-122-2 小児の経鼻挿管におけるビデオ喉頭鏡の有用性について

川田大輔, 丹保亜希仁, 鈴木昭広, 小北直宏, 藤田智(旭川医科大学病院救急医学講座)

DP-122-3 小児集中治療におけるエアウェイスコープの役割

松井彦郎, 笠井正志, 北村真友, 黒坂正, 藤原郁子, 中島発史, 本間仁, 松本昇(長野県立こども病院小児集中治療科)

DP-122-4 デバイスを組合せた小児における新しい低侵襲経鼻挿管法の試み

松井彦郎, 笠井正志, 北村真友, 黒坂正, 藤原郁子, 中島発史, 本間仁, 松本昇(長野県立こども病院小児集中治療科)

DP-122-5 乳児心肺蘇生中の気道確保における挿管用声門上デバイスair-Q,aura-i,i-gelの比較検討 —マネキンスタディ

小濱華子¹, 駒澤伸泰², 植木隆介², 安宅一見¹, 上農喜朗³, 西信一¹(1.兵庫医科大学病院集中治療部, 2.兵庫医科大学病院麻酔科, 3.兵庫医科大学病院手術センター部)

DP-122-6 当院における乳幼児挿管困難症例に対する気管挿管法の検討

大成健介, 森俊輔, 河野真奈美, 浅野貴裕, 田中久美子, 田中厚司, 金日成(社会保険中京病院麻酔科)

10:00~11:00

一般演題 ポスター 123 小児集中治療 ⑪ (DP-123-1~DP-123-6)

座長 羽鳥文磨(医療法人社団誠馨会総泉病院)

DP-123-1 人工呼吸管理を要したRSウイルス下気道感染症例の検討

本田隆文¹, 平井希¹, 木村翔², 浜田洋通², 寺井勝¹(1.東京女子医科大学八千代医療センター小児集中治療科, 2.東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

DP-123-2 Respiratory Syncytial Virus感染症により人工呼吸を必要とした小児8症例の検討

岩崎衣津, 池谷七海, 進吉彰, 三枝秀幸, 篠井尚子, 川上直哉, 奥格, 實金健, 福島臣啓, 時岡宏明(岡山赤十字病院麻酔科)

DP-123-3 基礎疾患のないRSウイルス感染症における重症化予測因子に関する検討

菊田正太¹, 西原正人², 田畑奈都子², 中河秀憲², 小畑慶輔², 高橋真市², 和田珠希², 森田崇², 佐野博之², 鍋谷まこと²(1.淀川キリスト教病院救急科, 2.淀川キリスト教病院小児科)

DP-123-4 長期間の気管挿管後に生じた気道狭窄の小児例

高橋科那子, 巽博臣, 今泉均, 数馬聡, 後藤京子, 野村和史, 升田好樹(札幌医科大学医学部集中治療医学)

DP-123-5 敗血症性ショックの集中治療後にcritical illness myopathyによると思われる抜管困難を来した1症例

関厚一郎¹, 大塚洋司², 中村文人², 永野達也², 山崎彩², 宮原義典³, 河田政明³, 片岡功一², 竹内護⁴(1. イムス葛飾ハートセンター麻酔科, 2. 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部, 3. 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児・先天性心臓血管外科, 4. 自治医科大学麻酔科学・集中治療講座)

DP-123-6 造血幹細胞移植後に閉塞性細気管支炎を発症した小児の2例

奥怜子, 中西加寿也, 高橋和香, 柄澤智史(成田赤十字病院救急・集中治療科)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 124 輸血・四肢・DVT (DP-124-1～DP-124-5)

座長 大嶋清宏(群馬大学大学院医学系研究科臓器病態救急学)

DP-124-1 鎮静中に生じた特発性腸腰筋出血の2例

松本森作¹, 武藤渚², 山之井智子², 河野圭史², 東龍哉², 中村公輔², 宮崎峰生²(1. 広島市立広島市民病院麻酔集中治療科, 2. 国家公務員共済組合連合会共済病院麻酔科)

DP-124-2 下腿コンパートメント症候群を来す可能性のある患者に対し前脛骨筋持続圧測定を行った3症例

日下部賢治^{1,2}, 高田基志¹(1. 総合大雄会病院集中治療科, 2. 総合大雄会病院整形外科)

DP-124-3 左膝打撲による大腿末梢端控滅のため出血性ショックを呈した一例

山川耕司(長野赤十字病院救命救急センター)

DP-124-4 深部静脈血栓症の既往のあるクライフェルター症候群患者における大腿骨頸部骨折の周術期管理の1例

光成啓明¹, 山本重吉², 小林裕明², 高柳正俊²(1. 小山記念病院麻酔科, 2. 小山記念病院整形外科)

DP-124-5 当科における多発外傷に合併した静脈血栓塞栓症の検討

馬越健介, 竹葉淳, 菊池聡, 松本紘典, 相引眞幸(愛媛大学大学院医学系研究科救急医学)

9:00～10:10

一般演題 ポスター 125 高齢者 (DP-125-1～DP-125-7)

座長 又吉康俊(東京腎泌尿器センター大和病院麻酔科)

DP-125-1 集中治療室における独居高齢者の転帰

後藤匡啓, 五十嵐佑子, 川田篤志, 中島有香, 吉永雄一, 大谷尚之, 伊藤裕介, 澤野宏隆, 林靖之, 甲斐達朗(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

DP-125-2 ICUに緊急入室した高齢者入院患者の検討

安達普至¹, 吉本広平¹, 白元典子¹, 山田哲久², 出雲明彦², 中塚昭男², 鮎川勝彦²(1. 飯塚病院集中治療部, 2. 飯塚病院救命救急センター)

DP-125-3 97歳の高齢女性の汎発性腹膜炎、敗血症性ショックに対し集中治療により救命しえた一例

糸洲佑介, 藤井知昭, 相川勝洋, 堀口貴行, 丸山崇, 雨森英彦(砂川市立病院麻酔科)

DP-125-4 救急外来からICUに入室した高齢者における緊急時codeと、重症度や転帰への関連性の検討

船越拓, 森浩介, 中島義之, 本間洋輔, 高橋仁, 嘉村洋志, 志賀隆(東京ベイ・浦安市川医療センター救急科)

DP-125-5 当院救命救急センター超高齢者入院患者における特徴—地方救命救急センターの場合—

山口均, 川崎成章, 坪井重樹, 水谷文俊, 久保寺敏, 山下美紀(大垣市民病院救命救急センター)

DP-125-6 急激な高齢化進行と地域医療荒廃のなかにおけるICUの立場

東海林哲郎, 西川幸喜(市立室蘭総合病院集中治療室)

DP-125-7 食物誤嚥による窒息症例の初期対応・治療方針についての検討

中島研(平成紫川会小倉記念病院救急部)

10:10～11:00

一般演題 ポスター 126 保守・管理・医療安全・事故① (DP-126-1～DP-126-5)

座長 坂口嘉郎(佐賀大学医学部麻酔・蘇生学)

DP-126-1 人工呼吸器使用中の加温加湿器電源入れ忘れ防止装置の開発

網塚貴介(青森県立中央病院総合周産期母子医療センター新生児科)

DP-126-2 緊急時医療用ガス逆流供給システムのシミュレーション

小原伸樹, 村川雅洋, 五十洲剛, 細野敦之, 最上翠, 大石理江子, 堀学爾, 當重一也, 大橋智, 今泉剛(福島県立医科大学医学部麻酔科学講座)

DP-126-3 全身麻酔器への呼吸回路誤接続が原因で重度低酸素血症に陥った症例：根本原因分析によるエラーの解明と対策

高田真二, 茶谷祐一, 坂本英俊, 長谷洋和, 澤村成史(帝京大学医学部麻酔科学講座)

DP-126-4 MRI対応ヨーク弁式酸素ポンプへの切替プロジェクト

大谷典生¹, 竹嶋千晴², 森澤美咲³, 宮坂勝之⁴(1. 聖路加国際病院救急部, 2. 聖路加国際病院ICCU, 3. 聖路加国際病院臨床工学科臨床工学室, 4. 聖路加国際病院周術期センター)

DP-126-5 集中治療室における高流量酸素機器の使用が病院酸素需給に影響を及ぼした一事案

辻本雄太¹, 池田直樹², 高橋倫彦³, 土門雅也², 笹生亜紀子⁴, 石塚彦彦⁴, 森野一真¹(1. 山形県立救命救急センター救急科, 2. 山形県立中央病院ICU, 3. 山形県立救命救急センター救急室, 4. 山形県立中央病院臨床工学室)

11:00～12:10

一般演題 ポスター 127 保守・管理・医療安全・事故 ② (DP-127-1～DP-127-7)

座長 佐多竹良(産業医科大学麻醉科学)

DP-127-1 Antimicrobial stewardship programはICUにおけるMRSA発生率を減少させる

阿部修一¹, 前川慶之², 中根正樹³, 市川一誠³, 高橋大³, 川前金幸³, 森兼啓太¹(1.山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部, 2.山形大学医学部附属病院第二外科, 3.山形大学医学部附属病院集中治療部)

DP-127-2 積極的監視培養を用いたサーベイランスによる当院ICUでのMRSA検出状況

川村英樹¹, 安田智嗣², 垣花泰之²(1.鹿児島大学病院医療環境安全部感染制御部門, 2.鹿児島大学病院救急・集中治療部)

DP-127-3 ICUにおける積極的監視培養と入室時暫定的接触予防策の実施はMRSA新規感染率を低下させる

福島美奈子¹, 山下千鶴¹, 前田隆求¹, 小松聖史¹, 河田耕太郎¹, 伊藤舞¹, 早川聖子¹, 原嘉孝¹, 石川清仁², 西田修¹(1.藤田保健衛生大学医学部麻醉・侵襲制御医学講座, 2.藤田保健衛生大学病院感染対策室)

DP-127-4 院内死亡事例からみた医療の質向上

熊田恵介¹, 村上啓雄¹, 名知祥², 吉田省造², 土井智章², 豊田泉², 小倉真治², 福田充宏³(1.岐阜大学医学部附属病院医療安全管理室, 2.岐阜大学附属病院高度救命救急センター, 3.湘南鎌倉総合病院)

DP-127-5 中央手術部集中治療室(院内ICU)開設前後での院内重症患者の重症病棟(ICU/HCU)入室者数、在室期間の比較

石井賢造, 小野和身, 日高秀邦, 小山祐介, 田中千春, 田口真也, 小坂真子, 木村百穂, 谷本和香奈, 山下千明(福山市民病院麻醉科)

DP-127-6 手術件数、長時間手術件数増加とICUの必要性

朝元雅明¹, 小松孝美², 折井亮¹, 山田芳嗣¹(1.東京大学医学部附属病院麻醉科, 2.東京大学医学部附属病院手術部)

DP-127-7 当院におけるM & M(Mortality & Morbidity)カンファレンス

天願俊穂¹, 中須昭雄¹, 村上隆啓¹, 安元浩¹, 松岡慶太², 伊敷聖子², 仲嶺洋介²(1.沖縄県立中部病院外科, 2.沖縄県立中部病院麻醉科)

9:00～10:20

一般演題 ポスター 128 脳死・移植 ① (DP-128-1～DP-128-8)

座長 森本直樹(津山中央病院救命救急センター)

DP-128-1 生体部分肝移植における術後RCC輸血量に関連する因子の検討

一ノ宮大雅, 東島潮, 関野元裕, 吉富修, 中村利秋, 横田徹次(長崎大学病院麻醉科)

DP-128-2 肝肺症候群を合併した成人肝移植レシピエントに対する一酸化窒素吸入療法

三田篤義¹, 岡元和文¹, 宮川眞一²(1.信州大学医学部附属病院集中治療部, 2.信州大学医学部外科学第一講座)

DP-128-3 長期間の体外式膜型人工肺管理の末に救命できた肺移植術後ステロイド不応性抗体関連型拒絶の一例

小林求¹, 岡原修司¹, 日笠友起子¹, 谷真規子¹, 江木盛時¹, 原暁生², 三好健太郎², 大藤剛宏², 五藤恵次¹, 森松博史¹(1.岡山大学病院麻醉科蘇生科, 2.岡山大学病院呼吸器外科)

DP-128-4 世界初の成功例となった3歳児に対する生体肺中葉移植術の周術期管理

日笠友起子, 小林求, 岡原修司, 谷真規子, 江木盛時, 五藤恵次, 森松博史(岡山大学病院麻醉科蘇生科)

DP-128-5 肺移植後に消化管手術を施行し、術後免疫抑制剤の静注調節により良好な経過をたどった2症例

大岩雅彦, 小林求, 岡原修司, 日笠友起子, 谷真紀子, 江木盛時, 五藤恵次, 森松博史(岡山大学病院麻醉科蘇生科)

DP-128-6 急速に肺病変が進行し内科的治療に抵抗性であった移植後関連肺疾患の片肺生体肺移植の1小児例

梅原直¹, 林拓也¹, 永渕弘之², 村山晶俊², 伊達洋至³, 陳豊史³(1.神奈川県立こども医療センター救急診療科, 2.神奈川県立こども医療センター集中治療科, 3.京都大学呼吸器外科)

DP-128-7 大阪大学医学部附属病院における心臓移植術後の集中治療管理に関する検討

平松大典, 宇治満喜子, 柏庸三, 滝本浩平, 井口直也, 大田典之, 内山昭則, 藤野裕士(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

DP-128-8 術後管理に苦慮した血液型不適合腎移植の1例

高橋亮, 石井大輔, 川村瑞穂, 岩村正嗣, 吉田一成(北里大学大学院医療系研究科泌尿器科学)

10:20～11:10

一般演題 ポスター 129 脳死・移植 ② (DP-129-1～DP-129-5)

座長 足立健彦((財)田附興風会医学研究所北野病院麻醉科)

DP-129-1 当院小児集中治療室(PICU)における終末期医療の現状

武藤雄一郎, 大平智子, 平井克樹(熊本赤十字病院小児科)

DP-129-2 当施設における低酸素脳症と脳死症例に関する疫学調査

若竹春明, 藤谷茂樹, 平泰彦(聖マリアンナ医科大学救急医学)

DP-129-3 ポリウムビューカテーテルを使用して管理を行った脳死ドナーの1例

水野優美, 小柴真一(福井県立病院麻醉科)

DP-129-4 脳死下臓器提供にそなえて

木村延和¹, 藤本正司¹, 穴吹大介¹, 宮地啓子², 音成芳正², 乙宗佳奈子², 関啓輔²(1.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院麻醉科, 2.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院救急センター)

DP-129-5 臓器提供時における職種間連携について

渡辺智生(公益社団法人日本臓器移植ネットワーク西日本支部)

第3日目(3月1日)

ポスター／機器展示会場 国立京都国際会館 1F イベントホール

10:00～11:00

一般演題 ポスター 130 多臓器不全・敗血症 ⑭ (DP-130-1～DP-130-6)

座長 三高千恵子(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救命救急医学)

DP-130-1 開心術周術期感染管理におけるプロカルシトニンの有用性

前川慶之¹, 阿部修一²(1.山形大学医学部附属病院第二外科, 2.山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部)

DP-130-2 当院救命ICUにおけるプロカルシトニン異常高値を来した症例の検討

安藤雅規¹, 後長孝桂¹, 波柴尉充¹, 富野敦稔², 宮部浩道¹, 植西憲達¹, 宮部浩道¹, 加納秀記¹, 平川昭彦², 武山直志¹(1.藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座, 2.藤田保健衛生大学病院医学部災害・外傷外科)

DP-130-3 菌血症の起因菌によるプロカルシトニン変動の検討

波多野俊之¹, 高谷悠大¹, 東倫子¹, 松島暁¹, 江嶋正志¹, 沼口敦¹, 角三和子¹, 足立裕史¹, 高橋英夫¹, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-130-4 血中プロカルシトニンが異常高値を示した症例の検討

白元典子¹, 吉本広平¹, 安達普至¹, 山田哲久², 出雲明彦², 中塚昭男², 鮎川勝彦²(1.飯塚病院集中治療部, 2.飯塚病院救命救急センター)

DP-130-5 ICU関連感染症におけるプロカルシトニン値の有用性

山本敬洋¹, 池田弘人¹, 小山知秀¹, 佐々木勝教¹, 安心院康彦¹, 坂本哲也¹, 三浦邦久²(1.帝京大学医学部救急医学講座, 2.江東病院麻酔科)

DP-130-6 感染性心内膜炎術後におけるプロカルシトニン値の検討

大地嘉史¹, 小坂麻里子¹, 薮亮¹, 安部隆国¹, 渡辺可奈子¹, 古賀寛教¹, 安田則久¹, 日高正剛¹, 後藤孝治¹, 野口隆之(大分大学医学部附属病院麻酔科・集中治療部)

11:00～12:10

一般演題 ポスター 131 多臓器不全・敗血症 ⑮ (DP-131-1～DP-131-7)

座長 渡邊栄三(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

DP-131-1 敗血症患者におけるrSO₂測定の意味

齋藤大輝¹, 織田成人¹, 渡邊栄三¹, 安部隆三¹, 大島拓¹, 大谷俊介¹, 服部憲幸¹, 松村洋輔¹, 仲村志芳¹, 橋田知明(千葉大学医学部附属病院救急部・集中治療部)

DP-131-2 熱中症と敗血症の鑑別におけるプロカルシトニン測定の有有用性

堤貴彦¹, 井上京¹, 吉田浩輔¹, 田中博之¹, 別府賢¹, 志馬伸朗(京都医療センター救急救命科)

DP-131-3 敗血症患者におけるPCT,ALB,PCT/ALB比と28日死亡率の関係

楠宗矩¹, 岡本明久¹, 梅垣岳志¹, 濱野宜行¹, 西憲一郎¹, 廣田喜一¹, 新宮興(関西医科大学附属枚方病院総合集中治療部)

DP-131-4 procalcitonin(PCT)とpresepsin(PSEP)のacute kidney injury(AKI)患者における敗血症診断能の検討

仲村佳彦¹, 松本徳彦¹, 星野耕大¹, 水沼真理子¹, 田中潤一¹, 石倉宏恭(福岡大学病院救命救急センター)

DP-131-5 重症敗血症における血中ヒストンレベル測定の臨床的意義

三木隆弘¹, 射場敏明¹, 千葉宣孝², 江口友英², 蘇我孟群³, 佐藤順³, 齋藤豪³, 秋山謙次³(1.順天堂大学大学院救急・災害医学, 2.駿河台日本大学病院臨床工学技士室, 3.駿河台日本大学病院救命科)

DP-131-6 重症敗血症患者における心筋トロポニンT(cTnT)と臨床的重症度との関連について

田端志郎¹, 日下莊一¹, 吉川健治², 奥村伸二³(1.耳原総合病院救急総合診療科, 2.耳原総合病院外科, 3.耳原総合病院麻酔科)

DP-131-7 プレセプシンは敗血症性DICの重症度を良く反映する

小野寺あき¹, 高橋学¹, 小鹿雅博¹, 松本尚也¹, 菅重典¹, 肥田親彦¹, 高橋智弘¹, 照井克俊¹, 井上義博¹, 遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学・岩手県高度救命救急センター)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 132 悪性症候群・低体温 (DP-132-1～DP-132-6)

座長 若林隆信(姫路聖マリア病院麻酔科)

DP-132-1 前腕切断を要した悪性症候群の一症例

岡雅行¹, 藤本智子¹, 川上真樹子¹, 後藤拓也¹, 杉江亮¹, 筈井寛¹, 小畑仁司¹, 大石泰男¹, 秋元寛(大阪府三島救命救急センター)

DP-132-2 統合失調症患者に発症した意識障害が昏迷に移行し、診断に苦慮した1例

中野博人¹, 喜多大輔¹, 金田礼三², 谷口巧¹(1.金沢大学附属病院集中治療部, 2.金沢大学附属病院神経科精神科)

DP-132-3 重症熱傷の治療経過中に悪性症候群を合併した1例

吉川慧¹, 海田賢彦¹, 玉田尚¹, 宮内洋¹, 樽井武彦¹, 山田賢治¹, 山口芳裕(杏林大学医学部附属病院救急医学科)

DP-132-4 3週間で経験した高齢者偶発性低体温症の5症例の検討

玉井謙次¹, 林堅二¹, 横塚千恵子¹, 五十嵐孝², 竹内護²(1.芳賀赤十字病院麻酔科, 2.自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)

DP-132-5 高齢者偶発性低体温症例の検討

村上翼, 廣田誠二, 本多康人, 藤本枝里, 安岡やよい, 西森久美子, 原真也, 島津友一, 山崎浩史, 西山謹吾(高知赤十字病院救命救急センター)

DP-132-6 演題取り下げ

11:00～12:00

一般演題 ポスター 133 消化器・腹腔内臓器 ① (DP-133-1～DP-133-6)

座長 星野正巳(至聖病院外科)

DP-133-1 吐血により内シャント閉塞を来した腎盂癌術前の1症例

小林直哉, 菊池陽一郎, 大橋一夫, 弓掛秀樹, 花川志郎(岡山西大寺病院総合診療科)

DP-133-2 Sengstaken-Blakemore (S-B) Tube 留置により大量吐血を制御できた胸部大動脈瘤食道穿破の一救命例

岩瀬信哉, 織田成人, 渡邊栄三, 安部隆三, 大島拓, 服部憲幸, 松村洋輔, 砂原聡, 菅なつみ(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学)

DP-133-3 食道癌術後の反回神経麻痺の検討

西山光郎¹, 松隈聡², 鴛渕るみ¹, 松田憲昌¹, 松本聡¹, 若松弘也¹, 松本美志也¹(1.山口大学医学部附属病院集中治療部, 2.山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学)

DP-133-4 腹臥位鏡視下食道切除術後に遅発性反回神経麻痺を認めた2症例

三原亨¹, 二階哲朗², 串崎浩行¹, 太田淳一¹, 南浩太郎², 庄野敦子¹, 齊藤洋司²(1.島根大学医学部附属病院集中治療部, 2.島根大学医学部附属病院麻酔科)

DP-133-5 マグネシウム製剤を内服中に頻回の水様便でショック状態となり高マグネシウム血症を来した2症例

井上一由, 中村仁, 川西裕之, 大西淳司, 谷津祐市, 松下幹晴, 平崎盟人(香川県立中央病院麻酔科)

DP-133-6 炭酸水素ナトリウム腹腔内洗浄中に重篤な代謝性アルカローシスを呈した腹膜偽粘液腫手術の1症例

丸山大介, 小泉智弥, 平田直之, 山藤道明(札幌医科大学医学部麻酔科学講座)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 134 消化器・腹腔内臓器 ② (DP-134-1～DP-134-6)

座長 林下浩士(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

DP-134-1 腹部大動脈瘤の十二指腸穿孔に対しステントグラフト治療を行った1例

渡邊俊明(熊本赤十字病院集中治療部)

DP-134-2 胸部大動脈術後に縦隔洞炎・コレステロール結晶塞栓症を発症し救命できた一症例

岡隆紀, 三里卓也, 山本真由子(愛仁会高槻病院心臓血管外科)

DP-134-3 Wernicke-Korsakoff症候群患者に生じた小腸軸捻転症の一例

仙田正博, 大森陸子, 倉迫敏明, 山岡正和, 稲井舞夕子, 上川竜生, 古島夏奈, 西海智子, 吹田晃享, 村上幸一(姫路赤十字病院麻酔科)

DP-134-4 ショックを呈し高年期以降に発症した膠原病関連疾患の2例

木田真紀, 小川敦裕, 安田真人, 船橋亮輔, 柴田尚明, 中島強, 川副友, 島幸宏, 岩崎安博, 加藤正哉(和歌山県立医科大学医学部)

DP-134-5 発熱により一過性のBrugada型心電図を示した一例

明星康裕, 太田圭亮, 谷口淳朗(石川県立中央病院救急科)

DP-134-6 全身性皮膚潰瘍・敗血症性ショック・DIC治療中に診断された原発性皮膚末梢性T細胞リンパ腫の1例

向井信貴¹, 上垣慎二², 平安山直美², 早川峰司², 澤村淳², 北川真吾¹, 丸藤哲²(1.札幌東徳洲会病院外科, 2.北海道大学病院先進急性期医療センター)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 135 消化器・腹腔内臓器 ③ (DP-135-1～DP-135-6)

座長 平井勝治(平成記念病院手術・周術期管理センター)

DP-135-1 簡便かつ機能的なOpen abdominal management—小腸大量切除を回避できた非閉塞性腸間膜虚血の1例から—

牛窓かおり, 鹿股宏之, 立川信雄, 清水芳政, 捨田利外茂夫, 内田智夫, 佐藤宏喜, 古内孝幸, 竹中能文(水戸赤十字病院外科)

DP-135-2 保存的治療にて軽快した門脈ガス血症を伴う急性腸管虚血症の1例

伊原正幸, 下園崇宏, 川上大裕, 清水綾子, 山下博, 植田浩司, 美馬裕之, 山崎和夫(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・集中治療部)

DP-135-3 上腸間膜動脈解離による腸管虚血に対して外科的血行再建を施行した3例

内藤敬嗣, 金子達夫, 江連雅彦, 長谷川豊, 木村知恵里, 岡田修一, 小此木修一, 滝原瞳(群馬県立心臓血管センター心臓血管外科)

DP-135-4 ハイブリッド戦略にて治療した上腸間膜動脈閉塞の2例

富永直樹, 石井浩統, 萩原純, 片桐美和, 増野智彦, 新井正徳, 金史英, 辻井厚子, 横田裕行(日本医科大学付属病院高度救命救急センター)

DP-135-5 術直前の内視鏡的減圧により良好な換気と手術視野を得た巨大結腸症の一例

並木正伸¹, 鈴木温², 金野陽高³, 山藤道明⁴(1. イムス札幌消化器中央総合病院(札幌医科大学)麻酔科, 2. イムス札幌消化器中央総合病院外科, 3. イムス札幌消化器中央総合病院内科, 4. 札幌医科大学麻酔科学講座)

DP-135-6 救急・集中治療領域における極細径上部消化管内視鏡スコープ使用の経験と可能性

宮内雅人, 石井浩統, 増野智彦, 横田裕行(日本医科大学高度救命救急センター)

10:00~11:00

一般演題 ポスター 136 血液・凝固 ③ (DP-136-1 ~ DP-136-6)

座長 早川峰司(北海道大学病院先進急性期医療センター)

DP-136-1 当院における静脈血栓症に対するフォンダパリヌクスの治療経験

村田哲平, 金子喜仁, 久保佳史, 香川昇, 桑田雅雄, 館林孝幸, 野地智(東大和病院循環器センター)

DP-136-2 右下肢急性動脈閉塞をきたしたプロテインC欠乏症を伴う多発動静脈血栓症の1例

眞本治文¹, 西山元啓¹, 白川元昭¹, 酒井宏明², 白石義人²(1. 藤枝市立総合病院外科, 2. 藤枝市立総合病院麻酔科)

DP-136-3 血漿Dダイマー値の推移により血栓の存在が予測された静脈血栓塞栓症の一例

中野伸彦, 渡辺えり, 加藤啓一(日本赤十字社医療センター麻酔科)

DP-136-4 血液ガス分析用の全血検体でのフィブリノゲン迅速測定

小野雄一, 宮本大輔, 和田剛志, 柳田雄一郎, 早川峰司, 澤村淳, 丸藤哲(北海道大学病院先進急性期医療センター)

DP-136-5 ドライ法を用いた、全血フィブリノゲン値の検討 (CG02N)

小川覚, 中山力恒, 中嶋康文, 溝部俊樹(京都府立医科大学麻酔科学教室)

DP-136-6 ICU重症患者における低用量ヘパリンモニタリングへのACT-LR使用に関する検討

高田由以子, 寺田統子, 上原健司, 鷹取誠(広島市立広島市民病院麻酔集中治療科)

11:00~11:50

一般演題 ポスター 137 血液・凝固 ④ (DP-137-1 ~ DP-137-5)

座長 柳田国夫(東京医科大学茨城医療センター集中治療部)

DP-137-1 心臓手術患者に対する、異なるDoseのトラネキサム酸投与が出血・輸血に及ぼす影響

岡本靖久(IMS葛飾ハートセンター麻酔科)

DP-137-2 寒冷凝集素高値の自己免疫性溶血性貧血患者に対する副脾摘出術における周術期全身管理の経験

木村太, 丹羽英智, 工藤倫之, 斉藤淳一, 工藤隆司, 櫛方哲也, 橋本浩, 廣田和美(弘前大学医学部附属病院麻酔科)

DP-137-3 大動脈解離と凝固マーカーSFMC(soluble fibrin monomer complex)の関連性について

京道人, 中川五男, 山賀聡之, 鳥越勇佑(独立行政法人労働者健康福祉機構中国労災病院救急部)

DP-137-4 クリオグロブリン血症の合併症例に対し常温下に上行大動脈人工血管置換術を施行した1例

安健太, 田邊大明, 古谷光久, 加藤雄治, 外山雅章(亀田総合病院心臓血管外科)

DP-137-5 CTガイド下肺穿刺にて空気塞栓症を発症し、救命し得た2例

稲川万里江, 国元文生, 日野原宏, 戸部賢, 高澤知規, 金本匡史, 檜原創, 柳澤晃広, 神山治郎, 福士宙之(群馬大学医学部付属病院集中治療部)

10:00~11:00

一般演題 ポスター 138 内分泌・代謝・免疫 ③ (DP-138-1 ~ DP-138-6)

座長 成松英智(札幌医科大学医学部高度救命救急センター)

DP-138-1 大量インドメタシン投与が著効した炭酸リチウムによる二次性腎性尿崩症の1例

川野恭雅, 松本徳彦, 市来玲子, 仲村佳彦, 水沼真理子, 村井映, 石倉宏恭(福岡大学病院救命救急センター)

DP-138-2 腎機能障害がないにも関わらずMgOの長期内服により高Mg血症をきたし心不全、ショック、除脈になった症例

橘紗耶佳, 那須道高, 窪田圭志, 岩永航, 高田忠明, 屋宜亮兵, 福井秀人, 葵佳宏, 伊藤貴彦, 八木正晴(社会医療法人仁愛会浦添総合病院)

DP-138-3 ICU入室患者におけるiMg値の検討

城野剛充¹, 蒲原英信¹, 鷺島克之¹, 田代貴大¹, 笠岡俊志², 木下順弘¹(1. 熊本大学医学部附属病院集中治療部, 2. 熊本大学医学部附属病院救急部)

DP-138-4 筋弛緩薬を使用せずマグネシウムにより痙攣・循環コントロールが可能であった破傷風の1例

鷺島克之, 蒲原英伸, 田代貴大, 木下順弘(熊本大学医学部附属病院集中治療部)

DP-138-5 尿素サイクル異常による高アンモニア血症の検討

宇城敦司, 大塚康義, 安宅一見, 奥村将年, 和田翔, 朱田博聖, 嶋岡英輝, 飯田康(大阪市立総合医療センター集中治療部)

DP-138-6 臨床シミュレーション下での重炭酸リンゲル液中不溶性微粒子の検討

木下浩之, 安藤一雄, 安田吉孝, 榎原健介, 赤堀貴彦, 黒川修二, 遠藤章子, 畠山登, 藤原祥裕(愛知医科大学医学部麻酔科学講座)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 139 内分泌・代謝・免疫 ④ (DP-139-1～DP-139-6)

座長 森松博史(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学分野)

DP-139-1 2度の開頭手術でマンニトール投与後に高カリウム血症となった一例

菅規久子¹, 阪本浩平¹, 増田祐也¹, 安藤嘉門¹, 高山渉², 森田慶久¹, 増田純一¹(1.川崎市立川崎病院麻酔科, 2.川崎市立井田病院麻酔科)

DP-139-2 ロサルタンカリウムとカルベジロールで血清カリウム値が8.2となった一症例

濱川俊朗¹, 成尾浩明¹, 立山真吾², 中村禎志²(1.潤和会記念病院集中治療部, 2.潤和会記念病院麻酔科)

DP-139-3 来院時のカリウムが2.0mEq/L以下を呈した8症例の検討

(優)

石川友規, 南絵里子, 進吉彰, 篠井尚子, 大石悠理, 石井瑞恵, 小林浩之, 奥格, 福島臣啓, 時岡宏明(岡山赤十字病院)

DP-139-4 Desmopressin及び3%高張食塩水を用いた水中毒にともなう低ナトリウム血症の治療経験

宮部浩道¹, 安藤雅規¹, 後長孝佳¹, 波柴尉充¹, 富野敦稔², 植西憲達³, 服部友紀¹, 加納秀記¹, 平川昭彦², 武山直志¹(1.藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座, 2.藤田保健衛生大学病院災害・外傷外科, 3.藤田保健衛生大学病院救急総合内科)

DP-139-5 難治性高Na血症の原因が原発性副甲状腺機能亢進症であった一例

水野祥子¹, 貝沼関志¹, 尾関奏子¹, 萩原伸昭¹, 青山正¹, 市川崇¹, 鈴木章悟¹, 高橋英夫², 有馬寛³, 西脇公俊¹(1.名古屋大学医学部附属病院麻酔科・外科系集中治療部, 2.名古屋大学救急集中治療医学分野, 3.名古屋大学医学部糖尿病・内分泌内科)

DP-139-6 デスモプレシン不応となり治療に苦慮した下垂体摘出後2次性尿崩症の一例

堤悠介, 土谷飛鳥, 石上耕司, 古橋杏輔, 安田貢(独立行政法人国立病院機構水戸医療センター救命救急センター)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 140 外傷・熱傷 ① (DP-140-1～DP-140-6)

座長 大槻稔治(東京慈恵会医科大学附属第三病院救急部)

DP-140-1 当施設に入院したflail chest症例の臨床的検討

田中義人, 白井邦博, 安田立, 三宅喬人, 中野志保, 中野通代, 土井智章, 熊田恵介, 豊田泉, 小倉真治(岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター)

DP-140-2 呼吸不全を伴う多発肋骨骨折に対し肋椎間ブロックが奏功した1例

矢口慎也, 堀内大輔, 伊藤勝博, 吉田仁, 花田裕之, 浅利靖(弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター)

DP-140-3 外傷後の遷延する胸腔内血腫に対する胸腔内血栓溶解剤投与

永川寛徳, 松原庸博, 柳明男, 久城正紀, 柳瀬豪, 前谷和秀, 則尾弘文(済生会福岡総合病院救命救急センター)

DP-140-4 心内伏針により緊急手術を施行した1例

中澤佑介, 坂本大輔, 坂本滋(金沢医科大学水見市民病院心臓血管外科)

DP-140-5 多発顔面外傷を伴う外傷性心肺停止の集中治療の1例

山本尚範¹, 田村有人¹, 明石まり¹, 星野あつみ¹, 松田直之²(1.中東遠総合医療センター救急科, 2.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-140-6 嚥下障害が遷延した鈍的頸部損傷の一例

大久保怜子, 鈴木剛, 阿部良伸, 石井証, 根本千秋, 塚田泰彦, 長谷川有史, 池上之浩, 島田二郎, 田勢長一郎(公立法人福島県立医科大学附属病院救急医学講座)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 141 外傷・熱傷 ② (DP-141-1～DP-141-6)

座長 切田学(加古川西市民病院救急科)

DP-141-1 診断に苦慮した外傷性膀胱破裂2症例の検討

井上京, 堤貴彦, 吉田浩輔, 田中博之, 別府賢, 笹橋望, 志馬伸朗(独立行政法人国立病院機構京都医療センター救命救急科)

DP-141-2 IVRが奏功した骨盤骨折の3例

岨手善久¹, 加藤秀之², 山川耕司², 古澤武彦²(1.長野赤十字病院救命救急センター, 2.長野赤十字病院救急部)

DP-141-3 多発外傷における治療戦略の検証(骨盤骨折に腹部外傷を合併する症例を中心に)

濱口満英, 植嶋利文, 松島知秀, 村尾佳則(近畿大学医学部、救命救急センター)

DP-141-4 当院ICUに入室したPs0.5未満の外傷患者に対する検討

蕪木友則, 須崎紳一郎, 勝見敦, 原田尚重, 原俊輔, 田中知恵, 片岡惇, 安達朋宏, 鈴木誠也(武蔵野赤十字病院救命救急センター)

DP-141-5 マルチプロフェッショナルを集めて救命した、生後7日の交通外傷による重症頭部外傷の1例

多田昌弘¹, 浦山耕太郎², 鈴木慶¹, 佐伯辰彦¹, 竹崎亨¹, 楠真二¹, 山野上敬夫¹(1.県立広島病院救急科, 2.県立広島病院小児科)

DP-141-6 重症頭部外傷に対する急性期トップダウン治療による治療成績の向上

並木淳¹, 洪沢崇行¹, 小林陽介¹, 多村知剛¹, 田島康介¹, 佐々木淳一¹, 安心院康彦², 吉田一成³, 堀進悟¹(1.慶應義塾大学医学部救急医学, 2.帝京大学医学部付属病院救命救急センター, 3.慶應義塾大学医学部脳神経外科)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 142 外傷・熱傷 ③ (DP-142-1～DP-142-6)

座長 小井土雄一(独立行政法人国立病院機構災害医療センター臨床研究部救命救急センター)

DP-142-1 外傷緊急輸血の早期判定

松本学¹, 岩瀬史明¹, 井上潤一¹, 小林辰輔¹, 宮崎善史¹, 大嶽康介¹, 木下大輔¹, 横田裕行²(1.山梨県立中央病院救命救急センター, 2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター)

DP-142-2 保存的治療が可能であった外傷性仮性肺動脈瘤の1例

秋田真代, 森幸太郎, 上條泰, 新川一樹, 市川通太郎, 小林尊志, 新田憲市, 岩下具美, 今村浩, 岡元和文(信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)

DP-142-3 上腕骨近位端骨折術後に腋窩上腕動脈仮性瘤破裂をきたしショックに陥った1例

庄司高裕, 原田裕久, 松井淳一(東京歯科大学市川総合病院)

DP-142-4 右鎖骨骨折に合併した外傷性鎖骨下動脈損傷に対し緊急ステントグラフト留置術が有用であった一例

佐藤仁信, 林実, 関久美子, 小柴真一, 田畑麻里, 藤林哲男(福井県立病院麻酔科)

DP-142-5 外傷性大動脈解離による上腸間膜動脈閉塞に対してステント治療を施行した1症例

井上雅史¹, 中井俊宏¹, 衣笠梨絵¹, 稲垣雅昭¹, 山崎潤二¹, 草間宣好²(1.岐阜県立多治見病院麻酔科, 2.名古屋大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

DP-142-6 大動脈バルーン遮断カテーテルの抜去はcutdownをするようにしましょう

上松敬吾¹, 橘直人¹, 芝陽介¹, 田中光一¹, 濱見原¹, 安念優²(1.愛媛県立中央病院救急科, 2.愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 143 外傷・熱傷 ④ (DP-143-1～DP-143-5)

座長 田中博之(JR東京総合病院救急部門)

DP-143-1 IABO シース留置により下腿コンパートメント症候群に至った交通外傷の1例

岡田遥平, 市川哲也, 荒井裕介, 小田和正, 榊原謙, 石井亘, 檜垣聡, 飯塚亮二(京都第二赤十字病院救命救急センター救急部)

DP-143-2 コンパートメント症候群に対してrSO₂モニターを使用した一例

松本尚也¹, 高橋学¹, 菅重典¹, 小野寺あき¹, 増田卓之¹, 佐藤諒¹, 丹保垂希仁², 山田裕彦¹, 井上義博¹, 遠藤重厚¹(1.岩手医科大学救急医学講座, 2.旭川医科大学救急医学講座)

DP-143-3 広範囲熱傷における抗真菌薬の選択について

海田賢彦, 玉田尚, 宮内洋, 山田賢治, 山口芳裕(杏林大学高度救命救急センター)

DP-143-4 窒素バランス測定を連日施行し栄養管理を行った太陽熱温水器による重症熱傷の一例

谷川広紀¹, 蒲原英伸¹, 鷺島克之¹, 田代貴大¹, 新森大佑¹, 木下順弘¹, 泉加奈子², 城野剛充², 尹浩信²(1.熊本大学医学部附属病院集中治療部, 2.熊本大学医学部附属病院皮膚・形成再建科)

DP-143-5 当施設における小児熱傷患者の臨床検討

安田立, 長屋聡一郎, 白井邦博, 鈴木浩大, 田中義人, 三宅喬人, 中野志保, 加藤久晶, 豊田泉, 小倉真治(岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 144 重症感染症 ① (DP-144-1～DP-144-6)

座長 西憲一郎(関西医科大学枚方病院総合集中治療部)

DP-144-1 深頸部膿瘍5例の検討

杉野貴彦, 坪内宏樹, 森田薫, 山田靖子, 中山綾子, 村松愛, 河野真人, 三宅健太郎, 水落雄一朗(愛知厚生連海南病院集中治療部・救急部・麻酔科)

DP-144-2 本当に怖い糖尿病患者の菌周病

立川弘孝, 佐々木禎治, 松原慎, 原将之(近江八幡市立総合医療センター)

DP-144-3 ビスフォスフォネート関連顎骨壊死から敗血症性ショックを来した集学的治療を要した1例

寺島良幸, 三浦政直, 絹川友章, 岡本泰明, 佐野文昭, 鈴木安康, 後藤真也, 三輪立夫, 井口広靖, 中村不二夫(刈谷豊田総合病院麻酔・救急集中治療部)

DP-144-4 降下性壊死性縦隔炎に対して複数回のVATSによる洗浄・ドレナージにより救命し得た1例

数馬聡, 巽博臣, 升田好樹, 野村和史, 後藤京子, 高橋科那子, 今泉均, 山蔭道明(札幌医科大学医学部集中治療医学)

DP-144-5 降下性壊死性縦隔炎に対してVAC療法が奏効した1例

坂本大輔, 中澤佑介, 坂本滋(金沢医科大学氷見市民病院心臓血管外科)

DP-144-6 急激な下肢麻痺の進行を認めた膿瘍を伴う硬膜外膿瘍の1例

越田智広, 押川満雄, 矢野武志, 奥那覇哲, 長濱真澄, 石山健次郎, 須江宣俊, 松岡博史, 谷口正彦, 恒吉勇男(宮崎大学医学部附属病院集中治療部)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 145 重症感染症 ② (DP-145-1～DP-145-5)

座長 笹野寛(名古屋市立大学病院救急部)

DP-145-1 心臓血管術後の感染症

森岡浩一, 秋田利明, 田中宏和, 水野史人, 三上直宣, 野口康久, 小畑貴司, 川平洋一, 四方裕夫(金沢医科大学医学部心臓血管外科)

DP-145-2 当院における心拍動下冠動脈バイパス手術後の血液およびカテーテル培養の現状

大友教暁(青森市民病院麻酔科)

DP-145-3 当院における心臓外科術後縦隔炎の現状および予防策の効果

河野真二¹, 美島路恵², 中澤靖³, 堀誠治³, 齋藤敬太¹, 内野滋彦¹, 瀧浪将典¹(1.東京慈恵会医科大学附属病院麻酔科集中治療部, 2.東京慈恵会医科大学附属病院感染対策室, 3.東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部)

DP-145-4 開心術後の縦隔洞炎を減らすには術中以外にいかなる対策が必要か?

高志賢太郎, 上杉英之, 西上和宏, 佐々利明, 村田英隆, 大森一史, 中尾浩一, 平山統一(済生会熊本病院集中治療室)

DP-145-5 心血管系外科領域手術後のICUにおけるVCM予防投与に関する検討

赤羽理也¹, 藤野晋², 辻田靖之³, 浅井徹², 江口豊³, 寺田智祐¹(1.滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部, 2.滋賀医科大学心臓血管外科学講座, 3.滋賀医科大学救急集中治療医学講座)

10:00～10:50

一般演題 ポスター 146 重症感染症 ③ (DP-146-1～DP-146-5)

座長 森山潔(杏林大学医学部麻酔科学教室)

DP-146-1 Critical illness polyneuropathy をきたしたレジオネラ肺炎の1例

松本幸夫(米沢市立病院集中治療科)

DP-146-2 当施設における市中発症の誤嚥性肺炎に対する抗生剤の検討

米花伸彦, 宮庄浩司, 柏谷信博, 甲斐憲治, 大熊隆明, 石橋直樹, 山下貴弘(福山市民病院救命救急センター)

DP-146-3 ST合剤による治療経過中に再増悪を来したニューモシスチス肺炎(PCP)の1例

松元崇史, 福田聡, 方山真朱, 宮崎裕也, 佐藤庸子, 尾崎眞, 小谷透(東京女子医科大学麻酔科・中央集中治療部)

DP-146-4 当院における重症・中等症肺炎の臨床的検討

高安弘美, 岩崎拓也, 山崎洋平, 榎野英凰, 加藤栄助, 若林綾, 林誠, 武田純一, 松倉聡, 國分二三男(昭和大学藤が丘病院呼吸器内科)

DP-146-5 成人の人工呼吸器関連肺炎に対するクロルヘキシジン口腔ケアの有効性: 系統的レビュー

栗山明¹, 藤永潤², 佐藤仁思², 田村暢一郎², 越後谷良介², 佐々木暁¹, 福岡敏雄^{1,2}(1.倉敷中央病院総合診療科, 2.倉敷中央病院救急科)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 147 重症感染症 ④ (DP-147-1～DP-147-6)

座長 大野博司(洛和会音羽病院ICU/CCU)

DP-147-1 DICとの鑑別を要したClostridium difficile腸炎に起因する血栓性微小血管症の1例

水口市子, 福田信也, 荻野泰明, 古賀靖卓, 藤田基, 金田浩太郎, 河村宜克, 小田泰崇, 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

DP-147-2 当院におけるClostridium difficile infection (CDI)の現状について

萩原信太郎, 上野剛, 濱田弥弥, 児玉建士, 松尾敬介, 濱崎順一郎, 山口俊一郎, 有村敏明(鹿児島市医師会病院)

DP-147-3 当院におけるClostridium difficile toxin陽性例の検討

松尾瑞恵, 海塚安郎(製鉄記念八幡病院救急・集中治療部)

DP-147-4 サルモネラ腸炎から敗血症, 横紋筋融解症, 急性腎不全, 麻痺性イレウスを発症した1例

高氏修平, 方波見謙一, 坂東敬介, 遠藤見生, 松井俊尚, 佐藤朝之, 岡田昌生, 鹿野恒, 斎藤智誉, 牧瀬博(市立札幌病院救命救急センター)

DP-147-5 健常者に発症し多量の下血を呈したサイトメガロウイルス腸炎の1例

高村卓志¹, 水谷哲之¹, 坂口憲史¹, 橋本瑞生¹, 石川玲¹, 今枝政喜¹, 金原香織^{1,2}, 小池佳男¹, 竹下昌宏², 長坂暢³(1.中部ろうさい病院外科, 2.中部ろうさい病院循環器科, 3.中部ろうさい病院病理科)

DP-147-6 ATL治療中に発症し激烈な経過をたどったStenotrophomonas maltophiliaによる肺出血の1例

串崎浩行¹, 三原亨¹, 太田淳一¹, 二階哲朗¹, 南浩太郎², 庄野敦子¹, 齊藤洋司²(1.島根大学医学部附属病院集中治療部, 2.島根大学医学部麻酔科学教室)

10:00～11:10

一般演題 ポスター 148 重症感染症 ⑤ (DP-148-1～DP-148-7)

座長 兼坂茂(横浜労災病院救命救急センター)

DP-148-1 福井大学医学部附属病院における腸腰筋膿瘍症例の臨床的検討(2006年から2013年まで)

安田善一¹, 松木泰成¹, 三田建一郎¹, 小畑友里江², 松本悠佳², 次田佳代², 高倉康², 重見研司²(1.福井大学医学部附属病院集中治療部, 2.福井大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

DP-148-2 大腿切断術施行により救命できたAeromonas hydrophila感染症の1例

濱田耕介, 小林巖, 南波仁, 澤下泰明, 小泉智弥, 大曾根順平, 四十物摩呼, 住田臣造(旭川赤十字病院麻酔科)

DP-148-3 肝硬変を伴わないVibrio vulnificus感染症の一例

金苗幹典, 越後整, 高須修, 田代恵太, 萬木真理子, 吉山直政, 平湯恒久, 福田理史, 山下典雄, 坂本照夫(久留米大学病院高度救命救急センター)

DP-148-4 ICUでの集中治療後に完治し得た壊死性軟部組織感染症の一例

松澤岳¹, 安藤幸吉², 小林直也², 村田祐二³(1.仙台市立病院整形外科, 2.仙台市立病院麻酔科, 3.仙台市立病院救命救急部)

DP-148-5 腹腔内感染症に続発した壊死性筋膜炎に対して早期の手術療法の併用で改善した一例

名取洋一郎¹, 青木和裕², 片山正夫²(1.聖路加国際病院内科感染症科, 2.聖路加国際病院麻酔科・集中治療室)

DP-148-6 当院における壊死性筋膜炎の治療成績

小林哲士¹, 森澤健一郎², 柳井真知², 高松由佳², 別府諸兄¹, 平泰彦²(1.聖マリアンナ医科大学整形外科学講座, 2.聖マリアンナ医科大学救急医学)

DP-148-7 インプラント周囲炎から下顎骨骨髓炎をきたし、頸部壊死性筋膜炎を合併した1例

坂井正弘, 江本賢, 吉永晃一, 松口崇央, 南三郎, 高橋洋子, 井村洋, 小鶴三男(株式会社麻生飯塚病院総合診療科)

11:10~12:10

一般演題 ポスター 149 重症感染症 ⑥ (DP-149-1 ~ DP-149-6)

座長 小山薫(埼玉医科大学総合医療センター麻酔科)

DP-149-1 集中治療室の尿路感染症患者に広域抗菌薬は必要か

柳井真知, 高松由佳, 森澤健一郎, 小山泰明, 下澤信彦, 和田崇文, 藤谷茂樹, 箕輪良行, 平泰彦(聖マリアンナ医科大学救急医学)

DP-149-2 周術期感染予防抗菌薬投与マニュアル導入前後における検討

中村利秋¹, 松本聡治朗¹, 東島潮¹, 松本周平¹, 関野元裕¹, 横田徹次¹, 原哲也²(1.長崎大学病院集中治療部, 2.長崎大学病院麻酔科)

DP-149-3 当院における緑膿菌の抗菌薬感受性検査と薬剤の併用効果

宮内善豊(総合病院社会保険徳山中央病院集中治療科)

DP-149-4 名古屋大学救急・内科系集中治療部における細菌検査の年間解析

高谷悠大¹, 八木哲也², 東倫子¹, 稲葉正人¹, 松島暁¹, 井口光孝², 沼口敦¹, 足立裕史¹, 高橋英夫¹, 松田直之¹
(1.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野, 2.名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部)

DP-149-5 敗血症に対して投与した経験的治療薬と原因菌の薬剤感受性についての検討

猪熊孝実¹, 長谷敦子¹, 泉野浩生¹, 山野修平¹, 田島吾郎¹, 平尾朋仁¹, 山下和範¹, 齊藤信夫², 古本朗嗣², 田崎修¹
(1.長崎大学救命救急センター, 2.長崎大学感染症内科)

DP-149-6 当院における菌血症の特徴

熊谷謙, 池上かおり, 井ノ上幸典, 廣瀬保夫(新潟市民病院救命救急センター)

10:00~10:50

一般演題 ポスター 150 重症感染症 ⑦ (DP-150-1 ~ DP-150-5)

座長 浅賀健彦(香川大学医学部麻酔学講座)

DP-150-1 演題取り下げ

DP-150-2 急速な病状の悪化を呈した市中感染型MRSAによる敗血症の2症例

竹中隆一¹, 田邊三思¹, 黒澤慶子¹, 塩月一平¹, 和田伸介¹, 石井圭亮¹, 野口隆之¹, 安田則久², 後藤孝治², 重光修³
(1.大分大学医学部附属病院救命救急センター, 2.大分大学医学部附属病院集中治療部, 3.大分大学医学部救急医学講座)

DP-150-3 肺化膿症から気胸を合併したMRSA血流感染症の1例

阿部良伸, 鈴木剛, 池上之浩, 島田二郎, 伊関憲, 塚田泰彦, 根本千秋, 林田昌子, 大久保怜子, 田勢長一郎(福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

DP-150-4 インフルエンザ罹患後に市中型メチシリン耐性黄色ブドウ球菌肺炎(CA-MRSA)を合併した1例

御園生与志, 針馬日出美, 箕島梨恵, 上田朝美, 鈴木武志, 中村教人, 櫻井裕教, 長田大雅, 香取信之, 森崎浩(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

DP-150-5 Active surveillance culture for hospital-acquired MRSA infections-Cost versus Benefit-

岡部悠吾, 浅賀健彦, 別宮小由理, 植村直哉, 菅原友道, 白神豪太郎(香川大学医学部麻酔学講座)

10:50~11:40

一般演題 ポスター 151 重症感染症 ⑧ (DP-151-1 ~ DP-151-5)

座長 西山隆(神戸大学医学部附属病院救命救急科)

DP-151-1 感染症による重症患者のCOHb濃度は高いのか?

川西進¹, 黒江泰利¹, 野島宏悦¹, 大谷晋吉¹, 杉山淳一¹, 内藤宏道¹, 萩岡信吾², 高橋徹³, 杉山雅俊², 森本直樹¹
(1.津山中央病院救命救急センター, 2.津山中央病院麻酔科, 3.岡山県立大学保健福祉学部)

DP-151-2 敗血症患者における肺血管透過性とvascular endothelial growth factorの関連について

藤田基, 金子唯, 宮内崇, 古賀靖卓, 中原貴志, 戸谷昌樹, 金田浩太郎, 河村宜克, 小田泰崇, 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

DP-151-3 血液培養検査陽性時の菌血症補助診断因子の検討

三上哲¹, 名取洋一郎², 望月俊明¹, 大谷典生¹, 石松伸一¹(1.聖路加国際病院救命救急センター, 2.聖路加国際病院感染症内科)

⑨ DP-151-4 敗血症初期における重症凝固障害の早期診断に有用なバイオマーカーの検討

小山寛介¹, 布宮伸¹, 和田政彦¹, 鯉沼俊貴¹, 平幸輝²(1.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座麻酔科学部門)

DP-151-5 重症敗血症例におけるSF測定の有用性の検討

島居傑, 北村伸哉, 加古訓之, 五十嵐一憲, 富田啓介, 田中久美子(国保直営総合病院君津中央病院救急・集中治療科)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 152 重症感染症 ⑨ (DP-152-1～DP-152-6)

座長 伊藤辰哉(高松赤十字病院救急科)

DP-152-1 当初感染症が疑われたが最終的に劇症型抗リン脂質抗体症候群と考えられた一症例

榎畑京, 上野剛, 濱崎順一郎, 松尾敬介, 児玉健士, 山口俊一郎, 有村敏明(鹿児島市医師会病院麻酔科)

DP-152-2 二度の開腹術後にDIC・心内膜炎・下肢急性動脈閉塞症を来した抗リン脂質抗体症候群の一症例

土屋智徳¹, 浅見優², 土屋千枝², 野村友紀子³, 濱田貴子³, 山本夏啓¹, 上野歌奈子¹, 平井明子¹, 藤本潤一¹, 西濱雅充¹(1.済生会横浜市南部病院麻酔科, 2.横浜市立大学附属市民総合医療センター, 3.神奈川県立こども医療センター)

DP-152-3 上皮化した組織より破傷風菌を院内にて分離培養し病原体診断にいたった一例

中野智継, 石元玲央, 中島幹男, 中島康, 横須賀哲哉, 後藤英昭, 佐々木勝(東京都立広尾病院救命救急センター)

DP-152-4 マグネシウム大量投与が奏功した破傷風の1例

三浦剛史, 境田康二, 五十嵐伸二, 武光美香子, 埜口千里, 後藤眞理亜, 六角由紀, 重松明香, 畠山稔弘, 沖野絢子(船橋市立医療センター)

DP-152-5 電撃性紫斑を伴った肺炎球菌による脾摘後重傷感染症の一例

小松昌道, 石原徹, 桑野公輔, 真鍋早季, 柳秀高, 小澤秀樹, 高木敦司(東海大学医学部附属病院)

DP-152-6 健康成人に発症した電撃性紫斑病の非救命2例

高橋希, 野間未知多, 伊藤悠祐, 佐藤啓太, 早瀬直樹, 早川桂, 勅使河原勝伸, 田口茂正, 五木田昌士, 清田和也(さいたま赤十字病院救命救急センター救急医学科)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 153 重症感染症 ⑩ (DP-153-1～DP-153-5)

座長 鍛冶有登(岸和田徳洲会病院救命救急センター)

DP-153-1 化学療法中に発症した劇症型アメーバ性大腸炎の1例

小島直樹, 岡田保誠, 稲川博司, 山口和将, 佐々木庸朗, 松吉健夫, 今村剛朗, 広瀬由和, 渡邊隆明, 澄田泰子(公立昭和病院救命救急センター)

DP-153-2 播種性ノカルジア症によるARDSの一例

岡森慧, 明保洋之, 次橋幸男, 東光久, 石丸裕康, 八田和大(天理よろづ相談所病院総合診療教育部)

DP-153-3 ベイズ推定値による投与設計に基づいたバンコマイシン持続投与によって治療した典型的肺炎球菌髄膜炎の一例

関啓輔¹, 宮地啓子¹, 音成芳正¹, 乙宗佳奈子¹, 福岡喜美代², 近藤隆史⁴, 木村延和³, 藤本正司³(1.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院救命救急センター, 2.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院臨床検査部, 3.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院麻酔科, 4.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院内科)

DP-153-4 水溶性下痢と血便で発症した連鎖球菌性毒素性ショック症候群

小柴真一, 佐藤仁信, 林実, 関久美子, 藤林哲男, 田畑麻里, 我喜屋徹, 水野優美(福井県立病院麻酔科)

DP-153-5 感染性肝動脈瘤を合併し塞栓術を施行するも救命し得なかった*E. faecalis*による感染性心内膜炎の一例

真鍋早季, 柳秀高, 蘇原映碩, 峠田晶子, 小澤秀樹, 高木敦司(東海大学医学部付属病院総合内科)

10:00～11:10

一般演題 ポスター 154 重症感染症 ⑪ (DP-154-1～DP-154-7)

座長 山森祐治(鳥根県立中央病院)

DP-154-1 当院救命救急センターにおける抗真菌薬選択に関する現状と考察 第2報: MCFG使用例

山田法顕, 三宅喬人, 長屋聡一郎, 土井智章, 中野通代, 牛越博昭, 吉田省造, 白井邦博, 豊田泉, 小倉真治(岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター)

DP-154-2 当院におけるダブトマイシン使用状況調査

吉廣尚大¹, 櫻谷正明², 大田博子¹, 吉田研一²(1.JA広島総合病院薬剤部, 2.JA広島総合病院救急・集中治療科)

DP-154-3 当施設における過去11年間の血液培養陽性例の検討

小林由, 宮澤正明, 志賀英敏, 福家伸夫(帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター)

DP-154-4 ICUにおける経験的抗真菌薬治療例の予後に関連する因子の検討

古賀靖卓, 中原貴志, 戸谷昌樹, 藤田基, 金子唯, 河村宜克, 金田浩太郎, 小田泰崇, 鶴田良介(山口大学医学部附属病院先進救急医療センター)

DP-154-5 ICUにおける β -Dグルカン高値症例の検討

吉本広平¹, 白元典子¹, 安達普至¹, 島谷竜俊², 中塚昭男², 鮎川勝彦²(1.麻生飯塚病院集中治療部, 2.麻生飯塚病院救急部)

⑤ DP-154-6 包括的栄養管理により抗菌薬関連性腸炎を抑制し、院内の多剤耐性菌感染を抑制できる可能性がある

佐藤武揚, 久志本成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

DP-154-7 当院ICUにおける抗生物質処方および費用の特徴

大島正行, 岩田人美, 福原尚基, 飯塚弘隆, 金井優典, 青山和由(小張総合病院麻酔科)

11:10~12:10

一般演題 ポスター 155 重症感染症 ⑫ (DP-155-1 ~ DP-155-6)

座長 間瀬則文(中津川市民病院病院前救急診療科)

DP-155-1 リネゾリド(LZD)投与で非アシドーシス性高乳酸血症をきたした1例

佐藤創, 竹田健太, 堀直人, 大橋直紹, 西信一(兵庫医科大学集中治療医学科)

DP-155-2 Linezolidの炎症性メディエータ産生の検討

佐藤寿徳¹, 野田宏伸¹, 遠藤史隆¹, 小鹿雅博¹, 高橋学¹, 若林剛², 遠藤重厚¹(1.岩手医科大学医学部救急医学講座, 2.岩手医科大学医学部外科学講座)

DP-155-3 集中治療室における成人水痘髄膜炎の症例報告とその感染対策

森友紀子, 白塚秀之, 山岸一也, 田中弓子, 福岡直, 小柳寛, 田邊毅(福井赤十字病院麻酔科)

DP-155-4 救急領域におけるAcinetobacter Baumannii感染のリスクファクターについて

井上貴昭¹, 中沢武司², 成田久美², 中村美子², 秋田美佳², 佐々木信一², 星野哲也¹, 西山和孝¹, 松田繁¹, 田中裕¹(1.順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科, 2.順天堂大学医学部附属浦安病院感染対策室)

DP-155-5 重症感染症を併発した重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の3症例

二木貴弘¹, 安田智嗣¹, 新原有一郎¹, 寺田晋作¹, 中村健太郎¹, 山口桂司¹, 川村英樹², 垣花泰之¹(1.鹿児島大学病院集中治療部, 2.鹿児島大学病院医療環境安全部)

DP-155-6 MAO阻害薬であるリネゾリドの循環器系への影響；カテコラミン投与中の重症患者を対象にして

滝本浩平¹, 内山昭則¹, 藤野裕士²(1.大阪大学医学部附属病院集中治療部, 2.大阪大学大学院医学研究科麻酔集中治療医学講座)

ポスター / 機器展示会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール

10:00~10:50

一般演題 ポスター 156 内分泌・代謝・免疫 ⑤ (DP-156-1 ~ DP-156-5)

座長 谷口正彦(宮崎大学医学部附属病院集中治療部)

DP-156-1 人工臓腑で良好な周術期血糖管理をし得た糖原病患者における肝切除術の1例

五十嵐想, 矢田部智昭, 荒川真有子, 中村龍, 山下幸一, 横山正尚(高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座)

DP-156-2 来院時に異常高血糖を呈し、集中治療により救命しえた若年初発糖尿病の1例

金子純也, 谷将星, 磐井佑輔, 北橋章子, 久野将宗, 小柳正雄, 桑本健太郎, 諸江雄太, 畝本恭子(日本医科大学多摩永山病院救命救急センター)

DP-156-3 脳低温治療の急性期に人工臓腑を用いた1例

原田正公, 江良正, 狩野亘平, 山田周, 櫻井聖大, 北田真己, 橋本聡, 橋本章子, 瀧賢一郎, 高橋毅(国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部)

DP-156-4 持続グルコースモニタと人工臓腑による術中グルコース濃度測定と比較検討

箕田直治¹, 川人伸次¹, 久米克佳¹, 若松成知¹, 片山俊子¹, 北畑洋²(1.徳島大学病院麻酔科, 2.徳島大学病院歯科麻酔科)

DP-156-5 低血糖症例におけるGlasgow Coma Scale scoreと血糖値との関連性の検討

小寺厚志¹, 岩下晋輔¹, 入江弘基¹, 谷口純一¹, 笠岡俊志¹, 木下順弘²(1.熊本大学医学部附属病院救急総合診療部, 2.熊本大学医学部附属病院集中治療部)

10:50~11:40

一般演題 ポスター 157 内分泌・代謝・免疫 ⑥ (DP-157-1 ~ DP-157-5)

座長 藤村直幸(聖マリア病院麻酔科)

DP-157-1 当高度救命救急センターにおける食物に起因するアナフィラキシーショックの検討

五十嵐昂, 海田賢彦, 玉田尚, 宮内洋, 樽井武彦, 山田賢治, 山口芳裕(杏林大学医学部付属病院救急医学教室)

DP-157-2 過去5年における当高度救命救急センターに救命対応となったアナフィラキシーの検討

宮内洋, 五十嵐昂, 宮国泰彦, 海田賢彦, 玉田尚, 松田岳人, 樽井武彦, 山田賢治, 山口芳裕(杏林大学医学部救急医学)

DP-157-3 アナフィラキシーにおける推奨されるアドレナリン投与方法は、持続静脈内投与である

藤塚健次, 中野実, 高橋栄治, 中村光伸, 宮崎大, 町田浩志, 鈴木裕之, 雨宮優, 小倉崇以, 原澤朋史(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科救急科)

DP-157-4 Severe Delayed Hemolytic Transfusion Reaction after Heart Valve Surgery

植木力(静岡県立総合病院心臓血管外科)

DP-157-5 発症後約40年経過して診断された遺伝性血管性浮腫の一例

松森響子, 大塚剛, 高橋航, 小池智之, 塚原知隆, 石川淳哉, 中村京太, 森村尚登(横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 158 中毒⑤ (DP-158-1～DP-158-6)

座長 森脇龍太郎(千葉労災病院救急・集中治療部)

DP-158-1 急性メタノール中毒の1例

吉川俊輔(松戸市立病院救命救急センター)

DP-158-2 自殺目的に摂取したメタノール中毒症の一例

北川良憲, 藤井高宏, 豊嶋浩之(松江市立病院麻酔科)

DP-158-3 大腸内視鏡検査の前処置が原因と考えられた高マグネシウム血症の一例

山崎裕一郎¹, 下條信威², 秋山大樹¹, 萩谷圭一¹, 西野衆文², 河野了², 水谷太郎²(1.筑波大学附属病院救急・集中治療部, 2.筑波大学医学医療系救急・集中治療部)

DP-158-4 ジルチアゼム徐放製剤大量服薬による循環不全の一救命例

松本周平¹, 関野元裕¹, 猪熊孝実², 松本聡治朗¹, 東島潮¹, 中村利秋¹, 植田徹次¹, 原哲也³(1.長崎大学病院集中治療部, 2.長崎大学病院救命救急センター, 3.長崎大学医学部麻酔学教室)

DP-158-5 カルシウム拮抗薬中毒によって重度の低血圧、多臓器不全、腸管壊死をきたした1例

岩崎光生, 清水梨江, 山本泰史, 二宮万理恵, 大川恵, 西田朋代, 南悦子, 高田幸治(市立豊中病院麻酔科)

DP-158-6 50%フッ化水素酸曝露により低Ca血症を呈し、急激な転帰を辿った一例

小野原貴之, 吉富有哉, 甘利香織, 松本康, 小山敬, 藤田尚宏(佐賀県医療センター好生館救急部)

11:00～12:10

一般演題 ポスター 159 中毒⑥ (DP-159-1～DP-159-7)

座長 松原康博(島根県立中央病院救命救急科)

DP-159-1 覚醒剤による横紋筋融解症に対し、重炭酸リンゲル液大量投与により透析を回避し得た一例

荒井秀明¹, 遠藤武尊¹, 金澤綾子¹, 伊佐泰樹¹, 長田圭司¹, 原山信也¹, 二瓶俊一¹, 相原啓二¹, 蒲地正幸¹, 佐多竹良²(1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学病院麻酔科)

DP-159-2 急性カフェイン中毒により心室細動を来した一例

田中萌, 園田清次郎, 鈴木彰二, 三島史朗, 行岡哲男(東京医科大学病院救急医学講座)

DP-159-3 重症カフェイン中毒に血液透析濾過が著効した一例

川口絢子, 神田潤, 井手亮太, 萩原祥弘, 福田賢一郎, 三宅康史, 有賀徹(昭和大学医学部救急医学講座)

DP-159-4 PCPSを用いて救命し得た有機リン中毒による心肺停止の一例

井上剛, 福島英賢, 古家一洋平, 宮崎敬太, 多田祐介, 浅井英樹, 関匡彦, 則本和伸, 奥地一夫(奈良県立医科大学高度救命救急センター)

DP-159-5 当院ICUにおける最近10年間の有機リン中毒症例についての検討

衣笠梨絵¹, 中井俊宏¹, 井上雅史¹, 稲垣雅昭¹, 山崎潤二¹, 祖父江和哉²(1.岐阜県立多治見病院麻酔科, 2.名古屋市立大学麻酔・危機管理医学)

DP-159-6 脂肪乳剤で治療した三環系抗うつ薬の2症例

佐藤公亮, 大井康史, 中島大介, 幸野真樹, 酒井拓磨, 西村祥一, 望月聡之, 宮崎弘志, 古谷良輔(国立病院機構横浜医療センター)

DP-159-7 向精神薬の過量服薬患者に対する臨床学的な特徴と危険因子の特徴

堀智志, 木下浩作, 櫻井淳, 伊原慎吾, 山口順子, 古川誠, 守谷俊, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 160 小児集中治療⑫ (DP-160-1～DP-160-6)

座長 阪井裕一(国立成育医療研究センター総合診療部)

DP-160-1 側方開胸による乳児BT shunt手術における肋間神経ブロックの有用性

山下智範, 橋一也, 堀口佑, 津田雅世, 清水義之, 文一恵, 竹内宗之(大阪府立母子保健総合医療センター)

DP-160-2 小児心臓血管手術後の急性期肺高血圧治療における肺動脈圧連続モニタリングの有用性の検討

島田亮¹, 根本慎太郎¹, 打田裕明¹, 本橋宜和¹, 福原慎二¹, 小西隼人¹, 小澤英樹¹, 勝間田敬弘¹, 日下裕介², 梅垣修²(1.大阪医科大学附属病院心臓血管外科, 2.大阪医科大学附属病院集中治療室)

DP-160-3 当院ICUの小児心臓手術後における中心静脈カテーテル関連血栓の発生状況

吉澤佐也, 富田麻衣子, 藤掛数馬, 播磨恵, 太田晴子, 竹内直子, 徐民恵, 幸村英文, 平手博之, 祖父江和哉(名古屋大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

DP-160-4 膜型人工肺(ECMO)を用いた胸骨正中切開からのmodified Blalock-Taussig短絡術後急性期経過の特徴

日下裕介¹, 出口志保¹, 大地史広¹, 下山雄一郎¹, 日外知行¹, 梅垣修¹, 根本慎太郎²(1.大阪医科大学医学部麻酔科, 2.大阪医科大学医学部心臓血管外科)

DP-160-5 小児心臓手術後の急性腎傷害と血清ナトリウムの関連性

名原功, 戸田雄一郎, 岩崎達雄, 清水一好, 金澤幸幸, 杉本健太郎, 川出健嗣, 石井南穂子, 川瀬宏和, 森松博史
(岡山大学病院麻酔科蘇生科)

DP-160-6 小児心タンポナーデの臨床的検討

濱本奈央, 大崎真樹, 元野憲作(静岡県立こども病院循環器集中治療科)

11:00~12:00

一般演題 ポスター 161 小児集中治療 ⑬ (DP-161-1~DP-161-6)

座長 六車崇(国立成育医療研究センター病院集中治療科)

DP-161-1 高アンモニア血症を呈する新生児に対して持続血液透析(CHD)を施行した1例

是枝大輔¹, 根本茂雄¹, 重松隆¹, 木田真紀², 加藤正哉²(1.和歌山県立医科大学附属病院腎臓内科, 2.和歌山県立医科大学付属病院高度救命救急センター)

DP-161-2 新しい新生児用の超低容量血液浄化回路の開発

石川健(岩手医科大学小児科学講座)

DP-161-3 小児血液腫瘍における腫瘍崩壊症候群高リスク群に対する急性血液浄化療法の予防的施行の取り組み

菅健敬, 山上雄司, 大場彦明, 大西聡, 高原賢守, 中條悟(兵庫県立塚口病院小児集中治療科)

DP-161-4 腸管出血性大腸菌による小児溶血性尿毒症症候群(HUS)に対する血漿交換療法の有用性の検討

前田隆求, 内山壮太, 原嘉孝, 安岡なつみ, 早川聖子, 板井都紀子, 中村智之, 湯本美穂, 柴田純平, 西田修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

DP-161-5 川崎病に対する血漿交換療法の作用機序に関する検討

小泉敬一¹, 長谷部洋平¹, 戸田孝子¹, 加賀美恵子¹, 松田兼一², 杉田完爾¹, 星合美奈子¹(1.山梨大学医学部小児科, 2.山梨大学医学部救急集中治療医学講座)

DP-161-6 インフルエンザA罹患後に血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)を発症し血漿交換を行った1例

山田香里¹, 梅原直¹, 林拓也¹, 村山晶俊², 永瀬弘之²(1.神奈川県立こども医療センター救急診療科, 2.神奈川県立こども医療センター集中治療科)

10:00~11:00

一般演題 ポスター 162 小児集中治療 ⑭ (DP-162-1~DP-162-6)

座長 橘一也(大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科)

DP-162-1 当科における小児血漿交換

山上雄司¹, 中條悟¹, 高原賢守¹, 菅健敬¹, 大西聡¹, 大場彦明¹, 川原弘樹²(1.兵庫県立塚口病院小児救急集中治療科, 2.兵庫県立塚口病院臨床工学室)

DP-162-2 乳児期の先天代謝異常症に対して血液浄化療法を施行した3症例についての検討

仲野実輝, 宮津光範, 米倉寛, 野手英明, 浅井明倫, 吉村真一朗, 仙頭佳起, 上村友二, 小宮良輔, 祖父江和哉(名古屋大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野)

DP-162-3 先天性異所性接合部頻拍に対し体外式補助循環(VA-ECMO)を導入し救命した2症例

大塚康義, 飯田康, 奥村将年, 和田翔, 宇城敦司, 安宅一晃, 嶋岡英輝(大阪市立総合医療センター集中治療部)

DP-162-4 当院にて補助体外循環を使用した23症例の検討

中村文人¹, 大塚洋司¹, 佐野美奈子¹, 岩井英隆¹, 青木智史¹, 永野達也¹, 多賀直行¹, 竹内護²(1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学)

DP-162-5 体外循環を用いた心肺蘇生(ECPR)を行った小児における生命および神経学的予後の検討

宇仁田亮¹, 佐藤有美¹, 祖父江俊樹¹, 小嶋大樹², 池島典之², 圓尾文子³(1.兵庫県立こども病院循環器科, 2.兵庫県立こども病院麻酔科, 3.兵庫県立こども病院心臓血管外科)

DP-162-6 3DCTで気管異物と診断し、異物除去に際し体外式膜型人工肺(ECMO)が有効であった一例

中倉晴香¹, 小川新史¹, 細見早苗¹, 廣瀬智也¹, 大西光雄¹, 上野豪久², 嶋津岳士¹(1.大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2.大阪大学医学部附属病院小児外科)

11:00~11:50

一般演題 ポスター 163 小児集中治療 ⑮ (DP-163-1~DP-163-5)

座長 寺井勝(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

DP-163-1 小児における病院前緊急度・重症度判断基準の現状と課題

野坂宜之¹, 賀来典之², 六車崇³(1.岡山大学病院高度救命救急センター, 2.九州大学病院救命救急センター, 3.国立成育医療研究センター病院集中治療科)

DP-163-2 小児病院前救護における静脈路確保と薬剤投与の基準の現状

クナブ絵美里¹, 賀来典之², 六車崇³(1.岡山大学病院高度救命救急センター, 2.九州大学病院救命救急センター, 3.国立成育医療研究センター病院集中治療科)

DP-163-3 小児病院前救護における声門上デバイスの基準の現状

塚原紘平¹, 賀来典之², 六車崇³(1.岡山大学病院高度救命救急センター, 2.九州大学病院救命救急センター, 3.国立成育医療研究センター病院集中治療科)

⑨ DP-163-4 小児病院前救護における除細動の適応基準と半自動式除細動器・AEDの配備状況と問題点

賀来典之¹, 新田雅彦², 六車崇³(1.九州大学病院救命救急センター, 2.大阪医科大学救急医学教室, 3.国立成育医療研究センター病院集中治療科)

DP-163-5 病院前救護における小児に関する教育の現状

榎本有希¹, 六車崇¹, 賀来典之²(1.国立成育医療研究センター集中治療科, 2.九州大学病院救命救急センター)

10:00 ~ 10:50

一般演題 ポスター 164 心肺蘇生・蘇生後ICU管理 ⑨ (DP-164-1 ~ DP-164-5)

座長 田中行夫(NPO法人日本ACLS協会)

DP-164-1 心停止後集中治療にEstimated regional oxy-hemoglobinは有用である(多施設観察研究J-POP registry)

⑨

林田敬¹, 鈴木昌¹, 折田智彦², 久志本成樹³, 阿南英明⁴, 小倉真治⁵, 石松伸一⁶, 西山慶⁷, 堀進悟¹(1.慶應義塾大学医学部救急医学, 2.済生会横浜市東部病院救命救急センター, 3.東北大学高度救命救急センター, 4.藤沢市民病院救命救急センター, 5.岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター, 6.聖路加国際病院救命救急センター, 7.京都大学医学研究科初期診療・救急医学講座)

DP-164-2 院外心肺停止患者における血液ガス分析結果と予後について

山田賢治, 松田岳人, 加藤聡一郎, 大田原正幸, 守永広征, 宮国泰彦, 海田賢彦, 玉田尚, 宮内洋, 山口芳裕(杏林大学医学部救急医学教室)

DP-164-3 院外心停止の脳混合血酸素飽和度(rSO2)モニタリングは胸骨圧迫の質の評価となりえるか?

折田智彦, 豊田幸樹年, 山崎元靖, 船曳知弘, 松本松圭, 佐藤智洋, 廣江成欧, 風巻拓, 中道嘉, 北野光秀(済生会横浜市東部病院救命救急センター)

DP-164-4 HMGB1は心停止後症候群の病態をあらかじめする手がかりとなるか

杉田篤紀, 櫻井淳, 守谷俊, 木下浩作, 丹正勝久(日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野)

DP-164-5 HMGB1は心停止後症候群の病態形成と神経学的転帰に関連する

大村拓, 山内聡, 遠藤智之, 古川宗, 工藤大介, 宮川乃里子, 松村隆志, 久志本成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

10:50 ~ 12:00

一般演題 ポスター 165 重症度・予後評価 ③ (DP-165-1 ~ DP-165-7)

座長 山崎和夫(神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)

DP-165-1 大分大学医学部麻酔科学講座における集中治療医学教育への取り組み

山本俊介, 小山淑正, 安部隆国, 古賀寛教, 安田則久, 日高正剛, 後藤孝治, 野口隆之(大分大学医学部麻酔科学講座)

DP-165-2 市中病院における集中治療領域の教育体制づくりの取り組み

本多英喜¹, 原田龍一¹, 藤井裕人¹, 日比野壮功², 岩澤昌孝³(1.横須賀市立うわまち病院救命救急センター, 2.練馬光が丘病院内科, 3.横須賀市立うわまち病院循環器科)

DP-165-3 実践的看護実習コース『チャレンジナース』の試み

有嶋拓郎(富山大学大学院医学薬学研究部地域医療支援学講座)

DP-165-4 集中治療室における研修医に対する心エコー研修の成果

玉城正弘, 仲間康敏, 島袋泰, 戸高貴文, 山口怜, 新里泰一, 高江洲秀樹(豊見城中央病院集中治療室)

DP-165-5 Basic critical care echocardiographyのシミュレーション教育の検討

吉田拓生, 布施淳, 荒川立郎, 森田恭成, 太田慧, 上村吉生, 樺山幸彦, 菊野隆明(独立行政法人国立病院機構東京医療センター救命救急センター)

DP-165-6 敗血症診療ガイドラインに基づく敗血症診療シミュレーション

遠藤智之(東北大学病院高度救命救急センター)

DP-165-7 救急医に対する中心静脈カテーテル挿入時の介入効果

西山和孝, 星野哲也, 木村相樹, 井上貴昭, 松田繁, 田中裕(順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科)

10:00 ~ 11:10

一般演題 ポスター 166 重症度・予後評価 ④ (DP-166-1 ~ DP-166-7)

座長 山内正憲(東北大学医学部麻酔科)

DP-166-1 我々のE-ICUの2012年度死亡率は世界標準のAPACHE-2による予測死亡率を下回っていた!

財津昭憲¹, 七田理恵子², 今井明日香³, 和田麻美³, 竹内正志³, 舩井孝一郎³, 青野宏美³, 藤村直幸⁴(1.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院集中治療科, 2.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院E-ICU・ICU, 3.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院臨床工学室, 4.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院麻酔科)

DP-166-2 術前のICUイベント時入室依頼と入室状況、術後ICU緊急入室症例との比較

中里桂子¹, 古市結富子¹, 杉田慎二^{2,3}, 小林克也^{2,3}, 竹田晋浩^{2,3}, 坂本篤裕¹(1.日本医科大学麻酔科学教室, 2.日本医科大学付属病院集中治療室, 3.日本医科大学麻酔科学教室)

DP-166-3 ICU入室後のパラメーター変動を用いた予後予測の試み

山本幸, 浅田敏文, 土井研人, 松原全宏, 石井健, 中島勸, 橘田要一, 矢作直樹(東京大学医学部救急部集中治療部)

DP-166-4 ICU再入室に至る患者背景について

神谷侑画, 水大介, 浅香葉子, 瀬尾龍太郎, 渥美生弘, 有吉孝一(神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター)

DP-166-5 PIM3へのバージョンアップは有意義か？—小児専門施設PICUにおける検証—

松本正太郎¹, 六車崇², 青木一憲², 榎本有希², 池庄司遥², 藤原武男¹(1.国立成育医療研究センター成育社会医学研究部, 2.国立成育医療研究センター病院集中治療科)

DP-166-6 ICU再入室の要因分析と再入室患者の特徴

藤井智子, 内野滋彦, 齋藤敬太, 福島東浩, 井澤純一, 河野真二, 有井貴子, 小林秀嗣, 齋藤慎二郎, 瀧浪将典(東京慈恵会医科大学麻酔科集中治療部)

DP-166-7 集中治療領域におけるCirculating Endothelial Cellの定量法の確立

枡久保順平, 稲葉正人, 足立裕史, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

11:10~12:10

一般演題 ポスター 167 重症度・予後評価⑤ (DP-167-1~DP-167-6)

座長 住田臣造(旭川赤十字病院救命救急センター)

DP-167-1 造血幹細胞移植後呼吸不全の治療成績に関する検討

沼澤理絵, 中尾康夫(社会医療法人北楡会札幌北楡病院麻酔科)

DP-167-2 ECMOによる循環補助が必要な小児心臓手術患者における術後浮腫に関わる手術関連因子の検討

杉浦健之, 小笠原治, 仲野実輝, 米倉寛, 前田純依, 野手英明, 浅井明倫, 吉村真一郎, 仙頭佳起, 祖父江和哉(名古屋市立大学病院)

DP-167-3 ICU入室後に重度の筋力低下をきたした症例の解析

浅田馨, 波多野俊之, 松島暁, 江嶋正志, 沼口敦, 角三和子, 足立裕史, 高橋英夫, 松田直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP-167-4 ICU入室時より腸管虚血があり手術適応の有無に苦慮した症例

廣井一正, 松崎孝, 市川希帆子, 大畑卓也, 岩崎紗世, 平岩卓真, 川口洋佑, 新井美奈子, 佐藤哲文(国立がん研究センター中央病院麻酔科)

DP-167-5 頸椎前方固定術後の術後管理～多職種医療の重要性～

谷上祥世¹, 諏訪潤子¹, 種田益造², 加藤啓一¹(1.日本赤十字社医療センター麻酔科, 2.日本赤十字社医療センター集中治療科)

DP-167-6 集中治療におけるインスリン持続静注プロトコルの検討

山本朋納, 山村仁, 山本啓雅, 晋山直樹, 加賀慎一郎, 金田和久, 溝端康光(大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター)

10:00~11:10

一般演題 ポスター 168 倫理・終末期・家族ケア① (DP-168-1~DP-168-7)

座長 石井史子(岡山赤十字病院医療社会事業部)

DP-168-1 Full codeでない重症患者管理における集中治療医の役割

朱祐珍¹, 瀬尾龍太郎¹, 渥美生弘², 山崎和夫¹(1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 2.神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター)

DP-168-2 ICU入室患者薬剤プロファイルの作成と情報共有用ネットシステムの構築

米良千春¹, 山本直美²(1.潤和会記念病院薬剤管理室, 2.潤和会記念病院看護部)

DP-168-3 人工呼吸管理中における口腔のトラブル

木崎久美子¹, 岸本裕充¹, 木村政義², 西信一³(1.兵庫医科大学病院歯科口腔外科, 2.兵庫医科大学病院臨床工学室, 3.兵庫医科大学病院集中治療医学科)

DP-168-4 当院ICUにおける栄養投与方法を効果的に提案するための栄養士の取り組み

父川拓朗¹, 奥悟¹, 高田智子³, 中野亜希子³, 上野弘恵³, 井上健²(1.独立行政法人国立病院機構関門医療センター栄養管理室, 2.独立行政法人国立病院機構関門医療センター外科, 3.独立行政法人国立病院機構関門医療センター看護部)

DP-168-5 オープン型ICUでの栄養サポートチーム(NST)による介入の影響

櫻谷正明¹, 吉田研一¹, 河村夏生¹, 八幡謙吾², 高場章宏¹, 平田旭¹(1.JA広島総合病院救急・集中治療科, 2.JA広島総合病院栄養科)

DP-168-6 家族ケアに対する心理士のリエゾン活動について—時間的猶予のない予期悲嘆作業や意思決定場面において—

白井麻子, 国武彩, 高田智子, 中野亜希子, 上野弘恵, 井上健(独立行政法人国立病院機構関門医療センター)

DP-168-7 RSTは在宅人工呼吸器も習熟する！

鮎川勝彦, 安達普至, 藤岡智恵(飯塚病院救命救急センター)

11:10~12:20

一般演題 ポスター 169 倫理・終末期・家族ケア② (DP-169-1~DP-169-7)

座長 橋本圭司(松江赤十字病院麻酔・集中治療科)

DP-169-1 重要他者の死の告知時に展開した患者・家族のこころのケア～こころのケア概念図を用いた考察～

立石奈己¹, 松井望¹, 松平宗典²(1.佐世保市立総合病院看護部, 2.佐世保市立総合病院救急集中治療科)

DP-169-2 在宅医療部、自宅での看取りについての検討

甘楽裕(横浜旭中央総合病院内科)

DP-169-3 救命センターICUでのDo Not Attempt Resuscitationの現状調査

吉田浩輔, 堤貴彦, 井上京, 田中博之, 別府賢, 笹橋望, 志馬伸朗(独立行政法人国立病院機構京都医療センター救命救急科)

DP-169-4 当院の集中治療における終末期医療の現状

那須道高, 高田忠明, 岩永航, 三浦航, 井上稔也, 窪田圭志, 福井英人, 葵佳宏, 米盛輝武, 八木正晴(仁愛会浦添総合病院救命救急センター総合診療部)

DP-169-5 小児死亡退院例におけるグリーフカードの役割

種市尋宙¹, 板澤寿子¹, 宮脇利男²(1.富山大学, 2.富山市民病院小児科)

DP-169-6 医学的無益性の判断に関する臨床医の意識調査

田村高志, 柴崎誠一, 工藤裕子(済生会山口総合病院麻酔科・集中治療部)

DP-169-7 遺族へのグリーフケアサポートの取り組み

石井史子(岡山赤十字病院医療社会事業部)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 170 保守・管理・医療安全・事故 ③ (DP-170-1～DP-170-6)

座長 公文啓二(近畿大学医学部奈良病院救命救急科)

DP-170-1 末梢静脈挿入式中心静脈用カテーテル(PICC)の先端の位置の予測

上原健司, 鷹取誠(広島市立広島市民病院麻酔・集中治療科)

DP-170-2 中心静脈カテーテル挿入一週間で、カテーテル周囲静脈血栓が見つかった一例

棚木直人¹, 遠山一喜¹, 瀧康則¹, 長瀬典子², 南部優介³(1.高岡市民病院麻酔科・集中治療科, 2.砺波総合病院, 3.厚生連高岡病院)

DP-170-3 経食道エコーによるガイドワイヤー至適位置の検討

吉村学, 坂本誠史, 福田志朗, 鳥海岳(社会保険徳山中央病院麻酔科)

DP-170-4 中心静脈カテーテル感染症由来と考えられたカンジダ性肋軟骨炎の1例

村上隆啓¹, 末田喜彦², 松岡慶太³, 伊敷聖子³, 仲嶺洋介³, 安元浩⁴, 天願俊穂⁴(1.沖縄県立中部病院外科, 2.沖縄県立中部病院腎臓内科, 3.沖縄県立中部病院麻酔科, 4.沖縄県立中部病院心臓血管外科)

DP-170-5 動脈カテーテル留置後に外科的治療が必要になった2症例

小池由美子, 長谷洋和, 茶谷祐一, 石井教子, 石田美保, 宇野幸彦, 高田真二, 澤村成史(帝京大学医学部麻酔科)

DP-170-6 中心静脈カテーテル(CVC)ガイドライン変更後の消毒薬選択の実態調査

鵜澤康二, 森山潔, 神山智幾, 金井理一郎, 小谷真理子, 山田達也, 萬知子(杏林大学病院麻酔科)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 171 保守・管理・医療安全・事故 ④ (DP-171-1～DP-171-5)

座長 当麻美樹(兵庫県立加古川医療センター救命救急センター)

DP-171-1 ポビドンヨードと比べクロルヘキシジンはカテーテル関連血栓症を減少させる

山田友子¹, 中尾美咲², 中村公秀³, 三浦大介³, 中川内章¹, 谷川義則³, 松本浩一¹, 坂口嘉郎³(1.佐賀大学医学部附属病院集中治療部, 2.独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター麻酔科, 3.佐賀大学医学部麻酔・蘇生学)

DP-171-2 動脈ライン固定具による刺入部合併症の軽減効果の検討

網野祐美子, 奥田菜緒, 井澤真代, 中瀧恵実子, 板垣大雅, 小野寺睦雄, 今中秀光, 西村匡司(徳島大学病院救命集中治療部)

DP-171-3 当院中心静脈カテーテル挿入センターでの有害事象発症の関連因子についての検討

安氏正和¹, 中村隆治², 岩崎泰昌³, 木田佳子³, 大谷直嗣³, 板井純治³, 太田浩平³, 佐伯昇¹, 谷川攻一³, 河本昌志²(1.広島大学病院麻酔科, 2.広島大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔蘇生学, 3.広島大学救急医学)

DP-171-4 セルジンガー法を用いて末梢静脈路確保を可能にする16ゲージ留置針の開発

清澤研吉, 井出進, 吉山勇樹, 浦澤方聡, 杉山由紀, 山本克己, 川真田樹人(信州大学医学部麻酔蘇生学講座)

DP-171-5 ICUにおける中心静脈関連血流感染症CLABSIの追加的医療費に関する検討

中村造¹, 宮下亮一², 関根秀介², 宮田和人², 櫻井宜子³, 川原千香子³, 内野博之²(1.東京医科大学病院感染制御部, 2.東京医科大学麻酔科学講座, 3.東京医科大学病院集中治療部)

看護部門ポスター

第1日目 (2月27日)

ポスター会場 グランドプリンスホテル京都 B1F ローズルーム

10:00～11:00

一般演題 ポスター1 呼吸① (NP-1-1～NP-1-6)

座長 永野由紀(高知大学医学部附属病院ICU)

- NP-1-1 MASIMO Rainbow アコースティック呼吸モニタリング™ 装着の必要性の検討
朝岡美樹, 大久美紀, 工藤淳, 加藤彩子, 大場美友紀, 木村奈保子, 荒木和子, 星邦彦(東北大学病院集中治療部)
- NP-1-2 人工呼吸器患者管理における抜管プロトコル導入の効果
守谷千明¹, 川崎敬子¹, 南雄一郎², 小谷透³(1.東京女子医科大学病院看護部, 2.東京女子医科大学病院循環器内科, 3.東京女子医科大学病院麻酔科・集中治療部)
- NP-1-3 テーパーガードエバック™ 気管チューブを挿入している成人患者の口腔ケア・気管内吸引後のカフ圧値の変化
石黒ともよ, 馬場千晶, 福永節子, 坪井紀枝, 西川正美, 丸尾啓記, 青木順子(名古屋第二赤十字病院看護部院内ICU)
- NP-1-4 SBTプロトコル使用による人工呼吸器からの離脱～看護師主体の人工呼吸器離脱プロセスの促進～
長田友里, 柴田麻里絵, 田路美樹, 牧野沙緒里, 佐々木晴奈(社会福祉法人三井記念病院)
- NP-1-5 口腔ケアにおけるオキシマス™ の有用性
知念美幸¹, 畑迫伸幸¹, 瀧川貴代¹, 吉田祥子¹, 宋典子¹, 坪内宏樹²(1.愛知県厚生連海南病院集中治療部, 2.愛知県厚生連海南病院集中治療部・救急部・麻酔科)
- NP-1-6 全身に皮膚びらんが生じた患者の気管チューブ管理を経験して ―テープ以外での固定具の検討―
山田久美¹, 神川裕美¹, 岩佐英明², 青木久美子¹, (1.産業医科大学病院集中治療室, 2.産業医科大学病院ICU)

11:00～12:00

一般演題 ポスター2 呼吸② (NP-2-1～NP-2-6)

座長 井村久美子(社会医療法人敬愛会中頭病院)

- NP-2-1 NIPPV(非侵襲的陽圧換気)マスク装着中における皮膚障害予防の検討
千葉美紀, 藤野裕太, 庄司香奈, 渡邊里枝子, 八木勝宏(宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター2階病棟)
- NP-2-2 NPPV管理により生じるスキントラブルを防止するための取り組み
増田博紀, 柴尾嘉洋, 菅田壘(社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院)
- NP-2-3 NPPV用頸部固定ヘルメット型マスク装着時の苦痛の部位と程度の検討
長嶺静江, 押川聖加, 福田雅子, 山本直美(潤和会記念病院集中治療部)
- NP-2-4 ネーザルハイフロー(NHF)の使用経験と今後の課題
馬場磨陽, 野里同, 高橋郁恵, 寺田夏子, 中島悟史(岩手医科大学附属病院)
- NP-2-5 Nasal High Flow oxygen therapy の看護ケアと効果の検証
越中貴子¹, 玉井勝子¹, 増田智子¹, 野口千加子¹, 檜垣聡²(1.京都第二赤十字病院救命救急センターICU, 2.京都第二赤十字病院救命救急センター救急部)
- NP-2-6 当院ICUにおける急性心不全患者のNPPV導入時期の現状調査
上門大介, 普天間誠, 諸見里勝, 平敷好史, 里井陽介, 清水孝宏, 伊波寛(地方独立行政法人那覇市立病院看護部集中治療室)

15:20～16:20

一般演題 ポスター3 呼吸③ (NP-3-1～NP-3-6)

座長 松波由加(済生会山口総合病院)

- NP-3-1 慢性心不全急性増悪時にnasal high flowを使用した一症例
小川央(大分県立病院救命救急センター)
- NP-3-2 ネーザルハイフロー(NHF)とマスク・カヌラの口腔内水分量の比較
新福留理恵^{1,2}, 南川典子¹, 西村真人², 篠崎正博²(1.医療法人岸和田徳洲会病院看護部, 2.医療法人岸和田徳洲会病院呼吸ケアチーム)
- NP-3-3 ICUでのNPPV導入時に看護師が抱える困難感と効果的な援助方法の検討
遠山貴史¹, 浦野哲哉², 田澤章子¹, 中村典子¹, 大桑亜蘭¹, 木村和総¹, 松藤美和子¹(1.東海大学医学部付属病院看護部, 2.東海大学医学部付属病院医学科内科学系)
- NP-3-4 ICUの呼吸看護チームによるVAP対策
國米由美, 竹本真由美(津山中央病院看護部)
- NP-3-5 VAPバンドル(人工呼吸器関連肺炎予防バンドル)導入後の実施状況と課題
秦由美子, 鈴木美香, 田村幸美(広島市立安佐市民病院看護部)
- NP-3-6 当救命救急センターにおける人工呼吸器関連肺炎(VAP)感染率と発生要因の分析
川上悦子, 矢口由紀子, 宮田佳之, 近藤丈二, 横山誠, 吉野大智, 戸北正和(長崎大学病院救命救急センター)

16:20～17:20

一般演題 ポスター 4 呼吸④ (NP-4-1～NP-4-6)

座長 安原光子(広島市立広島市民病院)

- NP-4-1 集中治療部看護師の徒手の呼吸介助・体位排痰法における判断・方法についての実態調査
多間嗣朗¹, 三宅美子², 永井千賀子², 亀井智美², 浦麻衣子², 栗原早苗², 越野みつ子²(1. 金沢大学附属病院看護部, 2. 金沢大学附属病院)
- NP-4-2 外傷歴がなく自然血気胸を発症した一例
今井望¹, 古沢身佳子¹, 白崎和美¹, 大槻穰治², 近江禎子³, 高島尚美⁴(1. 東京慈恵会医科大学附属第三病院, 2. 東京慈恵会医科大学附属第三病院救急医学講座, 3. 東京慈恵会医科大学附属第三病院集中治療部, 4. 東京慈恵会医科大学医学部看護学科)
- NP-4-3 人工呼吸器装着患者の身体拘束に対する看護師の判断要素および課題 ―患者の快適性と尊厳の保持を目指して―
大畑景子, 小泉雅子(東京女子医科大学病院看護部)
- NP-4-4 体位制限及び筋弛緩薬により排痰ケアに難渋した一症例 ～徒手の排痰法にMAC(Mechanically assisted coughing)を加えた呼吸ケアを振り返る～
田中琢也, 小寺利美, 吉田和寛(滋賀医科大学医学部附属病院看護部)
- NP-4-5 ARDS(成人呼吸窮迫症候群)の患者に腹臥位療法を実施して
田中陽子¹, 福島克也², 大内都¹, 山口真由美¹(1. 健和会大手町病院看護部, 2. 健和会大手町病院臨床工学センター)
- NP-4-6 食道癌術後のベッド角度が肺活量に及ぼす影響
川島有美子, 島名恵理, 北原裕子, 松田有希, 安部真由美(社会医療法人恵佑会札幌病院)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 5 看護教育① (NP-5-1～NP-5-6)

座長 脇屋友美子(公立大学法人福島県立医科大学看護学部)

- NP-5-1 当院看護師の患者観察における問題点 ―呼吸回数測定の見直し―
岡崎理絵¹, 宮脇淳志², 西信一³(1. 兵庫医科大学病院救急・EICU・CCU, 2. 兵庫医科大学救急災害医学, 3. 兵庫医科大学ICU)
- NP-5-2 ジェネラリストの看護の質・評価に向けての課題
小島朗¹, 宮下照美², 竹中利美³(1. 名古屋大学医学部附属病院, 2. 藤田保健衛生大学病院, 3. 半田市立半田病院)
- NP-5-3 集中ケア院内認定コース導入の取り組みと今後の課題
中野あけみ(徳島大学病院看護部集学治療病棟)
- NP-5-4 集中治療室へ配置転換後の看護師が抱える困難～配置転換後のスタッフへの支援方法を見直すために～
糸井緑, 小池直子, 田中玲子(群馬県立心臓血管センター)
- NP-5-5 低侵襲血行動態モニタリングを集中治療看護に活かす～学習後の継続教育に視点をあてて～
副田剛希, 中尾由佳利, 末永司, 三山麻弓, 日永田里恵(福岡済生会総合病院)
- NP-5-6 ICU 部署ラダーに即した教育体制の整備に関する報告～2年目スタッフに焦点を当てて～
大野直子, 河内由香, 白砂由美子, 須貝隆史, 杉田洋子(新潟大学医歯学総合病院)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 6 看護教育② (NP-6-1～NP-6-6)

座長 モディ真由美(六甲アイランド甲南病院6階病棟)

- NP-6-1 ICU 看護師に求められる能力の分析
田村典子, 山城匡史, 北澤亜矢子, 齋藤江利子(牛久愛和総合病院看護部ICU)
- NP-6-2 ICU 看護師が発熱と認識する腋窩温と冷却する判断に影響を与える要因
坂本郁代, 小田浩美(宮崎大学医学部附属病院集中治療部)
- NP-6-3 ICU 退室後訪問による2年目看護師の気づき
柴山智倫(KKR札幌医療センター)
- NP-6-4 循環器センター教育プログラムを用いた教育手段と効果
佐野ひとみ, 宇佐美ゆか(静岡県立こども病院循環器センターCCU病棟)
- NP-6-5 膜型人工肺 ECMO の看護に対する戸惑いと困難
鈴木美加, 中村智美, 山中恵美子, 諏訪豊美, 藤吉彩(済生会横浜市東部病院救命救急センターEICU)
- NP-6-6 ECMO の知識獲得と看護技術の向上に向けた教育の取り組み
高坂幸子, 下地主, 坂倉亜希子, 末松宏美, 鈴木久美子, 山下治峰, 瀬戸利昌, 背戸陽子(日本医科大学付属病院集中治療室)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 7 看護教育③ (NP-7-1～NP-7-6)

座長 正垣淳子(神戸大学大学院)

- NP-7-1 ICUにおけるシミュレーション教育も用いた試み ―シミュレーション教育を用いた心臓血管外科教育の一環として―
山田裕貴(浦添総合病院)

- NP-7-2 心臓外科系集中治療看護に関するシミュレーション教育での学びは、いかにして看護実践に活かされているのか
政岡祐輝¹, 増田貴生¹, 小西邦明¹, 奥野信行²(1. 国立循環器病研究センター看護部ICU病棟, 2. 京都橘大学看護学部)
- NP-7-3 急変対応シミュレーションでの成果
木村保美, 上村美穂(川崎市立多摩病院)
- NP-7-4 急変前・急変時対応リーダーナース研修の段階的デザインの取り組み
古厩智美, 齋藤美和, 池田稔子(さいたま赤十字病院専門・認定看護師会)
- NP-7-5 単独型救命救急センターにおける全看護職員による急変対応の質向上への取り組み
大泉恵未, 八尾みどり, 三宅千鶴子(大阪府三島救命救急センター)
- NP-7-6 緊急開胸術(心タンポナーデ血栓除去術)学習方法の取り組み
志方希望, 深井美由紀, 大谷裕美(医療法人光晴会病院)

16:20～17:20

一般演題 ポスター 8 看護教育④ (NP-8-1～NP-8-6)

座長 大北沙由利(関西医科大学附属枚方病院)

- NP-8-1 ICUにおける教育支援体制の検討(第2報)～指導者からみたプリセプター2人制およびグループ制の評価～
太田絹絵, 田畑亜希子, 栗原早苗, 山家幸子, 高嶋優花, 矢野奈津衣, 越野みつ子(金沢大学附属病院)
- NP-8-2 当院のICU看護師が新人看護師の「一人立ち」に求める能力の分析
浅田祥乃, 山下悦子, 吉野靖代, 与都英美(聖路加国際病院集中治療室)
- NP-8-3 集中ケア認定看護師の臨地実習における実習指導者の看護観
今井知子¹, 伊藤明子²(1. 元神奈川県立保健福祉大学実践教育センター, 2. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター)
- NP-8-4 ICU病棟の集合教育における効果と課題～段階別学習会を導入して～
山根堂代(公立豊岡病院但馬救命救急センターICU)
- NP-8-5 中堅看護師の役割拡大に対する動機付けの取り組み 一部署ラダーを導入して～
小峯ちぐさ, 大澤翔, 宮田江里香, 長岐まどか(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター)
- NP-8-6 VAP勉強会による頭部挙上遵守率の現状とその背景因子による比較
沖良一¹, 岡本洋史², 福岡敏夫³, 光島モトエ¹(1. 倉敷中央病院救命救急センター, 2. 倉敷中央病院救急科, 3. 倉敷中央病院総合診療科/救急科)

ポスター会場 グランドプリンスホテル京都 1F ロイヤルルーム

10:00～11:00

一般演題 ポスター 9 看護教育⑤ (NP-9-1～NP-9-6)

座長 與良登美代(神奈川県立病院機構本部)

- NP-9-1 PICUにおける看護師主導のシミュレーション教育の導入とその教育効果
佐野互¹, 山本貴久美¹, 伊藤雄介², 金沢貴保², 植田育也²(1. 静岡県立こども病院小児集中治療センター看護部, 2. 静岡県立こども病院小児集中治療科)
- NP-9-2 ICU看護師の業務リーダーのリーダーシップに対するメンバーからの評価の効果
土屋守克¹, 増田由美子¹, 臼井美登里¹, 間藤卓²(1. 埼玉医科大学総合医療センター看護部, 2. 埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)
- NP-9-3 新病棟稼働に向けてのICU/CCU看護スタッフ育成プログラム
伝川洋子¹, 三浦広美¹, 塩綾¹, 北原富美子²(1. 横浜南共済病院ICU/CCU, 2. 横浜南共済病院循環器病棟)
- NP-9-4 ICUにおける教育支援体制の検討(第1報)～技術達成度からみたプリセプター2人制およびグループ制の評価～
田畑亜希子, 太田絹絵, 栗原早苗, 山家幸子, 高嶋優花, 矢野奈津衣, 越野みつ子(金沢大学附属病院)
- NP-9-5 クリティカルケア領域で働く新卒看護師の臨床実践能力の獲得における1年間の思いの変化と教育的関わりの検討
柿田さおり, 杉原博子(岐阜大学病院)
- NP-9-6 ナレッジマネジメントにおける暗黙知共有の場としてのプライマリー報告会の活用
松本由紀, 荻島和美(岡村記念病院)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 10 看護師のストレス・その他 (NP-10-1～NP-10-6)

座長 木村千穂(大阪市立総合医療センター)

- NP-10-1 救急・集中治療領域における看護師の疲労に関する研究の動向
中井夏子(札幌医科大学保健医療学部看護学科)
- NP-10-2 クリティカルケア看護師の職務ストレスに対するアロマセラピーの脳内酸素測定(NIRO)による効果判定
宮田かおり, 藤明郁美, 小幡朋恵, 徳田瑞枝, 岡崎理絵(兵庫医科大学病院救急・EICU・CCU)
- NP-10-3 ICU・CCU看護師の受け持ち看護業務に対するストレス軽減に向けた取り組み
上田洋平, 大槻由美子, 工藤陽子, 松本有気, 陶山恵, 鈴木智子(旭川赤十字病院ICU・CCU)
- NP-10-4 ICUに配置転換したベテラン看護師の自信回復を妨げる要因について
橋本康子, 藤田恭子, 鍋谷由佳(黒部市民病院西病棟3階)

NP-10-5 愛知県集中ケア認定看護師会の活動報告—第4報—

三浦敦子¹、二井勝²、福田昌子²、濱本実也³、上坂真弓⁴、池松裕子⁴(1.豊橋市民病院, 2.岡崎市民病院, 3.公立陶生病院, 4.名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻)

NP-10-6 クリティカルケア看護領域で使用可能なクオリティインディケーターの検討—第1報— 評価指標項目の検討

竹田祥子, 白綾優実, 東浜子, 神田直樹, 松浦厚子, 香西慰枝(札幌医科大学附属病院集中治療部看護室)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 11 鎮痛・鎮静・せん妄① (NP-11-1～NP-11-6)

座長 山中真知子(京都第一赤十字病院心臓センター)

NP-11-1 ICDSC 導入による看護師のせん妄ケアの変化

濱本美佳, 成次智恵子, 檀上恵美子(尾道市立市民病院)

NP-11-2 ICDSC の点数とせん妄発症因子との関連性

埜中由美, 松村千秋(岩手県立中央病院ICU)

NP-11-3 定期的CAM-ICUスクリーニングは混合型せん妄患者の早期発見に有用か

水上奈緒美, 飯塚裕美(亀田総合病院CCU)

NP-11-4 より精度の高いせん妄評価～CAM-ICUを全患者に活用して～

太田陽子, 瀬名波栄克, 並里夏美, 眞安安見, 目取眞静香, 東江みゆき(沖縄県立中部病院看護部集中治療室)

NP-11-5 当センターにおけるせん妄の現状—日本語版ニーチャム混乱錯乱スケールを用いて—

高見朋子, 米田奈穂子, 武田かおり, 三浦理恵, 在本ゆかり, 加藤湖月, 平山敬浩, 蟹江一輝, 名倉弘哲(岡山大学病院看護部)

NP-11-6 当院ICUにおけるせん妄発症の実態調査

小野川愛, 尾谷智加(高知赤十字病院救命救急センター)

16:20～17:20

一般演題 ポスター 12 鎮痛・鎮静・せん妄② (NP-12-1～NP-12-6)

座長 北別府孝輔(倉敷中央病院集中医療センター)

NP-12-1 当院ICUスタッフの鎮静評価の現状～Richmond Agitation Sedation Scale (RASS)の評価差とその要因～

西村直子¹、坂本佳奈江¹、村中好美¹、櫻谷正明²、吉田研一²、河村夏生²、高場章宏²、平田旭²(1.JA広島総合病院, 2.JA広島総合病院救急・集中治療科)

NP-12-2 脳卒中患者に対してのRASS(Richmond Agitation Sedation Scale)における評価の判断基準

八田綾子¹、中野千歳¹、林由規彦¹、森正信²(1.星ヶ丘厚生年金病院看護局ICU, 2.星ヶ丘厚生年金病院麻酔科)

NP-12-3 人工呼吸管理中の患者の目標RASS値の共有を目指して～目標鎮静深度テンプレートの作成～

山内ゆり¹、水谷由香里¹、山崎陽介¹、蜷川海鶴沙¹、中井愛子²(1.名古屋掖済会病院集中治療室, 2.名古屋掖済会病院麻酔科)

NP-12-4 集中治療室入室患者の鎮痛・鎮静の程度と術後せん妄の関係

山田章子¹、池松裕子²(1.山梨大学大学院医学工学総合研究部, 2.名古屋大学大学院医学系研究科)

NP-12-5 心臓血管術後におけるせん妄に関わる因子の検討

山川美幸, 進藤徳子, 瀬戸香住, 竹嶋順平, 永野誠, 濱中麻耶, 小松まどか, 坂田直人(長崎大学病院集中治療部)

NP-12-6 人工呼吸管理を受けた患者のせん妄発症状況と記憶についての調査

藤田知幸¹、高橋徹²(1.岡山赤十字病院, 2.岡山県立大学保健福祉学部)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 13 保守・管理① (NP-13-1～NP-13-6)

座長 濱田恵美(大阪医科大学附属病院看護部ICU)

NP-13-1 ICU CCU災害時の初期行動・知識向上へ向けた取り組み

伊藤恵里香, 宮津聡子, 茂藤智美, 藤原友紀子(国家公務員共済組合連合会熊本中央病院)

NP-13-2 院内緊急コール内容の現状把握と今後の取り組みについての検討

沼田知之, 戸部賢, 寺島俊太, 宇佐美知里, 内海朗子, 引田美恵子(群馬大学医学部附属病院集中治療部)

NP-13-3 院内急変コール(RRS: Rapid Response System)の普及に向けた取り組み～当院の現状とその必要性について～

宇野翔吾, 寺田直子, 藤田恒夫, 中村謙介, 福田龍将(株式会社日立製作所日立総合病院救命救急センター)

NP-13-4 院内救急体制における救急部看護師の活動と初期アセスメントの現状

谷脇恵子, 三瓶智恵, 千葉渚, 吉田亜子, 高岡勇子(北海道大学病院ICU・救急部ナースセンター)

NP-13-5 A病院の急変対応システムの現状と今後の課題

小林邦子, 笠原聡, 白井義彰, 森春枝, 堂下典子(東京女子医科大学病院救命救急センター)

NP-13-6 救急外来における救急科医師介入のコール基準を作成して

石田祐衣, 牛尾哲平, 歌津直美, 林容子, 飯干亮太, 大谷直嗣, 谷川攻一(1.広島大学病院看護部ICU, 2.広島大学救急医学)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 14 保守・管理② (NP-14-1～NP-14-6)

座長 渡辺郁子(駿河台日本大学病院)

- NP-14-1 集中治療室における看護師のアラーム反応時間の関連因子の検討
土屋守克¹, 間藤卓², 越後雅博³, 松枝秀世⁴, 谷口淳⁵, 鈴木拓人⁵, 佐藤大地⁵, 橋本昌幸⁴(1.埼玉医科大学総合医療センター看護部, 2.埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター, 3.東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院共同先端生命医科学, 4.埼玉医科大学総合医療センター救急科, 5.埼玉医科大学総合医療センターMEサービス部)
- NP-14-2 災害シミュレーションに独自のアクションカードを用いた初動体制における訓練の効果
善家美枝, 兵頭睦美, 松本由美子, 高崎康史(市立宇和島病院看護部ICU)
- NP-14-3 院内心肺停止(CPA)を未然に防ぐために導入したMEWS(早期警戒システム)を1年間運用しての報告・検討
親泊翔平, 前泊秀斗, 城間由加, 上恵理子, 上門あきの, 翁長朝浩, 西島功, 伊波潔(沖縄徳洲会中部徳洲会病院集中治療部)
- NP-14-4 院内の急変事例からキラースイートムを検討 ～嘔吐症状は急変の予兆として活用できるのか～
渡邊裕介¹, 河瀬亨哉¹, 大山隼人¹, 十文字英雄¹, 岡本博之¹, 武山佳洋¹, 辻口直紀²(1.市立函館病院救命救急センター, 2.市立函館病院医局麻酔科)
- NP-14-5 独立型救命救急センターに勤務する看護師のやりがいに関する記述研究
中井夏子¹, 中村美穂²(1.札幌医科大学保健医療学部看護学科, 2.りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター)
- NP-14-6 救急医療に携わる医療職者の疲労の様相に関する基礎的研究 ―多職種に共通した疲労に焦点をあてて―
中井夏子(札幌医科大学保健医療学部看護学科)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 15 身体拘束・その他 (NP-15-1～NP-15-6)

座長 倉増栄子(山口大学医学部附属病院先進救命救急センター)

- NP-15-1 ICU/CCUで身体拘束を受けた患者の家族の情緒的影響に関する調査 ―身体拘束の種類別に見た家族の情緒―
西山久美江, 尾崎裕基, 吉原裕子(東海大学医学部付属八王子病院)
- NP-15-2 当院ICUにおける身体拘束に対する意識改善への取り組み
谷山未希, 川口久美子, 水谷卓史, 清水由希, 阿保勝枝(愛知医科大学病院集中治療室)
- NP-15-3 人工呼吸・気管挿管患者における上肢抑制の実態調査
松田武賢, 卯野木健, 櫻本秀明, 柴優子, 稲葉重希, 大関武(筑波大学附属病院ICU)
- NP-15-4 早期退院を目指した、集中治療領域における看護介入の検討
有馬瑞, 山本圭介, 小松由枝, 内條愛(京都第一赤十字病院)
- NP-15-5 ICU看護師の血管撮影室勤務に対する不安軽減への取り組み
與座宏之, 小磯昭一, 三田亜希子(藤沢市民病院看護部ICU/CCU)
- NP-15-6 院内発症敗血症患者の早期発見と適切な治療開始に関わる看護師の役割と課題
木下佳子, 米山多美子, 善村夏代(NTT東日本関東病院看護部)

16:20～17:20

一般演題 ポスター 16 チーム医療 (NP-16-1～NP-16-6)

座長 高橋栄樹(浜松赤十字病院)

- NP-16-1 ICUにおける多職種カンファレンス導入前後の医師・看護師の意識変化
松本健宏, 三輪哲也, 寺井彩(富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院)
- NP-16-2 ICU看護師がファシリテーターとなっていくICU多職種カンファレンスの有用性
木下あい¹, 日向俊輔², 藤田昌寿¹, 矢部茂美¹, 池野重雄², 酒井龍一³(1.諏訪赤十字病院集中治療部, 2.諏訪赤十字病院麻酔科, 3.諏訪赤十字病院循環器科)
- NP-16-3 ICUにおけるパートナーシップナーシングシステム導入の効果
上原泉¹, 糸嶺京子², 古謝安子², 須加原一博³(1.琉球大学医学部附属病院集中治療部, 2.琉球大学医学部保健学科, 3.琉球大学医学部附属病院麻酔科)
- NP-16-4 急変予測能力の向上を目標とした2事例の振り返り学習会について
寺本哲也, 毛利奏, 上田香織, 伊藤佳代子(神戸大学医学部附属病院)
- NP-16-5 申し送りツール導入による勤務交替時の申し送り時間短縮への取り組み
中川ひろみ, 花島亜弥, 丸本結実(社会福祉法人三井記念病院)
- NP-16-6 クリティカルケア看護領域で使用可能なクオリティインディケーターの検討 ―第2報― 修正版QIの有用性の検討
白綾優美, 竹田祥子, 東浜子, 神田直樹, 松浦厚子, 香西慰枝¹(札幌医科大学附属病院集中治療部看護室)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 17 医療安全 (NP-17-1～NP-17-6)

座長 水谷美保(大阪市立大学医学部附属病院ICU)

- NP-17-1 ICUの身体抑制とライン抜去の現状
船津昌弘, 志賀朋美, 神長李紗(名古屋第二赤十字病院看護部)

- NP-17-2 人工呼吸療法関連のインシデントレポートからみえた呼吸療法サポートチームの課題
遠藤祐子¹, 大槻勝明¹, 荒木祐一²(1.総合病院土浦協同病院看護部, 2.総合病院土浦協同病院救急麻酔科)
- NP-17-3 カテコラミンシリンジ交換方法を変更して～慣らし運転を取り入れたシリンジ交換の循環動態への影響～
蛭沢仁代, 松本美佳, 山本葉子, 橋場英二(弘前大学医学部付属病院集中治療部)
- NP-17-4 HCUにおける抜去の要因分析
諏訪早苗, 中村真央, 堀江奈央, 福田幸人, 松本千香江(社会福祉法人三井記念病院HCU)
- NP-17-5 ICUにおける医療事故の現状と今後の課題
中尾幸恵, 原文香, 栗木公孝(医療法人社団シマダ嶋田病院)
- NP-17-6 チームステップス導入に向けての取り組み
赤嶺優理子, 新城圭一, 橋本あゆみ, 稲嶺明子, 友寄恵利, 照屋盛人, 末吉保子(沖縄赤十字病院看護部HCU)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 18 栄養管理・口腔ケア① (NP-18-1～NP-18-6)

座長 末信正嗣(兵庫医科大学病院HCU)

- NP-18-1 A病院ICUにおける経腸栄養管理の現状
佐藤佳代¹, 白塚秀之², 田邊毅²(1.福井赤十字病院集中治療室, 2.福井赤十字病院麻酔科)
- NP-18-2 HCU入院中の経腸栄養剤投与患者における排便状況の現状調査
山田剛史, 有田孝, 平田智美, 上田千晶(小倉記念病院看護部)
- NP-18-3 インピーダンスを用いてHCU患者の水分・栄養管理の実態調査
小林未有希, 佐伯明奈, 高橋優菜, 木元麻友美, 福田幸人, 松本千香江(社会福祉法人三井記念病院)
- NP-18-4 胃残留量(GRV)を用いた経腸栄養投与プロトコルの有用性の検討
五十嵐瞳, 山田まり子, 宇佐美知里, 内海朗子, 引田美恵子(群馬大学医学部附属病院集中治療部)
- NP-18-5 当院ICUにおける経腸栄養管理の実態調査
中村容子, 平井美香(社会医療法人同仁会耳原総合病院)
- NP-18-6 当院CCUにて人工呼吸管理を受けた患者における栄養療法について
佐々木志穂¹, 池田理沙¹, 東別府直紀², 一丸智美³, 村井亮介⁴, 北井豪⁴, 古川裕⁴(1.神戸市立医療センター中央市民病院EICU・CCU, 2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・NST, 3.神戸市立医療センター中央市民病院栄養管理部, 4.神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 19 栄養管理・口腔ケア② (NP-19-1～NP-19-6)

座長 梨木由美子(滋賀医科大学医学部附属病院)

- NP-19-1 口腔ケアラウンドにおける実態調査
清水奈巳, 安本麻衣子, 神戸智子, 松本千香江, 越智弘泰, 野口知玲, 二本木真由子, 高須玲美, 長谷川義道, 福田幸人(社会福祉法人三井記念病院)
- NP-19-2 口腔ケアと口腔乾燥
徳永美和子(朝倉医師会病院ICU)
- NP-19-3 ICUにおける気管挿管患者の口腔ケアの検討
湯川祐子¹, 小川雅代¹, 山下直也¹, 高橋理沙¹, 増子弘美², 山本麻衣子²(1.杏林大学医学部附属病院集中治療室, 2.東海大学八王子病院口腔外科)
- NP-19-4 ICUにおける経口気管挿管患者の口腔ケア法に関する実態調査
田戸朝美, 山勢博彰(山口大学大学院医学系研究科)
- NP-19-5 ICU入室患者の口腔ケアの主観的・客観的評価―患者と看護師の認識の比較―
徳増仁美¹, 徳麻理子¹, 坂本友紀¹, 牛山佳菜¹, 中村美知子²(1.山梨大学医学部附属病院看護部, 2.山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- NP-19-6 気管内挿管患者における洗浄法と清拭法の口腔ケアによる肺炎発生率の比較検討
手塚正美, 山本加奈子(自衛隊中央病院集中治療室)

16:20～17:20

一般演題 ポスター 20 栄養管理・口腔ケア③ (NP-20-1～NP-20-6)

座長 宮原聡子(大阪市立総合医療センター)

- NP-20-1 人工呼吸器関連肺炎と診断された外傷患者の口腔内の実態調査
加瀬寛恵, 飯村紫陽花(日本医科大学千葉北総病院集中治療室)
- NP-20-2 除タンパク水を用いた口腔内ケアの有効性の検討
佐藤智夫¹, 立石幸子¹, 宇都宮明美², 濱本綾子³(1.兵庫医科大学病院ICU, 2.聖路加看護大学, 3.前兵庫医科大学病院)
- NP-20-3 口腔内水分量増加への効果的な手法の検討～レモンを見て口腔内水分量は増えるのか～
佐藤萌¹, 須賀恭子², 工藤とし子¹, 佐藤まき子¹, 中根正樹², 川前金幸²(1.山形大学医学部附属病院ハイケアユニット, 2.山形大学医学部附属病院集中治療部)
- NP-20-4 CPA蘇生後ギランバレー症候群で嚥下困難となりNST介入後経口摂取可能となった一例
高畠広樹, 松尾恵理子(医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院)

NP-20-5 ICUにおける早期嚥下機能訓練に対する取り組み(第一報)

浅川翔子, 重松由紀子, 西川麻衣, 鯨沢千佳, 大東真美, 田山聡子, 中村弘美, 岡本陽子, 鈴木武志, 長田大雅
(慶應義塾大学病院集中治療室)

NP-20-6 抜管後嚥下機能評価の統一—フローシートの作成と嚥下内視鏡との比較—

大山隼人¹, 十文字英雄¹, 河瀬亨哉¹, 渡邊裕介¹, 辻口直紀², 長谷川千恵子³, 小笠原聡之³(1.市立函館病院救命救急センター, 2.市立函館病院麻酔科, 3.市立函館病院リハビリテーション科)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 21 小児・新生児 (NP-21-1～NP-21-6)

座長 辻尾有利子(京都府立医科大学附属病院)

NP-21-1 人工呼吸管理中の小児患者を対象とした鎮静スケール Shizuoka Sedation Scale を導入して

宇佐美ゆか¹, 小泉沢¹, 大崎真樹¹, 元野憲作¹, 山本貴久美²(1.静岡県立こども病院循環器センターCCU病棟, 2.静岡県立こども病院小児集中治療センター)

NP-21-2 鎮静剤及びオピオイドからの離脱症状アセスメントツールを使用してみても

瀬端龍太郎¹, 櫻本秀明², 鈴木彩乃¹, 柴谷奈那¹, 竹内美穂¹, 笠原恵¹, 岡野正和¹, 矢口亜矢子¹, 仁平かおり¹, 杉澤栄¹(1.筑波大学附属病院小児集中治療室, 2.筑波大学附属病院集中治療室)

NP-21-3 集中治療室に入室する子どもへのプレパレーションの有用性—プレパレーションの実施前後の比較から—

本宮めぐみ(東京女子医科大学病院)

NP-21-4 PICU/HCUにおけるVAP予防のための人工呼吸器ケアバンドル30～45度頭部挙上に関する看護の実態調査

新井朋子¹, 松島光¹, 松田清隆², 御代川滋子³(1.都立小児総合医療センターPICU, 2.都立小児総合医療センターHCU, 3.都立小児総合医療センター医療安全管理室感染管理担当)

NP-21-5 家族の運転する車に轢下され受傷した小児外傷患者の家族への支援

半田裕美¹, 中森夕起¹, 中村道明¹, 宮庄浩司², 黒田里子³(1.福山市民病院看護部救命救急センター, 2.福山市民病院救命救急センター救急科, 3.福山市民病院精神科・精神腫瘍科臨床心理士)

NP-21-6 舌に巨大な血管腫を有する児における出血予防の看護ケア

佐藤彩那¹, 池田有花², 菅由美子³(1.東北大学病院看護部, 2.社会医療法人北楡会札幌北楡病院, 3.東北大学病院)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 22 深部静脈血栓・体位変換 (NP-22-1～NP-22-6)

座長 山室俊雄(奈良県立医科大学附属病院)

NP-22-1 若年健康成人における弾性ストッキングの圧迫圧の検討

山川尚子¹, 菅沼洋平¹, 池田優太¹, 香澤智子², 栗田太作³(1.東海大学医学部付属病院看護部, 2.東海大学健康科学部, 3.東海大学情報教育センター)

NP-22-2 深部静脈血栓(DVT)・肺塞栓症(PTE)予防のためのプロトコル作成

小林美沙季(製鉄記念八幡病院看護部)

NP-22-3 当院における深部静脈血栓症予防に対する現状と今後の課題～看護師の実態調査からみえてきたもの～

大木貴美子¹, 山本由美², 阿部京子³(1.公立昭和病院救命救急センターICU, 2.公立昭和病院救命救急センターICU, 3.公立昭和病院消化器外科病棟)

NP-22-4 ポジショニングによる下肢組織血流量の変化について～DVT予防のための基礎研究～

青木麻耶, 相楽章江, 横山敬子, 磯部沙耶花, 志賀裕子, 田邊佳世, 宇多川文子(山口大学医学部附属病院)

NP-22-5 他動的足関節運動中の対側下肢の筋肉酸素化状態

山川尚子¹, 香澤智子², 栗田太作³, 小澤壮治⁴, (1.東海大学医学部付属病院看護部, 2.東海大学健康科学部, 3.東海大学情報教育センター, 4.東海大学医学部消化器外科)

NP-22-6 キネステティック・プラスでの体位変換による体圧の変化～簡易式体圧測定器を使用して～

三瓶智美, 江尻幸弘, 大内菜葉美, 茅原まゆみ, 柴田亜希子, 丹治優子(福島県立医科大学附属病院集中治療部)

第2日目(2月28日)

ポスター会場 グランドプリンスホテル京都 B1F ローブルーム

9:00～10:00

一般演題 ポスター 23 呼吸⑤ (NP-23-1～NP-23-6)

座長 中村美華(福島県立医科大学会津医療センター附属病院)

NP-23-1 酸素送気中の気管切開チューブ挿入患者に対する加湿方法選択のプロトコル

上北真理¹, 阿部由希子¹, 丹保亜希仁², 川田大輔², 小北直宏², 藤田智²(1.旭川医科大学病院集中治療部ナースステーション, 2.旭川医科大学病院集中治療部)

NP-23-2 ICUにおける日常生活支援を組み込んだ急性期呼吸理学療法

井立優子¹, 須田由美¹, 大東真美¹, 吉本理恵¹, 長田大雅², 釜戸由季¹, 田山聡子¹, 中村弘美¹, 岡本陽子¹(1.慶應義塾大学病院, 2.慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

NP-23-3 挿管チューブ先端位置の経時的ずれについての検討

上田香織¹, 森下淳²(1.神戸大学医学部附属病院救急・集中治療センター, 2.神戸大学医学部附属病院麻酔科)

NP-23-4 呼吸プロトコールをもとにした早期呼吸ケアの実態

鈴木達雄, 古川拓也, 中野裕子, 小楠香織, 山口弘子(名古屋大学医学部附属病院ICU)

NP-23-5 当院ICUにおける人工呼吸器加湿プロトコールの作成と使用前後の比較検討

山本由美¹, 大木貴美子¹, 阿部京子²(1.公立昭和病院救命救急センターICU, 2.公立昭和病院消化器外科病棟)

NP-23-6 カルテレビューからみるNPPVと肺炎発症の関連要因

月岡悦子(日本医科大学武蔵小杉病院)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 24 呼吸⑥ (NP-24-1～NP-24-6)

座長 石井はるみ(山口大学医学部附属病院)

NP-24-1 人工呼吸器装着患者におけるフルチュアポジションが酸素化に及ぼす影響

久山玲子¹, 三橋乙矢¹, 難波由美子¹, 高橋佳奈絵², 田村利枝², 平山敬浩¹, 氏家良人¹(1.岡山大学病院高度救命救急センター, 2.岡山大学病院集中治療部)

NP-24-2 開心術後の人工呼吸器離脱への取り組み

大石佐奈美, 春日三千代, 浅野満(社会福祉法人総合病院聖隷三方原病院)

NP-24-3 非侵襲的陽圧換気(NPPV)患者のマスク管理について～医療機器による圧迫性皮膚障害に関する検討～

矢嶋恵理¹, 木村素美¹, 鈴木充¹, 松尾昌², 三澤賢治³, 金子秀夫⁴(1.社会医療法人財団慈泉会相澤病院ICU/CCU, 2.社会医療法人財団慈泉会相澤病院ME課, 3.社会医療法人財団慈泉会相澤病院外科センター呼吸器外科, 4.社会医療法人財団慈泉会相澤病院救護災害医療センター)

NP-24-4 低体温療法中の気道クリアランスにMechanical In-Exsufflatorが有効であった症例

新山和也¹, 鴨下文貴¹, 相庭克行¹, 杉本直樹¹, 堀克也¹, 大内道晴¹, 古田島太², 根本学²(1.埼玉医科大学国際医療センター救命救急センターICU, 2.埼玉医科大学国際医療センター救命救急科)

NP-24-5 心臓血管外科術後患者の人工呼吸器装着時間延長／離脱難渋症例に影響する要因の明確化

石田恵充佳, 小林圭子, 宮崎彩子, 田中恵, 楠さくら, 安田英人, 清水孝, 田崎大, 吉崎智也, 尾林徹(日本赤十字社武蔵野赤十字病院)

NP-24-6 劇症肝炎における脳死肝移植待機中の合併症予防に重点をおいた取り組み

加藤和成(市立豊中病院集中治療部)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 25 呼吸⑦ (NP-25-1～NP-25-6)

座長 高田弥寿子(国立循環器病研究センター)

NP-25-1 重症呼吸不全患者へのECMO管理中の呼吸ケア

田中優, 田中梓保, 仲田知恵, 赤崎夢, 城川尊子, 豊見山則子, 小谷透(東京女子医大病院中央集中治療室看護部)

NP-25-2 V-V ECMOの管理マニュアルの作成と評価

佐藤紗登美, 古厩智美, 金井健司, 佐藤啓太(さいたま赤十字病院救命救急センター)

NP-25-3 長期ECMO管理となった患者看護の1例～看護の評価と今後の課題

松本蘭, 斉藤由紀子, 山村竜彦, 佐々木美乃, 鈴木康子(札幌市病院局市立札幌病院救命救急センター)

NP-25-4 自動カフ圧コントローラーを用いたカフ圧調節

大城智哉¹, 有馬詩乃¹, 山村健登¹, 藤村泰史¹, 杉田学², 野村智久², 関井肇², 志村欣之介³(1.順天堂大学医学部附属練馬病院集中治療室, 2.順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科, 3.順天堂大学医学部附属練馬病院臨床工学室)

NP-25-5 呼吸のフィジカルアセスメント～フィジカルアセスメント能力の強化を目指して～

米澤貴恵, 島藤愛(戸畑共立病院看護部集中治療室)

NP-25-6 呼吸サポートチームのチェックリストを用いた一般病棟の人工呼吸管理の現状評価

永田明恵¹, 古賀麻衣子², 山室俊雄³, 小川哲平⁴, 井上聡己⁴, 川口昌彦¹(1.奈良県立医科大学麻酔科学教室, 2.奈良県立医科大学附属病院高度救命救急センター, 3.奈良県立医科大学附属病院循環器・腎臓・代謝内科病棟, 4.奈良県立医科大学附属病院集中治療部)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 26 循環① (NP-26-1～NP-26-6)

座長 濱崎 一美(京都府立医科大学附属病院)

NP-26-1 当ICUにおけるRadical-7と血液ガス分析装置、血液検査のHb値の比較検討

福田雅子, 大谷雪菜, 山本直美, 長嶺静江(潤和会記念病院集中治療部)

NP-26-2 心不全で再入院になった患者へのセルフマネジメント能力を高める関わり—行動変容ステージモデルを用いて—

神尾悠美, 三浦琴枝(公益財団法人星総合病院ICU)

NP-26-3 心臓・大血管手術後に発症する心房細動の臨床的解析

横山弥生¹, 川野範子¹, 木佐貫彰², 井本浩¹, 垣花泰之¹(1.鹿児島大学病院, 2.鹿児島大学医学部保健学科)

NP-26-4 心臓外科術後患者における発熱の実態とその要因の検討

吉田真寿美¹, 紺家千津子², 千原由衣¹, 田保沙織¹, 西綾子¹(1.金沢医科大学病院ハートセンター, 2.金沢医科大学看護学部)

NP-26-5 心臓術後リハビリテーションパス逸脱要因の検討

鈴木英子¹, 松下美里¹, 杉村幸¹, 中尾恵美子¹, 渡辺大輔², 鳥屋優太², 棚瀬沙織², 斎藤洋輔³(1.順天堂大学医学部附属静岡病院看護部, 2.順天堂大学医学部附属静岡病院リハビリテーション室, 3.順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科)

NP-26-6 当院における開心術離床基準の検討

釜范悠, 高橋百美, 加藤なぎさ(社会福祉法人函館厚生院函館中央病院)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 27 循環② (NP-27-1～NP-27-6)

座長 田村直子(和歌山県立医科大学附属病院)

NP-27-1 オープン型ICUにおける血行動態モニタリングの有用性

飯屋千穂, 川口詩布(都城市郡医師会病院ICU・HCU)

NP-27-2 心臓カテーテル検査・治療後の穿刺部出血要因の検討

成田雄規, 北田舞, 馬場磨陽, 菊地千津子, 中村恵美子, 寺田夏子, 中島祥文(岩手医科大学附属病院循環器医療センターCCU)

NP-27-3 キャリーオーバーした先天性心疾患患者とその家族との関わりを振り返って

堂本悟士, 宮崎奈々(筑波大学附属病院看護部HCU病棟)

NP-27-4 循環器疾患の末期医療における気分転換の効果 IABP装着患者の院内散歩に焦点を当てて

東辻朝彦, 坂元明子, 岩本満美(北海道大学病院12-1ナースステーション)

NP-27-5 心臓血管外科手術後の活動性が低下する要因

佐藤友紀¹, 大久保雅美¹, 瀧澤奈緒¹, 中山あゆみ¹, 福田久子¹, 仁科秀崇²(1.公益財団法人筑波メディカルセンター病院, 2.公益財団法人筑波メディカルセンター病院診療部)

NP-27-6 人工呼吸器を使用中の敗血症患者の看護ケアの循環動態

衣笠友美, 正垣淳子, 上原良作, 入江優子, 梅野晶子, 高松純平(関西労災病院)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 28 感染 (NP-28-1～NP-28-6)

座長 伊与恭子(日本医科大学付属病院集中治療室)

NP-28-1 山形県中核病院CCU/SCUにおけるVAE発生状況

門馬康介, 樫村礼子, 渡辺将子(山形県立中央病院救命救急センターCCU/SCU)

NP-28-2 ベッドサイドにおける環境整備強化の取り組み

佐川幸子, 岩崎茂己, 植木勝実, 矢田麻夏(順天堂大学医学部附属静岡病院)

NP-28-3 人工呼吸器関連イベントサーベイランス(VAEs)導入の試みと問題点の抽出

工藤淳, 星邦彦, 斎藤浩二, 亀山良巨, 加納亜貴子(東北大学病院集中治療部)

NP-28-4 当院ICUにおけるVAEサーベイランスの現状と課題

河合佑亮, 大屋富彦, 村松恵多, 湊口和恵(藤田保健衛生大学病院ICU)

NP-28-5 NHSNの人工呼吸器関連肺炎サーベイランスにおける新症例定義と旧症例定義の比較検討

嶋雅範(三菱京都病院)

NP-28-6 人工呼吸器関連肺炎予防のための看護介入バンドルの効果

齊藤丈浩¹, 山崎敦子¹, 香山裕里江¹, 蟹和正憲¹, 引田美恵子¹, 国元文生¹, 日野原宏¹, 佐竹幸子²(1.群馬大学医学部附属病院集中治療部, 2.群馬大学大学院保健学研究科)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 29 鎮痛・鎮静・せん妄③ (NP-29-1～NP-29-6)

座長 竹中千恵(京都府立医科大学附属病院集中治療部)

NP-29-1 当院ICUにおけるBPS評価者間の信頼性の検証

藤田淳¹, 中野智子¹, 山野達哉¹, 山本直子¹, 北條彩¹, 横田早紀¹, 入江洋正², 岡本洋史³, 渋谷明美¹(1.倉敷中央病院集中治療センター, 2.倉敷中央病院麻酔科, 3.倉敷中央病院救急科)

NP-29-2 集中治療室看護師におけるBehavioral Pain Scale評価に取り組む行動意思とその関連要因

池田詩織, 高山洋平, 福永寛恵, 福重真美, 深堀矢素子, 坂本美賀子, 上杉英之, 西上和宏(済生会熊本病院集中治療室)

NP-29-3 覚醒している挿管患者の鎮痛評価にBehavioral pain scale (BPS)は適切か?

稲葉亜希¹, 櫻本秀明¹, 飯島朱音¹, 中島久雄¹, 中川遥¹, 松田武賢¹, 卯野木健¹, 水谷太郎²(1.筑波大学附属病院ICU, 2.筑波大学大学院医学医療系救急集中治療部)

NP-29-4 疼痛スケール導入による看護師の疼痛評価に対する意識の変化～BPS、VASを導入して～

持田耕平, 越智康弘, 元川皓介, 永谷友里, 林谷子, 飯干亮太(広島大学病院看護部ICU)

NP-29-5 人工呼吸管理患者に対する鎮静・鎮痛の為のプロトコールの有効性～せん妄評価とせん妄予防の取り組み～

箱崎里奈, 長野綾子, 片山朋子, 西山芳憲(愛媛労災病院)

NP-29-6 HCU病棟における鎮痛・鎮静評価の検討

高橋優菜, 西澤加奈子, 渡真利仁菜, 松本千香江, 福田幸人(社会福祉法人三井記念病院)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 30 鎮痛・鎮静・せん妄④ (NP-30-1～NP-30-6)

座長 香西節子(高松赤十字病院)

- NP-30-1 救命救急病棟入院患者のせん妄予防のための看護教育の効果
和知祥子, 鈴木勇希, 柴田香代, 住田裕美, 河原崎純(社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院)
- NP-30-2 人工呼吸管理の早期抜管を目指して
酒井彩夏, 角田沙智, 深牧静穂, 黒木弘太郎(北九州総合病院ICU/HCU)
- NP-30-3 当院ICUにおける48時間以上の人工呼吸患者に対する鎮静とせん妄に関する現状
山田亨, 四本竜一, 佐土根岳, 平松一平(東邦大学医療センター大森病院)
- NP-30-4 救命救急センターICU看護師のせん妄に関する現状調査
中野加奈子, 山崎千草, 笠原聡, 田中桃子, 松村綾佳, 堂下典子(東京女子医科大学病院)
- NP-30-5 せん妄スクリーニングツールが看護のケア意識に及ぼす影響(CAM-ICU導入前後の比較)
木本桃乃, 青山芽久(第二岡本総合病院ICU)
- NP-30-6 重症療養病棟におけるせん妄に対する看護師のストレス変化～CAM-ICUを導入するための教育を経て～
上杉如子, 澤田喜久美, 坂本久理, 高千鶴(国民健康保険小松市民病院本館3病棟)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 31 鎮痛・鎮静・せん妄⑤ (NP-31-1～NP-31-6)

座長 小寺利美(滋賀医科大学医学部附属病院集中治療部)

- NP-31-1 ICU入室の術後患者へのせん妄予防策の有効性の検討
木村佑輔, 上西絵美, 半澤麻美, 高橋知佳子, 高橋美里, 星邦彦, 吾妻俊弘(東北大学病院集中治療部)
- NP-31-2 A病棟の集中治療室(ICU)におけるせん妄に対する看護介入の傾向
谷幸一, 増田正和(北里大学病院ICU・CCU)
- NP-31-3 クリティカルケアに携わる看護師が認識したせん妄ケア、患者の反応と予防的ケア
岩寄彩, 瀬藤博子, 明全潤子, 川村典子, 中村美乃生, 川島孝太(地方独立行政法人りんくう総合医療センター)
- NP-31-4 全クリティカルケアユニットでの侵襲対策チームの活動報告～せん妄に対する早期で効果的な介入を目指して～
吉田顕, 大江理英, 駒夏香, 吉岡亜矢(大阪警察病院)
- NP-31-5 心臓血管手術患者における術前の心理状態やストレス対処力と術後せん妄との関連分析
村田洋章¹, 米澤裕子², 讃井将満³, 山口庸子², 土屋留美³, 八木橋智子³, 中山和弘⁴, 高橋理⁵, 瀧浪将典², 高島尚美¹(1.東京慈恵会医科大学医学部看護学科, 2.東京慈恵会医科大学附属病院, 3.自治医科大学附属さいたま医療センター, 4.聖路加看護大学, 5.聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター)
- NP-31-6 急性期からの全人的苦痛を考慮した看護介入について
森真樹代, 中條朱子(名古屋掖済会病院)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 32 鎮痛・鎮静・せん妄⑥ (NP-32-1～NP-32-6)

座長 山田親代(大津市民病院集中治療室)

- NP-32-1 Over sedationを防ぐ鎮痛・鎮痛コントロール
片山朋佳, 安達梨香, 大屋亜美, 北辻桃, 梅原奈津美, 三浦慎之介, 内田真弓, 辻佐世里(関西医科大学枚方病院総合集中治療部)
- NP-32-2 鎮静薬投与プロトコルの実施状況
須賀浩子, 鈴木佑実, 浦部誉子, 笠井克子, 速水元(横浜市立市民病院)
- NP-32-3 適切な鎮痛鎮静を行うための取組み～看護師遂行型鎮痛・鎮静指示簿を導入して～
池田身佳, 河本大佑(関越病院看護部ICU)
- NP-32-4 ATICEアルゴリズムを用いたLight Sedation法について
根元有紀, 荒井千夏, 北澤亜矢子, 田村典子, 齋藤江利子, 藤縄学(牛久愛和総合病院集中治療室看護部(1)内科循環器科(2))
- NP-32-5 術後ICUにおける人工呼吸器装着患者の見当識を維持するための看護介入
小島祥子¹, 田中佑典¹, 宮沢玲子¹, 茂呂悦子¹, 神山淳子¹, 布宮伸², 平幸輝²(1.自治医科大学附属病院看護部, 2.自治医科大学麻酔科学集中治療医学講座集中治療医学部門)
- NP-32-6 集中治療室における非挿管患者の睡眠遮断についての検討
岡部直美¹, 岡本洋史², 栗山明³, 沖良一¹, 福岡敏雄^{2,3}, 光島モトエ¹(1.倉敷中央病院救命救急センター, 2.倉敷中央病院救急科, 3.倉敷中央病院総合診療科)

10:00～10:50

一般演題 ポスター 33 鎮痛・鎮静・せん妄⑦ (NP-33-1～NP-33-5)

座長 石本やえみ(広島市立広島市民病院)

- NP-33-1 蒸気温熱シートを用いた温罨法による肺切除術後患者の肩痛緩和効果
横澤清香, 佐々木妙子, 岩山望(八戸市立市民病院)

- NP-33-2 患者の意思疎通可否によらず評価可能である痛みスケールを導入して
岡夏希¹, 古久保みのり¹, 中野美幸¹, 野澤梨花¹, 西岡由子¹, 松本真帆¹, 楠本真弓¹, 森澤祐己子¹, 川副友²(1.和歌山県立医科大学付属病院救命救急センターICU, 2.和歌山県立医科大学付属病院救急集中治療医学講座)
- NP-33-3 食道癌・耳鼻科(再建)の術後患者の鎮静・鎮痛評価 ～RASSとBPSを用いての比較～
東岡葉子, 桑原淳子, 白石由美(地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立成人病センター)
- NP-33-4 Pain Visionを使用した消化器外科術後疼痛の評価
大北沙由利¹, 齊田茜¹, 平川紗千子¹, 福井淳一², 海堀昌樹²(1.関西医科大学附属枚方病院消化器外科病棟, 2.関西医科大学附属枚方病院消化器外科)
- NP-33-5 鎮痛スケールの導入 ～統一した鎮痛管理を目指して～
伊藤美奈¹, 岡田明子¹, 村中好美¹, 櫻谷正明², 吉田研一², 河村夏生², 高場章宏², 平田旭²(1.JA広島総合病院ICU, 2.JA広島総合病院救急・集中治療科)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 34 外傷 (NP-34-1～NP-34-6)

座長 佐々木智子(川崎医科大学附属病院)

- NP-34-1 重症外傷患者における便失禁管理デバイスの有用性
新山和也¹, 鴨下文貴¹, 堀克也¹, 相庭克行¹, 大内道晴¹, 古田島太², 根本学²(1.埼玉医科大学国際医療センター救命救急センターICU, 2.埼玉医科大学国際医療センター救命救急科)
- NP-34-2 骨盤外傷患者の看護経験についての一考察
直原玄¹, 青木聡美¹, 坂坂雅美¹, 竹原則子²(1.新潟県立中央病院救命救急センター, 2.新潟県立看護大学)
- NP-34-3 多発外傷管理中にRespiratory ECMOを導入した患者のケア
金井健司, 古舘智美, 佐藤紗登美, 佐藤啓太(さいたま赤十字病院救命救急センター)
- NP-34-4 救急外来から直接ICU入室となった症例の検討
古沢身佳子¹, 萩野裕夏², 白崎和美¹, 近江禎子³, 大槻穰治⁴(1.東京慈恵会医科大学付属第三病院救急室, 2.東京慈恵会医科大学付属第三病院ICU, 3.東京慈恵会医科大学付属第三病院麻酔科, 4.東京慈恵会医科大学付属第三病院救急部)
- NP-34-5 有効的な胸骨圧迫の経時的男女比較
田路育恵¹, 池松裕子²(1.東京大学医学部附属病院看護部, 2.名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻)
- NP-34-6 当院における救急外来から入院するインフルエンザ患者の感染防護対策
永迫望, 西橋富美江, 山本直美(潤和会記念病院看護部)

ポスター会場 グランドプリンスホテル京都 1F ロイヤルルーム

9:00～10:00

一般演題 ポスター 35 早期離床① (NP-35-1～NP-35-6)

座長 森本朱実(国立循環器病研究センター)

- NP-35-1 早期リハビリテーションで非気管挿管患者の不穏は予防できているか
本郷葉子¹, 南條裕子², 武内龍伸³, 阿保勇介¹, 矢作直樹⁴(1.東京大学医学部附属病院救命救急センター, 2.東京大学医学部附属病院ICU-2, 3.東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野, 4.東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部)
- NP-35-2 HCUスタッフの早期離床に対する意識調査と取り組み
石井梨江, 田中好美(小倉記念病院)
- NP-35-3 集中ケア認定看護師における離床に関する意識と実践調査
佐藤みえ¹, 辻佐世里², 小松由佳³, 有田孝⁴, 川島孝太⁵, 半崎隼人⁶, 神山淳子⁷, 林尚三⁸, 山本由美⁹(1.東邦大学医療センター大森病院, 2.関西医科大学附属枚方病院, 3.杏林大学医学部付属病院, 4.小倉記念病院, 5.りんくう総合医療センター, 6.大阪府済生会中津病院, 7.自治医科大学附属病院, 8.社団法人有隣厚生会富士病院, 9.公立昭和病院)
- NP-35-4 「ICU看護師が考える離床」を妨げる要因
菅原満美, 矢吹麻美, 熊谷苑絵, 影山菜津子(一般財団法人太田総合病院太田西ノ内病院救命救急センター)
- NP-35-5 気管挿管患者における離床の実態調査とその阻害要因に関する検討
大関武, 松田武賢, 鈴木美穂, 安部優香里, 卯野木健(筑波大学附属病院ICU)
- NP-35-6 呼吸器合併症が高度に予想されたOPCAB患者に対して周術期理学療法が有効であった一例
山本高代¹, 白石昭一郎², 関千雅¹, 荒木有紀¹, 木脇恵子¹, 宇田真里子³, 和田定士³, 山澤有紀³, 小池雅人², 浅井徹⁴(1.近江草津徳洲会病院, 2.近江草津徳洲会病院心臓血管外科, 3.近江草津徳洲会病院リハビリテーション科, 4.滋賀医科大学心臓血管外科)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 36 早期離床② (NP-36-1～NP-36-6)

座長 松村佳苗(神戸市立医療センター中央市民病院)

- NP-36-1 心臓血管外科手術後における急性期早期離床プロトコルの安全性と有効性
山口直樹, 丸山純治, 豊島美樹, 川上友里絵, 吉川恵美子, 植村桜, 尾崎弘美(大阪市立総合医療センター集中治療部)

NP-36-2 急性期リハビリテーション開始基準導入の実際と今後の課題

橋本絵理, 塩屋秀子, 屋嘉比愛実, 安村公均, 久場良也(社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院)

NP-36-3 ICUでの重症患者の急性期廃用性筋萎縮の特異性と下肢筋群に重点をおいた急性期リハビリテーションの効果

河原賢治¹, 長田大雅³, 岡本陽子¹, 田山聡子¹, 中村弘美¹, 釜戸由季¹, 清水由美¹, 矢坂泰介¹, 佐藤智子¹, 北潔²
(1.慶應義塾大学病院看護部, 2.東京大学大学院医学系研究科, 3.慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

NP-36-4 急性期脳卒中患者のリハビリテーションに対するチームアプローチの効果

中村悦子, 緒方静子, 井野佑太, 成瀬秀子, 小畑裕紅, 加藤博子(福岡大学病院救命救急センター)

NP-36-5 急性期からセルフケア自立を目指すためにFIMを用いた実態調査

水上育子¹, 大久保雅美¹, 高橋羊子¹, 福田久子¹, 五十嵐美里²(1.公益財団法人筑波メディカルセンター病院, 2.公益財団法人筑波メディカルセンター病院リハビリテーション科)

NP-36-6 ベッドマットの種類により体位変換に要する時間や沈み具合は異なる

大内茉奈美, 三瓶智美, 江尻幸弘, 茅原まゆみ, 柴田安希子, 丹治優子(福島県立医科大学附属病院集中治療部)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 37 早期離床③ (NP-37-1～NP-37-6)

座長 奈良順子(弘前大学医学部附属病院看護部集中治療部)

NP-37-1 アゲアゲシート導入による段階的なHead upに対する取り組み～意識調査による現状報告～

横山絵美¹, 岡本重津紗², 城所公紀³, 五十川美恵子¹(1.東海大学医学部付属病院看護部救命救急センター, 2.東海大学医学部付属病院看護部8A病棟, 3.東海大学医学部付属病院看護部中央手術室)

NP-37-2 心不全患者に対する多職種共同による鎮静覚醒トライアル・人工呼吸器離脱トライアルの取り組み

後藤誠志, 高田弥寿子, 山根崇史, 石元洋子, 藤田有希代, 堀池聖子, 松崎芳美, 玉城雄也, 烏脇麻希子, 上蘭恵子
(国立循環器病研究センター)

NP-37-3 看護師による人工呼吸器管理患者に対する体位呼吸療法への新たな試み

和田美咲¹, 岡本美穂¹, 太田浩平², 皿田和宏³, 對東俊介³, 河江敏広³, 関川清一⁴, 伊藤義広³, 川野知子¹, 谷川攻一²(1.広島大学病院看護部高度救命救急センター, 2.広島大学病院高度救命救急センター・ICU, 3.広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門, 4.広島大学大学院医歯薬保健学研究科)

NP-37-4 呼吸器外科術後離床時のPONV軽減へのアプローチ ―「座位耐性訓練の基準」を導入して―

大石百合香, 古賀直美, 岩本雅俊, 吉岡真実(社会医療法人天神会新古賀病院ICU)

NP-37-5 ベッドマットの種類は体位変換に伴う快適さや体にかかる圧負荷に影響する

江尻幸弘, 三瓶智美, 大内茉奈美, 茅原まゆみ, 柴田安希子, 丹治優子(福島県立医科大学附属病院集中治療部)

NP-37-6 救急集中治療室での早期リハビリへの取り組み ～挿管患者を歩かせよう！～

池田理沙¹, 朱祐珍², 浅香葉子³, 西原浩真⁴, 柴田美由紀¹, 渥美生弘³(1.神戸市立医療センター中央市民病院EICU・CCU, 2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 3.神戸市立医療センター中央市民病院救急部, 4.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション部)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 38 その他① (NP-38-1～NP-38-6)

座長 若林世恵(富山大学附属病院集中治療部)

NP-38-1 呼吸ケアサポートチーム(RST)の効果的な対応の検討 ―呼吸器管理経験が少ない一般病棟への個別介入を通じて―

小泉雅子, 小林邦子, 茂木奈津, 守谷千明(東京女子医科大学病院看護部)

NP-38-2 12時間以上の人工呼吸器装着患者のICU Stressful Experiences

高島尚美¹, 久保沙織², 米澤裕子², 坂本孝輔², 山口庸子², 村田洋章¹, 卯野木健³, 米倉佑貴⁴, 瀧浪将典²(1.東京慈恵会医科大学医学部看護学科, 2.東京慈恵会科大学附属病院, 3.筑波大学病院, 4.東京大学社会科学研究所)

NP-38-3 人工呼吸管理を行った患者に対する患者満足度調査の取り組み

柴優子, 卯野木健, 加島千愛, 櫻本秀明, 松田武賢(筑波大学附属病院ICU)

NP-38-4 ICUにおける体重測定は正確か？

本田康裕¹, 山口庸子², 村田洋章², 齊藤慎二郎², 飯塚悠祐¹, 讃井将満¹, 八木橋智子¹(1.自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部, 2.東京慈恵会医科大学)

NP-38-5 一般病棟から手術後救命救急センターHCUに入室する患者への術前オリエンテーションの現状

吉岡翼, 中村道明, 中森夕起(福山市民病院救命救急センター)

NP-38-6 ICU看護師による術前オリエンテーションの有効性の検討

中野亮子, 山本千佳子(千葉県がんセンターICU)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 39 その他② (NP-39-1～NP-39-6)

座長 辻本雄大(奈良県立医科大学附属病院ICU)

NP-39-1 ICU内の騒音環境と看護師の音に対する意識に関する調査

原由里子, 中島雅典, 山口紗和, 綾部真由美, 内田順子(佐賀大学医学部付属病院集中治療部)

NP-39-2 リカバリールームのベッド運用について ―患者負担の軽減と業務効率の向上を目指して―

池本信洋, 野口結花, 馬屋原健裕, 奥田百合子, 福田縁, 坂東多恵子(川崎医科大学附属病院ICU・CCU)

NP-39-3 EICUでの尿道留置カテーテル固定用具の必要性

大坪麗, 伊藤聡子(地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院)

NP-39-4 閉鎖式輸液システム接続ポートでの延長チューブ脱着による薬液移動についての検証

竹内美穂¹, 仁平かおり¹, 櫻本秀明², 平松祐司³, 杉澤栄¹(1.筑波大学附属病院小児ICU, 2.筑波大学附属病院ICU, 3.筑波大学医学医療系心臓血管外科)

NP-39-5 安全な経腸栄養チューブ管理に向けて～簡易懸濁法導入の取り組み～

春日井恵¹, 飯塚美幸¹, 鈴木みゆき¹, 武田未希¹, 林瑞希¹, 山形祐美¹, 玉上淳子¹, 半谷康子¹, 右近好美³, 岩井健一²
(1.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター看護部集中治療室, 2.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター麻酔部, 3.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター看護部)

NP-39-6 ICU看護師の日常生活援助ケアにおける臨床判断の実態—清拭場面に焦点をあてて—

村瀬美直子(JA愛知厚生連豊田厚生病院HCU)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 40 その他③ (NP-40-1～NP-40-6)

座長 能芝範子(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

NP-40-1 術後の体温管理と患者の不快の軽減～全身麻酔、手術侵襲の影響と体温変調の関連性～

栗井美幸, 福浦麻里, 川出順子, 吉田理沙, 三浦慎之介, 内田真弓, 辻佐世里(関西医科大学附属枚方病院総合集中治療部)

NP-40-2 胃切除術後患者に対する当集中治療センター看護師の体温管理の現状と課題

山崎智佳, 吉田あかね, 小黒洋子(函館五稜郭病院)

NP-40-3 部門システム『ACSYS』の運用と記録監査について～看護記録の質向上を目指して～

中本真紀子, 宮津聡子, 茂藤智美, 藤原友紀子(国家公務員共済組合連合会熊本中央病院)

NP-40-4 経過表への看護記録方法の改善

垣見十, 齊藤正子, 上北真理, 阿部由希子(旭川医科大学病院集中治療部ナースステーション)

NP-40-5 当院の初療におけるECMOトレーニング

鈴木美恵子(さいたま赤十字病院)

NP-40-6 アンカーファストのCost Performanceの検討

濱本実也, 田中裕子(公立陶生病院ICU)

9:00～9:50

一般演題 ポスター 41 その他④ (NP-41-1～NP-41-5)

座長 齋藤美和(日本赤十字社さいたま日本赤十字病院CCU)

NP-41-1 アンカーファスト導入前後の皮膚トラブルの比較検討

田中裕子, 濱本実也, 植村佳絵, 長谷川隆一, 川瀬正樹¹(公立陶生病院ICU)

NP-41-2 クリティカルケア領域においてSIRS診断基準は褥瘡発生予測の有用な指標となりうるか?

幡鈴梨絵¹, 三宅規子², 稲垣雅昭¹, 岡本和士³(1.独立行政法人岐阜県立多治見病院救命救急センター集中治療部, 2.独立行政法人岐阜県立多治見病院スキンケア部, 3.愛知県立看護大学看護学部疫学・公衆衛生学)

NP-41-3 おむつ外しのためのアセスメント表を使った効果

中垣妙子¹, 寺澤紘子¹, 難波由美子¹, 難波志穂子²(1.岡山大学病院高度救命救急センター, 2.岡山大学病院新医療開発センター治験推進部)

NP-41-4 発熱対応フローチャートを活用した体温管理の取り組み

松本誉伸, 後藤太希(医療法人徳洲会宇治徳洲会病院)

NP-41-5 ICU看護師の栄養管理に対する行動変化—栄養チェックシートを導入して—

楠田奈美, 辻百合子, 山田親代, 立山満久(大津市民病院集中治療部)

9:50～10:40

一般演題 ポスター 42 その他⑤ (NP-42-1～NP-42-6)

座長 須東光江(東北大学病院集中治療部)

NP-42-1 ICUにおけるDVD教材を用いた急性冠症候群患者への患者指導導入を試みて—超急性期におけるDVD教材の効果—

堀越明美(日本医科大学千葉北総病院)

NP-42-2 演題取り下げ

NP-42-3 集中治療室に入室した患者の精神的支援を振り返って

鶴田梓¹, 高堰美奈子¹, 莊司香織¹, 山本草苗¹, 上村克子¹, 佐藤誠²(1.社会医療法人明和会中通総合病院集中治療室, 2.社会医療法人明和会中通総合病院循環器内科)

NP-42-4 退室後訪問を通して見えたICU入室患者に求められる精神的ケア

平井美香, 中村容子(社会医療法人同仁会耳原総合病院)

NP-42-5 SICU退室後SICU/ICUへ再入室に至った患者の実態

石黒有希子, 鏑はるか, 米山涼子, 渡邊未希, 荒井知子, 中村香織(杏林大学医学部付属病院看護部SICU病棟)

NP-42-6 用手換気の学習効果の検討—技術向上と看護師の不安解消を目指して—

藤原愛, 瀧内彩子, 阪本祐二, 天鷲尚子, 篠原実加, 森嶋美保, 大澤智美(京都府立医科大学附属病院PICU)

10:40～11:40

一般演題 ポスター 43 体温 (NP-43-1～NP-43-6)

座長 川口なぎさ(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

NP-43-1 小児における低体温療法中の体温管理—マニュアル導入への取り組みと体温管理の実際—

西野明子, 高橋洋平(東京都立小児総合医療センターPICU)

NP-43-2 発熱時における冷罨法の有用性に関する文献的一考察

中村博子, 佐藤紗登美(さいたま赤十字病院救命救急センターICU病棟)

NP-43-3 アンケート調査による当院看護師のクーリングに対する意識調査

松原美穂¹, 加曾利学¹, 秋山紗知¹, 中山雄司², 佐藤有希子², 石高拓也², 加納敬², 梶原吉春²(1.東大和病院集中治療センター看護部, 2.東大和病院臨床工学科)

NP-43-4 低体温療法における多職種連携の取り組み

斉藤和泉, 水上由紀, 岸澤円, 伊藤正憲, 島田朋尚, 嶋先見, 齊藤伸介(市立砺波総合病院救急/集中治療部)

NP-43-5 体温管理における方法別の熱の発散

宮川亮太(大垣市民病院)

NP-43-6 体温変化とScvO₂変化の関係性～習慣的な解熱処置から脱却するために～

和泉伸隆¹, 田中博美¹, 川上美絵子¹, 増田智子¹, 堀江英恵¹, 野口千加子¹, 成宮博理², 檜垣聡²(1.京都第二赤十字病院救命救急センターICU, 2.京都第二赤十字病院救命救急センター)

9:00～10:00

一般演題 ポスター 44 倫理・終末期・家族ケア① (NP-44-1～NP-44-6)

座長 八尾みどり(大阪府三島救命救急センター)

NP-44-1 ICU看護師の患者のプライバシー保護についての意識調査

長澤静代(相模原協同病院)

NP-44-2 ICU看護師の終末期ケア困難感とQODD(Quality of Dying and Death)による看取りの評価との関連

木下里美(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科)

NP-44-3 初療のグリーフケアにおける看護実践課題—文献レビューによる検討—

上澤弘美, 井川洋子(総合病院土浦協同病院看護部)

NP-44-4 クリティカルな状況下にある患者の家族ケアに対する看護師の意思決定プロセスに関する質的研究

園原一恵¹, 渡邊タミ子²(1.新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター, 2.新潟大学大学院保健学研究科)

NP-44-5 ICUで終末期を迎えた患者とその子供が面会した事例から～看護師の関わりとその力となった事柄を考える～

大矢綾, 植木愛美, 久々湊由佳子(独立行政法人国立がん研究センター中央病院)

NP-44-6 ICUにおける家族看護のシステム化への取り組み

遠藤裕子, 栢木可奈, 奥田麻里子, 森田理恵(鳥取大学医学部附属病院病棟4階A)

10:00～11:00

一般演題 ポスター 45 倫理・終末期・家族ケア② (NP-45-1～NP-45-6)

座長 畑中保子(日本赤十字社和歌山医療センター)

NP-45-1 面会基準変更への看護師の不安の変化

下河邊美香¹, 小沼華子¹, 吉田千賀子¹, 星拓男²(1.茨城県立中央病院, 2.筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センター集中治療科)

NP-45-2 心臓血管手術における術中家族が望む情報とは

永登諒, 仲間敏春, 玉那覇いずみ, 松嶺芳乃, 山内昭彦, 寺田真也, 玉城正弘, 島袋泰(友愛会豊見城中央病院集中治療室)

NP-45-3 PICUにおける「急性期にある子どもの看取りに関する手引書」「グリーフカード」の活用

萩原綾子¹, 林拓也², 永瀬弘之³, 村山晶俊³, 梅原直²(1.神奈川県立こども医療センターICU病棟, 2.神奈川県立こども医療センター救急診療科, 3.神奈川県立こども医療センター集中治療科)

NP-45-4 エンゼルケアに参加した家族の想い～家族の想いを知り、これからのグリーフケアに繋げるために～

安田明子, 衛藤摩梨(社会医療法人青洲会福岡青洲会病院)

NP-45-5 HCUにおける倫理的問題の現状と課題～シミュレーション教育を用いた教育方法の検討～

篠谷淳美¹, リージャー理香¹, 内間裕美子¹, 具志徳子¹, 伊藤智美²(1.浦添総合病院HCU病棟, 2.浦添総合病院看護部)

NP-45-6 ICUにおける倫理的問題に対するチームカンファレンスの必要性

稲富純子, 酒見大輔, 野原裕美, 高田智子, 中野亜希子, 上野弘恵, 井上健(独立行政法人国立病院機構関門医療センター)

11:00～12:00

一般演題 ポスター 46 倫理・終末期・家族ケア③ (NP-46-1～NP-46-6)

座長 神谷健司(近畿大学医学部附属病院集中治療部)

NP-46-1 重症患者家族のニーズの重要度と満足度の調査

當間実樹¹, 比嘉みゆき¹, 宮里義乃¹, 上原佳代¹, 糸嶺京子¹, 古謝安子², 須加原一博¹(1.琉球大学医学部附属病院重症集中治療部, 2.琉球大学医学部保健学科成人・老年看護学講座)

NP-46-2 CNS-FACEを用いたICUにおける家族看護の検討

細野恵理(三菱京都病院)

NP-46-3 ICUにおける家族情報の共有方法の検討

鈴木かずえ, 神田美由紀, 安部直美(米沢市立病院)

NP-46-4 交通多発外傷で入院となった患者家族へのケア—家族のニーズ(情報・接近・保証)に着目した関わり—

古賀恵美, 松尾和, 松井望(佐世保市立総合病院)

NP-46-5 ICUで終末期を迎える患者の生きる希望を支えた看護

吉村早紀, 渡邊郁子(駿河台日本大学病院看護部救命救急センター)

NP-46-6 PICUにおける『急性期にある子どもの看取りに関する手引書』『急変時対応シート』の活用

萩原綾子¹, 林拓也², 永渕弘之³, 村山晶俊³, 梅原直²(1.神奈川県立こども医療センターICU病棟, 2.神奈川県立こども医療センター救急診療科, 3.神奈川県立こども医療センター集中治療科)

臨床工学技士部門ポスター

第1日目 (2月27日)

ポスター会場 グランドプリンスホテル京都 B1F ローブルーム

10:00～11:00

一般演題 ポスター1 血液浄化① (MP-1-1～MP-1-6)

座長 道越淳一(小倉記念病院検査技師部工学課)

MP-1-1 CHDF回路交換がPIに与える影響

丸山朋康¹, 立花直樹², 宮川宜之¹, 伊藤江美¹, 鈴木啓修¹, 翠川洸史¹(1.諏訪赤十字病院臨床工学技術課, 2.諏訪赤十字病院腎臓内科)

MP-1-2 小児血液浄化療法の工夫について

千葉二三夫¹, 山内貴司¹, 岡田拓也¹, 那須敏裕¹, 菅原誠一¹, 千葉直樹¹, 渡部悟¹, 古川博一¹, 横山健²(1.手稲溪仁会病院臨床工学部, 2.手稲溪仁会病院麻酔科)

MP-1-3 閉鎖回路作成による新生児無抗凝固剤CRRTへの試み

田川雅久(東京都立小児総合医療センター麻酔科臨床工学係)

MP-1-4 血栓性血小板減少性紫斑病治療に対する血漿交換とリツキシマブ併用療法の効果の検討

嘉松翔¹, 山香修¹, 今井徹朗¹, 木嶋涼二¹, 上原舞美¹, 福田理史², 高須修², 山下典雄², 杉原学¹, 坂本照夫²(1.久留米大学病院臨床工学センター, 2.久留米大学病院高度救命救急センター)

MP-1-5 ポリスルホン膜の血小板機能に与える影響

山本圭吾¹, 山崎章生¹, 後藤武¹, 鈴木雄太¹, 小笠原順子¹, 細井拓海¹, 坪敏仁², 橋場英二², 大川浩文³(1.弘前大学医学部附属病院医療技術部臨床工学・技術部門, 2.弘前大学医学部附属病院集中治療部, 3.弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座)

MP-1-6 心臓外科術後のCRRTに対するhemofilter life-time 短縮要因の検討

松田真太郎¹, 塚本功¹, 村杉浩¹, 秋元照美¹, 土屋陽平¹, 島田啓介¹, 渡辺裕輔², 鈴木洋通²(1.埼玉医科大学国際医療センターMEサービス部, 2.埼玉医科大学国際医療センター血液浄化部)

11:00～12:10

一般演題 ポスター2 血液浄化② (MP-2-1～MP-2-7)

座長 前田智美(小松市民病院臨床工学会)

MP-2-1 脳死肝移植の周術期における持続血液透析の効果について

堂口琢磨¹, 伊藤英史^{2,3}, 賀来隆治⁴, 氏家良人³(1.岡山大学病院医学部心臓血管外科, 2.純真学園大学保健医療学部医療工学科, 3.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学講座, 4.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座)

MP-2-2 集中治療室及び救命救急室領域における血液浄化療法の推移とその背景

花隈淳¹, 高橋幸子¹, 中井浩司¹, 平手裕市²(1.名古屋掖済会病院臨床工学部, 2.中部大学生命健康科学部臨床工学科)

MP-2-3 当院での急性血液浄化療法におけるSLEDの臨床経験と安全性

中三公三¹, 海野知洋², 古味秀美², 戸田成志³, 鈴木勉³, 北浦道夫³(1.(独)香川労災病院MEセンター, 2.(独)香川労災病院集中治療室, 3.(独)香川労災病院麻酔科)

MP-2-4 誤嚥性肺炎によりARDSを来し、HFOVおよび急性血液浄化を施行して救命した1例

布村仁亮(茨城県立こども病院臨床工学科)

MP-2-5 敗血症性ショックに対してAN69ST-CHDFを施行した1症例

菊池義彦¹, 福家伸夫², 志賀英敏², 小林由², 宮澤正明²(1.帝京大学ちば総合医療センター, 2.帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター)

MP-2-6 血漿処理量30Lのビリンビン吸着療法を施行した1症例

田島行雄¹, 曾我仁¹, 金田智子¹, 国元文生², 日野原宏², 戸部賢², 金本匡史², 楢原創², 柳沢晃広², 竹吉泉¹(1.群馬大学医学部附属病院材料部, 2.群馬大学医学部附属病院集中治療部)

MP-2-7 血漿交換療法を施行した中毒性表皮壊死症の4例

島田朋和¹, 中野皓太¹, 千原伸也¹, 山田奨人¹, 橋本佳苗¹, 室橋高男¹, 巽博臣², 升田好樹², 今泉均², 山藤道明²(1.札幌医科大学附属病院臨床工学部, 2.札幌医科大学医学部集中治療医学)

15:20～16:30

一般演題 ポスター3 補助循環① (MP-3-1～MP-3-7)

座長 赤松伸朗(大阪市立総合医療センター中央臨床工学部)

MP-3-1 ECMO補助循環回路の脱血回路配管抵抗に関する一考

安野誠¹, 長谷川豊², 岡田修一³(1.群馬県立心臓血管センター臨床工学課, 2.群馬県立心臓血管センター集中治療室, 3.群馬県立心臓血管センター心臓血管外科)

MP-3-2 ECMOデバイスにおける遠心ポンプ入口圧の比較検討

鈴木健一¹, 竹田晋浩¹, 庭山ゆう子¹, 橋本美紀¹, 高田裕²(1.日本医科大学付属病院ME部, 2.近畿大学医学部附属病院臨床工学部)

- MP-3-3 ECMO 管理における脱血チューブ径と落差による圧力変化の検討
高田裕¹, 鈴木健一²(1.近畿大学医学部附属病院臨床工学部, 2.日本医科大学付属病院)
- MP-3-4 当センターにおける ECMO 記録の運用と問題点
山内和也¹, 鳩本広樹¹, 高尾結佳¹, 山崎慎太郎¹, 八尾好純¹, 梅村武寛², 村井映², 石倉宏恭²(1.福岡大学病院臨床工学センター, 2.福岡大学病院救命救急センター)
- MP-3-5 人工肺交換を安全に行える PCPS 回路の作成
三代英紀¹, 村田聡樹¹, 前田優香¹, 石田朋行¹, 三浦昇¹, 井上健²(1.国立病院機構関門医療センター ME 機器技術センター, 2.国立病院機構関門医療センター外科集中治療室)
- MP-3-6 当院における補助循環回路の検討
山城知明¹, 石川隆志¹, 西田修²(1.藤田保健衛生大学病院 ME 管理室, 2.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学)
- MP-3-7 PCPS 装置のフローセンサーエラーの発生タイミングについて
大宮裕樹, 鍋島豊, 齋藤孝明, 棚田智之, 小倉直浩, 難波泰弘(K K R 札幌医療センター診療技術部門臨床工学科)

16:30 ~ 17:40

一般演題 ポスター 4 補助循環② (MP-4-1 ~ MP-4-7)

座長 畑中祐也(京都府立医科大学附属病院医療機器管理部)

- MP-4-1 血液希釈が原因と考えられる心停止を起こした ECMO 導入の一例
佐々木慎理¹, 有信一慶¹, 井脇康文¹, 布野潤一¹, 岡本拓也¹, 吉川史華¹, 山田光樹¹, 高山綾², 堀田敏弘³, 椎野泰和³(1.川崎医科大学附属病院 ME センター, 2.川崎医療福祉大学臨床工学科, 3.川崎医科大学附属病院救急科)
- MP-4-2 敗血症性ショックから ARDS に陥った患者に対し ECMO を施行した 1 症例
岩下裕一¹, 小西康司¹, 萱島道徳¹(奈良県立医科大学附属病院医療技術センター)
- MP-4-3 敗血症性ショック・ARDS に対する ECMO : V-A/V アクセスが有用だった一例
小山昌利¹, 春田良雄¹, 市橋孝章¹, 樋口知之¹, 堀口敦史¹, 川瀬正樹², 長谷川隆一²(1.公立陶生病院臨床工学部, 2.公立陶生病院救急部)
- MP-4-4 原因不明の気管支炎に対して、V-A ECMO を導入し救命できた 1 症例
玉城瑛信¹, 布谷大輔¹, 大川修¹, 佐藤尚¹, 五十嵐義浩¹, 藤井暁¹, 餅田裕太¹, 清水徹¹, 坂本三樹², 館田武志²
(1.聖マリアンナ医科大学病院クリニカルエンジニア部, 2.聖マリアンナ医科大学病院麻酔学)
- MP-4-5 抗凝固薬投与計画に思慮を要した V-V ECMO 2 例の検討
行光昌宏¹, 岩田英城¹, 今井寛²(1.三重大学医学部附属病院臨床工学部, 2.三重大学医学部附属病院救命救急センター)
- MP-4-6 抗凝固剤を減量して PCPS 管理を行った 1 症例
金田智子¹, 田島行雄¹, 茂原淳², 相田武則¹, 曾我仁¹, 高橋徹², 小池則匡², 國元文生³, 竹吉泉¹(1.群馬大学医学部附属病院材料部, 2.群馬大学医学部臓器病態外科学, 3.群馬大学医学部附属病院集中治療部)
- MP-4-7 novalung の使用経験
藤井正実, 東條圭一, 木下春奈, 武田章数, 田村美沙紀, 宮地鑑(北里大学病院 ME センター部)

10:00 ~ 11:00

一般演題 ポスター 5 呼吸① (MP-5-1 ~ MP-5-6)

座長 相嶋一登(横浜市立市民病院臨床工学部)

- MP-5-1 高頻度振動換気機構の違いによる換気能力の比較
井能秀雄, 上岡将之(JA 茨城県厚生連総合病院土浦協同病院臨床工学部)
- MP-5-2 小児科領域における Intrapulmonary Percussive Ventilator (IPV) の使用経験
伊佐英倫¹, 芹田晃道²(1.中頭病院臨床工学部, 2.中頭病院看護部)
- MP-5-3 半閉鎖式全身麻酔回路に併用して肺内パーカッションベンチレーターを使用した経験
上岡将之¹, 井能秀雄¹, 関谷芳明², 山田均², 荒木祐一², 松宮直樹²(1.JA 茨城県厚生連総合病院土浦協同病院臨床工学部, 2.JA 茨城県厚生連総合病院土浦協同病院救急集中治療科)
- MP-5-4 人工呼吸中の食道内圧および気管チューブ内圧測定の有用性
長見英治¹, 牧之内崇², 浅野達彦², 石橋聡², 李光浩², 山内雅人², 伊良部真一郎³, 森脇龍太郎³, 石川康朗²(1.千葉労災病院臨床工学部, 2.千葉労災病院循環器内科, 3.千葉労災病院救急・集中治療部)
- MP-5-5 ドレーゲル社製人工呼吸器 Savina300 の使用経験
岡本遼¹, 佐藤敏朗¹, 中垣麻子¹, 坂口祥章¹, 西山圭子², 小森万希子²(1.東京女子医科大学東医療センター ME 室, 2.東京女子医科大学東医療センター麻酔科)
- MP-5-6 PAV + にて人工呼吸管理を施行した急性呼吸不全の 1 例
谷脇裕介¹, 日宇宏之², 増田幸子², 山田成美², 高山隼人²(1.国立病院機構長崎医療センター ME 機器センター, 2.国立病院機構長崎医療センター救命救急センター)

11:00～12:10

一般演題 ポスター 6 呼吸② (MP-6-1～MP-6-7)

座長 宗万孝次(旭川医科大学病院診療技術部臨床工学技術部門)

MP-6-1 High Flow Nasal Cannula 中の加温加湿

近田優介¹, 井澤真代¹, 奥田菜緒¹, 板垣大雅¹, 小野寺睦雄¹, 今中秀光², 西村匡司¹(1.徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学, 2.徳島大学病院ER・災害医療診療部)

MP-6-2 蒸留水の加温はネーザルハイフローシステム開始直後の加湿を改善する

白井幹¹, 河内充¹, 田村真奈美¹, 岡田和宜¹, 山下毅¹, 齋藤真澄¹, 岡本洋史², 福岡敏雄²(1.倉敷中央病院CEサービス室, 2.倉敷中央病院救急科)

MP-6-3 ネーザルハイフローシステムにおける加湿の与える影響

松本隼人¹, 上村健斗¹, 香月レイナ¹, 小能見信悟¹, 伊藤明広¹, 清水重光¹, 小田和也¹, 安達普至², 鮎川勝彦³(1.飯塚病院臨床工学部, 2.飯塚病院集中治療部, 3.飯塚病院救急部)

MP-6-4 当院ICUにおけるNasal High Flowの使用状況

池田潤平¹, 奥田晃久¹, 内野滋彦², 柴崎多恵子¹, 岩谷理恵子¹, 平塚明倫¹, 瀧浪将典²(1.東京慈恵会医科大学附属病院臨床工学部, 2.東京慈恵会医科大学附属病院麻酔科集中治療部)

MP-6-5 High-Flow Therapy systemの保守管理に関する検討

品田芳明¹, 山本信章¹, 渡部雄介¹, 豊間香澄¹, 秋山泰利¹, 小林祐治¹, 神山洋一郎²(1.順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学会, 2.順天堂大学医学部附属浦安病院麻酔科)

MP-6-6 マルチパーバスマスクTMの基礎的検討

木村政義¹, 高尾理紗¹, 富加見教男¹, 鈴木尚紀¹, 大平順之¹, 西信一²(1.兵庫医科大学病院臨床工学会, 2.兵庫医科大学集中治療医学)

MP-6-7 オキシマस्कとリザーバマスクの吸気酸素濃度の比較

高尾理紗¹, 木村政義¹, 富加見教男¹, 鈴木尚紀¹, 大平順之¹, 西信一²(1.兵庫医科大学病院臨床工学会, 2.兵庫医科大学集中治療医学)

15:20～16:20

一般演題 ポスター 7 呼吸③ (MP-7-1～MP-7-6)

座長 中川富美子(日本大学医学部附属板橋病院臨床工学技士室)

MP-7-1 NPPV専用機におけるPS換気動作の比較検討

此内緑¹, 上岡晃一¹, 朝日享¹, 宮下亮一², 関根秀介², 服部敏温¹, 田上正², 内野博之²(1.東京医科大学病院臨床工学部, 2.東京医科大学麻酔科学講座)

MP-7-2 バイパップビジョンの酸素濃度の検証

峯岸唯史¹, 逢坂照宏¹, 三浦邦久², 大見貴秀², 両角幸平², 石原哲³, 柳健次⁴(1.医療法人社団順江会江東病院ME室, 2.医療法人社団順江会江東病院麻酔科, 3.医療法人伯鳳会白髭橋病院名誉院長, 4.医療法人伯鳳会白髭橋病院ME課)

MP-7-3 チーム医療を活かしたNPPV患者のマスク管理

松尾昌¹, 矢嶋恵理², 三澤賢治³, 金子秀夫⁴, 鈴木充²(1.社会医療法人財団慈恵会相澤病院ME課, 2.社会医療法人財団慈恵会相澤病院ICU/CCU, 3.社会医療法人財団慈恵会相澤病院外科センター呼吸器外科, 4.社会医療法人財団慈恵会相澤病院救護災害医療センター)

MP-7-4 NPPV専用機と汎用人工呼吸器に搭載されたNPPVモードの臨床効果の比較

橋本圭司^{1,2}, 渡海裕文³, 吉武重徳⁴(1.兵庫県立淡路医療センターMEセンター, 2.九州保健福祉大学大学院保健科学研究科修士課程, 3.兵庫県立淡路医療センター麻酔科, 4.九州保健福祉大学保健科学部臨床工学科)

MP-7-5 熱線入りNPPV回路での加湿性能の検証

堀尾福雄¹, 吉野智哉¹, 山本康裕²(1.JA愛知厚生連江南厚生病院臨床工学技術科, 2.JA愛知厚生連江南厚生病院麻酔科)

MP-7-6 RESPIRONICS社製Bipap autoSV Advancedによる呼吸管理が奏功した3症例

高橋幸子¹, 花隈淳¹, 中井浩司¹, 平手裕市²(1.名古屋掖済会病院臨床工学部, 2.中部大学生命健康科学部臨床工学科)

16:20～17:00

一般演題 ポスター 8 呼吸④ (MP-8-1～MP-8-4)

座長 山口智(大阪医科大学附属病院臨床工学会)

MP-8-1 自動カフ圧計の気管チューブカフリーク時におけるカフ内圧実測値の検討

下田優作¹, 北博志¹, 横山朋大¹, 井手智大¹, 鶴田友加里¹, 藤田耕平¹, 石川朗², 三住拓誉³(1.神戸大学医学部附属病院臨床工学部門, 2.神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域, 3.神戸大学医学部附属病院集中治療部)

MP-8-2 3Dプリンター作成による気管モデルを使用した気管切開チューブのカフ上部吸引穴とカフサイズの検討

萱島道徳¹, 岩下裕一¹, 小西康司¹(奈良県立医科大学附属病院医療技術センター)

MP-8-3 自動カフ圧計の気管チューブカフリーク時において低圧警報が発生しないことに関する検証

北博志¹, 下田優作¹, 井手智大¹, 鶴田友加里¹, 横山朋大¹, 藤田耕平¹, 石川朗², 三住拓誉³(1.神戸大学医学部附属病院臨床工学部門, 2.神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域, 3.神戸大学医学部附属病院集中治療部)

MP-8-4 人工呼吸器関連事象(ventilator-associated events:VAE)サーベイランスの試み
柳澤雅美¹, 志馬伸朗²(1.京都医療センター臨床工学科, 2.京都医療センター救命救急科)

第2日目(2月28日)

ポスター会場 グランドプリンスホテル京都 B1F ローズルーム

9:00～10:00

一般演題 ポスター9 安全管理 (MP-9-1～MP-9-6)

座長 石井宣大(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部)

- MP-9-1 静脈用カテーテルアダプタの比較検討
井汲康典¹, 門馬榮菜¹, 高森修平¹, 山口和哉¹, 中尾一俊¹, 森田慶久², 増田純一²(1.川崎市立川崎病院麻酔科臨床工学科, 2.川崎市立川崎病院麻酔科)
- MP-9-2 院内AEDマニュアルショックの検討
小林祐治¹, 山本信章¹, 渡部雄介¹, 豊間香澄¹, 秋山泰利¹, 品田芳明¹, 松田繁², 神山洋一郎³(1.順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学科, 2.順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科, 3.順天堂大学医学部附属浦安病院麻酔科)
- MP-9-3 Drヘリ内の医療機器への電磁波の影響について
吉川史華¹, 高山綾¹, 茅野功², 井上貴博³, 鈴木幸一郎³(1.川崎医科大学附属病院MEセンター, 2.川崎医療福祉大学臨床工学科, 3.川崎医科大学附属病院救急科・高度救命救急センター)
- MP-9-4 人工呼吸患者の安全な搬送について～ドクターカーに人工呼吸器を設置する～
道永祐希¹, 宮崎聡磨¹, 菊池紀敏¹, 横山俊樹², 堂籠博³, 岡元和文⁴(1.信州大学医学部附属病院MEセンター, 2.公立陶生病院呼吸器・アレルギー内科, 3.国立病院機構鹿児島医療センター救急科, 4.信州大学医学部附属病院高度救命救急センター)
- MP-9-5 小児患者搬送におけるME機器一体型バックボードの使用経験
渡部雄介¹, 山本信章¹, 小林祐治¹, 秋山泰利¹, 井上貴昭², 西山和孝², 星野哲也², 松田繁², 神山洋一郎³(1.順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学科, 2.順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科, 3.順天堂大学医学部附属浦安病院麻酔科)
- MP-9-6 救急救命センターにおける人工呼吸器使用患者への災害対策について
秋山泰利¹, 山本信章¹, 渡部雄介¹, 豊間香澄¹, 小林祐治¹, 品田芳明¹, 神山洋一郎²(1.順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学科, 2.順天堂大学医学部附属浦安病院麻酔科)

10:00～11:10

一般演題 ポスター10 業務 (MP-10-1～MP-10-7)

座長 大西芳明(徳島大学病院ME管理センター)

- MP-10-1 臨床工学技士の夜勤体制導入による効果 - ICU臨床業務と意識の変化 -
山田幸恵¹, 橋詰英明¹, 新典雄¹, 加藤政雄¹, 湊口和恵², 石川隆志³, 湯澤由紀夫⁴, 西田修⁵(1.藤田保健衛生大学病院血液浄化センター, 2.藤田保健衛生大学病院看護部, 3.藤田保健衛生大学病院ME管理室, 4.藤田保健衛生大学医学部腎内科, 5.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)
- MP-10-2 ICU業務担当臨床工学技士の増員にむけて～手術室業務兼務の有用性について～
佐々木慎理¹, 高山綾²(1.川崎医科大学附属病院MEセンター, 2.川崎医療福祉大学臨床工学科)
- MP-10-3 3次救急の公的医療施設における臨床工学技士の業務の現状と今後の課題
坂名城尚(沖縄県立南部医療センター・こども医療センターMEセンター)
- MP-10-4 当院における臨床工学技士のICU業務内容調査
鈴木秀典, 森實雅司, 半田麻有佳, 相馬良一, 佐藤亜耶, 高橋雅雄(済生会横浜市東部病院臨床工学部)
- MP-10-5 当院におけるICU業務確立を目指して
城間悠子¹, 仲地勝弘¹, 親泊翔平², 前泊秀斗², 中野淳², 城間由加², 上門あきの², 翁長朝浩², 西島功², 伊波潔²
(1.特定医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院臨床工学科, 2.特定医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院集中治療部)
- MP-10-6 新入職集中治療室看護師に対する生命維持管理装置の研修体制
森實雅司, 半田麻有佳, 鈴木秀典, 相馬良一, 高橋雅雄(社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院臨床工学部)
- MP-10-7 当院の集中治療室における医療機器の研修に関する検討
永野雄一¹, 渡邊尚¹, 石井宣大¹, 半谷康子², 玉上淳子², 岩井健一³, 庄司和広³(1.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学科, 2.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター看護部, 3.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター麻酔科)

11:10～12:10

一般演題 ポスター11 機器、その他 (MP-11-1～MP-11-6)

座長 佐々木慎理(川崎医科大学附属病院MEセンター)

- MP-11-1 開心術患者の周術期管理への介入
齊藤保¹, 矢谷慎吾¹, 松平宗典², 立石奈己³, 松井望³(1.佐世保市立総合病院技局臨床工学科, 2.佐世保市立総合病院救命救急センター, 3.佐世保市立総合病院看護部集中治療室)

- MP-11-2 指示書を兼ねたチェックリストの有用性について
興津英和, 佐藤景二, 後藤彰, 大隅進, 興津健吾, 勝又恵美, 伊藤栄和(静岡市立静岡病院医療技術部臨床工学科)
- MP-11-3 非侵襲式循環動態モニターエスロンミニの使用経験
長見英治¹, 牧之内崇², 浅野達彦², 石橋聡², 李光浩², 山内雅人², 伊良部真一郎³, 森脇龍太郎³, 石川康朗²
(1.千葉労災病院臨床工学科, 2.千葉労災病院循環器内科, 3.千葉労災病院救急・集中治療部)
- MP-11-4 シリンジ交換時におけるニプロ社製シリンジポンプSP-80Wsの有効性
清水彩弥香¹, 関根蔵¹, 風間寿永¹, 金井尚之²(1.東京警察病院臨床工学科, 2.東京警察病院救急科)
- MP-11-5 当院におけるフロートラックセンサー使用基準の検討
菅田壘¹, 西上和宏², 上杉英之²(1.済生会熊本病院臨床工学部門, 2.済生会熊本病院集中治療室)
- MP-11-6 直線加圧測定方式を用いた非観血血圧測定における新たなアプローチ
中井浩司¹, 高橋幸子¹, 花隈淳¹, 中井愛子², 丹羽和哉², 平手裕市³(1.名古屋掖済会病院臨床工学科, 2.名古屋掖済会病院麻酔科, 3.中部大学生命健康科学部臨床工学科)

第3日目(3月1日)

ポスター / 機器展示会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール

10:00～11:00

一般演題 ポスター 12呼吸⑤ (MP-12-1～MP-12-6)

座長 中村充輝(奈良県立奈良病院診療部臨床工学室)

- MP-12-1 成人用人工呼吸回路Evaqua2の評価
佐藤広隆, 梶原吉春, 佐藤百合子, 中山雄司, 田中太郎, 石高拓也, 古川恭子, 佐藤有希子, 加納敬, 片瀬葉月
(東大和病院臨床工学科)
- MP-12-2 成人用人工呼吸器回路EvaquaおよびEvaqua2の性能評価
山口和哉¹, 門馬栄菜¹, 井汲康典¹, 高森修平¹, 中尾一俊¹, 森田慶久², 増田純一²(1.川崎市立川崎病院麻酔科臨床工学室, 2.川崎市立川崎病院麻酔科)
- MP-12-3 人工呼吸回路EVAQUA2とHELIXの使用経験および比較検討
中垣麻子¹, 佐藤敏朗¹, 坂口祥章¹, 岡本遼¹, 西山圭子², 小森万希子²(1.東京女子医科大学東医療センターME室, 2.東京女子医科大学東医療センター麻酔科)
- MP-12-4 ハミングVに使用する呼吸回路の検討
上野山充¹, 森本良平¹, 佐藤伸宏¹, 菊池佳峰¹, 木田博太¹, 平尾収², 西村信哉²(1.大阪府立急性期・総合医療センター臨床工学室, 2.大阪府立急性期・総合医療センター麻酔科)
- MP-12-5 高頻度人工呼吸器ベビーログVN500でのディスポ回路の検討
宗万孝次¹, 成田孝行¹, 佐藤貴彦¹, 藤田智²(1.旭川医科大学病院診療技術部臨床工学技術部門, 2.旭川医科大学救急医学講座)
- MP-12-6 ディスポーザブル人工呼吸器回路が高頻度振動換気を与える影響についての検討
木下春奈, 東條圭一, 藤井正実, 田村美沙紀, 中村恭子(北里大学病院MEセンター部)

11:00～11:50

一般演題 ポスター 13呼吸⑥ (MP-13-1～MP-13-5)

座長 陶山真一(旭川赤十字病院医療技術部臨床工学課)

- MP-13-1 各種デュアルヒータ型成人用ディスポーザブル呼吸回路の温湿度についての実験的検討 ―モデル肺を用いて―
富田敏司¹, 内山昭則², 藤野裕士²(1.大阪大学医学部附属病院MEサービス部, 2.大阪大学医学部附属病院集中治療部)
- MP-13-2 加温加湿器(MR410・MR850・VH1500)の性能評価
福島克也, 田中陽之介, 村石龍也, 竹田誠, 亘誠司, 高橋誠一郎(健和会大手町病院臨床工学センター)
- MP-13-3 形状が異なる機械式人工呼吸器回路用フィルタの比較検討
松田真太郎, 塚本功, 村杉浩, 秋元照美, 土屋陽平, 島田啓介, 早崎裕登, 坂下浩太(埼玉医科大学国際医療センターMEサービス部)
- MP-13-4 人工鼻を評価するための水分損失試験の有用性
吉野智哉¹, 堀尾福雄¹, 山本康裕²(1.JA愛知厚生連江南厚生病院臨床工学技術科, 2.JA愛知厚生連江南厚生病院麻酔科)
- MP-13-5 脳低体温療法時の人工呼吸器加温加湿器設定の再考
山本信章¹, 神山洋一郎², 久保田好洋¹, 小林祐治¹, 渡部雄介¹, 秋山泰利¹, 井上貴昭³, 西山和孝³, 星野哲也³, 松田繁³(1.順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学室, 2.順天堂大学医学部附属浦安病院麻酔科, 3.順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科)

リハビリテーション部門ポスター

第3日目 (3月1日)

ポスター / 機器展示会場 国立京都国際会館 1F アネックスホール

10:00～11:00

一般演題 ポスター1 リハビリテーション① (RP-1-1～RP-1-6)

座長 木村雅彦(北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法専攻)

- RP-1-1 ICUにおける早期リハビリテーション検討マニュアル導入と課題
安村大拙¹, 渡名喜拓也¹, 川端晋也¹, 高嶺藍¹, 里井陽介², 平敷好史², 普天間誠², 清水孝宏², 宮田裕史³, 伊波寛³(1. 地方独立行政法人那覇市立病院リハビリテーション室, 2. 地方独立行政法人那覇市立病院集中治療室, 3. 地方独立行政法人那覇市立病院麻酔科)
- RP-1-2 ICU患者の早期運動療法の訓練時間とリハビリテーション効果との関連性
渡辺伸一¹, 大野美香², 鈴木秀一²(1. 国立病院機構名古屋医療センターリハビリテーション科, 2. 国立病院機構名古屋医療センター集中治療科)
- RP-1-3 モビライゼーションプロトコルは挿管人工呼吸管理中の離床を促進する
岡田大輔¹, 山田浩二¹, 上杉英之², 西上和宏²(1. 済生会熊本病院リハビリテーション部, 2. 済生会熊本病院集中治療部)
- RP-1-4 破傷風患者に早期介入したリハビリテーションの一例
小浦方亮輔, 金達郎, 菅野美幸, 松本昭憲(太田綜合病院附属太田西ノ内病院リハビリテーションセンター)
- RP-1-5 大腿骨骨折にて手術と早期リハビリテーションが奏功した超高齢者5症例
弓掛秀樹, 小林直哉, 住田恭平, 坪和将司, 三浦義明, 佐藤裕, 菊池陽一郎, 花川志郎(岡山西大寺病院リハビリテーション部)
- RP-1-6 メディカルスタッフによるリハビリテーション開始提案は人工呼吸器装着下外傷患者の転帰を改善させるか?
皿田和宏¹, 對東俊介¹, 河江敏広¹, 関川清一², 和田美咲³, 板井純治⁴, 太田浩平⁴, 廣橋伸之⁴, 谷川政一⁴, 伊藤義広¹(1. 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門, 2. 広島大学大学院医歯薬保健学研究院, 3. 広島大学病院看護部高度救命救急センター, 4. 広島大学病院高度救命救急センター・ICU)

11:00～11:50

一般演題 ポスター2 リハビリテーション② (RP-2-1～RP-2-5)

座長 山内康太(製鉄記念八幡病院リハビリテーション部)

- RP-2-1 当院ICUにおけるリハビリテーションの実施状況と成果
工藤弦¹, 堀部達也¹, 笕慎吾¹, 菊地剛¹, 斎藤岳志¹, 猪飼哲夫², 福田聡史³, 小谷透³(1. 東京女子医科大学リハビリテーション部, 2. 東京女子医科大学リハビリテーション科, 3. 東京女子医科大学麻酔科学教室集中治療部)
- RP-2-2 当院の救命救急センター病棟(ICU・HCU病棟)における専任理学療法士の関わり
武田陽平¹, 山崎優¹, 松村雅史¹, 小野川愛², 高橋知左², 尾谷智加², 西山謹吾³(1. 高知赤十字病院リハビリテーション科, 2. 高知赤十字病院救命救急センター病棟, 3. 高知赤十字病院救命救急センター・救急部)
- RP-2-3 ICU多職種カンファレンスでの鎮静管理の検討による、早期能動的リハビリテーションへの取り組み
岸本剛志¹, 田中秀樹¹, 高木麻衣², 安部恭子², 上野弘恵², 井上健²(1. 国立病院機構関門医療センターリハビリテーション科, 2. 国立病院機構関門医療センター集中治療室)
- RP-2-4 高機能ベッドを利用した早期リハビリテーションがADLに与える影響
堀部達也¹, 工藤弦¹, 笕慎吾¹, 菊地剛¹, 小谷透², 福田聡史², 猪飼哲夫³(1. 東京女子医科大学リハビリテーション部, 2. 東京女子医科大学麻酔科学教室集中治療部, 3. 東京女子医科大学リハビリテーション科)
- RP-2-5 人工呼吸管理症例の歩行練習適応基準の安全性検討
西村真人¹, 篠崎正博², 鍛冶有登², 大賀文³, 新福留理恵³(1. 岸和田徳洲会病院リハビリテーション科, 2. 岸和田徳洲会病院救命救急センター, 3. 岸和田徳洲会病院看護部)

10:00～11:00

一般演題 ポスター3 リハビリテーション③ (RP-3-1～RP-3-6)

座長 飯田有輝(愛知厚生連海南病院リハビリテーション科)

- RP-3-1 CCUにおける急性期心不全のリハビリテーションプログラムの特徴 ―一般病棟との比較―
下雅意崇亨, 川田稔(公益財団法人倉敷中央病院リハビリテーションセンター)
- RP-3-2 長期人工呼吸器管理を要した心臓外科術後患者に対する術後早期理学療法と身体機能の検討
小菌愛夏, 齊藤正和(公財)日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院理学療法科)
- RP-3-3 心臓外科手術後の誤嚥性肺炎に対し前傾端座位が有効であった一症例
中島真治¹, 松尾知洋¹, 大塚翔太¹, 森沢知之²(1. 心臓病センター榊原病院リハビリテーション室, 2. 兵庫医療大学リハビリテーション学部)
- RP-3-4 心臓血管外科術後のICUにおけるせん妄管理と予後の検討
大川晶未¹, 飯田有輝¹, 伊藤武久¹, 坪内宏樹², 水落雄一朗²(1. 愛知厚生連海南病院リハビリテーション科, 2. 愛知厚生連海南病院集中治療部・救急部・麻酔科)

- RP-3-5 ICU心リハ介入は長期ICU管理を要した心臓外科術後患者の下腿骨格筋萎縮を軽減する
清水美帆¹, 山田純生², 貝沼関志³, 西脇公俊⁴, 碓氷章彦⁵(1.名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部, 2.名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻, 3.名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部, 4.名古屋大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生医学講座, 5.名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科学)
- RP-3-6 胸腹部外科術後の離床時における収縮期血圧と自覚症状との関連性
花田匡利¹, 神津玲¹, 俵祐一², 及川真人¹, 三尾直樹¹, 森本陽介¹, 千住秀明³(1.長崎大学病院リハビリテーション部, 2.済生会長崎病院リハビリテーション部, 3.長崎大学大学院医歯薬学総合研究科リハビリテーション科学)

11:00～11:50

一般演題 ポスター4 リハビリテーション④ (RP-4-1～RP-4-5)

座長 長谷川聡(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

- RP-4-1 救命救急センターに入院した敗血症患者の下肢筋力・ADLの回復に関する検討
川田稔, 下雅意崇亨(公益財団法人倉敷中央病院リハビリテーションセンター)
- RP-4-2 発作性高血圧による肺胞出血から急性呼吸不全となるも排痰, 早期離床に成功した一例
西原浩真¹, 岩田健太郎¹, 影山智広¹, 前川利雄¹, 玉井浩二², 浅香葉子³, 富井啓介²(1.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部, 2.神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科, 3.神戸市立医療センター中央市民病院救急部)
- RP-4-3 低侵襲心臓手術後の再膨張性肺水腫症例に対する呼吸理学療法の経験
松尾知洋¹, 中島真治¹, 大塚翔太¹, 森沢知之²(1.心臓病センター榊原病院リハビリテーション室, 2.兵庫医療大学リハビリテーション学部)
- RP-4-4 Ventilator Associated Eventsの発生がICU入室患者に与える影響
金達郎, 菅野美幸, 小浦方亮輔, 松本昭憲(太田総合病院附属太田西ノ内病院リハビリテーションセンター)
- RP-4-5 甲状腺クリーゼ治療経過中に生じたミオパチー2症例に対する理学療法の経験
宮平宗勝¹, 喜納俊介¹, 井村久美子², 芹田晃道³(1.社会医療法人敬愛会中頭病院リハビリテーション部, 2.社会医療法人敬愛会中頭病院看護部HCU, 3.社会医療法人敬愛会中頭病院看護部キャリア開発室)

[International Session]

International Symposium

1st day (February 27)

15 : 20 ~ 17 : 20 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

International Symposium 1 Treatment of Strategies for ARDS

Chair Kaneyuki Kawamae (Department of Anesthesiology, Faculty of Medicine Yamagata University, Japan)
Jae Yeol Kim (Department of Internal Medicine, Chung-Ang University College of Medicine, Korea)

- IS-1-1 Management of patient with ARDS in Thailand
Chanchai Sittipunt (Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine Chulalongkorn University, Thailand)
- IS-1-2 ARDS Management in Indonesia
Bambang Wahjuprajitno (Dept of Anesthesiology & Reanimation Faculty of Medicine, University of Airlangga Intensive Care Unit, Dr. Soetomo General Hospital, Indonesia)
- IS-1-3 Treatment strategies for acute respiratory distress syndrome in Korea
Sang-Min Lee (Department of Internal Medicine, Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Seoul National University College of Medicine, Korea)
- IS-1-4 Treatment strategies for acute respiratory distress syndrome
Taiga Itagaki, Masaji Nishimura (Emergency and Critical Care Medicine, The University of Tokushima Graduate School, Japan)

2nd day (February 28)

9 : 30 ~ 11 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

International Symposium 2 Blood purification for acute kidney injury

Chair Yasuyuki Kakihana (Kagoshima University Hospital, Emergency and Intensive Care Medicine, Japan)
Jong Hun Jun (Department of Pain and Anesthesiology, Hanyang University College of Medicine, Korea)

- IS-2-1 Blood purification for acute kidney injury. When to start and how to monitor blood purification
Ranistha Ratanarat (Division of Critical Care Medicine, Department of Medicine, Faculty of Medicine Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand)
- IS-2-2 Blood purification for acute kidney injury. When do you start ?
Sang-Bum Hong (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, Univ. of Ulsan College of Medicine, Korea)
- IS-2-3 Blood purification for acute kidney injury. When do you start and how do you monitor ?
Moritoki Egi (Department of Intensive Care, Okayama University Hospital, Japan)

3rd day (March 1)

10 : 00 ~ 12 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

International Symposium 3 Manpower and Medical Economy

Chair Nobuo Fuke (Emergency and Intensive Care Center, Teikyo University Chiba Medical Center, Japan)
Dong Chan Kim (Anesthesiology & Pain Medicine, Chonbuk National University Medical School & Hospital, Korea)

- IS-3-1 A Critical Look at Critical Care Medicine in Thailand: Current Status of Critical Care Manpower and Future Perspective
Boonsong Patjanasoontorn (Department of Medicine/Division of Critical Care Medicine, Faculty of Medicine, Khon Kaen University, Thailand)
- IS-3-2 Manpower and economy in ICU, an Indonesian perspective
Oloan E. Tampubolon (Intensive Care Unit, SILOAM Hospitals LIPPO Village Karawaci, Indonesia)
- IS-3-3 Manpower and medical economy in Korean ICU
Sanghyun Kwak, Jeong CW, Bae HB, Lee SH (Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine, Chonnam National University Medical School and Hospital, Korea)
- IS-3-4 Manpower and Medical Economy in Japan ICU
Hiroshi Morisaki¹, Nobuaki Shime², Kenshi Hayashida³, Soichiro Nagamatsu⁴, Kazuto Yamashita⁵, The Members of Social Insurance Study Committee and Working Group on Manpower Investigation of JSICM (1. Department of Anesthesiology, Keio University School of Medicine, Japan. 2. Department of Emergency and Critical Care Medicine, National Hospital Organization, Kyoto Medical Center, Japan. 3. School of Health Sciences, University of Occupational and Environmental Health, Japan. 4. Department of Epidemiology and Epidemiology Research, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan. 5. Department of Healthcare Economics and Quality Management, Kyoto University Graduate School of Medicine, Japan)

International Lecture

2nd day (February 28)

11 : 00 ~ 11 : 30 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

IL-1 The strategies for prevention and thrombolytic therapy of VTE in ICU

Yang-Ki Kim (Department of Respiratory Medicine / Thrombosis Clinic, Soonchunhyang University College of Medicine, Korea)

Chair Kazumasa Yasumoto (Hitachi Medical Center, Japan)

11 : 30 ~ 12 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

IL-2 Accreditation of Hospital Emergency and Critical Care Capabilities in Taiwan

Chih-hsien Chi, Hsin-I Shih (Department of Emergency Medicine, National Cheng Kung University, Taiwan)

Chair Masahiro Shinozaki (Department of Emergency & Critical Care Medicine, Kishiwada Tokushukai Hospital, Japan)

3rd day (March 1)

9 : 00 ~ 9 : 30 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

IL-3 End-of-Life Care of ICIs in Eastern Asia

Younsuck Koh (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan, Korea)

Chair Keiji Kumon (Department of Emergency & Critical Care Medicine, Nara Hospital, Kinki University Faculty of Medicine, Japan)

9 : 30 ~ 10 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

IL-4 Monitoring of blood coagulation and fibrinolysis in Thai ICU

Ponlapat Rojnuckarin (Department of Medicine, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University and King Chulalongkorn Memorial Hospital, Thailand)

Chair Tomohiko Masuno (Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, Japan)

Free Paper

1st day (February 27)

9 : 50 ~ 11 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 1 Insult and Organ Protection (Basic)

Chair Hideo Inaba (Department of Emergency Medical Science, Kanazawa University Graduate School of Medicine, Japan)

Dong-Chan Kim (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Chonbuk National University Medical School and Hospital, Korea)

- IO-1-1 The Temporal Changes of Tissue Oxygen Saturation (StO₂) and Central Venous Oxygen Saturation (ScvO₂) During Sepsis/Septic Shock Resuscitation
Chairat Permpikul, Chutima Chiranakorn (Critical Care Division, Department of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand)
- IO-1-2 ANP attenuates contrast-induced nephropathy in rats
Hnin Si May Khin¹, Miniwan Tulafu¹, Shinya Abe², Chieko Mitaka¹ (1.Critical Care Medicine, Tokyo Medical and Dental University Graduate School, Japan, 2.Comprehensive Pathology, Tokyo Medical and Dental University Graduate School, Japan)
- IO-1-3 Role of HSP40 on acute kidney injury in hemorrhagic shock using IL-10 knockout mice
Yoshinori Murao¹, Takami Nakao², Noriko Tsuda², Ikuo Ota², Mitsuhide Hamaguchi², Katsuyuki Maruyama², Toshifumi Uejima², Takao Sato² (1.Critical Care Medical Center, Kinki University Faculty of Medicine, Japan, 2.Kinki University, Japan)
- IO-1-4 Only Ringer's solution, neither 0.9% NaCl nor lactated Ringer, protected the hypovolemic damage of human proximal renal tubule cells in vitro
Yen Ta Huang¹, Lee Ying Soo¹, Guan Jin Ho¹, Chuan Chu Cheng², Ted H. Chiu³, Pei Chun Lai⁴ (1.Surgical Intensive Care Unit, Buddhist Tzu Chi General Hospital, Taiwan, 2.Department of Medical Research, Buddhist Tzu Chi General Hospital, Taiwan, 3.Department of Pharmacology and Toxicology, Tzu Chi University, Taiwan, 4.Department of Pediatrics, Buddhist Tzu Chi General Hospital, Taiwan)
- IO-1-5 Protective effect of biliverdin on acute lung injury induced by hemorrhagic shock and resuscitation
Junko Kosaka¹, Toru Takahashi², Hiroko Shimizu³, Susumu Kawanishi⁴, Hiroshi Morimatsu³ (1.Department of Anesthesiology & Intensive Care Medicine, Kawasaki Medical School Hospital, Japan, 2.Faculty of Health and Welfare Science, Okayama Prefectural University, Japan, 3.Department of Anesthesiology and Resuscitology, Okayama University Graduated School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Japan, 4.Emergency and Critical Care Center, Tsuyama Central Hospital, Japan)
- IO-1-6 The protective effect of α 1-antitrypsin on lipopolysaccharide-induced sepsis in mice
Suk-Kyung Hong¹, Geundoo Jang² (1.Department of Surgery/Division of Trauma and Critical Care, University of Ulsan College of Medicine/Asan Medical Center, Korea, 2.Department of Internal Medicine, Hallym University Medical Center, Korea)
- IO-1-7 Intracellular Ca²⁺ Transient Phase III can be Evaluated by Half-Logistic Function Model in Isolated Aequorin-Injected Mouse Left Ventricular Papillary Muscle
Ju Mizuno¹, Eiichi Inada¹, Mikiya Otsuji², Takeshi Yokoyama³, Hideko Arita⁴, Kazuo Hanaoka⁴ (1.Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Juntendo University School of Medicine, Japan, 2.Department of Molecular Preventive Medicine, Faculty of Medicine, University of Tokyo, Building of Education and Research, Japan, 3.Department of Dental Anesthesiology, Faculty of Dental Science, Kyushu University, Japan, 4.Department of Anesthesiology and Pain Relief Center, JR Tokyo General Hospital, Japan)

11 : 00 ~ 12 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 2 CNS

Chair Teiji Sawa (Department of Anesthesiology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan)

June Huh (Department of Pediatrics, Sungkyunkwan University School of Medicine, Samsung Medical Center, Korea)

- IO-2-1 Current situation of neurocritical care in Japan
Hitoshi Kobata (Osaka Mishima Emergency Critical Center, Japan)
- IO-2-2 Biomarkers in Mild Traumatic Brain Injury (TBI) in Children: A Systematic Review
Kentaro Ide¹, Vinay Kukreti¹, Cheri Nickel¹, Jura Augustinavicius¹, Jamie Hutchison¹, Anne-Marie Guerguerian¹ (1.Department of Critical Care Medicine, The Hospital for Sick Children, Canada, 2.Department of Critical Care and Anesthesia, The National Center for Child Health and Development, Japan)
- IO-2-3 The feasibility of ocular ultrasonography for increased intracranial pressure in adult patients with brain lesions
Jin Sue Jeon¹, Hogeol Ryu², Hannah Lee² (1.Department of Neurosurgery, Seoul National University Hospital, Korea, 2.Department of Anesthesiology, Seoul National University Hospital, Korea)

- IO-2-4 A new method of continuous monitoring of head of bed elevation in intensive care unit
Jae Hwa Cho¹, Ki young Kyeong², Seukhyun Kim², Young Sang Lee², Junhwan Lim³, Jeongmin Lee³ (1.Department of Internal Medicine, School of Medicine, Inha University, Korea, 2.College of Information Technology, Inha University, Korea, 3.Department of Internal Medicine, Inha University Hospital, Korea)
- IO-2-5 The Association Between Serum Biomarkers and Functional Outcome in Children with Traumatic Brain Injury (TBI)
Kentaro Ide^{1,2}, Helena Frndova¹, Judith Van Huysse¹, Hayley Craig-Barnes¹, Martin Post¹, Jamie Hutchison¹
(1.Department of Critical Care Medicine, The Hospital for Sick Children, Canada, 2.Department of Critical Care and Anesthesia, The National Center for Child Health and Development, Japan)
- IO-2-6 A retrospective comparison of the Intra Aortic Balloon Pumping Catheter insertion at Kyoto Medical Center
Hiroyuki Tanaka, Nobuaki Shime, Nozomu Sasahashi, Satoru Beppu, Kosuke Yoshida, Kyo Inoue, Takahiko Tutumi (Department of Emergency Medicine, Kyoto Medical Center, Japan)

13 : 20 ~ 14 : 10 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 3 Post Resuscitation Neurological Outcome

Chair Naoki Shimizu (Department of Pediatric Emergency and Critical Care Medicine, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Japan)

Gee Young Suh (Department of Critical Care Medicine, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea)

- IO-3-1 Neurologic Outcome of Patients with Cardiopulmonary arrest after Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation
Jeong-Am Ryu¹, Gee Young Suh¹, Chi-Min Park¹, Kyeongman Jeon¹, Jeong Hoon Yang¹, Chi Ryang Chung¹, Yang Hyun Cho² (1.Department of Critical Care Medicine, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea, 2.Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea)
- IO-3-2 GCS score and Neurologic Outcomes in Patients Treated with Hypothermia after PCAS: J-PULSE-Hypo Registry
Yasuhiro Kuroda¹, Kenta Kawakita¹, Ken Nagao², Naohiro Yonemoto³, Hiroyuki Yokoyama⁴, Hiroshi Nonogi⁵, Investigators J-PULSE-Hypo (1.Department of Emergency, Disaster, and Critical Care Medicine, Kagawa University, Faculty of Medicine, Japan, 2.Department of Cardiology, Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care, Surugadai Nihon University Hospital, Japan, 3.Department of Epidemiology and Biostatistics, National Center of Neurology and Psychiatry, Japan, 4.Department of Cardiovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Japan, 5.Shizuoka General Hospital, Japan)
- IO-3-3 Problems in Pediatric Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation
Yuki Enomoto, Takashi Muguruma, Shingo Adachi, Chiaki Toida, Takashi Tagaya (Division of Acute and Critical Care, National Medical Center for Children and Mothers, Japan)
- IO-3-4 Withdrawn
- IO-3-5 What is the Mechanism of 5-fluorouracil Cardiotoxicity; A Case of Resuscitation from Cardiac Arrest
Yasuhiro Nakamura¹, Masanari Kuwabara¹, Haruo Mitani¹, Yasuhiro Tomita¹, Rieko Ishimura¹, Takahide Kodama¹, Manabu Moriya¹, Yoh Fujimoto¹, Harushi Udagawa², Sugao Ishiwata¹, Minoru Ono¹ (1.Department of Cardiology, Toranomon Hospital, Japan, 2.Department of Gastroenterological Surgery, Toranomon Hospital, Japan)

14 : 10 ~ 15 : 20 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 4 Airway, Respiration

Chair Makoto Ozaki (Department of Anesthesiology and Intensive Care, Tokyo Women's Medical University, Japan)

Ho Geol Ryu (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Seoul National University Hospital, Korea)

- IO-4-1 Video-assisted Endotracheal Intubation for Patients with Limited Cervical Mobility
Sung-Hoon Kim, Hwa-Mi Lee, Eun-Ha Suk, Jai-Hyun Hwang (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, University of Ulsan College of Medicine, Korea)
- IO-4-2 Comparison of the Airway ScopeTM and Airway Exchange Catheter for tracheal tube exchange in infants
Akihito Tampo, Akihiro Suzuki, Daisuke Kawata, Naohiro Kokita, Satoshi Fujita (Department of Emergency Medicine, Asahikawa Medical University, Japan)
- IO-4-3 Tracheostomy open the way to the future for sever pediatric patients
Norihiko Tsuboi¹, Takashi Muguruma¹, Chiaki Toida¹, Masashi Miyamoto¹, Nao Nishimura¹, Noriko Morimoto²
(1.Division of Acute and Critical Care, National Medical Center for Children and Mothers, Japan, 2.Division of Otorhinolaryngology, National Medical Center for Children and Mothers, Japan)
- IO-4-4 Comparison of related factors between unplanned and planned extubation
Jong-Yeon Park¹, Byeong Yeon Yu¹, Song Jo¹, Sung Soo Lee¹, Young Sin Kim¹, Sun Hee Kim¹, Oh Youn Kim¹, Youn Hee Kang² (1.Department of Nursing, Ewha Womans University Mokdong Hospital, Korea, 2.Division of Nursing Science, Ewha Womans University, Korea)
- IO-4-5 Laryngoscopic evaluation of postextubation hoarseness: A single center prospective study
Hiroshi Okamoto¹, Takashi Fujihara², Aiko Oka³, Toshio Fukuoka¹ (1.Department of Emergency Medicine, Kurashiki Central Hospital, Japan, 2.Department of Otolaryngology, Ehime University Hospital, Japan, 3.Department of Otolaryngology, Kurashiki Central Hospital, Japan)

- IO-4-6 A high-flow nasal cannula may prevent severe hypoxia during emergency intubation in the ICU
Hideyuki Mouri, Michio Nagashima, Hiroshi Koyama, Tetsuya Komuro, Tetsu Ohnuma, Yusuke Iizuka, Tomoyuki Masuyama, Mizuki Sato, Masamitsu Sanui (Department of Anesthesiology and Critical Care, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Japan)
- IO-4-7 Comparison of the efficacy of HFNC vs NIV in post-extubation respiratory failure
Jung-Wan Yoo¹, Chae-Man Lim¹, Ara Synn¹, Je Hyung Kim², Sang Bum Hong¹, Younsuck Koh¹ (1.Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, College of Medicine, University of Ulsan, Asan Medical Center, Korea, 2.Department of Pulmonary Medicine, Korea University, College of Medicine, Korea)

2nd day (February 28)

14 : 00 ~ 15 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 5 Prognosis

Chair Hideaki Tsuchida (Department of Anesthesiology and Perioperative Medicine, Kanazawa Medical University, Japan)
Sang-Min Lee (Department of Internal Medicine, Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Seoul National University College of Medicine, Korea)

- IO-5-1 Long-term outcomes after intensive care
Sehee Na, Cheung Soo Shin (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Anesthesia and Pain Research Institute, Yonsei University College of Medicine, Korea)
- IO-5-2 Comparison of APACHE II, IV, SAPS 3, and MELD to predict early mortality after liver transplantation
Hannah Lee, Hogeol Ryu (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Seoul National University, Korea)
- IO-5-3 A Meta-Analysis of Pulmonary Function with Pulsatile Perfusion in Cardiac Surgery
Choon Hak Lim, Myung Ji Nam, Hye Won Shin, Kyung Sun, Hye Won Lee, Ji Sung Lee, Hyun Jung Kim (Anesthesiology and Pain Medicine, Korea University Medical Center, Korea)
- IO-5-4 Drug resistance strains worsen ventilator associated pneumonia outcomes in surgical intensive care unit: Five year surveillance
Kaweesak Chittawatanarat, Wutthipong Jaipakdee (Department of Surgery, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand)
- IO-5-5 Introduction of prevention bundles for nonocclusive mesenteric ischemia
Mizuki Sato, Masamitsu Sanui, Hiroshi Koyama, Tetsuya Komuro, Hideyuki Mouri, Tetsu Onuma, Tomoyuki Masuyama, Fumitaka Yanase (Department of Anesthesiology and Critical Care, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Japan)
- IO-5-6 Does spontaneous breathing during total hip arthroplasty reduce intraoperative blood loss ?
Satoshi Kimura, Kazuyuki Matsuda, Satoshi Mitsui, Shinji Kobashi, Fumitoshi Kanagawa, Hidehiko Yatsuzuka (Department of Anesthesiology, Fukuyama Medical Center, Japan)

15 : 00 ~ 16 : 00 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 6 Delirium etc

Chair Jiro Kurata (Department of Anesthesiology and Pain Clinic, Tokyo Medical and Dental University Hospital of Medicine, Japan)
Yang-Ki Kim (Department of Respiratory Medicine / Thrombosis Clinic, Soonchunhyang University College of Medicine, Korea)

- IO-6-1 Delirium in ICU and its Relevance to Hospital Stay and Mortality in a Korean General Hospital
Injung Sohn¹, Jooyoung Oh¹, Cheung Soo Shin², Se Hee Na², Hyung-Jun Yoon¹, Jin Young Park¹ (1.Department of Psychiatry, Yonsei University College of Medicine, Gangnam Severance Hospital, Korea, 2.Department of Anesthesiology, Yonsei University College of Medicine, Gangnam Severance Hospital, Korea)
- IO-6-2 Withdrawn
- IO-6-3 The impact of lymphopenia and monocytopenia on delirium in ICU patients
Shigeaki Inoue¹, Eduard E. Vasilevskis², Pratik P. Pandharipande³, Timothy D. Girard⁴, Amy J. Graves⁵, Jennifer Thompson⁵, Ayumi Shintani⁵, Wesley E. Ely⁴, Sadaki Inokuchi¹ (1.Department of Emergency and Critical Care Medicine, Tokai University School of Medicine, Japan, 2.Division of General Internal Medicine and Public Health, Department of Medicine, Vanderbilt University School of Medicine, USA, 3.Department of Anesthesiology, Vanderbilt University School of Medicine, USA, 4.Division of Allergy/Pulmonary/Critical Care Medicine, Department of Medicine, Vanderbilt University School of Medicine, USA, 5.Department of Biostatistics, Vanderbilt University School of Medicine, USA)
- IO-6-4 Incidence and risk factors of postoperative delirium in liver transplant patients
Seokha Yoo, Hogeol Ryu, Hannah Lee, Yongjae Yoo (Department of Anesthesiology, Seoul National University Hospital, Korea)

- IO-6-5 Relationship between Anxiety and Pain of Critically ill Medical or Surgical Patients in ICU
Jooung Oh¹, Jung-Hyun Sohn¹, Cheung Soo Shin², Se Hee Na², Hyung-Jun Yoon¹, Jin Young Park¹ (1.Department of Psychiatry, Yonsei University College of Medicine, Gangnam Severance Hospital, Korea, 2.Department of Anesthesiology, Yonsei University College of Medicine, Gangnam Severance Hospital, Korea)
- IO-6-6 Effects of remifentanyl and dexmedetomidine to the postoperative peak values in blood sugar and serum lactate after cardiovascular surgery
Takao Yano, Shin Onizuka (Department of Anesthesiology, Miyazaki Prefectural Nobeoka Hospital, Japan)
- IO-6-7 Comparison of combined general and epidural anesthesia versus general anesthesia on diaphragmatic function after laparoscopic prostatectomy
Sungwon Na (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Yonsei University College of Medicine, Korea)

16 : 00 ~ 17 : 10 Room 8 (Kyoto International Conference Center 1F Room C-1)

Free Paper 7 Infection

Chair Atsuko Kobayashi (Clinical Laboratory, Takarazuka City Hospital, Japan)

June Dong Park (Department of Pediatrics, Seoul National University College of Medicine, Korea)

- IO-7-1 Should we keep vancomycin trough concentrations at $\geq 15\text{mg/L}$?
Nobuaki Shime, Miya Bokui (Department of Emergency and Critical Care Medicine, National Hospital Organization Kyoto Medical Center, Japan)
- IO-7-2 The Current Level of HAP/VAP Treatment in Adults ICUs - A Prospective Cohort Observational Study
Youjin Chang¹, Jae Young Moon², Young-Jae Cho³, Sang-Min Lee⁴, Kyeongman Jeon⁵, Seok Chan Kim⁶, Young Sam Kim⁷, Yong Pil Chong⁸, Yang Soo Kim⁸, Sang-Bum Hong¹ (1.Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Korea, 2.Department of Internal Medicine, Chungnam National University Hospital, Chungnam National University, Korea, 3.Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Department of Internal Medicine, Seoul National University Bundang Hospital, Seoul National University College of Medicine, Korea, 4.Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Department of Internal Medicine, Seoul National University Hospital, Seoul National University College of Medicine, Korea, 5.Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Department of Medicine, Samsung Medical Center, Sunkyunkwan University School of Medicine, Korea, 6.Division of Pulmonology, Department of Internal Medicine, St. Mary's Hospital, The Catholic University of Korea, Korea, 7.Division of Pulmonology, Department of Internal Medicine, Severance Hospital, Yonsei University College of Medicine, Korea, 8.Department of Infectious Diseases, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Korea)
- IO-7-3 Fatal infection caused by methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* sequence type (ST) 398
Hiroshi Koyama¹, Tomoo Saga², Yoshikazu Ishii², Kazuhiro Tateda², Mizuki Sato¹, Tomoyuki Masuyama¹, Yusuke Iizuka¹, Tetsu Ohnuma¹, Hideyuki Mouri¹, Tetsuya Komuro¹, Masamitsu Sanui¹ (1.Department of Anesthesiology and Critical Care, Jichi Medical University, Saitama Medical Center, Japan, 2.Department of Microbiology and Infectious Diseases, Toho University School of Medicine, Japan)
- IO-7-4 Mycotic abdominal aortic aneurysm caused by *Bacteroides thetaiotaomicron* and *Acinetobacter Iwoffii*, a first case in Korea
Hee Jung Yoon (Division of Infectious Diseases, Department of Internal Medicine, Eulji University College of Medicine, Eulji University Hospital, Korea)
- IO-7-5 Recurrent pneumonia associated with oil pulling
Jin Se Kim¹, Jae Woo Jung², Jae Chol Choi², Jong Wook Shin², In Won Park², Byoung Whui Choi², Jae Yeol Kim² (1.Department of Internal Medicine, Chung-Ang University College of Medicine, Korea, 2.Chung-Ang University College of Medicine, Korea)
- IO-7-6 Disseminated scedosporium apiospermum infection in recipients of freshwater near drowning brain dead donor
Young-Joo Lee¹, Jin Park², Gill-Soon Yang³ (1.Department of Anesthesiology, University of Ewha Woman's, Korea, 2.Department of Neurology, University of Ewha Woman's Mokdong Hospital, Korea, 3.Nursing Department, University of Ewha Woman's Mokdong Hospital, Korea)
- IO-7-7 Clinical characteristics of Yamakagashi (*Rhabdophis tigrinus*) bites: Results from a national survey, 2000–2013
Toru Hifumi¹, Akihiko Yamamoto², Atsushi Sakai³, Yuko Abe⁴, Kenya Kawakita⁴, Masanobu Hagiike⁴, Yasuhiro Kuroda⁴, Yuichi Koido⁵ (1. Emergency Medical Center, Kagawa University Hospital, Japan, 2. National Institute for Infectious Disease, Japan, 3. Japan Snake Center, Japan, 4. Kagawa University Hospital, Japan, 5. National Disaster Medical Center, Japan)

Chair Michiaki Yamakage (Department of Anesthesiology, Sapporo Medical University, Japan)

Sang-Bum Hong (Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Korea)

- IO-8-1 How low is too low ? The lower limit of intensity to control uremia during CRRT
Hideto Yasuda^{1,4}, Shigehiko Uchino^{2,4}, Masamitsu Sanui^{3,4} (1.Department of Intensive Care Medicine, Kameda Medical Center, Japan 2.Intensive Care Unit, Department of Anesthesiology, Jikei University School of Medicine, Japan 3.Intensive Care Unit, Department of Anesthesiology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Japan 4.Japanese Society of Education for Physicians and Trainees in Intensive Care, Japan)
- IO-8-2 Contrast associated acute kidney injury by RIFLE criteria and outcome in ICU patients
Shin Ok Koh, Sungwon Na, Myoung Hwa Kim, Jin Sun Cho (Division of Critical Care Medicine, Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Yonsei University of College of Medicine, Korea)
- IO-8-3 Prediction of Contrast-Induced Nephropathy with Atrial Fibrillation in AMI Patients
Jin Wi, Dong-Ho Shin, Jung-Sun Kim, Byeong-Keuk Kim, Young-Guk Ko, Donghoon Choi, Myeong-Ki Hong, Yangsoo Jang (Yonsei Cardiovascular Research Institute, Division of Cardiology, Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University Health System, Korea)
- IO-8-4 Novel Early Predictor of Acute Kidney Injury After Open Heart Surgery Under Cardiopulmonary Bypass Using Plasma Neutrophil Gelatinase-Associated Lipocalin
Woo Surng Lee¹, Hyun Keun Chee², Je Kyoung Shin², Jun Seok Kim², Song Am Lee², Yo Han Kim¹ (1.Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, School of Medicine, Konkuk University, Konkuk University Chungju Hospital, Korea, 2.Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, School of Medicine, Konkuk University, Konkuk University Seoul Hospital, Korea)
- IO-8-5 A case report of successful shunt PTA in an aged compromised patient with enteral feeding
Tomohisa Yokoyama, Michioki Tano, Kumiko Onda, Yoshinori Ariyasu, Keisuke Koyama, Hayao Uchida, Kazuo Ohashi, Naoya Kobayash (Department of Blood Purification Center, Okayama Saidaiji Hospital, Japan)

Poster

1st day (February 27)

15 : 20 ~ 16 : 10 Poster/Exhibition Room (Kyoto International Conference Center 1F Hall Annex)

Poster 1 Insult and Organ Protection (Clinical)

Chair Toshiaki Nishikawa (Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine, Akita University Graduate School of Medicine, Japan)

- IP-1-1 Efficacy of high-volume hemofiltration + polymixin direct-hemoperfusion for pediatric septic shock
Shotaro Matsumoto, Takashi Muguruma, Kazuhiro Aoki, Mafumi Shinohara, Masanori Tani (Division of Critical Care Medicine, National Medical Center for Children and Mothers, Japan)
- IP-1-2 Effect of a selective neutrophil elastase inhibitor, sivelestat, on pulmonary vascular permeability
Takashi Tagami^{1,4}, Ryoichi Tosa^{2,4}, Mariko Omura^{2,4}, Hiroyuki Yokota^{1,4}, Shigeki Kushimoto^{3,4} (1. Departments of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, Japan, 2. Department of Emergency and Critical Care Medicine, Aizu Chuo Hospital, Japan, 3. Division of Emergency Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan, 4. PiCCO Pulmonary Edema Study Group)
- IP-1-3 Prolonged weakness in a patient with hyperthyroidism and sepsis
Tomoyuki Masuyama¹, Masamitsu Sanui¹, Yusuke Iizuka¹, Tetsu Ohnuma¹, Tetsuya Komuro¹, Hideyuki Mouri¹, Hiroshi Koyama¹, Mizuki Sato¹, Michio Nagashima¹, Fumitaka Yanase¹, Alan T. Lefor² (1. Department of Anesthesiology and Critical Care, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Japan, 2. Jichi Medical University, Japan)
- IP-1-4 Intracranial Arterial Stenosis and Related Clinical Risk Factors in Acute Stroke Patients
Jun Hong Lee¹, Sung Hee Hwang², Jae Hyun Park³ (1. Department of Neurology, National Health Insurance Service Ilsan Hospital, Korea, 2. Department of Neurology, Hallym University Hospital, Korea, 3. Department of Neurology, Inje University Hospital, Korea)
- IP-1-5 Relationship between acute hyperglycemia and hemorrhagic myocardial infarction after reperfusion
Koichi Tamita, Atsushi Yamamuro, Toshiharu Iwamura, Mika Maeda, Takehiro Tokuda, Eiichi Hyodo (Department of Cardiovascular Medicine, Nishinomiya Watanabe Cardiovascular Center, Japan)

16 : 20 ~ 17 : 30 Poster/Exhibition Room (Kyoto International Conference Center 1F Hall Annex)

Poster 2 Nutrition

Chair Kosaku Kinoshita (Division of Emergency and Critical Care Medicine, Department of Acute Medicine, Nihon University School of Medicine, Japan)

- IP-2-1 The association between protein intake and serum urea nitrogen/creatinine ratio
Tetsuya Komuro, Masamitsu Sanui, Hideyuki Mouri, Tetsu Ohnuma, Michio Nagashima, Hiroshi Koyama, Tomoyuki Masuyama, Mizuki Sato, Yusuke Iizuka, Ai Kawamura, Fumitaka Yanase (Department of Anesthesiology and Critical Care, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Japan)
- IP-2-2 Usefulness of intravenous carnitine infusion to maintenance hemodialysis patients
Mitsuhiro Okada¹, Michiaki Tano², Kumiko Onda², Tomohisa Yokoyama², Akiko Nawa¹, Michihiro Yokota¹, Kazuo Ohashi², Suemi Kondo³, Yoichiro Kikuchi⁴, Naoya Kobayashi⁵ (1. Department of Pharmaceutical, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 2. Department of Blood Purification Center, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 3. Department of Nursing, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 4. Department of Neurosurgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 5. Department of Surgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan)
- IP-2-3 The effect of sham feeding in elective liver transplant patients in the immediate postoperative period
Suk Hee Song¹, Hannah Lee², Chanwoo Cho², Ho Geol Ryu² (1. Department of Nursing, Seoul National University, Korea, 2. Department of Anesthesiology, Seoul National University Hospital, Korea)
- IP-2-4 A case of effective nutrition support in a dialysis patient suffering from thalamus hemorrhage
Yukako Mizuno¹, Mari Kondo¹, Kaori Sugano¹, Sumie Kikuchi¹, Hideki Yumikake², Saori Kawagoe², Takahiro Kato², Harutomo Ono², Yoichiro Kikuchi³, Kazuo Ohashi⁴, Naoya Kobayashi⁴ (1. Department of Nutrition, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 2. Department of Rehabilitation, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 3. Department of Neurosurgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 4. Department of Blood Purification Center, Okayama Saidaiji Hospital, Japan)
- IP-2-5 Evaluation and Training of Swallowing of the Patients in the ICU
Nobuko Sasano¹, Akemi Tanaka² (1. Department of Anesthesia and Critical Care Medicine, Nagoya City West Medical Center, Japan, 2. Department of Anesthesia, Nagoya City West Medical Center, Japan)

- IP-2-6 Safety consideration on percutaneous transesophageal gastrostomy by the use of endoscope
Yoichiro Kikuchi¹, Hiroshi Takeishi², Kazuo Ohashi³, Shiro Hanakawa⁴, Keiko Kobayashi⁵, Hideki Yumikake⁶, Suemi Kondo⁷, Naoya Kobayashi⁸, Kohei Tsukahara⁹ (1.Department of Neurosurgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 2.Department of Dentistry, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 3.Department of Blood Purification Center, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 4.Department of Orthopedics, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 5.Department of General Medicine, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 6.Department of Rehabilitation, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 7.Department of Nursing, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 8.Department of Surgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 9.Department of Emergency and Critical Care Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Japan)
- IP-2-7 A Pilot Study of a Comparison of Glycemic Control in Critically Ill Patients with a Single Dose Subcutaneous Injection of Glargine versus Continuous Intravenous Infusion of Regular Insulin
Rungsun Bhurayanontachai, Piyada Kongkamol, Chanon Kongkamol (Division of Critical Care Medicine, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Prince of Songkla University, Thailand)

2nd day (February 28)

9 : 00 ~ 9 : 50 Poster/Exhibition Room (Kyoto International Conference Center 1F Hall Annex)

Poster 3 Monitor

- Chair Kazuaki Atagi (Department of Critical Care Medicine, Osaka City General Hospital, Japan)
- IP-3-1 Influence of hypothermia on cardiac output measurement which evaluated with thermomodulation and pulse contour
Takashige Yamada¹, Yoshifumi Kotake², Kazuo Tomizawa¹, Midori Matsumoto¹ (1.Department of Anesthesiology, Kyosai Tachikawa Hospital, Japan, 2.Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, Japan)
- IP-3-2 Pre-induction pulse pressure predicts the postoperative atrial fibrillation after CABG
Yusuke Iizuka¹, Masamitsu Sanui¹, Michio Nagashima¹, Hiroshi Koyama¹, Tetsuya Komuro¹, Hideyuki Mouri¹, Tetsu Ohnuma¹, Tomoyuki Masuyama¹, Mizuki Sato¹, Ai Kawamura¹, Koichi Matsuo² (1.Department of Anesthesiology and Critical Care, Jichi Medical University Saitama Medical Center, Japan, 2.Department of Internal Medicine, Misato Kenwa Hospital, Japan)
- IP-3-3 Comparison of impedance cardiography and arterial waveform measures of cardiac output
Keizo Ikemune¹, Yoko Desaki¹, Amane Konishi², Kotaro Kikuchi², Ayako Kukida², Tasuku Nishihara², Yuki Numata¹, Katsuko Nishida², Toshihiro Yorozya³, Kentaro Dote¹, Takumi Nagaro² (1.Intensive Care Division, Ehime University Hospital, Japan, 2.Department of Anesthesia and Perioperative Medicine, University of Ehime, Japan, 3.Surgical Division, Ehime University Hospital, Japan)
- IP-3-4 Change in extravascular lung water as a prognostic indicator in ARDS: PiCCO pulmonary Edema Study
Takashi Tagami^{1,4}, Ryoichi Tosa^{2,4}, Mariko Omura^{2,4}, Hiroyuki Yokota^{1,4}, Shigeki Kushimoto^{3,4} (1.Departments of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, Japan, 2.Department of Emergency and Critical Care Medicine, Aizu Chuo Hospital, Japan, 3.Division of Emergency Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan, 4.PiCCO Pulmonary Edema Study Group)
- IP-3-5 Increased ventricular arrhythmogenicity during hepatic graft reperfusion: an ECG study
Hwa-Mi Lee, Ji-Hyun Park, Won-Jung Shin, Gyu-Sam Hwang (Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Laboratory for Cardiovascular Dynamics, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Korea)

9 : 50 ~ 11 : 00 Poster/Exhibition Room (Kyoto International Conference Center 1F Hall Annex)

Poster 4 US, Case Report

- Chair Yasufumi Asai (Emergency Center, Hakodate Shintoshi Hospital, Japan)
- IP-4-1 Differential Diagnosis of Acute Dyspnea: The Usefulness of Tissue Doppler Echocardiography in Emergency Department by Emergency Physician
Young-Rock Ha, Dong Un Kim, Young Sik Kim (Department of Emergency Medicine, Bundang Jesaeng Hospital, Korea)
- IP-4-2 Successful treatment of tetanus with herbal medicine shakuyakukanzoto: report of three cases
Kenshin Shimono, Satoshi Inada, Tatsuji Katsu, Mitsuhito Sato, Hideaki Yoshihara (Emergency and Critical Care Center, Kagoshima City Hospital, Japan)
- IP-4-3 Ultrasonography Versatile in Detecting Overlooked Fractures of Costal Cartilage and the Sternum Following Minor Blunt Thoracic Trauma
Yo Han Kim¹, Woo Surng Lee¹, Song Am Lee², Hyun Keun Chee², Jun Seok Kim², Jae Joon Hwang² (1.Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, School of Medicine, Konkuk University, Konkuk University Chungju Hospital, Korea, 2.Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, School of Medicine, Konkuk University, Konkuk University Seoul Hospital, Korea)

- IP-4-4 A case report of fat embolism in brain without in lung
Tadayuki Hashimoto¹, Masatomo Kiyota¹, Tetsuhisa Yamada², Akio Nakatsuka², Masashi Yonemitsu³, Masaya Kato³, Hiroshi Imura¹ (1.Department of General internal medicine, Aso Iizuka Hospital, Japan, 2.Department of Emergency medicine, Aso Iizuka Hospital, Japan, 3.Department of Emergency medicine, Wakayama Medical University Hospital, Japan)
- IP-4-5 A case report of successful rehabilitation for a respirator-administered hemodialysis patient after CPR
Takahiro Kato¹, Hideki Yumikake¹, Yuka Sato¹, Yukie Yuhara¹, Toshiki Miyazaki¹, Michioki Tano², Yoichiro Kikuchi³, Kazuo Ohashi⁴, Shiro Hanakawa⁵, Suemi Kondo⁶, Naoya Kobayashi⁷ (1.Department of Rehabilitation, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 2.Department of Medical Engineer, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 3.Department of Neurosurgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 4.Department of Blood Purification Center, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 5.Department of Orthopedics and Rehabilitation, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 6.Department of Nursing, Okayama Saidaiji Hospital, Japan, 7.Department of Surgery, Okayama Saidaiji Hospital, Japan)
- IP-4-6 Hepatic portal gas resulting from acute gastric dilatation caused by acute phlegmonous gastritis: A case report
Tomohiko Masuno¹, Liang He², Naoki Tominaga², Masahiro Yamaguchi², Jun Hagiwara², Shiei Kim², Masato Miyauchi², Masatoku Arai², Makoto Kawai², Hiroyuki Yokota² (1.Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, Japan, 2.Nippon Medical School, Japan)
- IP-4-7 Cytokine modulation in abdominal septic shock
Takuya Ueno¹, Toshiaki Ikeda¹, Shingo Suda¹, Takeo Nagura¹, Takeshi Fujii² (1.Division of Critical Care Medicine, Tokyo Medical University, Hachioji Medical Center, Japan, 2.Department of Clinical Infectious Diseases, Infection Control and Prevention, Tokyo Medical University Hachioji Medical Center, Japan)

11 : 00 ~ 11 : 30 Poster/Exhibition Room (Kyoto International Conference Center 1F Hall Annex)

Poster 5 Training

Chair Hiroyuki Niinuma (Department of Cardiology, Cardiovascular Center, St. Luke's International Hospital, Japan)

- IP-5-1 Needs for training course for neurointensivist in Japan
Yasuhiro Kuroda (Department of Emergency, Disaster, and Critical Care Medicine, Kagawa University, Faculty of Medicine, Japan)
- IP-5-2 Multi-disciplines Critical Care Simulation courses for Residents and Nurse Staff working at the ICUs
Hsin-I Shih¹, Hsiang-Chin Hsu¹, Hung-Yin Lai², Yung-Ting Tso², Chih-Hsien Chi¹ (1.Department of Emergency Medicine, National Cheng Kung University Hospital, Taiwan, 2.Clinical Skill Center, National Cheng Kung University Hospital, Japan)
- IP-5-3 Pediatric preparedness from disasters: Analysis of a triage drill in a Japanese pediatric hospital
Chiaki Toida, Takashi Muguruma, Masafumi Gima, Shotaro Matsumoto, Yuki Enomoto (Division of Acute and Critical Care, National Medical Center for Children and Mothers, Japan)

IML

International guidelines for management of severe sepsis and septic shock: Benefits and limitations

Department of Intensive Care, Erasme Hospital, Université libre de Bruxelles, Belgium
Jean-Louis Vincent

Sepsis affects 20-30% of ICU patients and is associated with increased mortality and morbidity, and high costs. Early diagnosis and rapid, effective treatment are essential to maximize survival rates. To assist physicians in providing optimal care, international guidelines have been developed with recommendations for all aspects of management. Although such guidelines can be of use it is impossible to assimilate the entire knowledge of ICU physicians into a few pages, and they thus provide a synthesis of available data and evidence. Such guidelines can promote better, more standardized patient care, especially in units where trained intensivists are not available or expertise is lacking and for conditions/interventions for which there is a sound evidence-base, but should not prevent thoughtful individual patient management.



合同プログラム 招請講演1

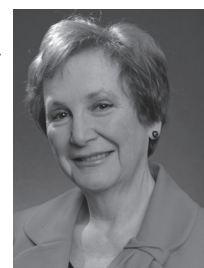
第1日目 9:30～10:10 第1会場(国立京都国際会館 1F Main Hall)

I-1

ABCDE bundle with multi-professional team

College of Nursing, University of Tennessee, USA
Carol Thompson

Today's optimal standard of care involves patients who are awake, mobile, and active participants in their care. This is a major change from the sedated hibernation approach of just a few years ago. The new standard can only be achieved by a multi-professional team approach. The Awake and Breathing trial Coordination, Delirium assessment and management, Early exercise and progressive mobility (ABCDE) bundle provides structure and measurable outcomes in meeting this evidence based standard. Benefits of the bundle include decreased time on the ventilator, decreased intensive care length of stay, increased survival, and increased functional status after leave the hospital.



合同プログラム 招請講演2

第1日目 10:10～10:50 第1会場(国立京都国際会館 1F Main Hall)

I-2

Lung Protective Ventilation of ARDS —Putting All the Evidence Together

Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, University of Minnesota, USA
John Marini

Critical care medicine has struggled for many years to answer important questions regarding the safe and effective ventilation of patients with ARDS. Such problems as tidal volume selection, PEEP adjustment, advisability of prone positioning, and whether or not to encourage spontaneous breathing have troubled us for more than four decades. Imprecision of our definitions, underestimation of the complexity of the problem, and naïveté regarding our patient mix and management non-uniformity have contributed in major part to the problems. With the results of recent clinical trials to confirm the principles of lung protection learned in the laboratory and from bedside observations, we are at last nearing the point of agreement as to what should be done. The fundamental lessons that these components of our science have taught us are that mechanical and not



mechanical factors contribute to ventilator induced lung injury causation, that intervention timing is fundamental to efficacy and outcome, that stage in severity may determine and interventions value, and that lung protection has its limits in patient healing.

In the laboratory we have learned beyond reasonable doubt that adverse patterns of ventilation can injure airways, alveoli, and dependent zones more severely than nondependent ones. Heterogeneity of the tissue encourages stress focusing an opening/ collapse cycles that subject alveoli and small airways to inflammation and tearing resulting from our choices. The key ventilation properties which influence tissue stress include driving pressure and PEEP. Although the tidal cycle properties are of fundamental importance, the risk rises with minute ventilation requirement. Background factors, such as the pre-injury/inflammatory state, vascular pressures and flows, body position, FI O₂, pH and temperature influence the expression of VILI.

While these features of laboratory VILI are reproducible, much greater trouble has arisen in confirming such principles at the bedside of the patient with ARDS. Clinical trials have been crippled by general definitions, loose entry criteria, insufficiently controlled management techniques, disregard for the complexity and nuances of iatrogenic injury and for the sensitivity of the tested method on the severity and stage of illness. The recent definitional compromise offered by the Berlin consensus committee is a modest improvement that recognizes some of these deficiencies but leaves others unaddressed. When the most comprehensive and influential clinical trials are viewed against an integrated understanding of ventilator induced lung injury, it is possible to understand their results and to place each into proper context within this framework. Recent insights from clinical trials are compatible with the idea that we must address not only the mechanical properties of the ventilatory strategies we adopt, but also pay attention to the demand side of the equation. The latter influences the blood flows, mechanical stresses, and hemodynamic performance that influence not only VILI but the cardiac function and metabolic states that help determine mortality and morbidity. The need to “down regulate” the patient’s needs for ventilation and blood flow in the early stage may determine eventual outcome. Extracorporeal gas exchange is now coming to the fore estimate to help us accomplish this. At last, we may be entering an era in which our better understanding, management interventions and new paradigm recognize and address the reality that stage and severity of illness are fundamental to the efficacy of our interventions.

合同プログラム 招請講演3

第1日目 13:20～14:00 第1会場(国立京都国際会館 1F Main Hall)

I-3

Targeting immunoparalysis in the critically ill

MICU of Cochin Hospital in Paris, Critical Care Medicine of Paris Descartes University, France

Jean-Daniel Chiche



I-4

Goal directed therapy in the high-risk surgical patient

St George's Hospital, UK

Andrew Rhodes

Major surgery is associated with a significant systemic inflammatory response and this in itself is associated with an increase in oxygen demand. If a patient is unable to achieve this due to co-existing cardiopulmonary disease then there may be tissue dysoxia, which in the face of increased metabolic need can lead to cellular dysfunction and ultimately organ dysfunction, failure and death. Complications and death following surgery have been shown to be associated with reduced levels of oxygen delivery and measured levels of whole body oxygen consumption or a surrogate, the central venous oxygen saturation (ScvO₂).

**Evidence for goal directed therapy**

There is considerable evidence to demonstrate the benefits of augmenting oxygen delivery in high-risk surgical patients during the perioperative period. In 1988 Shoemaker and colleagues showed that morbidity and mortality of high-risk patients, a population that had a mortality of 30-40% following surgery, could be significantly reduced by using goal directed therapy (GDT) to meet the increased metabolic requirements following surgery. Therapeutic targets were based on physiological values that they had observed in survivors after surgery. These perfusion-related targets included cardiac index, oxygen delivery and oxygen consumption. In the early studies these variables and the associated therapy were monitored and guided with a pulmonary artery catheter with targets for cardiac index of >4.5 l/min/m², oxygen delivery index (DO₂I) >600 ml/min/m² and oxygen consumption of >170 ml/min/m². With this approach the mortality was substantially reduced in comparison to standard care. This led to the concept that this group of patients could be optimised to so-called “supranormal” values to improve their outcome. A number of other groups have reported similar favourable results in cardiac surgery, general surgery and trauma. The finding that perioperative augmentation of oxygen delivery through GDT is associated with improved outcome has now been demonstrated in a number of meta-analyses.

Controversy

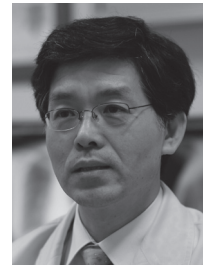
Despite these promising results, this practice has not been widely embraced for a number of reasons. Firstly, there may be confusion in identifying patients who may benefit from this therapy. Secondly, all the initial trials utilized the pulmonary artery catheter (PAC). A major and more realistic limitation is that of limited critical care resources. Many units are unable to admit high-risk patients preoperatively and similarly many high-risk patients do not return to a critical care environment following surgery. Many trials have suggested that length of hospital stay, and the incidence of postoperative complications, may be reduced with goal directed therapies. Pearse and colleagues showed that initiation of GDT postoperatively and after intensive care admission confers significant benefit. Paradoxically, nearly all the studies have demonstrated a reduced incidence of complications following surgery with a subsequent decreased need for critical care services. It will take a paradigm shift to convert a rationale of reacting to problems, to one of preventing them happening in the first place, even though this may reduce the overall demand for this expensive resource.

I-5

Intensive Care in Resource Limited Countries in ASIA: Challenge and Vision

Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center,
University of Ulsan, Korea
Younsuck Koh

The goal of ICU is to reverse patients' acute problems with minimum squeal in cost effective and ethical ways. The current challenge faced by low income Asian countries is deficit in well trained intensivists and weak standardized care. Few things that resource poor Asian countries can do. First, patient centered ICU care team can be set up with enough communication and rapid decision making capability. The team needs not to be big. Secondly nurse to doctor interaction can be improved. Thirdly prioritize equipment build up in resource poor ICUs. Fourthly step-down unit can be developed to reduce burden of patient load on ICU. Finally rapid response team should be developed to perform proactive cares for impending critically ill. A lot of work is to be done to find the barriers to overcome and enhance critical care. Intensivists should be keen on basic but essential management so that scarcity of resources can be minimized.



合同プログラム 招請講演6 第2日目 14:10～15:10 第10会場(グランドプリンスホテル京都 B2F プリンスホール)

I-6

ケアとキュアが融合した集中ケア看護

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
井上智子

看護師の役割拡大が人々の関心を集めて久しい。なかでも従来医師が行っていた行為・あるいは医師と看護師との間のグレーゾーンにある医行為(これらをキュアと称す)への拡大が、論議の焦点となっている。そもそもケアとキュアとは本来何なのか。両者は別ものであるのか、どのような関係にあるのか。さらにはケアとキュアの融合とは何か、融合があり得るのか、融合による効果は何かなど、疑問や課題は多いだろう。加えて集中ケア看護は、この論議のまっただ中に置かれていると言っても過言ではない。本講演では、看護師の役割拡大のあり方も含め、看護師の先駆的看護実践の実情や、役割拡大に対する思い、期待、危惧等の調査結果も踏まえ、ケアとキュアの融合をめざす、よりよい集中ケア看護のあり方を皆さまとともに考えていきたい。



SCCM-SL1

Infection Control in the ICU: Where is the evidence for investment?

Department of Surgery, Johns Hopkins University School of Medicine, USA

Pamela Lipsett

Healthcare-associated infections (HAI) represent the most frequent adverse event affecting hospitalized patients, resulting in increased morbidity and mortality, longer hospital stay, and high cost. Infection control procedures should be evidence-based. Yet, there is a large variability in which strategies should be employed and how successfully hospitals implement programs and procedures to protect patients against HAI. In this lecture we will review recent evidence regarding routine screening and barrier isolation of all ICU patients, bathing of ICU patients with chlorhexidine, and the use of selective oral or digestive decontamination.



SCCM-SL2

Gut injury in sepsis —molecular and cellular insights

Department of Surgery, Emory University, USA

Craig Coopersmith

The gut has a critical role in the progression of sepsis. Sepsis alters gut integrity by increasing intestinal epithelial apoptosis and permeability and by decreasing proliferation and mucus integrity. Additionally, while the endogenous microflora normally exist in a symbiotic relationship with the gut epithelium, sepsis alters this relationship, leading to induction of virulence factors in the endogenous microflora which, in turn, can worsen the septic response. This talk will highlight the cellular and molecular processes through which the gut acts as the motor that perpetuates sepsis.



EL-1

Underlying mechanisms of VALI and its monitoring at the bedside

Pulmonary Division, Hospital das Clínicas, University of Sao Paulo, Brazil

Marcelo Amato



Two major forms of ventilator trauma may impair the prognosis of patients with acute respiratory failure. The first one, *gross barotrauma* represents the sudden occurrence of extra-alveolar gas, which typically escapes through ruptured airspaces into the interstitium, pleural space or blood vessels. They may cause acute, evident hemodynamic problems, or sudden deterioration of blood-gases, but they are rarely responsible for patient death or prolonged stay in the ICU. In contrast, *Ventilator-associated Lung Injury (VALI)*, considered as the subacute form of ventilator trauma, is much harder to detect at the bedside, being histologically indistinguishable from the diffuse alveolar damage associated with ARDS. This second form of ventilator trauma causes or enhances persistent inflammation and lung fibrosis, markedly impairing the prognosis of patients. Several physiological concepts describing risk constellations for VALI have been introduced in recent years, among them *tidal-recruitment*, *tidal-overdistension*, *volutrauma*, *lung-stress* and *lung-strain*. In this conference, we will discuss the importance and weaknesses of these physiological concepts, showing the interaction between such basic mechanisms of lung injury and clinical conditions like: a) the presence of spontaneous breaths, b) body positioning, c) recruitment manoeuvres, d) use of optimum PEEP. We will also discuss the new technologies available to monitor and avoid these phenomena at the bedside.

We will then present the rationale for 3 take-home messages. First, during controlled or spontaneous mechanical ventilation, driving-pressure, calculated as the ratio between tidal-volume and tidal-compliance, represents the most integrative information about VALI risks (and lung fibrosis!) at bedside, even for patients with chest-wall problems. Second, lung recruitment and slightly higher respiratory-rates are effective tools to minimize driving-pressure in most patients with acute-respiratory failure, typically achieving 3-5 cmH₂O reduction in driving-pressure (recent randomized trials have proven its safety and efficacy in decreasing the length of stay in the ICU). Finally, although promotion of spontaneous breaths is an important strategy to avoid muscle atrophy, its encouragement in the presence of severe lung disease and strong drive may cause overstretch of dependent lung regions, sometimes equivalent to a tidal volume > 15 mL/kg, even during “protective ventilation”. Thus, spontaneous breaths during severe ARDS should be carefully examined and only applied under close monitoring of diaphragmatic function.

EL-2

H7N9インフルエンザと治療戦略

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学

森島恒雄



本年2月中国で鳥インフルエンザAH7N9のヒトへの感染例の報告が続いた。発症者約140例、死亡44例を超え、10月に新たな発生も起きている。患者の多くは50歳以上でARDSを伴い、抗インフルエンザ薬治療に抵抗する例も多い。

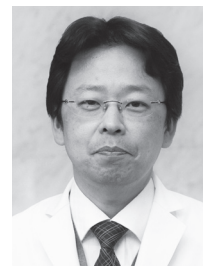
ウイルスは、3種の鳥インフルエンザウイルスの遺伝子交雑体からなり、以下の特徴を有する。
1. ヒト型レセプター α 2,6をすでに認識する。2. PB領域の変異によりヒト気道温度(34度)で効率良く増殖する。3. 実験動物に対する感染力及び病原性は、H5N1とAH1N1pdmウイルスの中間を示す。4. 従来の抗インフルエンザ薬の効果が低い可能性がある。5. 全年齢層で免疫を持たない。などである。

以上から本ウイルスが国内侵入した時、全年齢層への感染及びARDSを含む重症肺炎の多発が懸念され、そのためAH7N9重症肺炎(ARDSを含む)の治療法の確立とECMOを含む診療体制の整備が急がれる。

EL-3

Compromized Hostにおける感染症とその診療
 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター
 大曲貴夫

免疫不全者の感染症を診る場合にはまず患者が具体的にどのような免疫不全を持っているかを知る。バリアとは具体的には皮膚や粘膜であり、外界からの微生物の侵入を防ぐ。末梢血中好中球数が減少すれば感染症のリスクが高まる。この状況で発熱したのが発熱性好中球減少症である。細胞性免疫不全の原因としては造血幹細胞移植後状態、急性リンパ性白血病や悪性リンパ腫などのリンパ系疾患がある。感染を起こす原因微生物は、その幅が広い。液性免疫不全には脾機能不全状態、免疫グロブリンの数や質の異常、補体産生低下などが含まれる。免疫不全患者では感染臓器が絞りにくいが、絞り込んでいくうえでのルールはある。また免疫不全者の感染症診療においては問題を起こす微生物を効率よく絞り込んで同定することが重要である。経過観察は極めて重要である。なかでも一見改善傾向にない場合にどう考えるかがポイントとなる。



合同プログラム 教育講演4

第2日目 9:00~9:40 第3会場(国立京都国際会館 1F さくら)

EL-4

臨床倫理 ー理論と実践に関する基礎知識
 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科医療マネジメント専修
 前田正一

近年、医療技術の進歩や、家族形態の変化、医療政策の変更など、患者を取り巻く環境は、従来とは大きく変化している。このため、医療現場では、治療行為の差し控え、中止の判断をはじめ、診療に際して法的・倫理的検討を要する問題(臨床倫理問題)が数多く生じるようになってきている。そして、こうした問題の中には、直ちに対応方針を決定しなければならないものも少なくない。また、基礎知識がなければ、現場の医療従事者にとって、倫理的・法的問題の所在を確認し難いものもある。米国などの諸外国では、早くから、臨床倫理に関する理論研究や、問題対応に関する実践活動(臨床倫理委員会での審議や、臨床倫理コンサルテーションに基づく問題対応)が進められてきた。わが国でも、近年、同様の取り組みの重要性が認識されつつある。そこで、本教育講演では、臨床倫理の理論と実践に関する基礎知識について解説する。



合同プログラム 教育講演5

第2日目 14:00~14:50 第3会場(国立京都国際会館 1F さくら)

EL-5

ガイドライン作成過程の問題点とその改革：患者中心のアウトカム設定とBody of Evidenceに基づく推奨作成
 倉敷中央病院総合診療科・救命救急センター
 福岡敏雄

【背景】診療ガイドライン(CPG)作成の手引きとされてきた「Minds診療ガイドラインの手引き2007」は改訂中であり最近の見直しを反映していない。ここでは改訂内容のうち患者中心のアウトカム設定とエビデンス総体評価に焦点を絞り方向性を示す。【内容】CPGは患者中心のアウトカムの改善を目指し、その推奨の根拠は過去の研究のレビューに基づくエビデンス総体の評価による。代替アウトカムは推奨の根拠とはならない。研究デザインを過度に重視しない。バイアスリスクの高いシステマティックレビューやランダム化比較試験を根拠に強い推奨を行うのは控える。国内外でランダム化比較試験のねつ造が問題となっており、著者責任と利益相反については厳しく対応することが求められている。【海外の動向と提言】CPG評価と作成についてはAGREEとGRADEが広く受け入れられている。今後学会としてこの取り組みに加わる必要がある。



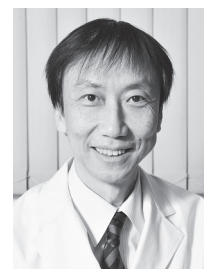
EL-6

Ventilator-associated pneumonia : VAP と ventilator-associated events : VAE サーベイランス

三重大学医学部附属病院救命救急センター

今井寛

米国CDCはVentilator-Associated Events (VAE) という新しい人工呼吸患者における有害事象のサーベイランスによってVAPを定義することとなった。人工呼吸器装着中の酸素化の増悪をVentilator-Associated Condition (VAC)、その中で発熱、白血球、抗生剤使用状況から感染が疑われるものをInfection-related Ventilator-Associated Complication (IVAC)、さらにIVACの中から、痰の性状、細菌検査をもとにPossible Ventilator-Associated Pneumonia、Probable Ventilator-Associated Pneumoniaとし、18歳以上のみを対象、呼吸状態の変化を人工呼吸設定の変化とし、人工呼吸器装着期間を明確、レントゲン所見は考慮しない点を特徴とし、比較的簡便に患者を調査でき電子カルテなどにより自動抽出も可能な指標としている点である。今回はVAE定義、アルゴリズムについて、またデータ収集の動きや各学会での動きを紹介できればと考えております。



合同プログラム 教育講演7

第2日目 9:50~11:10 第4会場(国立京都国際会館 1F Room D)

EL-7

集中治療領域における災害対応

The University of Texas Southwestern Medical Center, USA

児玉貴光

災害時に迅速で適切な医療を提供することは、全医療従事者の責務である。わが国における災害医療は、日本Disaster Medical Assistance Team (DMAT) 研修、Major Incident Medical Management and Support (MIMMS)、National Disaster Life Support (NDLS) などの導入と普及によって充実してきた。しかし、多くのコースや訓練は災害現場から救急外来での初療に焦点をあてており、重症患者を最終的に受け入れて治療する集中治療領域における系統的な教育は不十分である。最大多数の傷病者を社会復帰させるために、米国ではプレホスピタル・ケアから集中治療までの各フェーズの教育が行われており、実際に大きな成果を挙げている。わが国と比較しつつ、集中治療領域における災害対応のあり方について現状と展望を報告する。



合同プログラム 教育講演7

第2日目 9:50~11:10 第4会場(国立京都国際会館 1F Room D)

EL-7-remarks

自衛隊輸送機による重症患者の搬送

航空自衛隊航空機動衛生隊

石川誠彦

先進国における重症患者の長距離航空搬送はこの十数年間で大きく進歩しました。その背景には、医療技術の専門分化や診断機材・治療機材の高度化によって生じた現場医療と高度先進医療機関との医療レベルの乖離による長距離搬送の必要性の増大と搬送用医療機材の進歩があります。航空自衛隊は、2006年に、重症患者を長距離航空搬送する際に機上での医療を担う専門部隊を新設しました。主要装備品として機動衛生ユニット(通称「空飛ぶ集中治療室」と呼ばれるコンテナ型のICU)を保有し、これをC-130型輸送機に搭載して機上での重症患者管理を可能とします。本来の目的は、有事の際の重傷負傷者の後方への搬送ですが、平時においては、災害派遣の形で、民間人の重症患者を搬送しています。2011年に最初の搬送を実施して以来、7件7名の民間の重症患者の搬送を経験しました。

EL-8

神経集中治療における脳保護を考える

東京医科大学病院麻酔科

内野博之

神経集中治療における脳保護は、虚血性の一次性脳損傷に続発する二次性脳損傷と敗血症性脳症などによる二次性脳損傷の軽減が重要となる。脳虚血の急性期治療は、1) 脳への早期の血流再開とエネルギー代謝の改善と、2) 血流再開後の脳保護、3) 合併症の予防が大きな柱となるが、敗血症性脳症は、その機序も明確でなく治療法も確立していない。「神経集中治療の成否」は、「各神経病態の発症機序」におけるMPT (Mitochondrial Permeability Transition) 現象の重要性の認識を理解することである。本講演では、「神経集中治療における脳保護を考える上で理解すべき知識」に焦点を当て、基礎研究から臨床へのトランスレーショナルな視点からその概略を述べる。特に、ヒト脳組織から得られたヒト脳ミトコンドリア機能の特徴を踏まえて、神経集中治療における脳保護の在り方を討論してみたいと思う。



合同プログラム 教育講演9

第2日目 14:00~14:50 第4会場(国立京都国際会館 1F Room D)

EL-9

敗血症における血液・凝固線溶異常への治療戦略

愛媛大学大学院医学研究科救急医学

相引眞幸

敗血症の最優先治療は原病の治療であるが、多臓器不全を合併する重症敗血症の多くはDICを合併しており、凝固線溶系に対する治療が必要である。講演では、重症敗血症におけるDICの役割と、その治療の意義と必要性、さらに本邦と諸外国の重症敗血症の治療成績について概説する。



合同プログラム 教育講演10

第2日目 14:50~15:40 第4会場(国立京都国際会館 1F Room D)

EL-10

最新の神経筋疾患患者の呼吸管理の知識

国立病院機構八雲病院小児科

石川悠加

神経筋疾患の国際ガイドライン (Lancet Neurol 2010;9:177-89, Thorax 2012;67:i1-i40) に、NPPV や機械による咳介助 (mechanical insufflation-exsufflation: MI-E) が推奨されている。手術、麻酔や鎮静を要する場合、神経筋疾患患者は、術前に咳のピークフロー (cough peak flow: CPF)、睡眠時 SpO₂ 測定を行い、NPPV や MI-E を導入する (Chest 2007;132:1977-86)。術後は、気管挿管チューブを介して MI-E を積極的に行い、早期に抜管する。抜管困難とされた神経筋疾患に対し、オキシメトリー・フィードバック (SpO₂ を 95% 以上に戻し、維持) に基づき、量調節換気を含めた NPPV と徒手介助併用の MI-E を行い、抜管した (Chest 2010;137: 1033-9)。

神経筋疾患患者の腹部手術後に、MI-E によりかかる腹部の陽圧 (胃内圧) は、自力の咳より低かった (Pediatric Pulmonology 2013;48:824-9)。今後は積極的に腹部の術後に MI-E を使用し、抜管困難や肺の健常性低下を防ぐことが期待される。



EL-11

誰でもできる小児の急性血液浄化
国立成育医療研究センター集中治療科
六車崇

集中治療を要する重篤小児症例は発生数が少なく、急性血液浄化の対象となると更に少ないことが想定され、現場では乏しい診療経験が意識されがちである。

しかし、代謝異常など絶対適応となる小児例との遭遇は避けられず、また相対適応でも急性血液浄化の活用で安定した集中治療が実現できる。

また、成人領域での急性血液浄化ができれば、小児症例で難渋するポイントは極めて限定的であり、容易かつ安全に導入・管理できる。

当PICUにおける小児の急性血液浄化の経験を踏まえ、以下を概説する。

1. Children are just little adults: 体格以外は成人と同じ
2. カテーテルは首から: 頸静脈の裏手に注意
3. 小さいカラムは必要ない: 過剰な物品管理はなにも産まない
4. 繋いで廻す: 連結すれば手間は軽減される

小児の特殊性に焦点化せず、一般の集中治療の守備範囲として小児急性血液浄化をとらえ、どこのICUでも実行できる方法を探っていきたい。



合同プログラム 教育講演12

第2日目 16:30~17:20 第4会場(国立京都国際会館 1F Room D)

EL-12

重症熱傷のICU管理の工夫
製鉄記念八幡病院救急・集中治療部
海塚安郎

熱傷治療の提要は可及的な創閉鎖である。重症熱傷ではそこに至る月単位での輸液/呼吸/循環/栄養管理、感染対策、手術計画、創管理が必要であり、未だ画期的な治療は編み出されてはいない。以上の熱傷の特性に鑑み、継続し安定した治療管理を基本方針とし、少人数スタッフで治療精度の向上に努めてきた。侵襲の制御、新たな侵襲の回避を目的として1. 包交の時間短縮; シャワー浴でも1症例15分以内、包交材料を工夫し、すばやく清潔に施行。2. 感染症対策; 看護師による交差感染対策、医師によるICU/院内菌情報の把握、抗菌薬選択、真菌感染回避策。3. 積極的栄養介入; 入室後数時間で経腸栄養開始、間接熱量測定、組成設計、栄養要約作成、良便を得る排便管理。4. 手術管理; 至適時期、範囲、時間の決定、植皮片調達。5. 薬剤; 侵襲制御、代謝抑制の β ブロッカー。6. 多職種の来院時からの介入。を行ってきた。本講演では当院での熱傷治療の現状、工夫を各種データ、症例の提示を交え概説する。



合同プログラム 教育講演13

第3日目 9:00~9:50 第3会場(国立京都国際会館 1F さくら)

EL-13

ICUにおける嚥下障害の評価と治療
浜松市リハビリテーション病院
藤島一郎

意識障害があるときは嚥下機能が低下していると考え、若い患者で嚥下に問題がないと思われても、傾眠の患者に経口摂取は控えるべきである。特に意識レベルが変動しているときに要注意である。食事中にレベル低下が有り誤嚥、窒息につながる例もある。次に抜管後の誤嚥にも注意が必要である。8時間以上相関した患者では反回神経麻痺や声門閉鎖不全による誤嚥が起りやすいとされている。太い経鼻胃管も挿入された状態では嚥下が阻害される。長時間の経鼻胃管ではNasogastric Syndromeに注意が必要となる。嚥下機能評価に関しては神経学的所見を見ると共に水飲みテストなどのスクリーニング検査がある。MMASAと呼ばれる嚥下のスクリーニング評価は簡便で有用である。管理として重要なことは、口腔ケア、ポジショニングなどがあげられる。また、経口摂取を許可する場合には食前の嚥下に対する準備と誤嚥しにくい食事などに配慮する必要がある。



EL-14

ICU機能評価をどうするか —JIPAD概要—

京都府立医科大学附属病院集中治療部

橋本悟

医療におけるコストが増大し続けると予想される中、医療資源の適正配分という観点からも、集中治療室における治療の質を客観的に評価することは重要な問題である。諸外国においてはすでに10年以上にわたってICU機能が客観的に評価され、結果的にICUの質の向上がなされてきている。遅ればせながらわが国においても、2013年1月にパイロットスタディが行われ、2014年1月よりICU入室患者登録システム（JIPAD）が発足した。発表時点ではデータ集積を開始したばかりの状況であるので、その結果については残念ながら多くは披露できないが、入力省力化などについて様々な工夫を凝らした。症例がある程度集積した時点ではDPCデータとのすり合わせも考慮し有望な結果が期待される。本講演では他事例を交えてICU機能評価を俯瞰し、JIPADへの参加の意義、その内容などについて今後JIPADへの参加を考えておられる施設への啓蒙をかねて紹介を行いたい。



Dr. Tetsuya Kato is a middle-aged man with short dark hair, wearing a dark jacket over a light-colored shirt. He is smiling slightly and looking towards the camera.



合同プログラム 教育講演15

第3日目 9:00～9:50 第7会場(国立京都国際会館 2F Room B-2)

EL-15

CKD患者における心不全の病態と治療戦略

東邦大学医学部腎臓学

長谷弘記, 田中友里, 常喜信彦

従来、糖尿病と高血圧がCKD発症riskとして最も重要であったが、近年ではCVDの重要性が注目されている。CKD患者の死亡原因として心臓突然死が重要である。心臓突然死は虚血性心疾患との関連が強い。CKDではplaqueの成長が速く、脂質成分に富んでいる。C高頻度に左室肥大と大動脈stiffness亢進を伴う。これらの要因は有意冠動脈病変を伴うことなく虚血性心疾患の発症要因となる。CKDでは石灰化を伴う心臓弁膜症が急速に進展する。弁石灰化要因として、大動脈弁にはLp(a)、僧帽弁輪にはIL-1F9関連遺伝子が関与している。心不全治療戦略では、1) stage 3以前にstatinとカルベジロールを含む積極的薬物介入治療を行うこと、2) DM合併CKDではTZAとDPP4阻害薬による血糖降下療法を追加すること、3) 積極的薬物介入療法にて心機能改善しない場合やACSに対しては積極的血管内治療を行うこと、4) 器質的弁膜症合併CKDに対して早期外科的治療を選択することが重要である。



合同プログラム シンポジウム1 基調講演

第1日目 14:10~14:40 第3会場(国立京都国際会館 1F さくら)

S-1-keynote

The management of pain, agitation, and delirium in ICU

Neuroscience Institute and Department of Critical Care,

Maine Medical Center and Tufts University School of Medicine, USA

Richard Riker

The recent 2013 SCCM Guidelines for Pain, Agitation, and Delirium were formed by a 20 member task force using the GRADE approach to develop 53 statements and actionable recommendations. Since this publication one year ago, new published information regarding diagnoses and treatments (especially affecting our approach to delirium) mandates updating these guidelines. This presentation will review the guidelines and the new information, and will propose changes to our practice for your consideration.



DEL-1

Sleep disorders and assessment in critical illness

Department of Critical Care Medicine, University of Calgary, Canada

Paul Easton



Nocturnal respiratory failure impacts both Sleep Medicine and Critical Care. With outpatient sleep screening and AutoCPAP, simple sleep apnea is often managed now without traditional polysomnogram (PSG) sleep study. Conversely, the global epidemic of obesity and widespread overuse of narcotic analgesics has dramatically increased the prevalence of Hypoventilation Syndrome among PSG patients in sleep laboratories. Many such patients are in respiratory failure, requiring nocturnal treatment with Bilevel Pressure Support (BIPAP). It is uncertain whether this ventilatory support for nocturnal respiratory failure should be undertaken in a sleep laboratory without assistance from Critical Care. Moreover, portable equipment now allows for PSG studies to proceed within Critical Care units.

医師部門 教育講演2

第2日目 9:00～9:40 第1会場(国立京都国際会館 1F Main Hall)

DEL-2

Change of paradigm in mechanical ventilation

Paediatric Critical Care Research Group, University of Queensland,

Mater Children's Hospital, Australia

Andreas Schibler



High Flow Nasal Cannula (HFNC) therapy is a new respiratory support for oxygen delivery that provides humidified and heated air-oxygen mixture to the patient during spontaneous breathing. Respiratory support with HFNC is due to some degree of inadvertent CPAP, washout of the anatomical dead space of the upper airways, pre-conditioning of the inhaled gas with heat and humidification and offload of the diaphragm with a reduction of the work of breathing. Initial reports in infants with bronchiolitis have shown that the need of invasive ventilation can be reduced significantly and these patients can be safely cared outside intensive care settings. Large randomised controlled trials investigating the role of HFNC outside intensive care settings are currently performed.

Ventilation strategies that tailor the support to the individual's needs are showing some very promising results and are subjects of current clinical trials. **Neurally adjusted ventilatory support (NAVA)** is based on sensing the electrical activity of the diaphragm (Edi) to trigger and adjust the positive pressure support of the patient. Since the respiratory centre of the brain stem is the main controller of the timing and effort of each individual breath, the Edi obtained from the diaphragm is an ideal triggering signal not only for optimal synchronization with the ventilator but more so for optimal and proportional pressure support during spontaneous breathing. This mode, which only can be when spontaneous breathing is maintained, has been shown to improve synchronization and gas exchange. One of the advantages of NAVA is that the variability of the breathing pattern is maintained. NAVA support is not only accurate in the timely triggering of individual breaths but also proportional. Every breath in its size and length is pre-programmed by the respiratory control centre resulting in a Edi signal that is very individual for each breath. The NAVA pressure support will adjust and deliver proportional to this pre-programmed signal. Studies have shown that the NAVA mode is superior to other spontaneous breathing supporting modes as the proportionality of the support is guaranteed. The technology can be taken one step further and used during non-invasive ventilation. Since the Edi signal is an leak independent signal it is not surprising that NAVA is considered as a very promising new future direction of non-invasive ventilation.

DEL-3

最新の急性心不全治療の知識

東京医科大学循環器内科

山科章

急性心不全とは、「心臓に器質的および/あるいは機能的異常が生じて急速に心ポンプ機能の代償機転が破綻し、心室充満圧の上昇や主要臓器への灌流不全をきたし、それに基づく症状や徴候が急速に出現した状態」とであると定義されている。しかし急性心不全の病態は高血圧性心不全、電撃性肺水腫、慢性心不全急性増悪、心原性ショック、右心不全など多岐にわたっており、心臓だけでなく血管、腎臓、肺などを含める全身疾患であるとの概念から、最近では「急性心不全症候群 Acute Heart Failure Syndrome; AHFS」としてとらえることが潮流になっている。さらに、欧米では、AHFSを Cardiac failure と Vascular failure に大別してとらえるようになってきている。しかしながら、これまでAHFS診療のエビデンスは少なく、治療法も手探り状態であったといって過言でない。最近になって、我が国でもATTEND registryなどの多施設共同疫学観察研究から実態が把握できるようになり、新たな考え方も紹介された。そこで、日本循環器学会では急性心不全治療ガイドラインを改訂し、2011年に公表した。ガイドライン2011年改定版で大きく変わった点は、これまでの急性期治療に限定したものから、長期予後改善を見据え、さらに社会復帰を目指す急性心不全治療と拡大したことである。内容的にも、(1) いかに急性心不全を早期に発見するか、(2) いかに早く患者の苦痛を取り除くか、(3) いかに早く心肺危機を脱するか、(4) いかにして原因を特定するか、(5) 根治療法の選択をいかに行うか、(6) いかに血行動態の安定化を得るか、(7) 長期予後を見据えた急性期介入とは何か、(8) 早期離床と早期退院を図る、(9) 重症化予防・再発予防とは、(10) ホスピス診療のあり方(緩和ケア)、など、より具体的で分かりやすい記述となっている。急性心不全の初期対応については非専門医も意識したわかりやすいフローチャートも示している。また、再入院防止には看護を中心とするチーム医療の重要性を強調し、心不全の重要な病態として、慢性閉塞性肺疾患、右心不全、などの項目を追加している。講演では、ガイドラインを中心に、急性心不全症候群の実態、病態とその把握法、治療目標の設定と治療法、再入院の回避のための戦略、などを紹介する。

医抄
師部
門録

医師部門 教育講演4

第3日目 9:00~9:50 第4会場(国立京都国際会館 1F Room D)

DEL-4

ICUにおける経済性と診療報酬の適正化

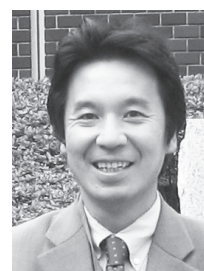
産業医科大学医学部公衆衛生学教室

松田晋哉

ICUにおける診療報酬上の評価は、診断群分類ごとに定められている一日当たり包括評価額に、特定集中治療室管理料を算定している期間の加算、さらには1000点以上の処置などに対応する出来高算定部分の合計となる。この意味においてDPC導入以前と以後とで、ICU評価の方法に大きな差異はない。しかしながら、ICUにおける診療報酬についてはそれが投入した労力が反映されていないという批判が多くあげられている。演者はDPCに関する研究においてICUにおける種々の分析を行ってきており、以下のような知見をすでに報告している。

- ・ICUにおける資源投入量は患者の重症度によって異なる。しかしながら現行の制度では患者の重症度による違いの評価がなされていない。
- ・ICU、HCU、SCUを比較した分析結果では、医療資源の必要度と診療報酬上の評価においてかい離がみられる。
- ・原価計算結果によるとICUでは原価割れの傾向がある。
- ・治療目的と術後管理目的のICU入室では退室時アウトカムおよび医療資源投入量に差があるが、診療報酬上の評価に差はない。
- ・ICUの体制(Closed vs Open)は患者の退室時アウトカムに有意の差をもたらしているが、診療報酬上の評価は十分になされていない。
- ・マクロデータでみると人口10万人当たりICU病床数は脳梗塞の年齢調整死亡率と有意の負の相関を示している。

ICUは急性期医療の重要な機能の一つであるが、以上の結果は、その体制整備及び評価が我が国では十分に行われていない可能性を示唆している。診療報酬におけるICUの適正な評価は急性期医療の質評価に直結するものであり、したがってそのためのデータ整備を行う必要がある。具体的には、ICUにおける医療行為の詳細がわかる情報環境の整備が重要である。学会としての積極的な取り組みが求められる。



医師部門 シンポジウム4 基調講演

第2日目 15:00~15:30 第3会場(国立京都国際会館 1F さくら)

DS-4-keynote/commentator

Therapeutic hypothermia for post cardiac arrest syndrome

Neurocritical Care and Stroke Division, University of Southern California, USA

Gene Sung

Hypothermia has been a medical therapy for centuries throughout the world. However, the science of clinical trials has only recently become as sophisticated as medical and surgical therapies. Rigorous testing of hypothermia has only shown benefit in the treatment of post-cardiac arrest patients. I will review the history of hypothermia as a medical therapy in the treatment of a few specific diseases. Next, I will focus on hypothermia in the treatment of post-cardiac arrest patients and then discuss the future of this therapy, which has had overwhelming benefits but has also now been seen to have potential unexpected problems.



DS-5-keynote/commentator

How can we build the ECMO system for severe acute respiratory failure?

East Midlands Congenital Heart Centre, Glenfield Hospital, UK

Giles Peek

Successful respiratory ECMO starts with an expert multidisciplinary team who possess the necessary technical skills, good leadership and the support of the local institution. The ECMO programme must be adequately funded according to local arrangements either through a fee for each patient or through a block contract with the health service/insurer. The next factor to establish is an adequate referral base to ensure sufficient cases for the centre to become expert, the exact number required is still open to debate but is likely to be a minimum of between 20-30 respiratory cases per year. Finally a robust governance framework including ELSO membership and benchmarking of results will ensure continual improvement of outcomes.



NEL-1

クリティカルケアにおける危機的患者家族の看護

山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

山勢博彰

クリティカルケアでは、重篤な疾患や身体侵襲の大きい手術、突然発症する急性疾患、重症外傷など命に関わる状態にある患者の看護が必要である。集中治療室では様々な処置が行われ、多数のマnpワ-も要求される。そのため、他の領域と比較すると患者に対する治療と看護の濃密さは高いものの、家族ケアにかけられる割合は小さくなりがちである。しかし、患者が危機的であればあるほど、家族への影響も多くなってくる。クリティカルケア領域での患者の家族は、混乱と不安のなかにありながら、決断すべきことが次々と降りかかり、極度の緊張状態におかれ家族全体が危機状態に陥ることもある。今回の講演では、家族の心理社会的特徴、家族ニーズ、家族アセスメント、家族支援の基本などに言及したい。また、近年関心が高まっている、終末期にある重症患者家族の意思決定支援、家族の悲嘆とグリーフケアについても触れていきたい。



NEL-2

ICUにおける看護師のメンタルヘルス

ネバダ大学医学部呼吸器内科／集中治療医療科

重光秀信

ICU患者は重篤な状況にあるため、これらの患者のケアに深く携わるICU看護師は常に患者の生死や医療倫理に深く関わる事に加え、急性期に必要な迅速かつ確かな対応も要求されるため、過度な精神的ストレスを職場環境から経験する事が少なくない。ICU看護師の職場環境から来るストレスは1970年代から論文で報告されているが、それらがどのような精神的効果をもたらしているかはまだはっきりと把握されていないのが現実である。最近の研究ではICU看護師が過度のトラウマにより起きた心の傷の後に見られる心的外傷後ストレス障害と同様な症状がICU意外に勤務している看護師に比べて多いと報告されている。その他にうつ病や不安障害なども少なくない事が理解されている。更にはBurnout Syndrome(燃え尽き症候群)も頻度に観察されている。燃え尽き症候群は1970年代に主に医療供給者を中心として報告された状態であるあり、職場から来る精神的ストレスに対応する能力を失った事を表す状態である。これら職場から来る精神的効果を防ぐためには看護師とその医療機関が積極的に終末期医療の対応能力を向上するプロセスを導入する事、専門家を含めるグループディスカッションを行う事、及びにICU研究のグループに参加する事などが上げられている。



最近ようやくICU看護師のメンタルヘルスが注目され、それらから来る細かい精神的効果などが研究で明らかにされているが、実際にその予防や治療に関してのデータは少なく、多くの課題が残されている。さらにはICU看護師の育成には多くの資源を要する事に加えこれから高齢化が進むにつれICU看護師の需要が今以上に多くなると予想されるため、ICU看護師をどのように職場で保持そして維持していくのかは、ICU医療にとって大切なテーマであると最近認識されている。

NEL-3

集中治療領域における敗血症患者の看護

名古屋大学医学部附属病院ICU

山口弘子

敗血症は、感染症を原因とする全身性炎症反応症候群である。基礎疾患の免疫低下状態に合併し、ICU入室期間を長期化させる。2004年にSurviving Sepsis Campaign guidelinesが発表され、2012年には世界規模でGlobal Sepsis Allianceが結成され、現在、敗血症の救命率向上が世界的に求められている。敗血症の診療看護体制において、当救急・内科系ICUでは、11項目を基盤とする全身性炎症管理バンドルが策定され、ICUにおける速やかな炎症管理を目標に戦略的に治療介入がなされ、高い救命率が達成されている。私たち看護師も、敗血症や全身性炎症のバンドルを看護戦略としてアセスメントし、患者の状態の変化を早期評価し、早期に治療介入できるようにすることが大切である。本講演では、敗血症管理におけるポイントを整理し、急変患者の評価としてまとめる。



NEL-4

最近の人工呼吸管理のトピックス
東京女子医科大学麻酔科中央集中治療部
小谷透

1 回換気量とプラトー圧を制限する低容量換気の有効性が証明され肺保護換気戦略の概念は浸透したが、すべての人工呼吸に必要なはいまだ不明である。2011年にARDSの新定義であるBerlin定義が提唱され、重症度に応じた治療法の選択基準が提案された。この中でPEEPは重症例に対する戦略の中心であり、食道内圧測定やelectrical impedance tomographyを用いた設定法が検討されている。究極の肺保護戦略であるECMOへのbridgingとしてHFOVやAPRVの臨床研究が続いている。腹臥位療法ではARDSの死亡率改善が示された。早期リハビリテーションによる長期予後の改善と合わせ、治療環境を整えることも重要なかもしれない。長年の課題である人工呼吸の自動化はSmartCare、ASV、NAVAといった自動ウィーニング機能から実現された。Intelliventによる完全自動化は評価中である。



MEL-1

集中治療領域における血液浄化法による薬物動態変化
名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野
松田直之

集中治療領域では、血液浄化が腎代替療法 (renal replacement therapy) として施行される場合が多い。この適応は、まさに代用腎としてのrenal indication (腎機能代用) に加えて、サイトカインなどの中分子までの濾過を目的とするnon-renal indicationの大きく2つに分類して良いであろう。一方、集中治療領域においても薬物動態学/薬力学 (pharmacokinetics/pharmacodynamics: PK/PD) を踏まえて、適切に薬物の有効治療濃度を達成する必要がある。これまでの多くのデータは、間歇的透析や持続濾過によるものであるが、血液浄化法では、濾過、透析、吸着の3つの観点より膜の性状を含めて細かな理解が必要となる。本講演では、血液浄化法の基本に立ち返り、血液浄化法における集中治療領域で用いるさまざまな薬物のPK/PDを論じる。



臨床工学技士部門 教育講演2

第1日目 14:10～15:00 第6会場(国立京都国際会館 2F Room B-1)

MEL-2

脳傷害患者のモニタリングと集中治療管理
日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野
木下浩作

神経集中治療を必要とする疾患は、頭部外傷、脳血管障害など以外にも、心停止後症候群、敗血症関連脳症、電解質異常などの代謝障害も含めて多彩に存在する。これまで脳傷害患者のモニタリングは、頭蓋内圧モニターが主体であった。しかし頭蓋内圧の変化は二次性脳損傷が進行した結果であり、頭蓋内圧だけの管理だけでは、転帰改善は望めない。脳傷害の初期には頭蓋内圧亢進を伴わなくとも、呼吸・循環動態の悪化により容易に頭蓋内圧亢進が進行する。一方、脳傷害そのものが、侵襲性高血糖、全身性炎症症候群の進展や神経原性肺水腫、心筋傷害などをはじめとした全身病態の悪化と関連して転帰に影響を与える。そのため、脳が全身に、全身病態の変化が頭蓋内に悪影響を及ぼす可能性のあることを知った上で、モニタリングを計画しなければならない。本報告では、現在利用可能なモニタリング方法や今後の神経集中治療に必要な管理方法を議論したい。



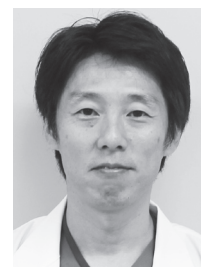
臨床工学技士部門 教育講演3

第2日目 14:00～14:50 第6会場(国立京都国際会館 2F Room B-1)

MEL-3

酸素療法の新たな展開(高流量酸素療法の可能性)
神戸大学医学部附属病院救急集中治療センター/集中治療部
三住拓誉

酸素療法はわれわれ医療者にとって一番身近な治療法の一つである。その歴史は古く、最初の臨床的使用は200年以上前となる。それ以来、酸素療法は「いかに患者に安定した濃度の酸素を与えられるか」を課題に改良・開発がすすめられて来た。ほぼそれは達成されるに至ったが、現在のキーワードは「いかに患者に快適に酸素を与えられるか」に変わって来ている。近年、患者に快適に酸素を与えるためのマスクやデバイスが各社から発売されている。その中でも高流量酸素療法 (High flow oxygen therapy) と呼ばれる酸素供給システムは快適に安定した濃度の酸素を患者に与えるだけでなく、様々な臨床的効果が期待できることがわかって来た。今回、その特徴を紹介するとともに、実際の運用方法や問題点なども合わせ解説する。



MW-1-keynote/commentator

米国におけるECMO管理の現状

ECMO Program, University of Michigan Health System, USA

Yuki Peterson

重症呼吸不全の治療におけるECMO (Extracorporeal Cardiopulmonary Membrane Oxygenation) の有効性を証明した、2009年のPeek らによるCESAR studyの発表に伴い、また医療機器におけるテクノロジーの発達などにより、以前より、ECMOを簡便に使用できるようになり、ECMOを治療の一環として、取り入れる施設が増加している。ECMOの回路も以前よりシンプルになり、安全性が向上した。しかしながら、ECMOを安全にまた有効に治療に取り入れるためには、ECMOの機械を扱えるだけでなく、ECMOの生理学や、患者の病態生理学を把握し、尚且つ、緊急時に対応できるものが、常在することが、望ましい。アメリカでは、このECMOを管理できる医療者をECMO Specialist と呼び、ECMOを管理するための特別なトレーニングを受けた、看護師、呼吸療法士、もしくは、体外循環技師になることができる。今回、アメリカにおける、二つの違う病院の、それぞれのECMO Specialistの役割を紹介したECMO Specialistの実際の仕事の様子を紹介したいと思う。



REL-1

早期離床のためにベッドボード(温度板)はこう読め

公立陶生病院救急部

長谷川隆一

【はじめに】ICUにおけるせん妄と遷延性筋力低下の予防のため、早期離床と運動療法が推奨されている。しかし重症患者の状態を適確に把握し、離床のタイミングやリハビリのメニューを決めるのは容易ではない。【ベッドボードの意義】ベッドボード(温度板、BB)は主に看護師によりバイタルサインの変化や薬剤の変更、水分バランスなどが記入され、またカルテの電子化でモニターや人工呼吸器からのデータも自動的に取り込まれる。従ってBBの情報量は膨大であり、慣れないとかえって理解しにくい。【リハに必要なデータ】バイタルサインのチェックでは血圧や心拍数の他に、不整脈の情報をチェックする。また原疾患のコントロールは炎症反応の低下や水分バランスがマイナスになっているか、カテコラミンが減らせているかなどから判断する。鎮静レベルに問題があれば、多職種カンファレンスで議論してコンセンサスを取り、BBでフォローする。



リハビリテーション部門 教育講演2

第1日目 14:20~15:10 第7会場(国立京都国際会館 2F Room B-2)

REL-2

早期リハビリテーションにおける主要臓器連関

鹿児島大学医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野

垣花泰之

従来のリハビリテーションは「疾病罹患後の廃用症候群の回復」のみを目的としたものが主流だったように思われます。しかし、近年、疾患臓器を対象とした特徴的なリハビリテーションが行われるようになってきました。例えば、発病数週間に行う急性期とそれに続いて数ヶ月間行う回復期、さらに、回復期後から生涯にわたる維持期のリハビリテーションなどです。これからも分かるように、運動・薬物・食事・患者教育・カウンセリングなどをセットにした「包括的リハビリテーション」が主流になってきました。これにより、機能予後の改善だけでなく、生命予後の改善、QOLや不安・鬱の改善、などの目覚ましい成果を上げてきています。そこで、今回は、早期リハビリテーションにおける主要臓器連関という表題を掲げました。早期リハビリテーションの主要臓器に及ぼす影響や生命予後の改善に関して、分子生物学的アプローチで得られた知見を紹介したいと思います。



リハビリテーション部門 教育講演3

第2日目 14:00~14:50 第7会場(国立京都国際会館 2F Room B-2)

REL-3

呼吸理学療法の最新エビデンス

1.長崎大学病院リハビリテーション部, 2.長崎大学病院集中治療部

神津玲¹, 花田匡利¹, 及川真人¹, 山口典子², 横田徹次²

呼吸理学療法とは、徒手の手技や体位変換、運動などを利用して呼吸障害の予防および治療をはかる呼吸管理の手段である。ICUにおいては人工呼吸管理を合併症なく完遂し、良好な経過で患者を退室させるために、急性無気肺や下側肺障害、人工呼吸関連肺炎といった安静臥床に起因する呼吸器合併症の予防と早期改善を主たる目標とする。ICUにおける呼吸理学療法の介入手段は、体位管理、気道クリアランス法、モビライゼーションの3つに集約できる。体位管理に関しては酸素化の改善効果が、気道クリアランスは急性無気肺を解除させるといったエビデンスが示されている。モビライゼーションは早期離床の手段として最近注目されているが、呼吸理学療法としての役割と効果に関しては必ずしも明確ではない。本講演では、ICUにおける呼吸理学療法の今日的意義と最近の研究報告を踏まえながら、標準的な手技のエビデンスと課題に関して解説する。



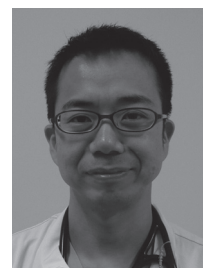
REL-4

集中治療領域における栄養管理とリハビリテーション

日本心臓血管研究振興会附属榊原記念病院

諸富伸夫

近年、集中治療領域においても早期経腸栄養、早期離床が注目されている。一方で、早計な早期経腸栄養や早期離床は集中治療の弊害となりうる可能性も内包しており、臨床場面では積極的な早期経腸栄養や早期離床を躊躇する場合が少なくない。そこで、本講演では、集中治療領域で栄養療法とリハビリテーション(リハ)を必要とする患者を、異化亢進により内因性エネルギー供給が増加し、全身状態の安定化のために安静が重要とされる時期だが、二次的合併症の予防のための選択的に早期経腸栄養や早期離床を必要とする第一相：prevention of chronic critical illness (CCI)、CCIから脱却するために積極的な栄養療法や離床を必要とする第二相：management of the CCI patients、緩和ケアとしての嗜好品の経口栄養摂取やベッドサイドでのリハを必要とする第三相：end of life careの3相に分類して、栄養療法とリハの立ち位置について概説したい。



日本集中治療医学会雑誌
Vol. 21 Supplement

2014 年 1 月 25 日 発行

一部金 3,150 円 送料 500 円

編集人 第 41 回日本集中治療医学会学術集会会長 氏家 良人

日本集中治療医学会
機関誌編集委員会委員長 藤野 裕士

発行者 一般社団法人 日本集中治療医学会
〔〒 113-0033〕 東京都文京区本郷 3-32-6 ハイヴ本郷 3 階
TEL. 03-3815-0589 FAX. 03-3815-0585
E-mail : office@jsicm.org
Web site : <http://www.jsicm.org/>

製 作 株式会社学研メディカル秀潤社
〔〒 141-8414〕 東京都品川区西五反田 2-11-8
TEL. 03-6431-1200 (代表)
FAX. 03-6431-1214
E-mail : jjsicm@shujunsha.co.jp

本書の著作権は一切学会が所有しています。したがって、当学会
の許諾を得ないで本書を転載刊行することを禁じます。

落丁、乱丁などがありましたらいつでもお取り替えいたします。